令和元年 （ ２０１９年 ） 7月 8 日
地域包括ケア推進調査特別委員会資料
子ども教育部子ども・教育政策課

中野区子ども・子育てアンケート調査結果の概要について

中野区子ども・子育て支援事業計画の改定にあたり、教育、保育、地域子ども・子育て支援事業等の利用状況、利用希望等を把握するために実施した、中野区子ども・子育てアンケート調査結果の概要について報告する。

１　調査概要

（１）調査対象　　①乳幼児（０歳～５歳）の保護者
　　②就学児童（小学校１年生～６年生）の保護者
（２）抽出方法　　住民基本台帳からの無作為抽出
（３）調査方法　　郵送配布・回収による無記名アンケート
（４）調査期間　　平成３０年９月１４日～１０月２２日

２　回収結果

	乳幼児（０歳～５歳）	就学児童（小学校１～６年生）
発送件数	4,582	4,573
有効回収件数	2,639	2,473
有効回収率	57.6%	54.1%

３　集計結果の概要

（１）親の就労状況及び就労意向

① 育児・介護休業中である場合を含めると、母親のうち、乳幼児で 67.9%、就学児童で 73.8%が、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している。就労していない母親のうち、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」としたのは乳幼児で 22.6%、就学児童で 28.2%となっている。

② 両親の就労形態では、「フルタイム共働き」が最も多く、乳幼児で 46.9%、就学児童で 29.4%となっている。「フルタイム・パート共働き」は、乳幼児 17.7%と比べ、就学児童は 29.0%と多くなっている。

③ 前年度の年収をみると、父親は、「600 万円以上」が最も多く、乳幼児で 49.7%、就学児童で 58.0%となっている。母親は、「200 万円未満」が最も多く、乳幼児で 30.8%、就学児童で 49.5%となっている。

④ 育児休業を取得した、または取得中である割合は、父親が 4.2%、母親が 51.5%となっている。取得していない理由をみると、父親は「配偶者が育児休業制度を利用し

た」が最も多く 33.9%、母親は「職場に育児休業制度がなかった」が最も多く 23.8%、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が 21.6%となっている。

⑤ 育児休業を取得したまたは取得中である母親がいる世帯を、世帯ごとの想定収入別にみると、400 万円以上が 56.1%、400 万円未満が 28.0%となっている。

⑥ 育児休業を取得し、職場復帰した母親について、希望より早く復帰した理由は「希望する保育園等に入るため」が 66.5%、希望より遅く復帰した理由は「希望する保育園等に入れなかったため」が 32.1%となっている。

（２）保育園・幼稚園の利用状況及び利用意向

① 乳幼児が利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が 52.9%で最も多く、「幼稚園（通常の時間のみ）」が 24.2%、「幼稚園（預かり保育も利用）」が 15.0%となっている。

② 乳幼児が定期的に利用したいと考える事業は、「認可保育所」が 57.8%と最も多く、「幼稚園（預かり保育も利用）」が 36.8%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が 23.6%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が 20.0%などとなっている。

（３）放課後の過ごし方

① 学童クラブについては、就学児童の 13.4%が利用している。利用意向をみると、低学年（１～３年生）の 42.9%、高学年（４～６年生）の 14.8%が「利用したい」としている。

② キッズ・プラザについては、就学児童の 16.7%が利用している。利用意向をみると、「自校であれば利用したい」が 33.0%、「利用したい」が 22.8%となっている。

③ 児童館については、就学児童の 28.7%が利用している。利用意向をみると、「利用したい」が 46.0%となっている。

（４）その他の事業

① 一時預かり事業については、乳幼児の 25.0%が利用していて、利用が最も多いのは「幼稚園の預かり保育」で、次いで「保育園の一時保育」、「ファミリー・サポート事業」などとなっている。

② 子育てひろばについては、乳幼児の 27.1%が利用している。利用意向をみると、「現在は利用していないが、今後利用したい」が 20.6%となっている。

（５）子育てに関する状況

① 仕事のある日に乳幼児の子どもと接する時間について、父親の理想は、「４時間以上」が 26.4%、次いで「２時間くらい」、「３時間くらい」の順であるが、現状は「１時間くらい」が 18.7%と最も多く、次いで「ほとんどない」、「２時間くらい」となっている。母親の理想は、「４時間以上」が 74.8%、次いで「３時間くらい」、「２時間くらい」の順であるが、現状は「４時間以上」が 48.8%と最も多く、次いで「３時

間くらい」、「２時間くらい」となっている。

② 子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所について、乳幼児・就学児童ともに、「あなたの配偶者、パートナー」が最も多く８割台、「友人・知人」、「その他の親族」がそれぞれ６割台となっている。

③ 区内の相談窓口・サービスに関する情報の入手方法について、乳幼児・就学児童ともに、「中野区ホームページ」、「中野区報」がそれぞれ５割前後、次いで「通っている幼稚園・保育施設等」、「通っている小学校等」が３割超となっている。

④ 地域活動について、参加している人でみると、乳幼児・就学児童ともに「その他の町内会・自治会活動」に「親子で参加している」が最も多く２割台、次いで「子ども会、子どもと共に進む会」に「親子で参加している」などとなっている。

⑤ 進めてほしい子育て支援策については、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」、「犯罪から子どもを守る体制の整備」が上位を占めている。

４　子ども・子育て支援事業計画改定スケジュール（予定）

令和元年１０月　計画素案の議会報告
　　区民意見交換会の実施
　１２月　計画案の議会報告
令和２年　１月　パブリック・コメント手続の実施
　３月　計画決定、公表

中野区子ども・子育てアンケート調査
結 果 報 告 書

平成 31(2019)年3月

中　　野　　区

目次

第1章　調査の概要 1

1．調査の目的 1
2．調査の設計 1
3．回収結果 1
4．報告書を読むにあたって 2

第2章　調査結果の要旨 3

1．共通項目 3
2．乳幼児調査のみの項目 6
3．就学児童調査（小学校1～6年生）のみの項目 10

第3章　乳幼児調査の結果 13

1．子どもと家族の状況について 13
（1）調査回答者 13
（2）居住地域 14
（3）子どもの年齢 15
（4）子どもの人数と年齢 15
（5）子どもの主たる養育者 16
（6）保護者の年齢 17
2．保護者の就労状況について 18
（1）父親の就労状況 18
（2）母親の就労状況 23
（3）両親の就労形態からみた家庭類型 29
3．教育・保育事業の利用状況について 30
（1）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 30
（2）利用している教育・保育事業 32
（3）教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度 34
（4）利用している教育・保育事業の実施場所 40
（5）病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験 42
（6）教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法 44
（7）病児・病後児保育施設の利用意向 45
（8）病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由 46
4．教育・保育事業の利用意向について 47
（1）平日の定期的な教育・保育事業の利用意向 47
（2）日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向 49
（3）幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向 50

（4）教育・保育事業を利用していない方の幼児教育・保育の無償化後の利用意向 51
5．一時預かり事業等について 52
（1）一時預かり事業の利用状況 52
（2）一時預かり事業を利用していない理由 55
（3）一時預かり事業の利用意向 56
（4）利用希望事業と利用希望日数 57
（5）泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験 59
（6）泊りがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法 60
（7）ショートステイを利用しなかった理由 61
6．子育てひろばの利用について 62
（1）子育てひろばの利用状況 62
（2）子育てひろばの月あたりの利用回数 64
（3）子育てひろば利用の利点 65
（4）子育てひろばを利用してない理由 67
（5）子育てひろばの利用意向 68
（6）子育てひろばへの期待 70
7．放課後の過ごし方について 72
（1）小学校入学以降の放課後の過ごし方の希望 72
（2）土曜日、日曜日・祝日の学童クラブの利用意向 76
（3）夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向 78
8．職場の両立支援制度について 79
（1）育児休業の取得状況 79
（2）育児休業を取得した人の状況 81
（3）職場復帰のタイミング 82
（4）収入による母親の育児休業の取得と職場復帰の時期について 83
（5）希望の職場復帰時期 84
（6）希望の時期に復帰できなかった理由 85
（7）短時間勤務制度の利用状況 86
9．子育て支援全般について 88
（1）出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無 88
（2）子どもと接する時間 89
（3）子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所 90
（4）情報の入手方法 92
（5）地域活動への参加状況と参加意向 93
（6）進めてほしい子育て支援策 95
（7）区の子育て支援策に関する意見・要望 96

第4章　就学児童調査（小学校1～6年生）の結果 100
1．子どもと家族の状況について 100
（1）調査回答者 100
（2）居住地域 101
（3）子どもの学年 102
（4）子どもの人数と年齢 102
（5）子どもの主たる養育者 103
（6）保護者の年齢 104
2．保護者の就労状況について 105
（1）父親の就労状況 105
（2）母親の就労状況 111
（3）両親の就労形態からみた家族類型 117
3．放課後の過ごし方について 118
（1）放課後の過ごし方 118
（2）学童クラブの利用状況 120
（3）学童クラブの利用希望 123
（4）キッズ・プラザの利用状況 131
（5）キッズ・プラザ利用の利点 133
（6）キッズ・プラザを利用していない理由 134
（7）キッズ・プラザの利用意向 135
（8）児童館の利用状況 137
（9）児童館利用の利点 139
（10）児童館を利用していない理由 140
（11）児童館の利用意向 141
4．子育て支援事業の利用状況について 143
（1）病児・病後児保育事業の利用意向 143
（2）一時預かり事業の利用状況 145
（3）一時預かり事業を利用していない理由 147
（4）一時預かり事業の利用意向 148
（5）利用したい一時預かり事業と必要日数 148
（6）泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験 151
（7）泊りがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法 152
5．子育て支援全般について 153
（1）子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所 153
（2）情報の入手方法 155
（3）地域活動への参加状況と参加意向 156
（4）進めてほしい子育て支援策 158

（5）区の子育て支援策に関する意見・要望 159

第5章　資料（調査票） 162

1．乳幼児調査 162
2．就学児童調査 185

第１章　調査の概要

１. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「中野区子ども・子育て支援事業計画」の改定に当たり基礎資料を得ることを目的に実施した。

２. 調査の設計

調査名	乳幼児調査	就学児童調査 （小学校１～６年生）
調査対象者と 抽出方法	就学前児童のいる世帯から無作為抽出	小学生（１～６年生）のいる世帯から無作為抽出
調査方法	・郵送配布・郵送回収 ・ハガキによる督促１回	
調査期間	・平成 30 年９月 14 日～10 月 22 日	

３. 回収結果

調査名	乳幼児調査	就学児童調査 （小学校１～６年生）
調査対象者数	4,582 票	4,573 票
有効回収数	2,639 票	2,473 票
有効回収率	57.6%	54.1%

4. 報告書を読むにあたって

①「回答者数」について

・図表中の「回答者数」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答比率（%）の母数をあらわしている。

②図表の「%」（回答比率）について

・図表の「%」（回答比率）表記は、小数点第２位を四捨五入した値であるため、単数回答の質問項目でも合計が 100%にならないことがある。複数回答の質問項目は、回答者数を 100%として各選択肢の回答比率を算出しているため、合計は 100%を超える。

③単純集計について

・回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴を記述している。

④クロス集計について

・特徴的な質問項目については、子どもの年齢・学年などを分析の柱とするクロス集計表を掲載し、分析を行っている。

・クロス集計表の記載にあたり、分析の柱となる項目の「無回答」は掲載を省略している。したがって、分析の柱となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない場合がある。

⑤その他

・乳幼児調査の対象となっているご家庭は、就学児調査の対象からは外れている。

第２章　調査結果の要旨

１．共通項目

１）調査回答者（乳幼児調査：問１、就学児童調査：問１）

「母親」が乳幼児調査では 89.8％、就学児童調査では 88.9％となっている。

２）子どもの人数と年齢（乳幼児調査：問４、就学児童調査：問４）

子どもの人数は、乳幼児調査、就学児童調査ともに「２人」が最も多く、４割半ばであり、平均は乳幼児調査が 1.7 人、就学児童調査が 1.8 人となっている。末子の年齢は、乳幼児調査では「２歳」が 15.6％、就学児童調査では「７歳」「８歳」が 16.7％で最も多くなっている。乳幼児調査が平均 2.6 歳、就学児童調査が 8.6 歳となっている。

３）子どもの主たる養育者（乳幼児調査：問５、就学児童調査：問５）

乳幼児調査、就学児童調査ともに「父母ともに」が最も多く６割台、次いで「主に母親」が３割台となっている。

４）保護者の年齢（乳幼児調査：問６、就学児童調査：問６）

最も多いのは、乳幼児調査では、父親で「40-44 歳」が 36.3％、母親で「35-39 歳」が 38.9％となっている。就学児童調査では、父親、母親ともに「45 歳以上」が最も多く、それぞれ 53.6％、45.0％となっている。

５）父親の就労状況（乳幼児調査：問７、就学児童調査：問７）

①就労形態

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」は、乳幼児調査で 95.5％、就学児童調査で 89.9％となっている。

②就労状況

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の１週あたりの就労日数は、乳幼児調査では平均 5.3 日、就労時間が平均 9.4 時間となっている。就学児童調査では平均 5.3 日、就労時間が 9.2 時間となっている。また、乳幼児調査、就学児童調査ともに始業時間は「９時台」が４割半ばで最も多く、終業時間も「12～18 時台」が６割半ばで最も多くなっている。休日の形態をみると、乳幼児調査、就学児童調査ともに６割以上が「固定」であり、そのうち９割以上が「日曜日」が休日となっている。また、勤務地をみると「都内（中野区を除く）」が乳幼児調査、就学児童調査ともに７割以上となっている。前年度の年収をみると乳幼児調査、就学児童調査ともに「600 万円以上」が４割台から５割台で最も多くなっている。

③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

乳幼児調査では「パート・アルバイト等で働き続けたい」が 37.5%、就学児童調査では「転換希望はあるが､実現できる見込みはない」が 40.0%とそれぞれ最も多くなっている。

④未就労者の就労意向

乳幼児調査、就学児童調査ともに「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が最も多く、それぞれ 70.0%、37.5%となっている。そのうち「フルタイム」を希望する人は、乳幼児調査で 85.7%、就学児童調査で 57.1%となっている。

6）母親の就労状況（乳幼児調査：問8、就学児童調査：問8）

①就労形態

乳幼児調査では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 41.8%、就学児童調査では､「パート・アルバイ等で就労しており､育休介護業中ではない」が 37.7%とそれぞれ最も多くなっている。

②就労状況

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の１週あたりの就労日数は、乳幼児調査では平均 4.7 日､就労時間が平均 7.0 時間となっている。就学児童調査では平均 4.4 日、就労時間が平均 6.5 時間となっている。また、乳幼児調査、就学児童調査とも始業時間は「９時台」が４割台から５割台で最も多くなっている。終業時間は、乳幼児調査では「17 時台」が 44.1%、就学児童調査では「12～16 時台」が 38.5%でそれぞれ最も多くなっている。休日の形態をみると、乳幼児調査、就学児童調査ともに半数以上が「固定」であり、そのうち休日の曜日は「土曜日」が８割台、「日曜日」が９割半ばとなっている。また、勤務地をみると、乳幼児調査、就学児童調査ともに「都内（中野区を除く）」が最も多く、乳幼児調査では 71.1%、就学児童調査では 59.0%となっている。前年度の年収をみると、乳幼児調査、就学児童調査ともに「200 万円未満」が最も多く、乳幼児調査では 30.8%、就学児童調査では 49.5%となっている。

③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

乳幼児調査、就学児童調査ともに「パート・アルバイト等で働き続けたい」が最も多く、乳幼児調査では 46.7%、就学児童調査では 57.4%となっている。

④未就労者の就労意向

乳幼児調査では「１年より先に就労したい」が 49.9%、就学児童調査では「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が 45.0%とそれぞれ最も多くなっている。「１年より先に就労したい」と回答した人のうち、就労を希望する時の末子の年齢をみると、乳幼児調査では「６～11 歳」が 50.5%、就学児童調査では「12 歳以上」が 53.2%とそれぞれ最も多くなっている。

7）両親の就労形態からみた家庭類型

乳幼児調査では、「フルタイム共働き」が 46.9%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が 29.9%、「フルタイム・パート共働き」が 17.7%となっている。就学児童調査では、「フルタイム共働き」が 29.4%と最も多く、次いで「フルタイム・パート共働き」が 29.0%、「専業主婦（夫）」が 22.3%となっている。

8）子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所（乳幼児調査：問 36、就学児童調査：問 19）

乳幼児調査、就学児童調査ともに「あなたの配偶者、パートナー」が最も多く８割台、「友人・知人」「その他の親族」が６割台となっている。

9）情報の入手方法（乳幼児調査：問 37、就学児童調査：問 20）

乳幼児調査では、「中野区ホームページ」が 54.1%と最も多く、次いで「中野区報」が 50.1%、「通っている幼稚園・保育施設等」が 36.1%となっている。就学児童調査では、「中野区報」が 53.2%と最も多く、次いで「中野区ホームページ」が 48.5%、「通っている小学校等」が 33.7%となっている。

10）地域活動への参加状況と参加意向（乳幼児調査：問 38、就学児童調査：問 21）

参加している人をみると、乳幼児調査、就学児童調査ともに「その他の町内会・自治会活動」に「親子で参加している」が最も多くなっており、乳幼児調査で 22.0%、就学児童調査で 27.2%となっている。今後の参加意向をみると、乳幼児調査では、全ての活動で「機会があれば、参加したい」が、３割から４割をやや上回る程度となっている。就学児童調査では、全ての活動で３割台となっている。

11）進めてほしい子育て支援策（乳幼児調査：問 39、就学児童調査：問 22）

乳幼児調査では「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が 67.9%、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が 65.1%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」が 62.3%となっている。就学児童調査では「犯罪から子どもを守る体制の整備」が 66.6%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が 59.7%、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が 54.4%となっている。

２．乳幼児調査のみの項目

１）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（乳幼児調査：問9）

「利用している」が 84.2%、「利用していない」が 14.8%となっている。

２）利用している教育・保育事業（乳幼児調査：問 10）

「認可保育所（区立・私立保育園）」が 52.9%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が 24.2%、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が 15.0%となっている。

３）教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度（乳幼児調査：問 11）

現在の１週あたりの利用日数は、「５日」が 92.6%であり、利用開始時間は「９時台から」が 50.0%、利用終了時間は「18 時まで」が 33.3%とそれぞれ最も多くなっている。１週あたりの利用希望日数は、「５日」が 64.1%であり、希望開始時間は「９時台から」が 33.7%、希望終了時間は「18 時まで」が 23.0%とそれぞれ最も多くなっている。

４）利用している教育・保育事業の実施場所（乳幼児調査：問 12）

「中野区内」が 91.2%、「他の区市町村」が 8.0%となっている。

５）病児・病後児保育について（乳幼児調査：問 13）

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験は、「あった」が 58.0%であり、その際の対処方法は「母親が仕事を休んだ」が 70.1%と最も多い。利用日数（年間）の平均は、「母親が仕事を休んだ」が 8.6 日となっている。利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 36.8%であり、利用希望日数（年間）は平均 9.8 日となっている。一方で「利用したいと思わない」が 61.1%であり、理由をみると「親が仕事を休んで対応したい」が 48.7%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 46.3%、「利用手続きが煩雑である」が 40.7%となっている。

６）平日の定期的な教育・保育事業の利用意向（乳幼児調査：問 14）

「認可保育所（区立・私立保育園）」が 57.8%、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が 36.8%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が 23.6%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が 20.0%、「認証保育所」が 9.1%、「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」が 7.2%となっている。

７）日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（乳幼児調査：問 15）

『利用したい』は 23.9%となっている。『利用したい』と回答した人の希望開始時間は「９時台から」が 51.0%、希望終了時間は「18 時まで」が 36.6%とそれぞれ最も多くなっている。

8）幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向（乳幼児調査：問 16）

『利用したい』は 62.9%となっている。『利用したい』と回答した人の希望開始時間は「９時台から」が 82.0%、希望終了時間は「14 時まで」および「15 時まで」が 27.8%とそれぞれ最も多くなっている。

9）教育・保育事業を利用していない方の幼児教育・保育の無償化後の利用意向（乳幼児調査：問 17）

「預けたい」が 81.1%となっており、希望する預け先は「幼稚園等（認定こども園の幼稚園枠含む）」が 60.9%、「保育施設等（認定こども園保育園枠含む）」が 36.3%となっている。

10）一時預かり事業について（乳幼児調査：問 18～問 20）

『利用している』が 25.0%であり、具体的な事業をみると「幼稚園の預かり保育」が 12.5%、「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が 5.8%、「ファミリー・サポート事業」が 4.7%となっている。利用日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育」が 38.1 日、「保育園の短期特例保育」が 30.3 日、「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が 20.9 日となっている。一方で「利用していない」が 72.5%であり、理由をみると「特に利用する必要がない」が 68.1%と最も多くなっている。また、利用目的別の利用意向をみると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が 46.0%、「保護者の入院や病気」が 45.2%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が 43.3%となっている。

11）ショートステイについて（乳幼児調査：問 21）

泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験は、「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」が 13.6%となっており、その際の対処方法は「親族・知人にみてもらった」が 85.8%と最も多くなっている。また、対処方法別の日数（年間）の平均は、「その他の保育事業を利用した」が 15.3 日、「親族・知人にみてもらった」が 10.5 日、「子どもを同行させた」が 7.3 日となっている。

12）子育てひろばについて（乳幼児調査：問 22～問 25）

『利用している』は 27.1%であり、具体的には「児童館、ふれあいの家の子育てひろば」が 22.1%、「すこやか福祉センターの子育てひろば」が 8.7%、「地域の団体が実施する子育てひろば、乳幼児親子の居場所」が 4.1%となっている。『利用している』と回答した人の月あたりの利用回数は、平均 4.3 日となっている。子育てひろばを利用して良かったことは、保護者にとっては「知り合いや友人ができた」が 51.5%、子どもにとっては「遊びの幅が広がった・興味が広がった」が 62.9%とそれぞれ最も多くなっている。一方で「利用していない」が 72.1%となっているが、理由をみると「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が 80.2%と最も多くなっている。利用意向をみると、「現在は利用していないが、今後利用したい」が 20.6%で月あたりの利用希望回数は平均 3.7 回、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.3%で月あたりの利用希望回数は平均 7.0 回となっている。子育てひろばに期待していることは、「子どもが（または親子で）遊ぶ場所を提供し

てくれる」が 48.3%、「いつでも気軽に立ち寄れる」が 45.4%、「家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる」が 44.6%となっている。そのうち、最も期待していることは、「子どもが（または親子で）遊ぶ場所を提供してくれる」が 10.3%となっている。

13)学童クラブについて(乳幼児調査:問 26～問 28)

①放課後の過ごし方の希望(問26)

低学年は「学童クラブ」が 48.5%と最も多くなっている。学童クラブを希望した人の 1 週あたりの利用希望日数は、平均 4.5 日となっており、利用希望時間は「18 時まで」が 52.4%で最も多くなっている。高学年は「学童クラブ」が 14.4%となっており、学童クラブを希望した人の 1 週あたりの利用希望日数は、平均 4.1 日であり、利用希望時間は「18 時まで」が 50.0%と最も多い。

②土曜日、日曜日・祝日の利用意向(問27)

土曜日は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 21.4%、「高学年（４～６年生)になっても利用したい」が 13.1%となっている。希望開始時間は「９時台から」が 44.5%、希望終了時間は「18 時まで」が 49.0%とそれぞれ最も多くなっている。日曜日・祝日は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 8.3%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 6.9%となっている。希望開始時間は「９時台から」が 62.5%、希望終了時間は「18 時まで」が 56.8%とそれぞれ最も多くなっている。

③夏休み・冬休み等の利用意向(問28)

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 34.9%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 24.8%となっている。希望開始時間は「９時台から」が 45.3%、希望終了時間は「18 時まで」が 45.3%とそれぞれ最も多くなっている。

14)育児休業、短時間勤務制度について(乳幼児調査:問 29～問 33)

①育児休業の取得状況(問29)

育児休業を取得した割合は、父親が 4.1%、母親が 48.9%となっている。取得しなかった理由をみると、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」が 33.9%、「仕事が忙しかった」が 26.6%となっている。母親は、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 23.8%、「子育てや家事に専念するため退職した」が 21.6%、「仕事が忙しかった」「収入が減り、経済的に苦しくなる」が 12.9%となっている。

②育児休業取得後の職場復帰状況(問30)

「育児休業取得後、職場に復帰した」は、父親が 89.9%、母親が 85.9%となっている。職場復帰のタイミングをみると、父親は「育児休業終了時」が 62.2%、母親は「年度初め（保育園入園にあわせて）」が 71.6%とそれぞれ最も多くなっている。職場復帰時の子どもの年齢をみると、父親は「１か月以上３か月未満」が 36.7%、母親は「６か月以上１歳未満」が 38.8%とそれぞれ最も多くなっている。

③希望の職場復帰時期（問31）

父親、母親ともに「子どもが１歳になるまで取得したい」が３割半ばから４割半ばで最も多くなっている。

④希望の時期に復帰できなかった理由（問32）

父親の希望より早く復帰した理由は「人事異動や業務の節目など仕事の都合」が 29.6%、「経済的な理由」が 24.5%、「希望する保育園等に入るため」が 14.3%となっている。母親の希望より早く復帰した理由は「希望する保育園等に入るため」が 66.5%となっている。また、母親の希望より遅く復帰した理由は「希望する保育園等に入れなかったため」が 32.1%となっている。

⑤短時間勤務制度の利用状況（問33）

短時間勤務制度を「利用した」人の割合は、父親が 6.1%、母親が 64.5%となっている。短時間勤務制度を利用しなかった理由は、父親が「仕事が忙しかった」が 40.5%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 29.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 27.0%となっている。母親が「短時間勤務にすると給与が減額される」が 47.2%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 33.6%、「仕事が忙しかった」が 31.3%となっている。

15)出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無（乳幼児調査：問 34）

「あなたの配偶者・パートナー」が 80.1%と最も多く、次いで「里帰り出産先の子どもの祖父母」が 45.3%、「その他の子どもの祖父母」が 44.2%となっている。

16)子どもと接する時間（乳幼児調査：問 35）

子どもと接する時間の父親の現状は、「１時間くらい」が 18.7%、「ほとんどない」が 16.8%、「２時間くらい」が 15.6%となっている。母親の現状は、「４時間以上」が 48.8%、「３時間くらい」が 29.1%、「２時間くらい」が 10.6%となっている。一方で子どもと接する時間の理想は、父親は「４時間以上」が 26.4%、「２時間くらい」が 20.8%、「３時間くらい」が 20.1%となっている。母親は、「４時間以上」が 74.8%、「３時間くらい」が 13.1%、「２時間くらい」が 4.7%となっている。

3. 就学児童調査（小学校1～6年生）のみの項目

1）放課後の過ごし方（就学児童調査：問9）

放課後の過ごし方は、「自宅」が 70.0%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 67.4%となっている。

また、学童クラブを利用している人の平均は 4.3 日となっている。

2）学童クラブの利用状況（就学児童調査：問9－1）

①放課後

放課後の利用終了時間は、「18 時まで」が 47.6%、「17 時まで」が 33.4%、「19 時まで」が 15.7%となっている。

②土曜日

「利用している」が 18.1%、「利用していない」が 80.1%となっている。利用している人の利用開始時間は「９時台から」が 48.3%、「８時台から」が 40.0%となっている。利用終了時間は、「18 時まで」が 46.7%、「17 時まで」が 45.0%となっている。

③夏休み等

「利用している」が 94.6%、「利用していない」が 3.6%となっている。利用している人の利用開始時間は「８時台から」が 61.8%、「９時台から」が 31.8%となっている。利用終了時間は、「18 時まで」が 45.5%、「17 時まで」が 35.4%となっている。

3）学童クラブの利用希望（就学児童調査：問 10）

①平日

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（１～３年生）が 42.9%、高学年（４～６年生）が 14.8%となっている。利用を希望する人の希望終了時間は、低学年（１～３年生）、高学年（４～６年生）ともに「18 時まで」が最も多く、それぞれ 44.6%、45.2%となっている。利用希望日数は、低学年（１～３年生）が平均 4.3 日、高学年（４～６年生）が平均 3.8 日となっている。

②土曜日

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（１～３年生）が 10.1%、高学年（４～６年生）が 4.4%となっている。利用を希望する人の希望開始時間は、低学年（１～３年生）では「８時台から」および「９時台から」が 44.4%、高学年（４～６年生）では「９時台から」が 50.5%と最も多くなっている。希望終了時間は、低学年（１～３年生）では「18 時まで」が 46.9%、高学年（４～６年生）では「17 時まで」が 43.1%と最も多くなっている。

③日曜日・祝日

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（１～３年生）が 3.9%、高学年（４～６年生）が 2.7%となっている。利用を希望する人の希望開始時間は、低学年（１～３年生）、高学年（４～６年生）ともに「９時台から」が最も多く、それぞれ 45.2%、45.6%となっている。希望終了時間は、低学年（１～３年生）では「18 時まで」が 48.4%、高学年（４～６年生）では「17 時まで」および「18 時まで」が 35.3%と最も多くなっている。

④夏休み等

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（１～３年生）が 47.9%、高学年（４～６年生）が 24.4%となっている。利用を希望する人の希望開始時間は、低学年（１～３年生）、高学年（４～６年生）ともに「８時台から」が最も多く、それぞれ 51.4%、44.9%となっている。希望終了時間は、低学年（１～３年生）、高学年（４～６年生）ともに「17 時まで」が最も多く、それぞれ 41.8%、53.1%となっている。

4）キッズ・プラザについて（就学児童調査：問 11・問 12）

「利用している」が 16.7%であり、月あたりの利用日数は平均 7.2 回となっている。また、キッズ・プラザを利用して良かったことは、「遊びの幅が広がった・興味が広がった」が 54.1%と最も多くなっている。一方で「利用していない」は 78.2%となっており、理由をみると、「通っている学校にない」が 44.5%と最も多くなっている。利用意向をみると、「自校であれば利用したい」が 33.0%、「利用したい」が 22.8%となっており、「自校であれば利用したい」では月あたりの利用希望日数が平均 9.9 回、「利用したい」では平均 9.1 回となっている。

5）児童館について（就学児童調査：問 13・問 14）

「利用している」が 28.7%であり、月あたりの利用日数は平均 6.7 回となっている。また、児童館を利用して良かったことは、「遊びの幅が広がった・興味が広がった」が 55.9%と最も多くなっている。一方で「利用していない」は 68.5%となっており、理由をみると「利用する時間がない」が 41.4%と最も多くなっている。利用意向をみると、「利用したい」が 46.0%となっており、月あたりの利用希望日数は 7.4 回となっている。

6）病児・病後児保育について（就学児童調査：問 15）

「利用したい」が 50.7%、「利用したいと思わない」が 47.1%となっている。

7）一時預かり事業について（就学児童調査：問 16・問 17）

『利用している』が 4.9%であり、具体的な事業をみると「ファミリー・サポート事業」が 2.8%と最も多く、次いで「民間学童クラブの一時保育」が 0.8%、「トワイライトステイ」が 0.2%となっている。利用日数（年間）の平均をみると、「民間学童クラブの一時保育」が 59.0 日、「ファミリー・サポート事業」が 13.4 日、「トワイライトステイ」が 16.6

日となっている。一方で「利用していない」は 94.2%であり、理由をみると「特に利用する必要がない」が 67.6%と最も多くなっている。利用意向を利用目的別にみると、「保護者の入院や病気」が 47.6%と最も多い。具体的な事業の利用希望日数（年間）の平均をみると、「民間学童クラブの一時保育」では 21.5 日、「ファミリー・サポート事業」では 12.1 日、「トワイライトステイ」では 7.5 日となっている。

8）ショートステイについて（就学児童調査：問 18）

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験は、「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」が 13.7%となっており、その際の対処方法は「親族・知人にみてもらった」が 80.5%と最も多くなっている。また、対処方法別の日数（年間）の平均は、「ショートステイを利用した」が 10.7 日、「親族・知人にみてもらった」が 7.6 日、「子どもを同行させた」が 5.3 日となっている。

第３章　乳幼児調査の結果

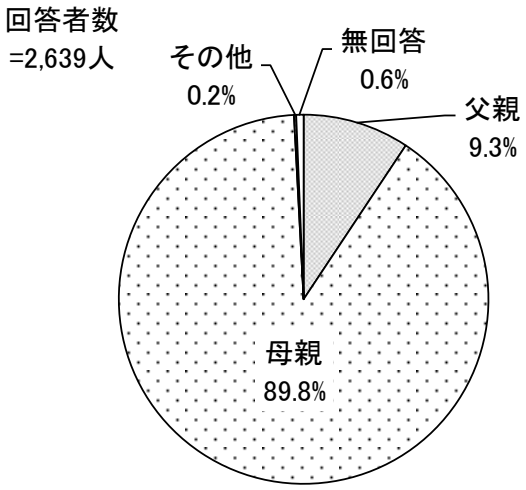
１．子どもと家族の状況について

（1）調査回答者

問１　この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。
（○は１つ）

調査回答者は、「母親」が 89.8%、「父親」が 9.3%となっている。

図表3－1－1　調査回答者（単数回答）



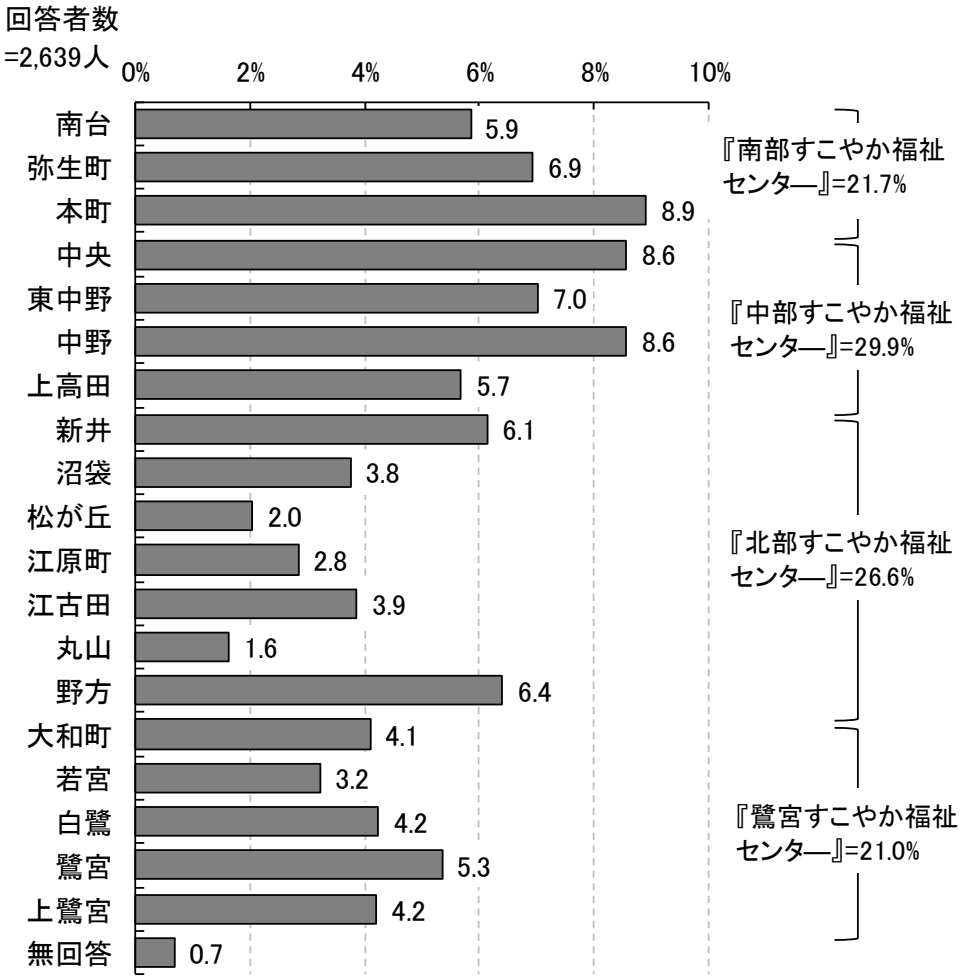
(2)居住地域

問２　お住まいの地域をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

居住地域は、「本町」が 8.9%と最も多く、次いで「中央」、「中野」が 8.6%となっている。

すこやか福祉センター管轄地域で見ると、『中部すこやか福祉センター』が 29.9%と最も多く、『鷺宮すこやか福祉センター』が 21.0%で最も少なくなっている。また、各すこやか福祉センターとも２割台となっている。

図表３－１－２　居住地域（単数回答）

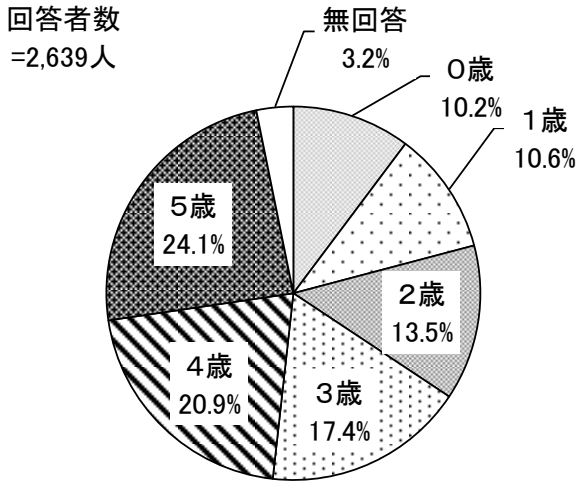


(3)子どもの年齢

問３　あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。（数字を記入）

子どもの年齢は、「５歳」が 24.1%と最も多く、次いで「４歳」が 20.9%、「３歳」が 17.4%、「２歳」が 13.5%、「１歳」が 10.6%、「０歳」が 10.2%となっている。

図表3－1－3　子どもの年齢（単数回答）



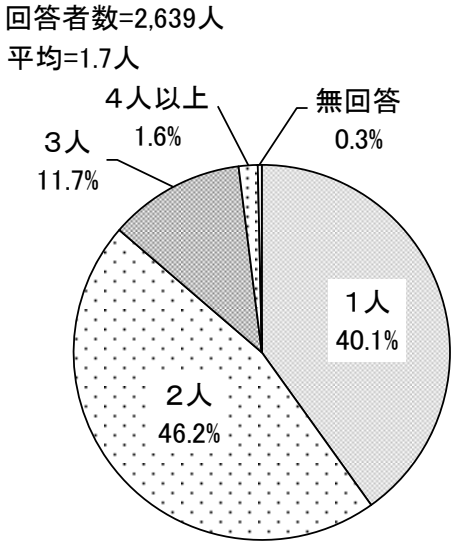
(4)子どもの人数と年齢

問４　あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。また、それぞれのお子さんの年齢をお答えください（数字を記入）

子どもの人数は、「２人」が 46.2%と最も多く、次いで「１人」が 40.1%、「３人」が 11.7%となっており、平均は 1.7 人となっている。

兄弟が２人以上の場合の末子の年齢は、「２歳」が 15.6%と最も多く、次いで「１歳」が 14.3%、「４歳」が 14.2%となっており、平均は 2.6 歳となっている。

図表3－1－4　子どもの人数（単数回答）

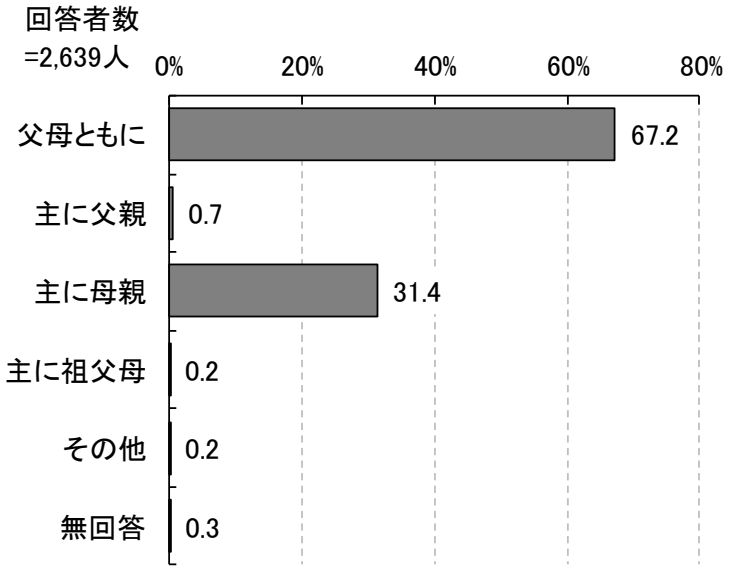


(5)子どもの主たる養育者

問５　あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は１つ）

子どもの主たる養育者は、「父母ともに」が 67.2%と最も多く、次いで「主に母親」が 31.4%、「主に父親」が 0.7%となっている。

図表３－１－５　子どもの主たる養育者（単数回答）



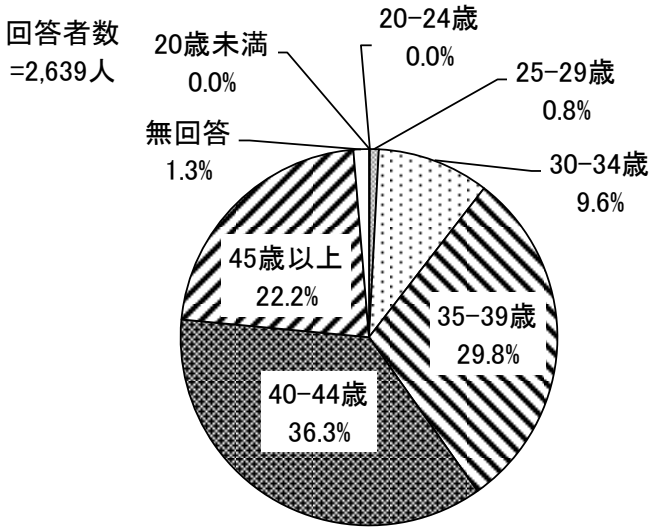
(6)保護者の年齢

問６　あて名のお子さんの父親、母親の年齢をお答えください。（○はそれぞれ１つ）

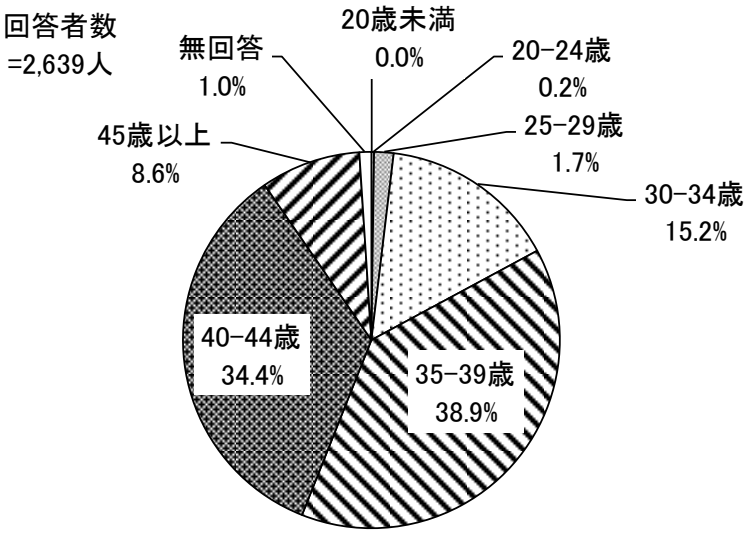
父親の年齢は、「40-44 歳」が 36.3%と最も多く、次いで「35-39 歳」が 29.8%、「45 歳以上」が 22.2%となっている。

母親の年齢は、「35-39 歳」が 38.9%と最も多く、次いで「40-44 歳」が 34.4%、「30-34 歳」が 15.2%となっている。

図表３－１－６　父親の年齢(単数回答)



図表３－１－７　母親の年齢(単数回答)



2. 保護者の就労状況について

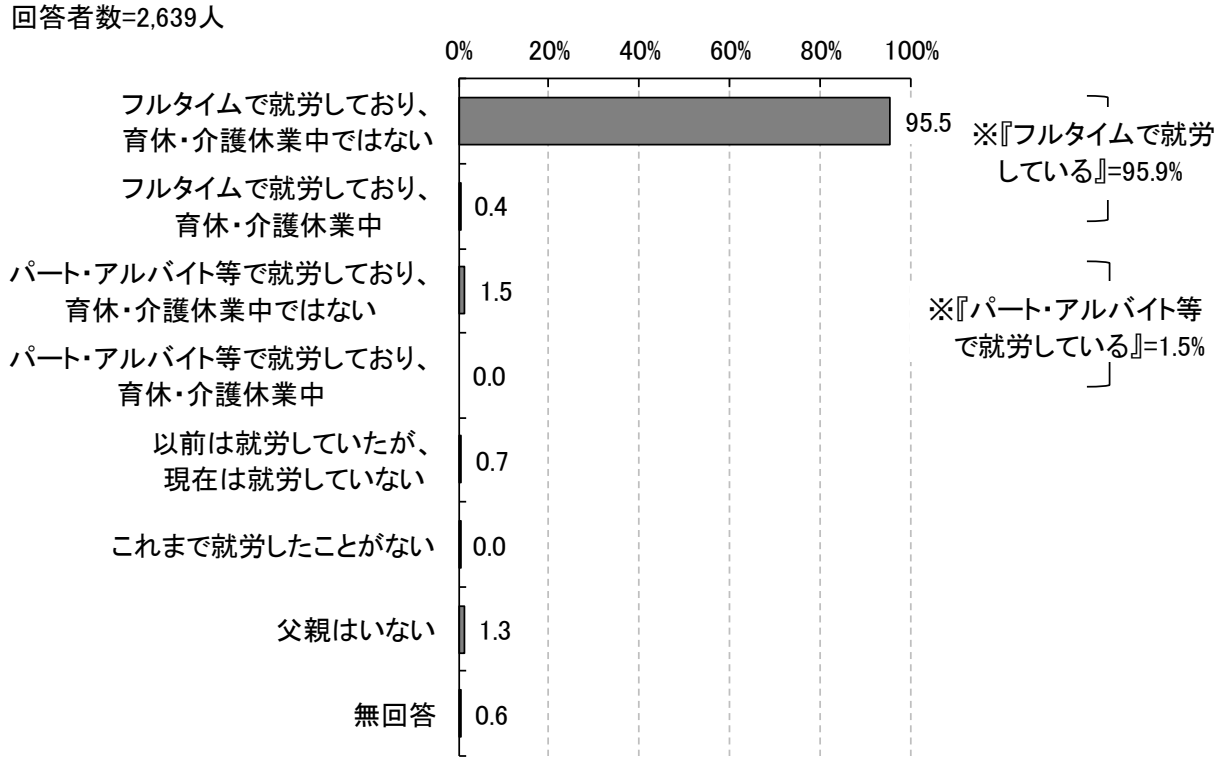
(1)父親の就労状況

①就労形態

問７　あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。
（○は１つ）

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 95.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 1.5%、「父親はいない」が 1.3%となっている。また、『フルタイムで就労している』が 95.9%となっている。

図表３－２－１　父親の就労形態（単数回答）



※『フルタイムで就労している』＝「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』＝「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」

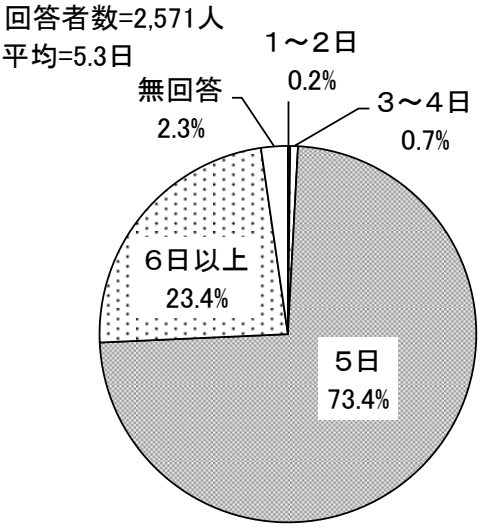
②就労状況

問 7-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④（休日の曜日）のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

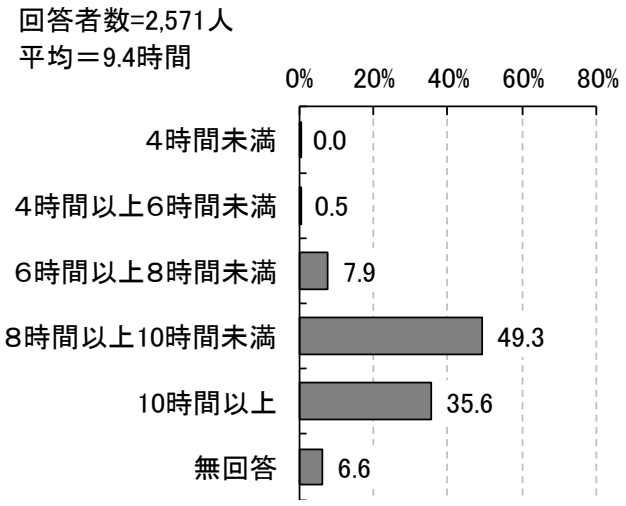
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の１週あたりの就労日数は、「５日」が 73.4%と最も多く、次いで「６日以上」が 23.4%、「３～４日」が 0.7%となっている。１日あたりの就労時間は、「８時間以上 10 時間未満」が 49.3%と最も多く、次いで「10 時間以上」が 35.6%、「６時間以上８時間未満」が 7.9%となっている。平均は 9.4 時間となっている。

始業時間は、「９時台」が 45.3%と最も多く、次いで「８時台」が 26.4%、「10 時以降」が 17.5%となっている。終業時間は、「12～18 時台」が 64.2%と最も多く、次いで「19 時台」が 9.8%、「０～11 時台」が 6.4%となっている。

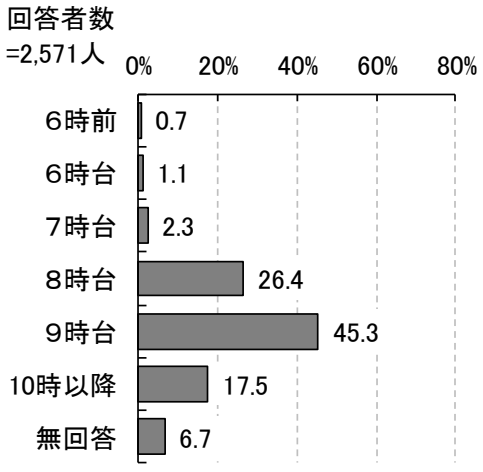
図表3－2－2　1週あたりの就労日数
（単数回答）



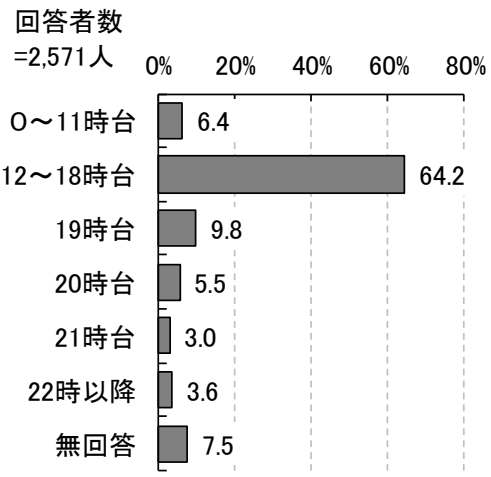
図表3－2－3　1週あたりの就労時間
（単数回答）



図表3－2－4　始業時間（単数回答）



図表3－2－5　終業時間（単数回答）

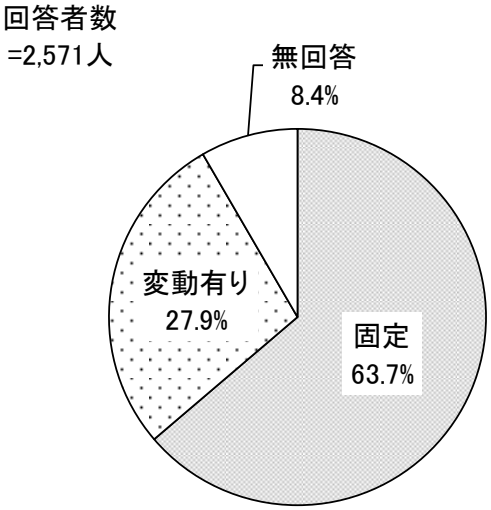


休日の形態は、「固定」が 63.7%、「変動有り」が 27.9%となっている。休日の曜日は、固定勤務制の場合、「日曜日」が 92.9%と最も多く、次いで「土曜日」が 79.4%となっている。

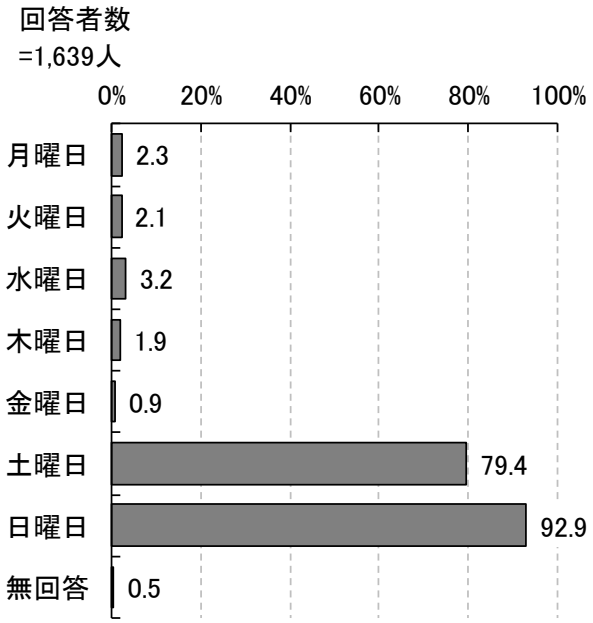
勤務地は、「都内（中野区を除く）」が 77.2%と最も多く、次いで「中野区」が 12.0%、「都外」が 7.7%となっている。

前年度の年収は、「600 万円以上」が 49.7%と最も多く、次いで「400 万円以上 600 万円未満」が 28.0%、「200 万円以上 400 万円未満」が 15.8%となっている。

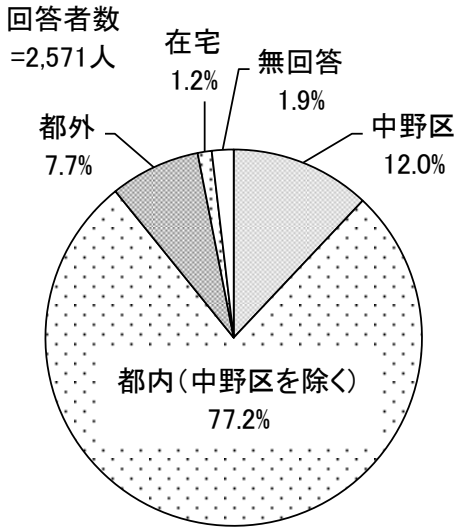
図表3－2－6 休日の形態
（単数回答）



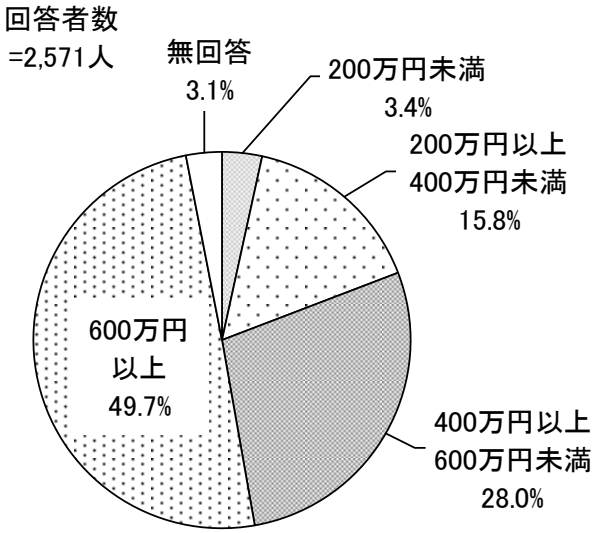
図表3－2－7 休日の曜日
（複数回答）



図表3－2－8 勤務地（単数回答）



図表3－2－9 前年度の年収（単数回答）

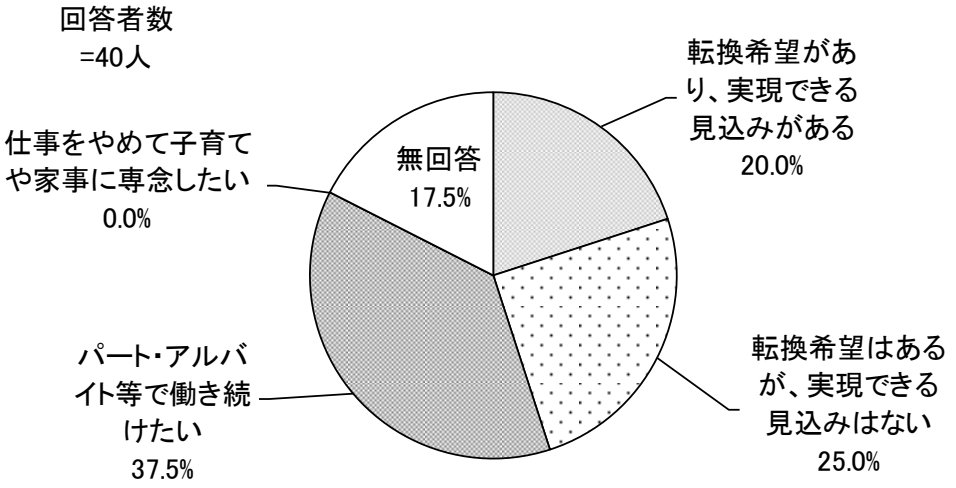


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問 7-2　「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。フルタイム（1 週５日以上・１日８時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働き続けたい」が 37.5%と最も多く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.0%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が 20.0%となっている。

図表３－２－10　パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）

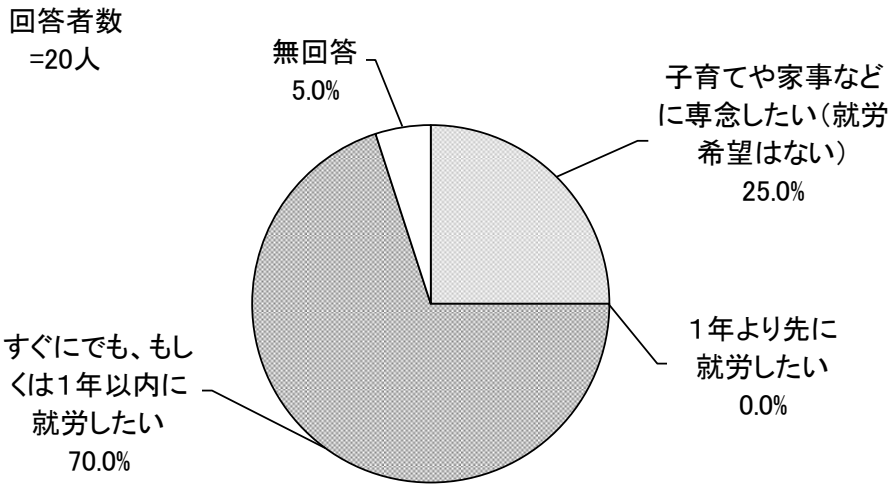


④未就労者の就労意向

問 7-3　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 70.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が 25.0%となっている。

図表３－２－11　未就労者の就労意向（単数回答）



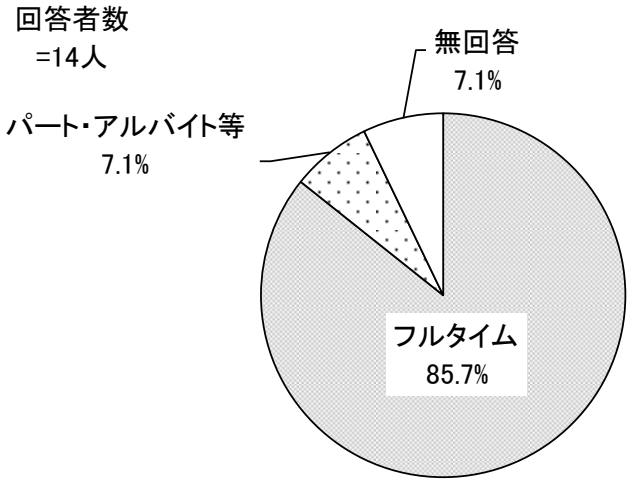
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問 7-4　「2」または「3」（就労したい）に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は1つ、（　　）内は数字を記入）

未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「フルタイム」が 85.7%、「パート・アルバイト等」が 7.1%となっている。

パート・アルバイト等を希望する人（1人）の1週あたりの就労希望日数は、平均4日、1日あたりの就労希望時間は平均6時間となっている。

図表3－2－12　1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態（単数回答）



（2）母親の就労状況

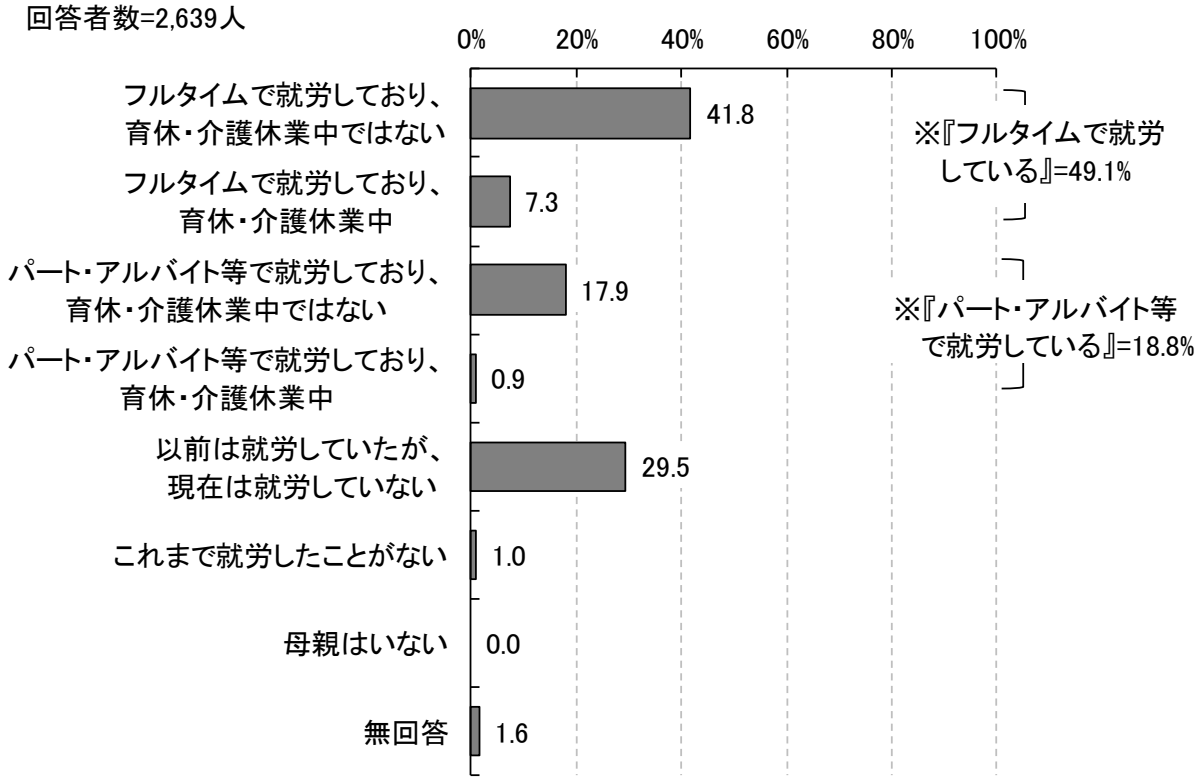
①就労形態

問８　あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

母親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 41.8%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 29.5%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 17.9%となっている。

また、『フルタイムで就労している』は 49.1%、『パート・アルバイト等で就労している』は 18.8%となっている。

図表３－２－１３　母親の就労形態（単数回答）



※『フルタイムで就労している』＝「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』＝「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」

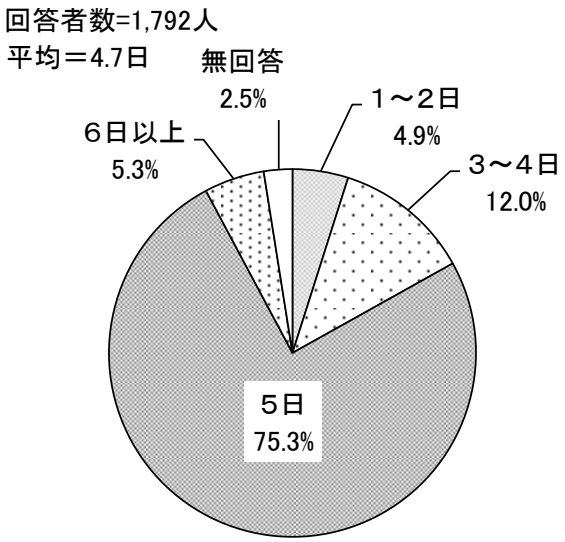
②就労状況

問８-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④（休日の曜日）のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

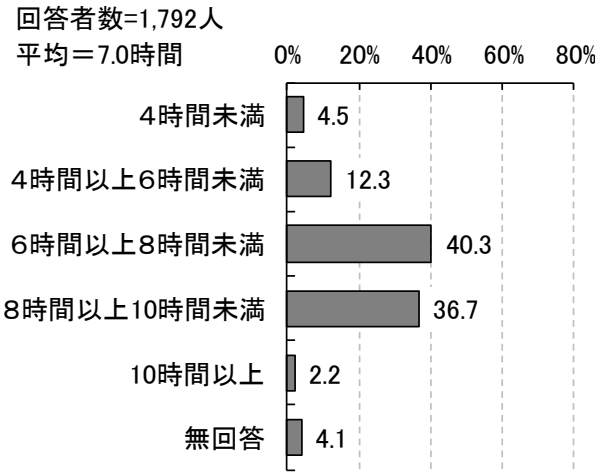
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の１週あたりの就労日数は、「５日」が 75.3%と最も多く、次いで「３～４日」が 12.0%、「６日以上」が 5.3%となっており、平均は 4.7 日となっている。１日あたりの就労時間は、「６時間以上８時間未満」が 40.3%と最も多く、次いで「８時間以上 10 時間未満」が 36.7%、「４時間以上６時間未満」が 12.3%となっている。平均は 7.0 時間となっている。

始業時間は、「９時台」が 54.4%と最も多く、次いで「８時台」が 23.7%、「10 時以降」が 16.6%となっている。終業時間は、「17 時台」が 44.1%と最も多く、次いで「12～16 時台」が 33.5%、「18 時台」が 12.4%となっている。

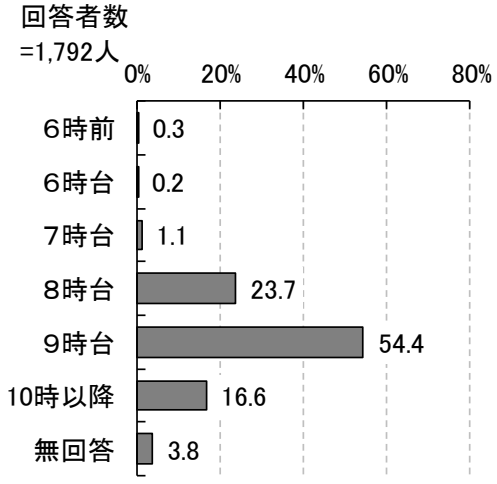
図表3－2－14　1週あたりの就労日数
（単数回答）



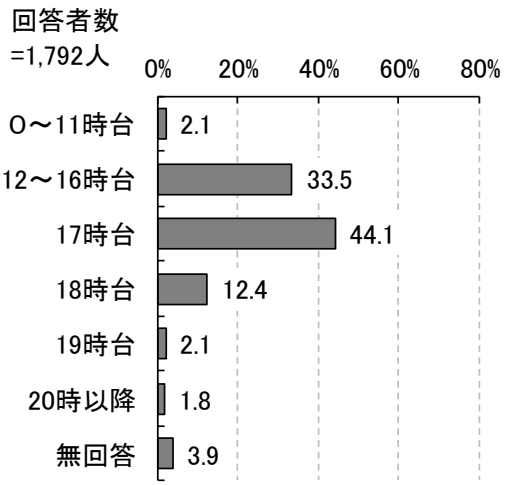
図表3－2－15　1日あたりの就労時間
（単数回答）



図表3－2－16　始業時間（単数回答）



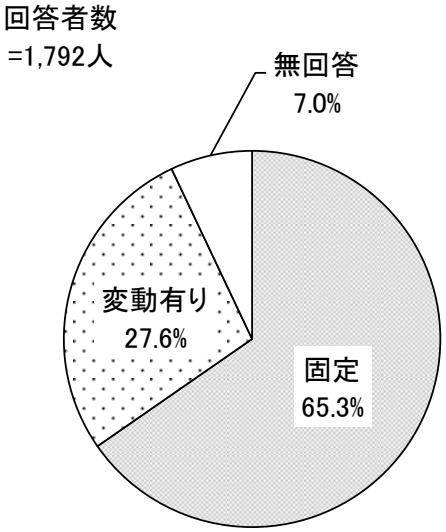
図表3－2－17　終業時間（単数回答）



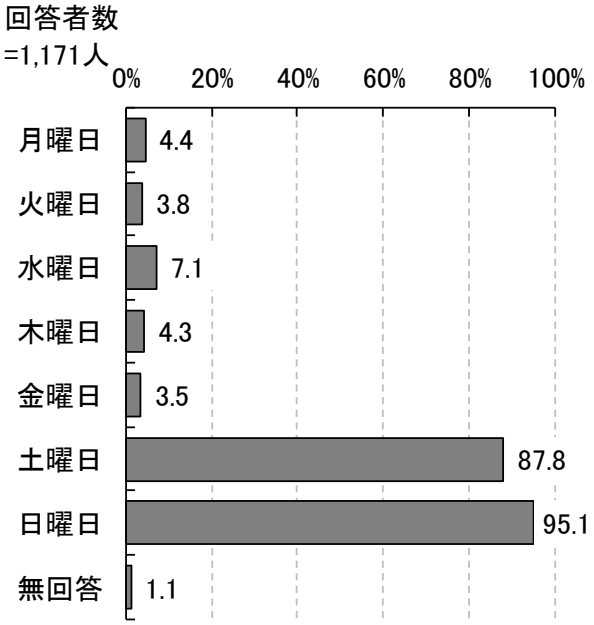
休日の形態は、「固定」が 65.3%、「変動有り」が 27.6%となっている。固定勤務制の場合、休日の曜日は、「日曜日」が 95.1%と最も多く、次いで「土曜日」が 87.8%となっている。

勤務地は、「都内（中野区を除く）」が 71.1%と最も多く、次いで「中野区」が 21.5%、「在宅」が 2.6%となっている。前年度の年収は、「200 万円未満」が 30.8%と最も多く、次いで「200 万円以上 400 万円未満」が 30.6%、「400 万円以上 600 万円未満」が 23.4%となっている。

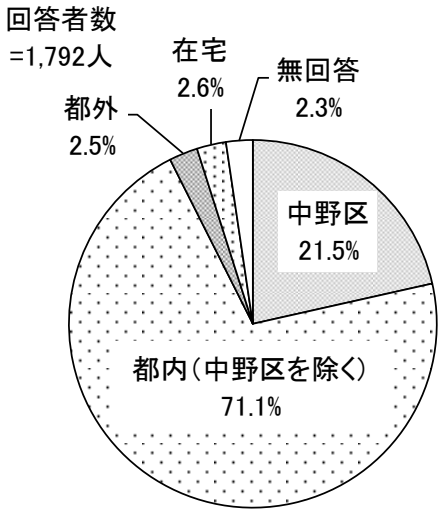
図表3－2－18 休日の形態
（単数回答）



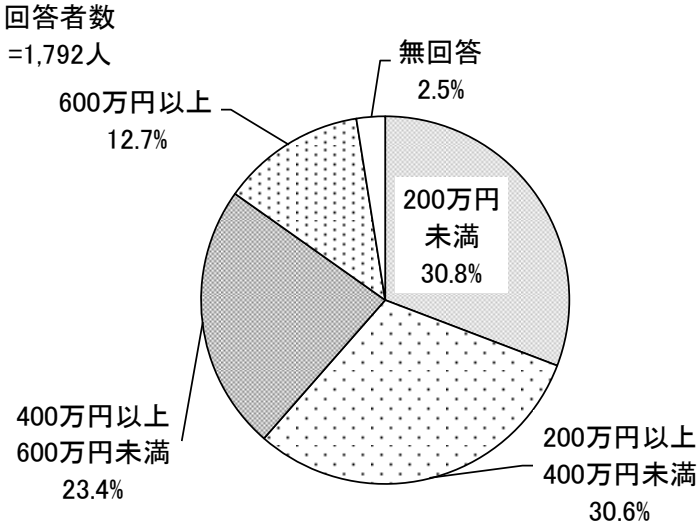
図表3－2－19 休日の曜日
（複数回答）



図表3－2－20 勤務地（単数回答）



図表3－2－21 前年度の年収（単数回答）

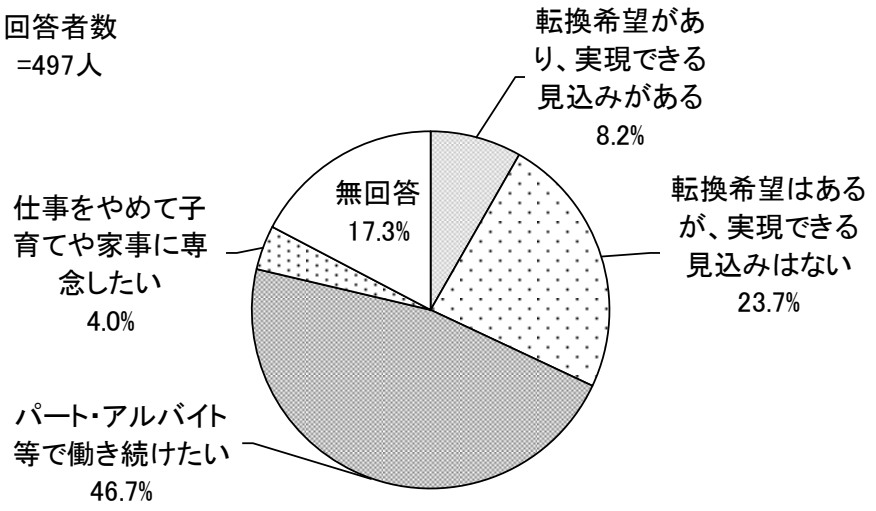


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問８-２	「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。フルタイム（１週５日以上・１日８時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働き続けたい」が 46.7%と最も多く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 23.7%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.2%となっている。

図表３－２－22　パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）

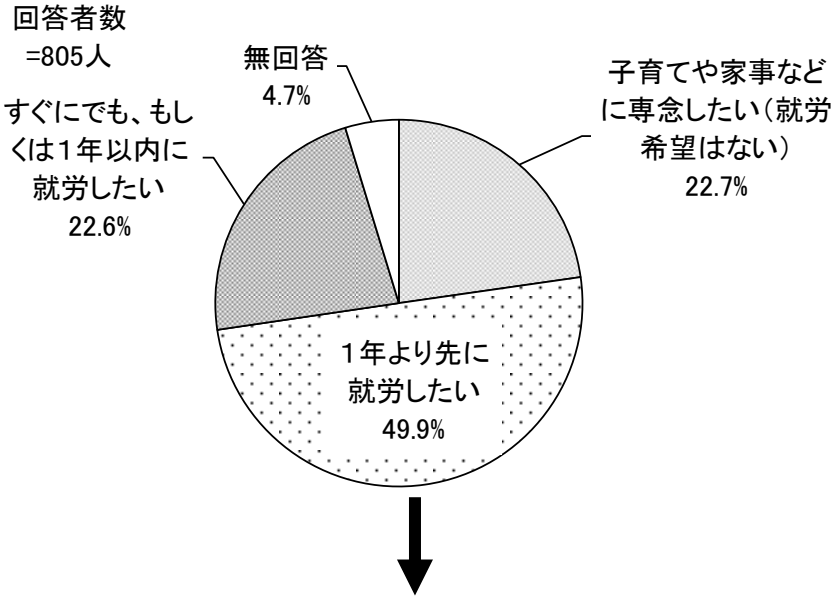


④未就労者の就労意向

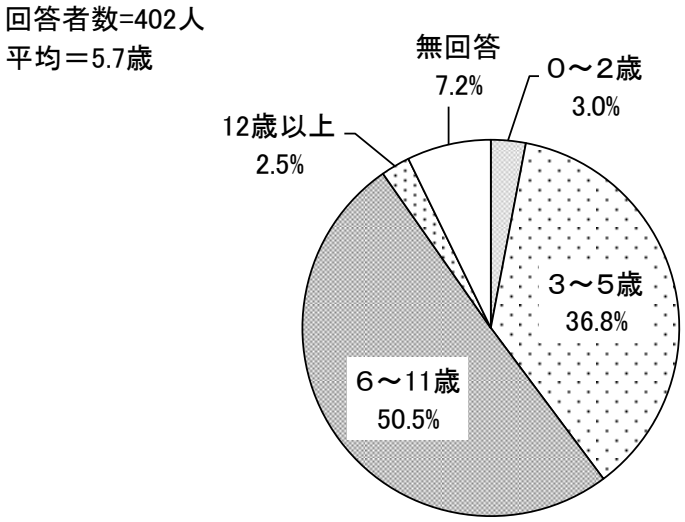
問８-３　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

未就労者の就労意向は、「１年より先に就労したい」が 49.9%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が 22.7%、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 22.6%となっている。「１年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「６～11 歳」が 50.5%と最も多く、次いで「３～５歳」が 36.8%、「０～２歳」が 3.0%となっており、平均は 5.7 歳となっている。

図表３－２－23　未就労者の就労意向（単数回答）



図表３－２－24　就労を希望する時の末子の年齢（単数回答）



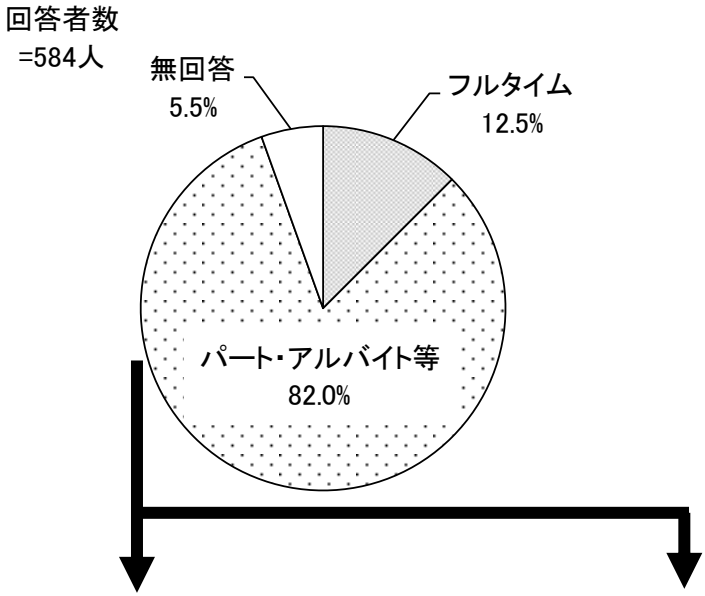
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問８-４　「２」または「３」（就労したい）に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

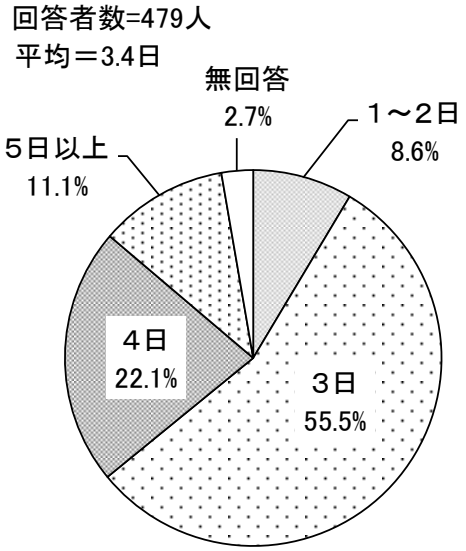
未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が 82.0%、「フルタイム」が 12.5%となっている。

パート・アルバイト等を希望する人の１週あたりの就労希望日数は、平均 3.4 日であり、１日あたりの就労希望時間は平均 4.7 時間となっている。

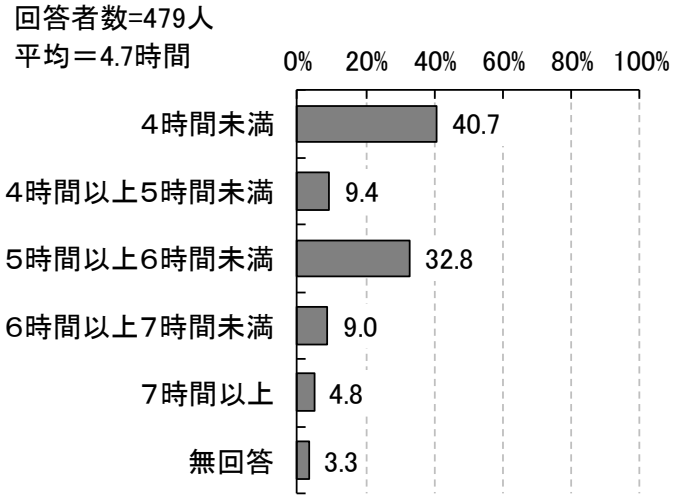
図表３－２－25　１年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態（単数回答）



図表３－２－26　就労希望日数（単数回答）



図表３－２－27　就労希望時間（単数回答）

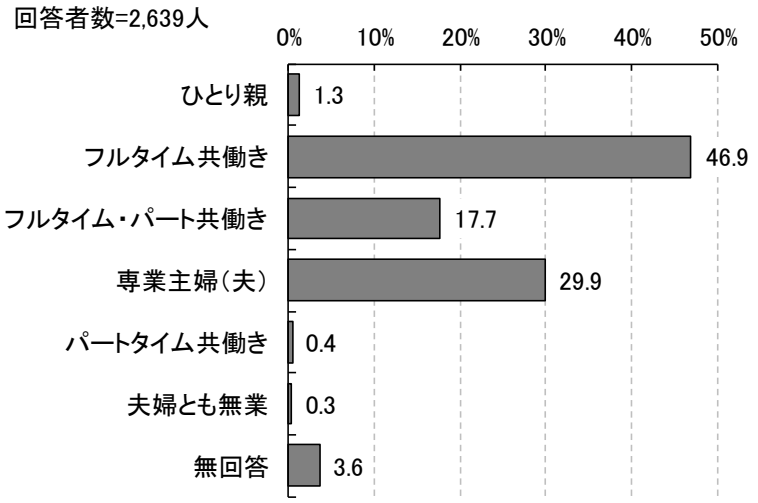


（3）両親の就労形態からみた家庭類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「フルタイム共働き」が 46.9％と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が 29.9％、「フルタイム・パート共働き」が 17.7％となっている。

子どもの年齢別にみると、「フルタイム共働き」がいずれの年齢においても、４割以上で最も多くなっており、特に０歳から２歳では５割以上となっている。

図表３－２－28　両親の就労形態からみた家庭類型（単数回答）



図表３－２－29　両親の就労形態からみた家庭類型

単位（％）

		回答者数（人）	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦（夫）	パートタイム共働き	夫婦とも無業	無回答
全体		2,639	1.3	46.9	17.7	29.9	0.4	0.3	3.6
子どもの年齢別	0歳	270	0.4	57.4	8.9	29.6	1.1	0.0	2.6
	1歳	281	1.4	50.2	12.8	30.6	0.4	0.4	4.3
	2歳	355	1.7	52.7	13.2	29.3	0.0	0.6	2.5
	3歳	460	2.0	44.8	15.2	33.3	0.2	0.4	4.1
	4歳	552	1.3	46.2	21.7	27.4	0.0	0.4	3.1
	5歳	637	0.9	40.0	24.5	30.3	0.6	0.2	3.5

※両親の就労形態からみた家族類型：各家庭における父母の有無および就労状況別に類型化したもの（例：父がフルタイム就労、母がパートタイム就労の場合、フルタイム・パートタイム共働き）

3. 教育・保育事業の利用状況について

(1)平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

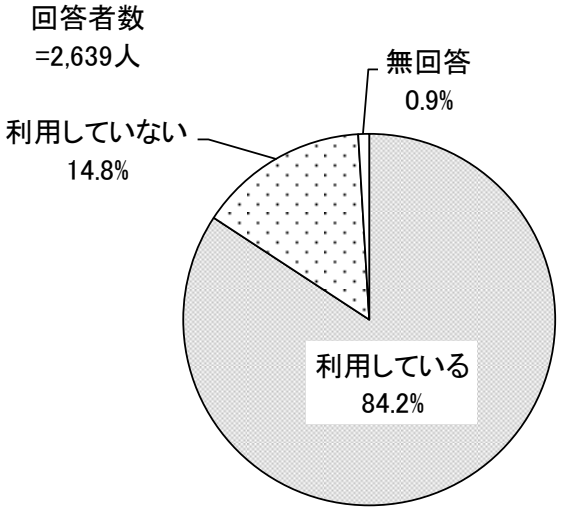
問９　あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用していますか。
（○は１つ）

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 84.2%と最も多く、次いで「利用していない」が 14.8%となっている。

子どもの年齢別にみると、「０歳」では「利用している」が 32.2%となっているが、３歳以上になると「利用している」は９割以上となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用している」は「フルタイム・パート共働き」で 91.8%と最も多く、次いで「フルタイム共働き」で 91.4%、「ひとり親」で 84.8%となっている。

図表３－３－１　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（単数回答）



図表３－３－２　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

単位（%）

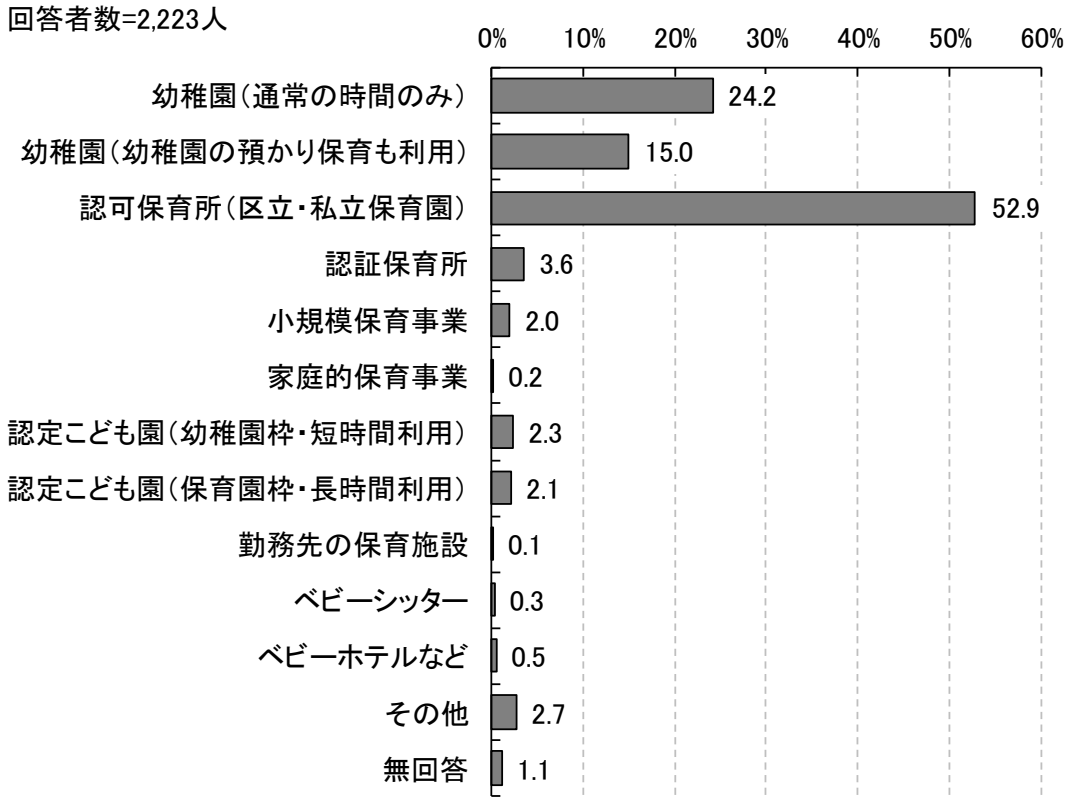
		回答者数（人）	利用している	利用していない	無回答
全体		2,639	84.2	14.8	0.9
子どもの年齢別	0歳	270	32.2	67.4	0.4
	1歳	281	62.6	35.9	1.4
	2歳	355	75.2	23.9	0.8
	3歳	460	97.6	2.2	0.2
	4歳	552	98.9	0.9	0.2
	5歳	637	98.3	0.3	1.4
就労形態による家庭類型別	ひとり親	33	84.8	15.2	0.0
	フルタイム共働き	1,239	91.4	7.7	0.9
	フルタイム・パート共働き	466	91.8	7.3	0.9
	専業主婦（夫）	788	70.2	29.2	0.6
	パートタイム共働き	10	60.0	40.0	0.0
	夫婦とも無業	9	55.6	44.4	0.0

（2）利用している教育・保育事業

問 10　平日にどのような幼稚園や保育施設等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用している幼稚園や保育園は、「認可保育所（区立・私立保育園）」が 52.9％と最も多く、次いで「幼稚園（通常の時間のみ）」が 24.2％、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が 15.0％となっている。

図表３－３－３　利用している幼稚園や保育園（複数回答）



子どもの年齢別にみると、いずれの年齢においても「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多くなっており、特に「１歳」では70.5%と多くなっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親」「フルタイム共働き」「フルタイム・パート共働き」では、「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多くなっている。「専業主婦（夫）」では「幼稚園（通常の時間のみ）」がおよそ７割で最も多くなっている。

図表３－３－４ 利用している幼稚園や保育園

単位（%）

		回答者数（人）	幼稚園（通常の時間のみ）	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	認可保育所（区立・私立保育園）	認証保育所	小規模保育事業	家庭的保育事業	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	勤務先の保育施設	ベビーシッター	ベビーホテルなど	その他	無回答
全体		2,223	24.2	15.0	52.9	3.6	2.0	0.2	2.3	2.1	0.1	0.3	0.5	2.7	1.1
子どもの年齢別	0歳	87	2.3	1.1	62.1	14.9	5.7	1.1	1.1	3.4	0.0	2.3	5.7	2.3	0.0
	1歳	176	1.1	0.0	70.5	11.9	5.7	1.1	0.0	0.6	0.0	0.0	1.1	7.4	1.1
	2歳	267	9.4	3.0	66.7	5.6	7.5	0.4	0.4	1.9	0.0	0.0	0.7	4.9	1.9
	3歳	449	30.7	17.1	48.8	2.9	0.7	0.0	2.9	1.8	0.2	0.2	0.2	2.2	1.1
	4歳	546	27.7	17.8	50.2	1.1	0.7	0.0	3.8	2.6	0.2	0.2	0.0	1.8	0.7
	5歳	626	32.7	21.9	46.3	1.4	0.2	0.0	1.9	2.1	0.2	0.5	0.0	1.9	1.3
就労形態による家庭類型別	ひとり親	28	14.3	14.3	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フルタイム共働き	1,132	1.6	2.5	82.3	5.1	2.1	0.1	0.5	3.4	0.1	0.2	0.7	1.3	0.9
	フルタイム・パート共働き	428	25.7	29.9	41.6	3.5	1.9	0.7	3.3	1.4	0.5	0.7	0.5	2.1	1.4
	専業主婦（夫）	553	69.3	27.5	3.3	0.2	2.2	0.0	5.1	0.2	0.0	0.4	0.2	5.8	0.9
	パートタイム共働き	6	33.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	5	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
居住地域別	南部すこやか福祉センター	475	21.7	14.5	49.5	3.8	2.7	0.4	3.2	5.3	0.4	0.8	0.8	4.0	0.8
	中部すこやか福祉センター	663	24.6	14.2	54.1	5.4	1.7	0.2	1.4	0.9	0.0	0.3	0.9	1.8	0.8
	北部すこやか福祉センター	603	22.6	16.1	54.7	2.3	1.7	0.0	3.8	2.2	0.2	0.2	0.2	2.5	1.2
	鷺宮すこやか福祉センター	470	27.7	15.5	52.6	2.3	2.1	0.2	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	2.8	1.7

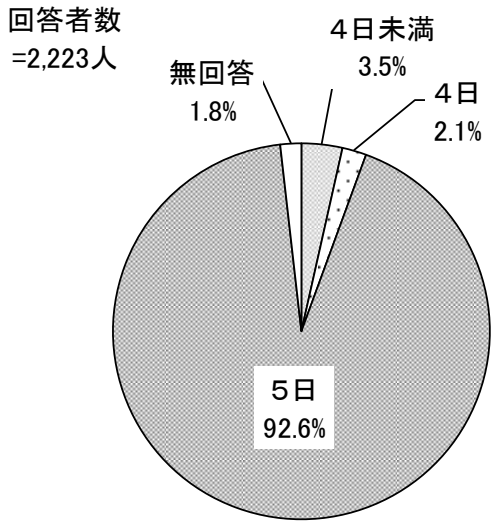
（3）教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度

問 11　①現在、1 週あたり利用日数・1 日の利用時間帯をお答えください。（数字を記入）
②希望する、1 週あたり利用日数・1 日の利用時間帯をお答えください。（数字を記入）

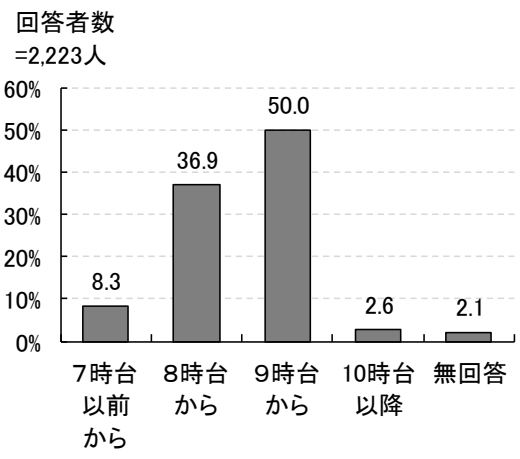
①教育・保育事業の利用頻度

現在の 1 週あたりの利用日数は、「5 日」が 92.6%と最も多く、次いで「4 日未満」が 3.5%、「4 日」が 2.1%となっている。利用開始時間は、「9 時台から」が 50.0%と最も多く、次いで「8 時台から」が 36.9%、「7 時台以前から」が 8.3%となっている。利用終了時間は、「18 時まで」が 33.3%と最も多く、次いで「14 時まで」が 32.2%、「17 時まで」が 13.8%となっている。

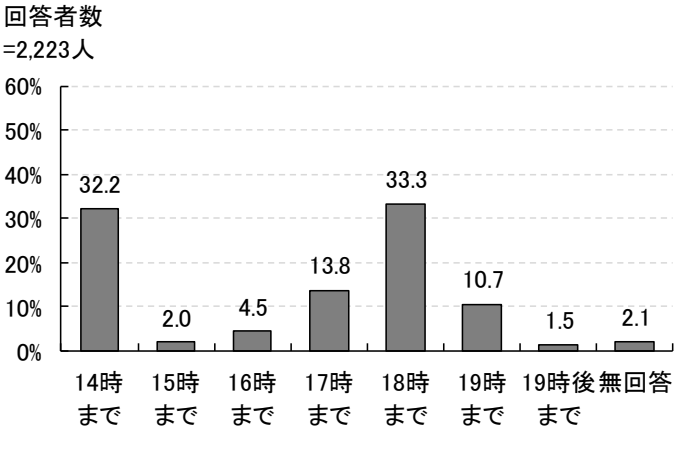
図表3－3－5　1週あたりの利用日数（単数回答）



図表3－3－6　利用開始時間（単数回答）



図表3－3－7　利用終了時間（単数回答）



利用開始時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」および「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」では「９時台」がいずれも８割以上となっている。「認可保育所（区立・私立保育園）」や「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では「８時台」が５割半ばから６割程度となっている。

図表３－３－８　利用開始時間

単位（%）

		回答者数（人）	7時台以前から	8時台から	9時台から	10時台以降	無回答
全体		2,223	8.3	36.9	50.0	2.6	2.1
利用している教育・保育事業別	幼稚園（通常の時間のみ）	537	0.7	8.4	84.9	4.1	1.9
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	334	0.9	7.8	82.3	5.1	3.9
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,176	13.4	54.2	31.3	0.4	0.8
	認証保育所	79	10.1	59.5	29.1	0.0	1.3
	小規模保育事業	44	9.1	31.8	47.7	9.1	2.3
	家庭的保育事業	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	52	0.0	9.6	80.8	5.8	3.8
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	19.1	61.7	17.0	0.0	2.1
	勤務先の保育施設	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	ベビーシッター	7	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0
	ベビーホテルなど	11	9.1	45.5	45.5	0.0	0.0
	その他	60	3.3	26.7	40.0	28.3	1.7

利用終了時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」および「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」では、「14 時まで」が最も多くなっている。「認可保育所（区立・私立保育園）」や「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では、「18 時まで」が４割以上と最も多くなっている。

図表３－３－９ 利用終了時間

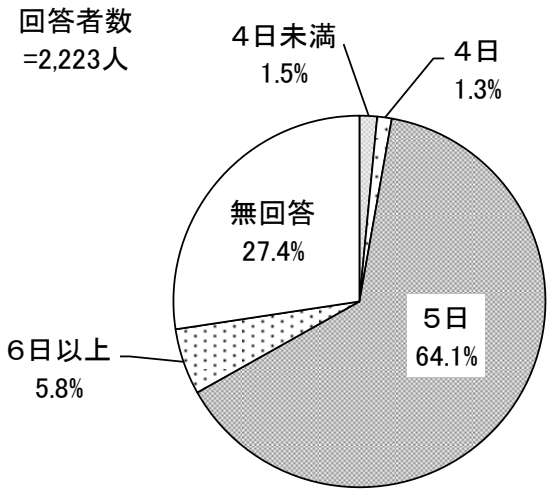
単位（%）

		回答者数（人）	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで	無回答
全体		2,223	32.2	2.0	4.5	13.8	33.3	10.7	1.5	2.1
利用している教育・保育事業別	幼稚園（通常の時間のみ）	537	92.7	2.6	0.9	1.1	0.4	0.4	0.0	1.9
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	334	72.5	5.4	4.5	9.6	3.9	0.3	0.0	3.9
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,176	1.0	0.3	6.0	18.9	53.6	17.1	2.4	0.7
	認証保育所	79	0.0	0.0	5.1	27.8	46.8	17.7	1.3	1.3
	小規模保育事業	44	22.7	9.1	4.5	15.9	36.4	9.1	0.0	2.3
	家庭的保育事業	4	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	52	84.6	1.9	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	1.9
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	2.1	0.0	2.1	23.4	42.6	23.4	4.3	2.1
	勤務先の保育施設	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	ベビーシッター	7	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	ベビーホテルなど	11	0.0	0.0	0.0	63.6	9.1	18.2	9.1	0.0
	その他	60	48.3	8.3	0.0	10.0	28.3	3.3	0.0	1.7

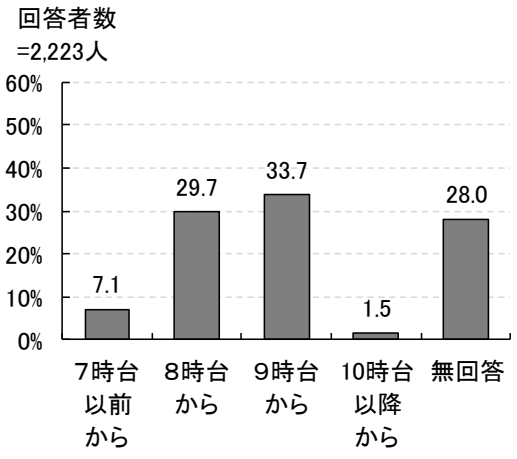
②教育・保育事業の利用希望頻度

１週あたりの利用希望日数は、「５日」が 64.1%と最も多く、次いで「６日以上」が 5.8%、「４日未満」が 1.5%となっている。希望開始時間は、「９時台から」が 33.7%と最も多く、次いで「８時台から」が 29.7%、「７時台以前から」が 7.1%となっている。希望終了時間は、「18 時まで」が 23.0%と最も多く、次いで「17 時まで」が 13.0%、「19 時まで」が 10.5%となっている。

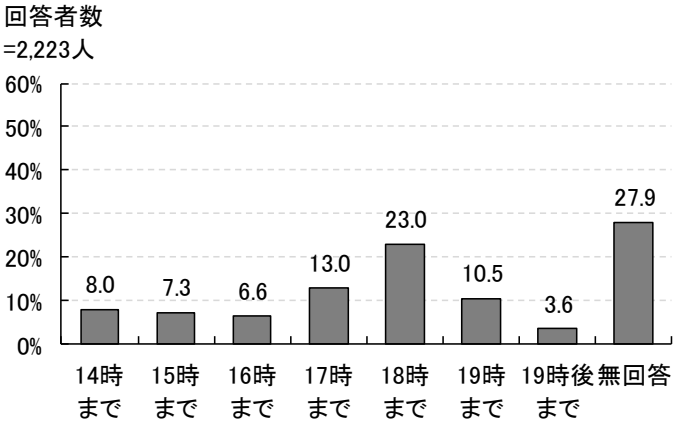
図表３－３－10　１週あたりの利用希望日数（単数回答）



図表３－３－11　希望開始時間（単数回答）



図表３－３－12　希望終了時間（単数回答）



希望開始時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」および「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」では、「９時台から」が５割半ばから６割半ば程度で最も多くなっている。「認証保育所」と「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」は「８時台から」が４割から４割半ば程度で最も多くなっている。

図表3－3－13　希望開始時間

単位（%）

		回答者数（人）	7時台以前から	8時台から	9時台から	10時台以降	無回答
全体		2,223	7.1	29.7	33.7	1.5	28.0
利用している教育・保育事業別	幼稚園（通常の時間のみ）	537	0.9	13.0	59.2	2.2	24.6
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	334	0.3	15.9	56.3	2.7	24.9
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,176	11.1	39.9	20.2	0.4	28.4
	認証保育所	79	12.7	46.8	16.5	0.0	24.1
	小規模保育事業	44	4.5	22.7	36.4	2.3	34.1
	家庭的保育事業	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	52	1.9	9.6	65.4	1.9	21.2
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	10.6	42.6	14.9	0.0	31.9
	勤務先の保育施設	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	ベビーシッター	7	14.3	14.3	0.0	28.6	42.9
	ベビーホテルなど	11	27.3	18.2	18.2	0.0	36.4
	その他	60	3.3	26.7	28.3	16.7	25.0

希望終了時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」では「14 時まで」が 23.8%で最も多くなっているが、「認可保育所（区立・私立保育園）」や「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では「18 時まで」が最も多くなっている。

図表3－3－14 希望終了時間

単位（%）

		回答者数（人）	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで	無回答
全体		2,223	8.0	7.3	6.6	13.0	23.0	10.5	3.6	27.9
利用している教育・保育事業別	幼稚園（通常の時間のみ）	537	23.8	20.5	13.6	12.7	4.5	0.6	0.0	24.4
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	334	10.8	15.9	16.5	20.1	10.2	1.8	0.0	24.9
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,176	0.4	0.3	2.6	12.9	33.5	16.3	5.6	28.3
	認証保育所	79	0.0	0.0	1.3	13.9	34.2	20.3	6.3	24.1
	小規模保育事業	44	6.8	6.8	2.3	15.9	27.3	2.3	4.5	34.1
	家庭的保育事業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	52	25.0	23.1	9.6	11.5	9.6	0.0	0.0	21.2
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	0.0	2.1	4.3	14.9	23.4	12.8	10.6	31.9
	勤務先の保育施設	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	ベビーシッター	7	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	42.9
	ベビーホテルなど	11	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	27.3	9.1	36.4
	その他	60	20.0	15.0	1.7	6.7	18.3	11.7	1.7	25.0

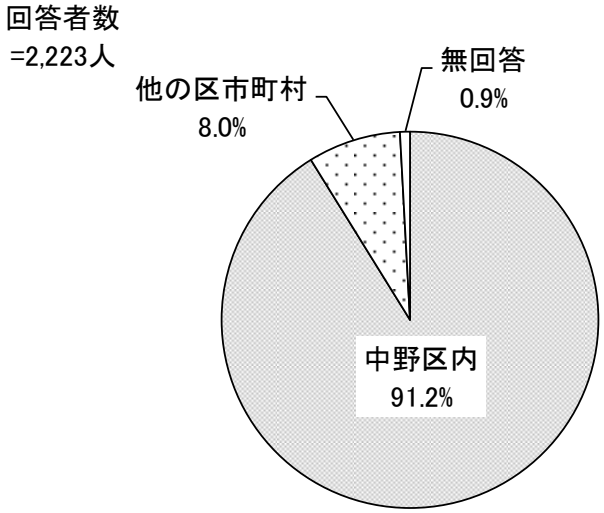
（4）利用している教育・保育事業の実施場所

問 12　現在、利用している幼稚園・保育施設等の実施場所はどちらですか。（○は１つ）

利用している幼稚園・保育施設の実施場所は、「中野区内」が 91.2%、「他の区市町村」が 8.0%となっている。

利用している教育・保育事業別にみると、「認可保育所（区立・私立保育園）」「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」および「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では、「中野区内」がいずれも９割以上と最も多くなっている。

図表３－３－15　利用している幼稚園・保育施設等の実施場所（単数回答）



図表3－3－16　利用している幼稚園・保育施設等の実施場所

単位（%）

		回答者数（人）	中野区内	他の区市町村	無回答
全体		2,223	91.2	8.0	0.9
利用している教育・保育事業別	幼稚園（通常の時間のみ）	537	84.5	15.1	0.4
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	334	81.1	17.7	1.2
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,176	98.7	0.7	0.6
	認証保育所	79	83.5	15.2	1.3
	小規模保育事業	44	75.0	22.7	2.3
	家庭的保育事業	4	100.0	0.0	0.0
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	52	90.4	9.6	0.0
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	95.7	2.1	2.1
	勤務先の保育施設	3	66.7	33.3	0.0
	ベビーシッター	7	71.4	28.6	0.0
	ベビーホテルなど	11	100.0	0.0	0.0
	その他	60	76.7	21.7	1.7

(5)病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験

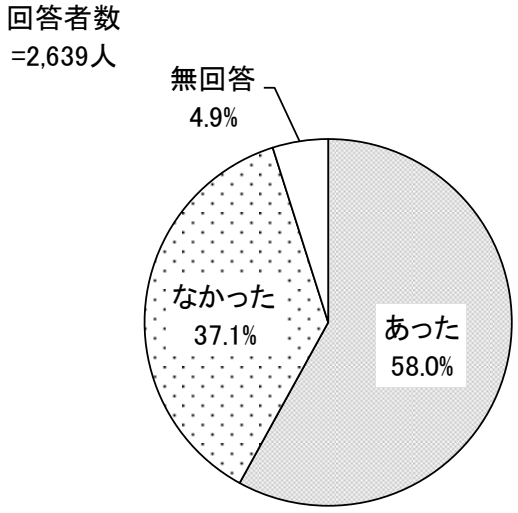
問 13　この１年間に、あて名のお子さんの病気やけがにより、問 10 で○をした施設等が利用できなかったことはありますか。（○は１つ）

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験は、「あった」が 58.0%、「なかった」が 37.1%となっている。

子どもの年齢別にみると、「０歳」では「あった」が 27.0%となっているが、１歳以上では５割半ばから６割半ばとなっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親」「フルタイム共働き」および「フルタイム・パート共働き」では、「あった」が５割以上なっているのに対して、「専業主婦（夫）」「パートタイム共働き」および「夫婦とも無業」では「なかった」が５割以上となっている。

図表3－3－17　病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験（単数回答）



図表３－３－１８　病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験

単位（%）

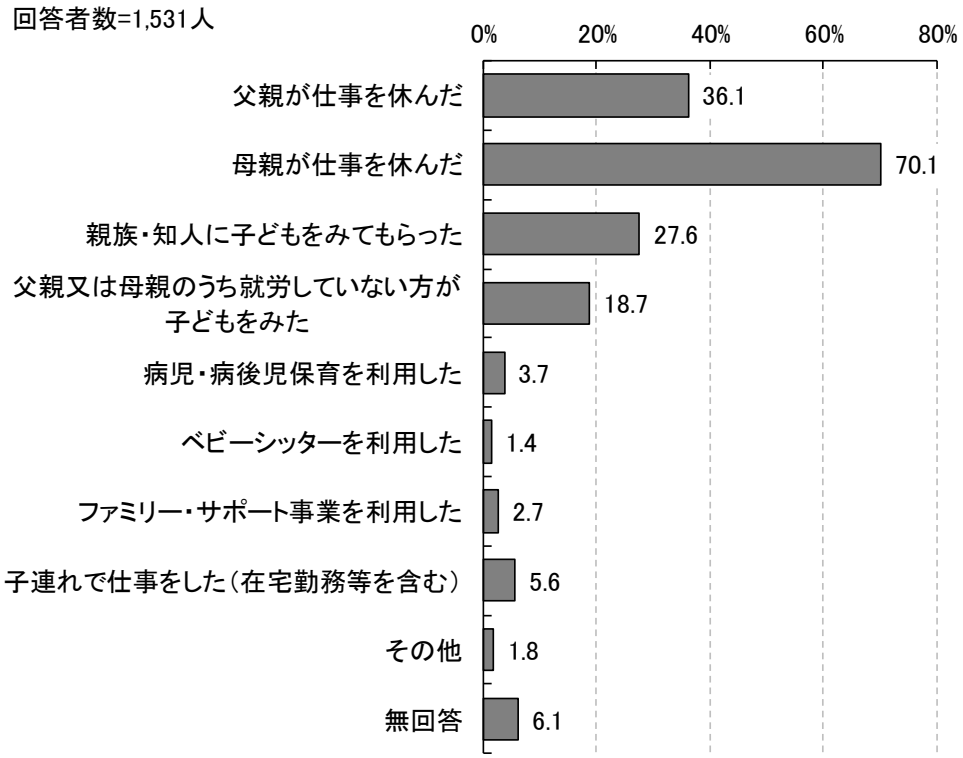
		回答者数（人）	あった	なかった	無回答
全体		2,639	58.0	37.1	4.9
子どもの年齢別	0歳	270	27.0	60.7	12.2
	1歳	281	55.2	37.0	7.8
	2歳	355	57.5	36.1	6.5
	3歳	460	63.7	33.7	2.6
	4歳	552	65.4	32.1	2.5
	5歳	637	61.4	36.3	2.4
就労形態による家庭類型別	ひとり親	33	63.6	30.3	6.1
	フルタイム共働き	1,239	73.7	24.1	2.2
	フルタイム・パート共働き	466	58.2	37.6	4.3
	専業主婦（夫）	788	35.2	56.2	8.6
	パートタイム共働き	10	40.0	60.0	0.0
	夫婦とも無業	9	11.1	66.7	22.2

(6)教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法

問 13-1　「1」（あった）に○をした方に伺います。この 1 年間に行った対処方法すべてに○をし、その日数（おおよそ）を記入してください。

教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が 70.1%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が 36.1%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が 27.6%となっている。利用日数（年間）の平均は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 10.5 日、「母親が仕事を休んだ」が 8.6 日、「親族・知人にみてもらった」が 7.0 日となっている。

図表3－3－19　教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法（複数回答）



図表3－3－20　対処方法別の日数（年間）

単位（%）

	回答者数（人）	1～2日	3～4日	5～9日	10～19日	20日以上	無回答	平均日数（日）
父親が仕事を休んだ	553	31.3	24.1	26.6	11.4	2.2	4.5	4.7
母親が仕事を休んだ	1,073	11.0	17.1	29.4	27.2	10.2	5.2	8.6
親族・知人に子どもをみてもらった	422	23.2	22.0	26.5	15.2	5.9	7.1	7.0
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	287	12.2	16.0	24.7	27.5	13.2	6.3	10.5
病児・病後児保育を利用した	56	53.6	14.3	14.3	5.4	1.8	10.7	3.5
ベビーシッターを利用した	22	18.2	27.3	27.3	18.2	0.0	9.1	4.9
ファミリー・サポート事業を利用した	41	43.9	22.0	17.1	4.9	2.4	9.8	4.3
子連れで仕事をした（在宅勤務等を含む）	86	31.4	15.1	24.4	15.1	3.5	10.5	5.0
その他	28	7.1	7.1	25.0	10.7	10.7	39.3	12.6

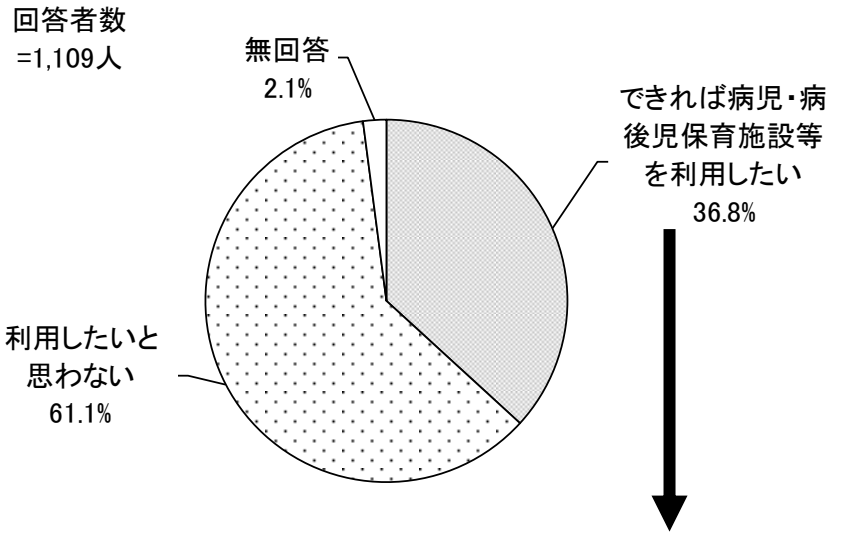
(7)病児・病後児保育施設の利用意向

問 13-2　「1」または「2」（父母のどちらかが仕事を休んだ）に○をした方に伺います。「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますか。１つに○をし、希望する場合は利用したい日数を記入してください。

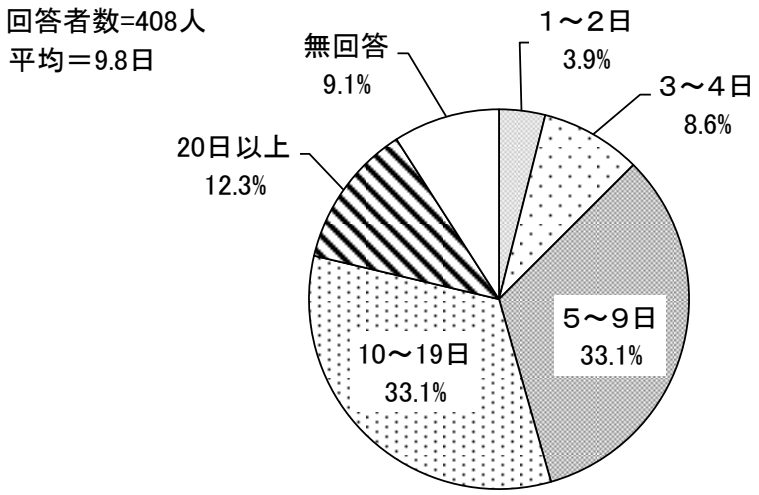
父母のどちらかが仕事を休んだと回答した人の病児・病後児保育施設の利用意向は、「利用したいと思わない」が 61.1%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 36.8%となっている。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人の利用希望日数（年間）は、「５～９日」、「10～19 日」が 33.1%と最も多く、次いで「20 日以上」が 12.3%となっている。

図表3－3－21　病児・病後児保育施設の利用意向（単数回答）



図表3－3－22　年間利用希望日数（単数回答）

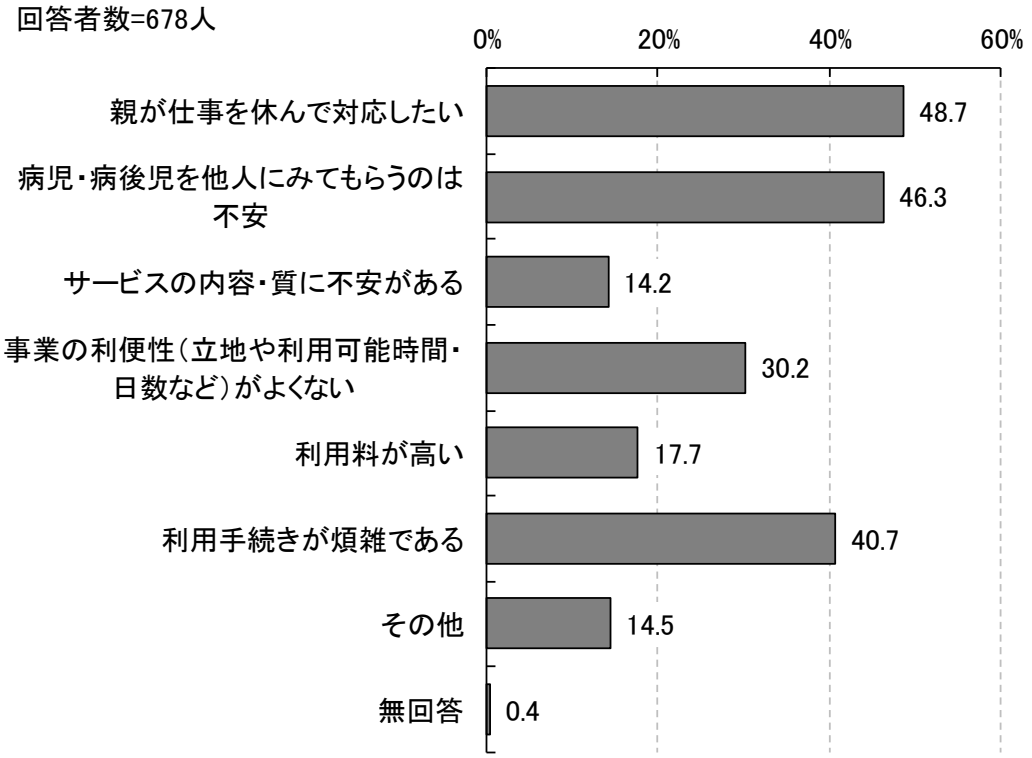


（8）病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由

問 13-3　「2」（利用したいと思わない）に○をした方に伺います。利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」と回答した人の理由は、「親が仕事を休んで対応したい」が 48.7%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 46.3%、「利用手続きが煩雑である」が 40.7%となっている。

図表3－3－23　病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由（複数回答）



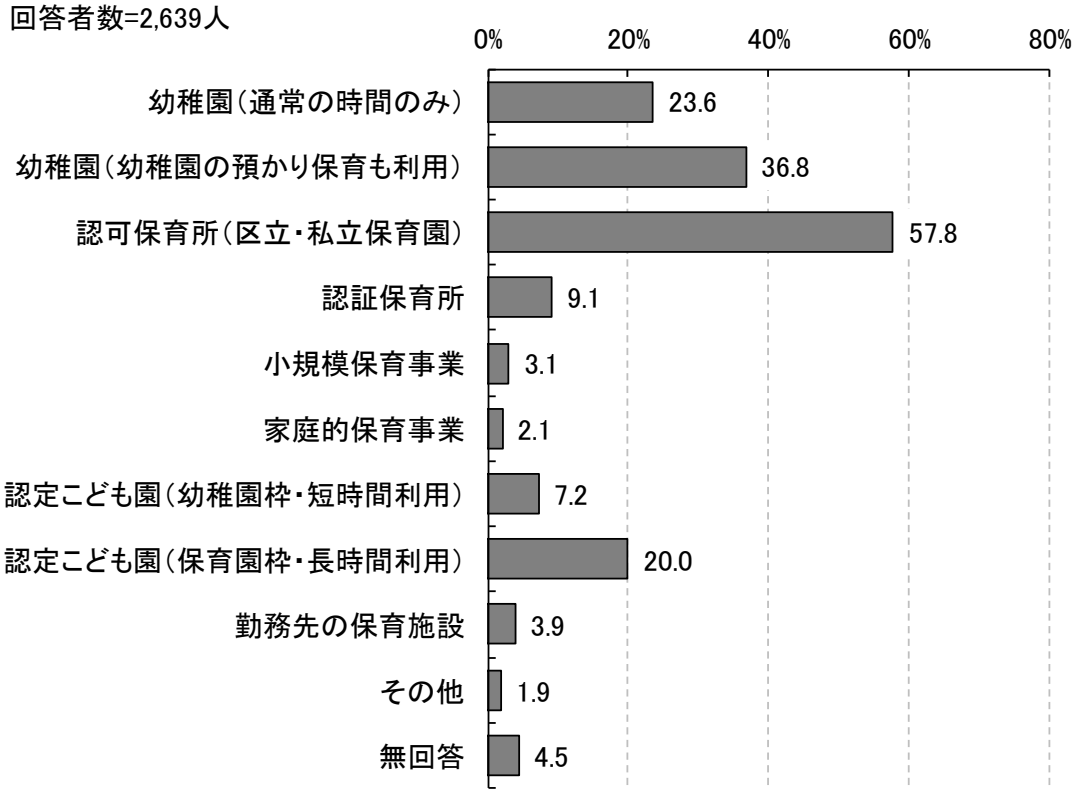
4. 教育・保育事業の利用意向について

(1)平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問 14　あて名のお子さんの平日の幼稚園や保育施設等として、利用している、利用していないにかかわらず、「現在、『定期的に』利用したい」と考える事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「認可保育所（区立・私立保育園）」が 57.8%と最も多く、次いで「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が 36.8%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が 23.6%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が 20.0%、「認証保育所」が 9.1%、「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」が 7.2%となっている。

図表3－4－1　平日の定期的な教育・保育事業の利用意向（複数回答）



子どもの年齢別にみると、２歳以下では「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多く、６割半ばから７割半ば程度となっている。３歳、４歳でも同様に「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多くなっているが、その割合は５割から５割半ば程度となっている。また、５歳は５割をやや下回っている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親」「フルタイム共働き」「フルタイム・パート共働き」および「パートタイム共働き」では、「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多く、「ひとり親」が 57.6%、「フルタイム共働き」が 83.8%、「フルタイム・パート共働き」が 50.4%、「パートタイム共働き」が 50.0%となっている。「専業主婦（夫）」および「夫婦とも無業」では、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が「専業主婦（夫）」で 57.1%、「夫婦とも無業」で 66.7%となっている。

図表３－４－２　平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

単位（%）

		回答者数（人）	幼稚園（通常の時間のみ）	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	認可保育所（区立・私立保育園）	認証保育所	小規模保育事業	家庭的保育事業	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	勤務先の保育施設	その他	無回答
全体		2,639	23.6	36.8	57.8	9.1	3.1	2.1	7.2	20.0	3.9	1.9	4.5
子どもの年齢別	0歳	270	15.6	24.4	75.9	29.6	11.9	6.7	9.6	31.1	5.6	2.2	5.6
	1歳	281	19.9	33.5	65.8	13.5	3.6	2.1	11.0	29.9	3.9	3.2	6.0
	2歳	355	23.1	41.1	65.9	10.4	3.4	1.4	9.3	25.4	4.2	1.7	3.9
	3歳	460	23.9	42.4	54.1	6.3	1.7	1.7	5.2	16.7	4.8	1.1	2.8
	4歳	552	23.2	36.6	51.8	4.7	1.4	0.9	7.8	17.6	3.1	1.8	4.3
	5歳	637	29.5	37.5	49.8	4.2	1.7	1.9	3.8	12.4	3.8	1.9	4.2
就労形態による家庭類型別	ひとり親	33	18.2	33.3	57.6	12.1	3.0	3.0	9.1	15.2	6.1	3.0	3.0
	フルタイム共働き	1,239	3.6	20.7	83.8	10.8	2.7	1.5	2.1	24.1	4.0	0.8	3.2
	フルタイム・パート共働き	466	25.1	44.6	50.4	8.2	3.4	2.8	7.7	19.7	3.4	1.7	3.4
	専業主婦（夫）	788	54.7	57.1	23.6	7.0	3.3	2.3	15.1	15.0	4.2	3.3	6.1
	パートタイム共働き	10	30.0	40.0	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0
	夫婦とも無業	9	33.3	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
居住地域別	南部すこやか福祉センター	573	24.3	37.7	59.7	11.3	4.2	1.9	9.8	29.3	3.5	2.3	3.0
	中部すこやか福祉センター	787	23.8	36.8	59.7	11.7	3.0	2.3	7.9	20.1	3.9	1.9	3.4
	北部すこやか福祉センター	704	22.0	34.7	56.4	6.8	2.3	2.4	7.4	16.5	3.4	1.8	5.3
	鷺宮すこやか福祉センター	557	24.8	38.8	55.5	6.1	2.7	1.6	3.8	15.3	5.0	1.4	5.6

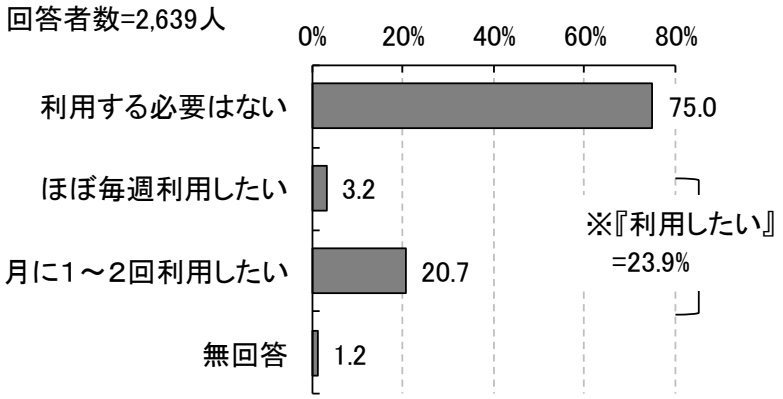
(2)日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問 15　あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育施設等の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

日曜日・祝日の定期的な幼稚園や保育施設の利用意向は、「利用する必要はない」が 75.0%と最も多く、次いで「月に１～２回利用したい」が 20.7%、「ほぼ毎週利用したい」が 3.2%となっている。また、『利用したい』は 23.9%となっている。

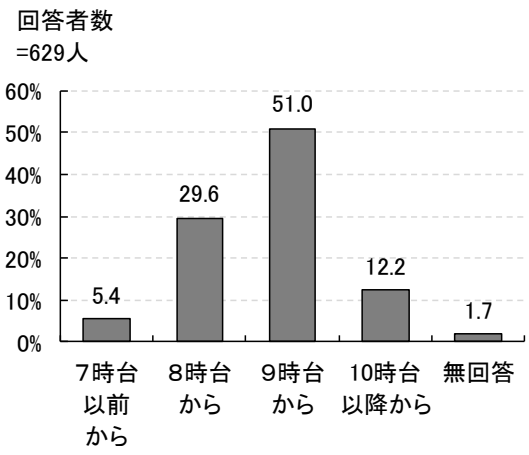
『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「９時台から」が 51.0%と最も多く、次いで「８時台から」が 29.6%、「10 時台以降から」が 12.2%となっている。希望終了時間は、「18 時まで」が 36.6%と最も多く、次いで「17 時まで」が 23.8%、「15 時まで」が 10.3%となっている。

図表3－4－3　日曜日・祝日の定期的な幼稚園や保育施設の利用意向（単数回答）

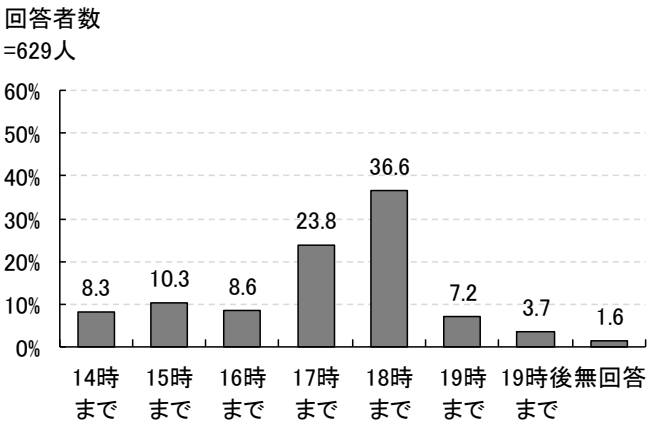


※『利用したい』＝「ほぼ毎週利用したい」＋「月に１～２回利用したい」

図表3－4－4　希望開始時間（単数回答）



図表3－4－5　希望終了時間（単数回答）



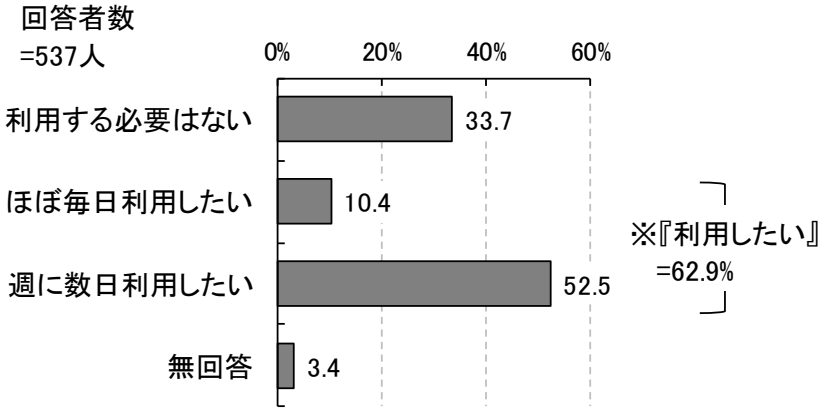
（3）幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向

問 16　あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、幼稚園の利用を希望しますか。
１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

長期休暇中の幼稚園の利用意向は、「週に数日利用したい」が 52.5%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 33.7%、「ほぼ毎日利用したい」が 10.4%となっている。また、『利用したい』は 62.9%となっている。

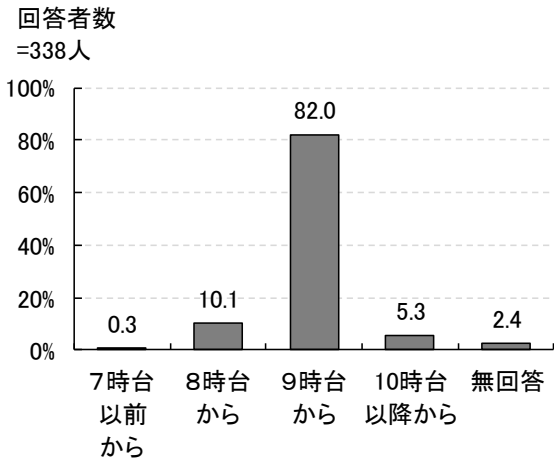
『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「９時台から」が 82.0%と最も多く、次いで「８時台から」が 10.1%、「10 時台以降から」が 5.3%となっている。希望終了時間は、「14 時まで」、「15 時まで」が 27.8%と最も多く、次いで「17 時まで」が 19.2%となっている。

図表３－４－６　長期休暇中の幼稚園の利用意向（単数回答）

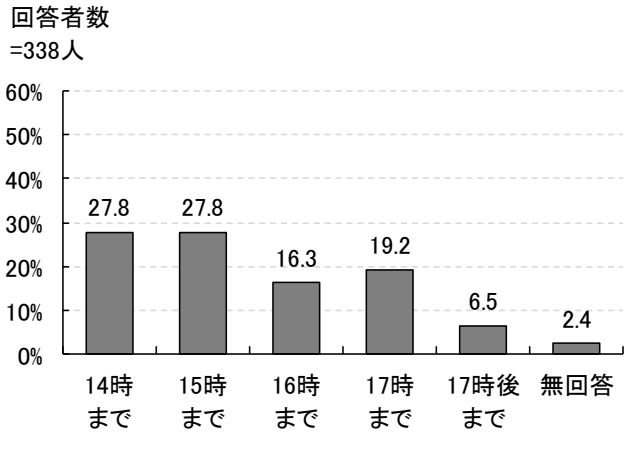


※『利用したい』＝「ほぼ毎日利用したい」＋「週に数日利用したい」

図表３－４－７　希望開始時間（単数回答）



図表３－４－８　希望終了時間（単数回答）

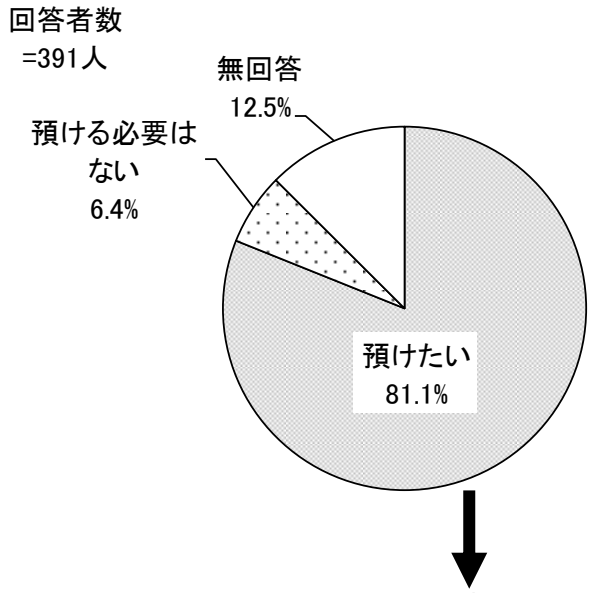


（4）教育・保育事業を利用していない方の幼児教育・保育の無償化後の利用意向

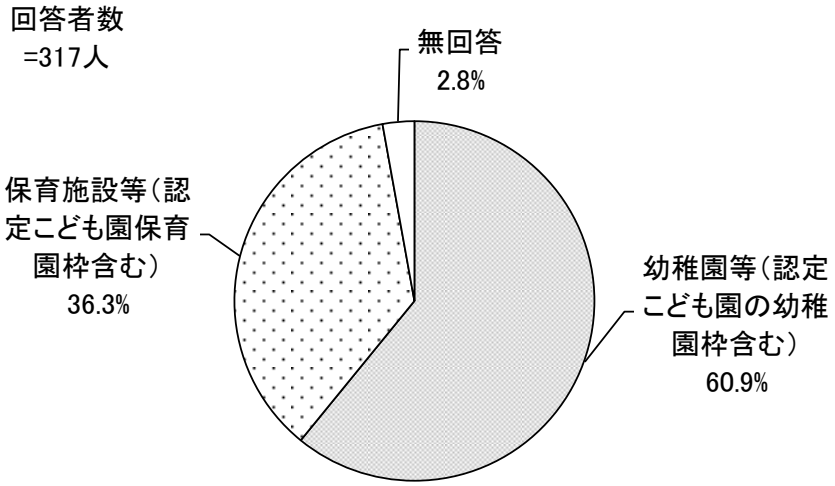
問 17　幼児教育・保育の無償化が 2019 年から段階的に実施される予定です。無償化によって自己負担が軽減されれば、お子さんを預けたいと思いますか。預けるとしたら、どこへ預けたいですか。

無償化による教育・保育事業の利用意向は、「預けたい」が 81.1%、「預ける必要はない」が 6.4%となっている。「預けたい」と回答した人が希望する預け先は、「幼稚園等（認定こども園の幼稚園枠含む）」が 60.9%、「保育施設等（認定こども園保育園枠含む）」が 36.3%となっている。

図表３－４－９　無償化による教育・保育事業の利用意向（単数回答）



図表３－４－１０　希望事業（単数回答）



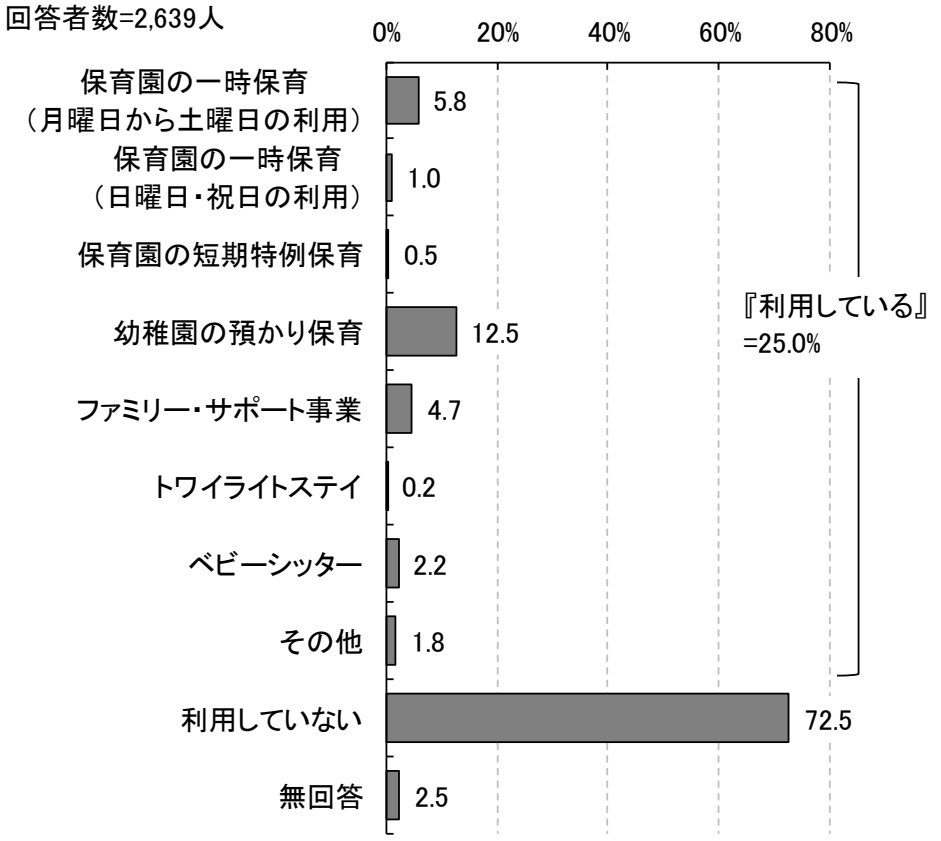
5. 一時預かり事業等について

(1)一時預かり事業の利用状況

問 18　あて名のお子さんについて、私用、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1 年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

一時預かり事業の利用状況は、『利用している』が 25.0%であるのに対し、「利用していない」が 72.5%となっている。具体的には、「幼稚園の預かり保育」が 12.5%と最も多く、次いで「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が 5.8%、「ファミリー・サポート事業」が 4.7%となっている。利用日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育」が 38.1 日、「保育園の短期特例保育」が 30.3 日、「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が 20.9 日となっている。

図表3－5－1　一時預かり事業の利用状況（複数回答）



※『利用している』＝100%－「利用していない」－「無回答」

図表３－５－２　一時預かり事業の利用日数（年間）

単位（%）

	回答者数（人）	１～４日	５～９日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均日数（日）
保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）	152	35.5	11.8	28.3	7.9	13.8	2.6	20.9
保育園の一時保育（日曜日・祝日の利用）	26	61.5	7.7	15.4	3.8	3.8	7.7	7.8
保育園の短期特例保育	14	21.4	7.1	21.4	21.4	14.3	14.3	30.3
幼稚園の預かり保育	331	10.0	10.3	22.7	16.3	37.8	3.0	38.1
ファミリー・サポート事業	125	36.0	18.4	15.2	8.0	12.8	9.6	14.7
トワイライトステイ	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	6.5
ベビーシッター	57	31.6	14.0	21.1	8.8	17.5	7.0	20.4
その他	47	19.1	19.1	21.3	8.5	25.5	6.4	32.4

子どもの年齢別にみると、『利用している』は「０歳」では8.5%、「１歳」では18.1%、「２歳」では20.8%、「３歳」では27.2%、「４歳」では28.8%、「５歳」では31.6%となっている。利用している事業をみると３歳以上では、「幼稚園の預かり保育」が１割半ばから２割程度となっているが、２歳以下では「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が最も多くなっている。

居住地域別にみると、『利用している』は、いずれの地域でも２割半ば程度となっており、利用している事業でも、いずれの地域とも「幼稚園の預かり保育」が最も多くなっている。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『利用している』は教育・保育事業を利用している人では27.6%、利用していない人では11.8%となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、『利用している』は「フルタイム共働き」を除き、いずれにおいても３割以上となっている。

図表3－5－3　一時預かり事業の利用状況

単位（%）

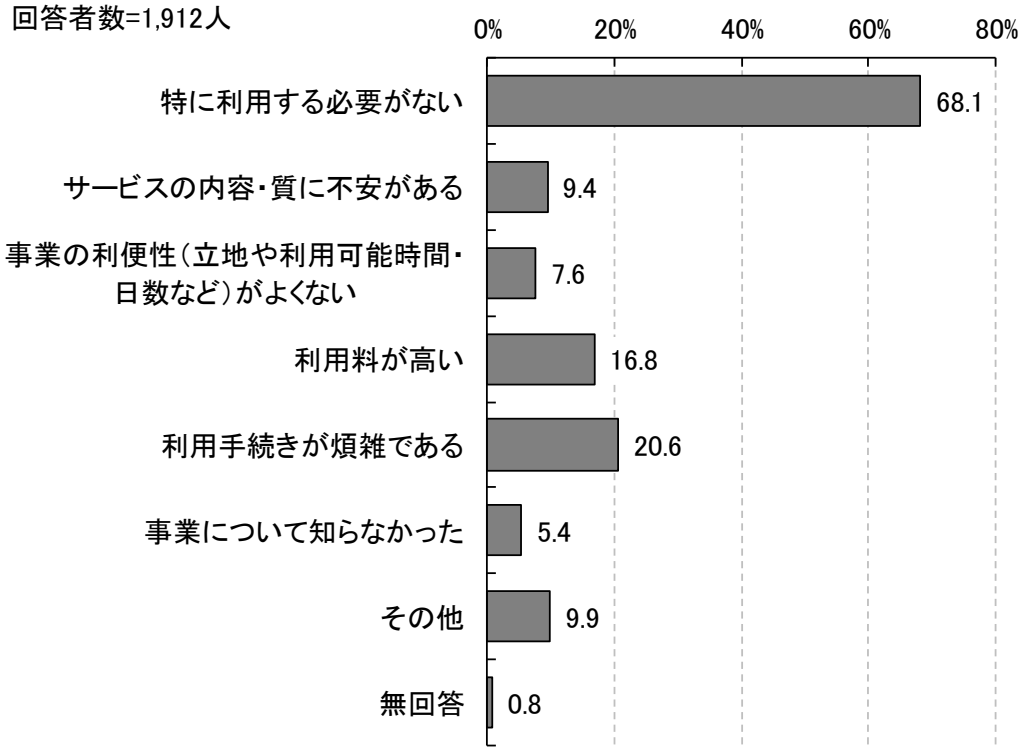
		回答者数（人）	保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）	保育園の一時保育（日曜日・祝日の利用）	保育園の短期特例保育	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート事業	トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答	『利用している』
全体		2,639	5.8	1.0	0.5	12.5	4.7	0.2	2.2	1.8	72.5	2.5	25.1
子どもの年齢別	0歳	270	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	0.7	2.6	1.1	90.0	1.5	8.5
	1歳	281	7.8	2.5	1.1	0.4	5.3	0.4	3.9	0.4	79.7	2.1	18.1
	2歳	355	8.7	1.4	0.8	1.1	6.2	0.0	3.4	2.0	76.9	2.3	20.8
	3歳	460	4.6	0.7	0.9	15.9	5.4	0.0	1.5	2.6	70.2	2.6	27.2
	4歳	552	5.8	0.9	0.4	17.4	5.1	0.0	1.1	2.2	69.0	2.2	28.8
	5歳	637	3.9	0.9	0.3	22.1	4.2	0.2	1.7	1.9	65.9	2.5	31.6
居住地域別	南部すこやか福祉センター	573	6.1	0.9	0.5	11.7	4.0	0.0	3.1	1.9	72.9	2.4	24.6
	中部すこやか福祉センター	787	6.7	1.3	0.8	12.3	6.0	0.3	2.2	1.7	71.3	2.4	26.3
	北部すこやか福祉センター	704	4.8	1.3	0.4	14.1	4.1	0.1	2.0	1.7	72.6	1.8	25.6
	鷺宮すこやか福祉センター	557	5.4	0.4	0.4	12.0	4.7	0.2	1.3	1.8	73.8	2.7	23.5
教育・保育事業の利用状況別	利用している	2,223	5.7	1.1	0.5	14.7	5.2	0.1	2.2	1.9	70.3	2.1	27.6
	利用していない	391	6.6	0.3	0.8	0.5	2.3	0.3	2.0	1.3	85.2	3.1	11.8
就労形態による家庭類型別	ひとり親	33	12.1	6.1	0.0	6.1	9.1	0.0	0.0	3.0	66.7	0.0	33.3
	フルタイム共働き	1,239	5.3	1.5	0.2	1.2	5.9	0.2	2.5	1.1	82.6	2.0	15.3
	フルタイム・パート共働き	466	5.8	0.6	0.9	22.1	3.9	0.2	1.7	1.5	64.8	2.8	32.4
	専業主婦（夫）	788	6.2	0.3	0.9	24.2	3.0	0.0	1.8	2.9	62.6	2.5	34.9
	パートタイム共働き	10	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	70.0	0.0	30.0
	夫婦とも無業	9	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	44.4

（2）一時預かり事業を利用していない理由

問 19　問 18 で「9」（利用していない）に○をした方に伺います。現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

一時預かり事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 68.1％と最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」が 20.6％、「利用料が高い」が 16.8％となっている。

図表3－５－４　一時預かり事業を利用していない理由（複数回答）

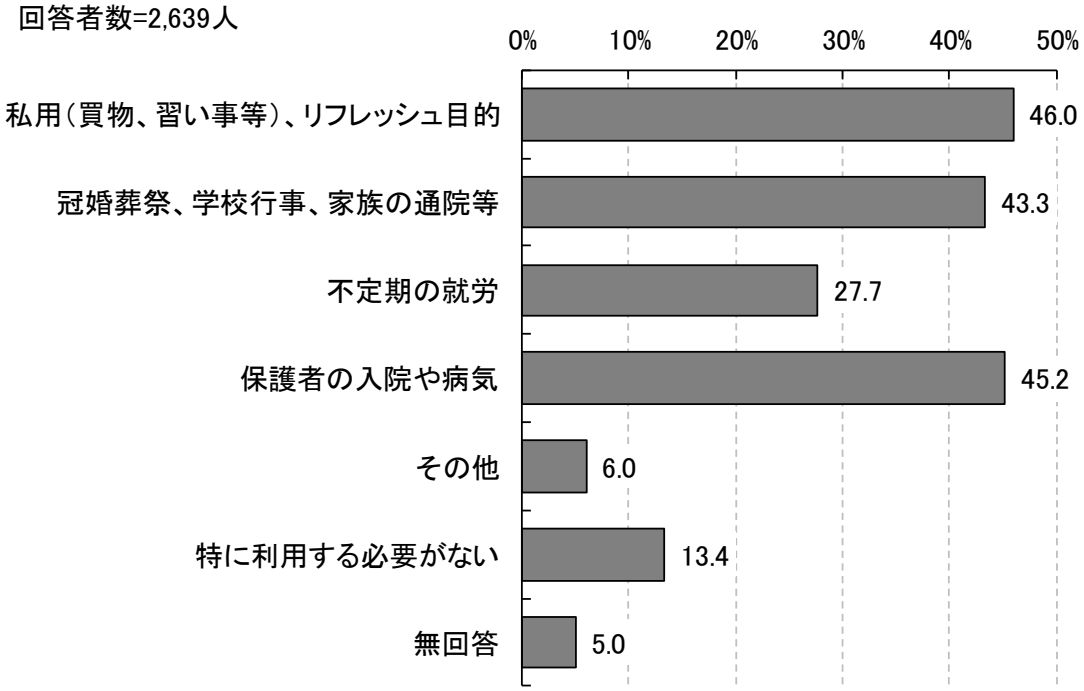


（3）一時預かり事業の利用意向

問 20　どのような時に、お子さんを一時的に預かる事業（問 18 の 1～7 の事業（図表３－５－２に記載の事業））を利用したいと思いますか。

一時預かり事業の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が 46.0%と最も多く、次いで「保護者の入院や病気」が 45.2%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が 43.3%となっている。

図表3－５－５　利用目的（複数回答）

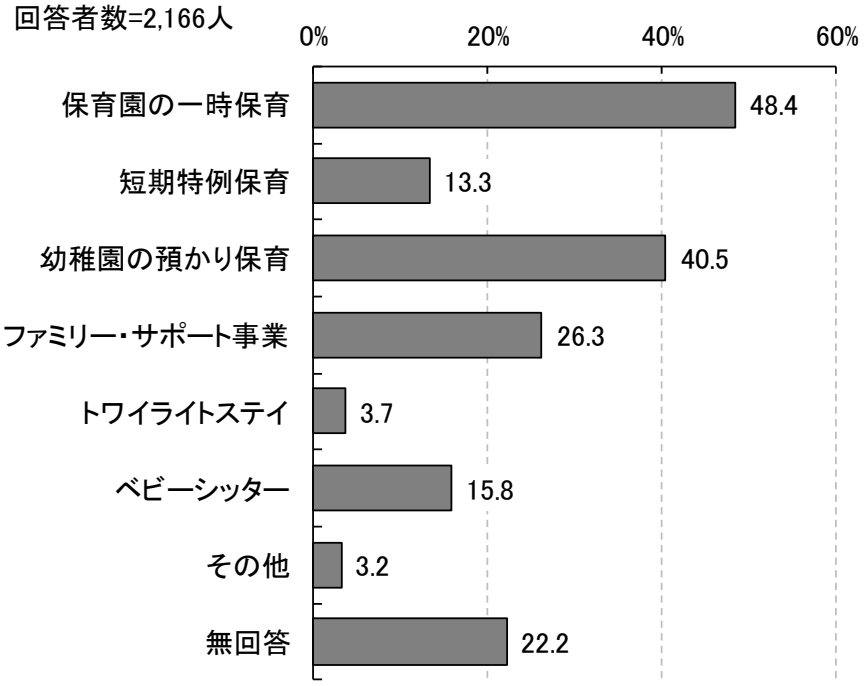


(4)利用希望事業と利用希望日数

問 20-1　利用したいと考える事業と必要な日数を記入してください。（第３希望まで）

一時預かり事業の利用希望事業は、「保育園の一時保育」が 48.4%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 40.5%、「ファミリー・サポート事業」が 26.3%となっている。利用希望日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育」が 43.6 日、「短期特例保育」が 22.1 日、「保育園の一時保育」が 19.1 日となっている。

図表３－５－６　一時預かり事業の利用希望事業（複数回答）



図表３－５－７　一時預かり事業の利用希望日数（年間）

単位（%）

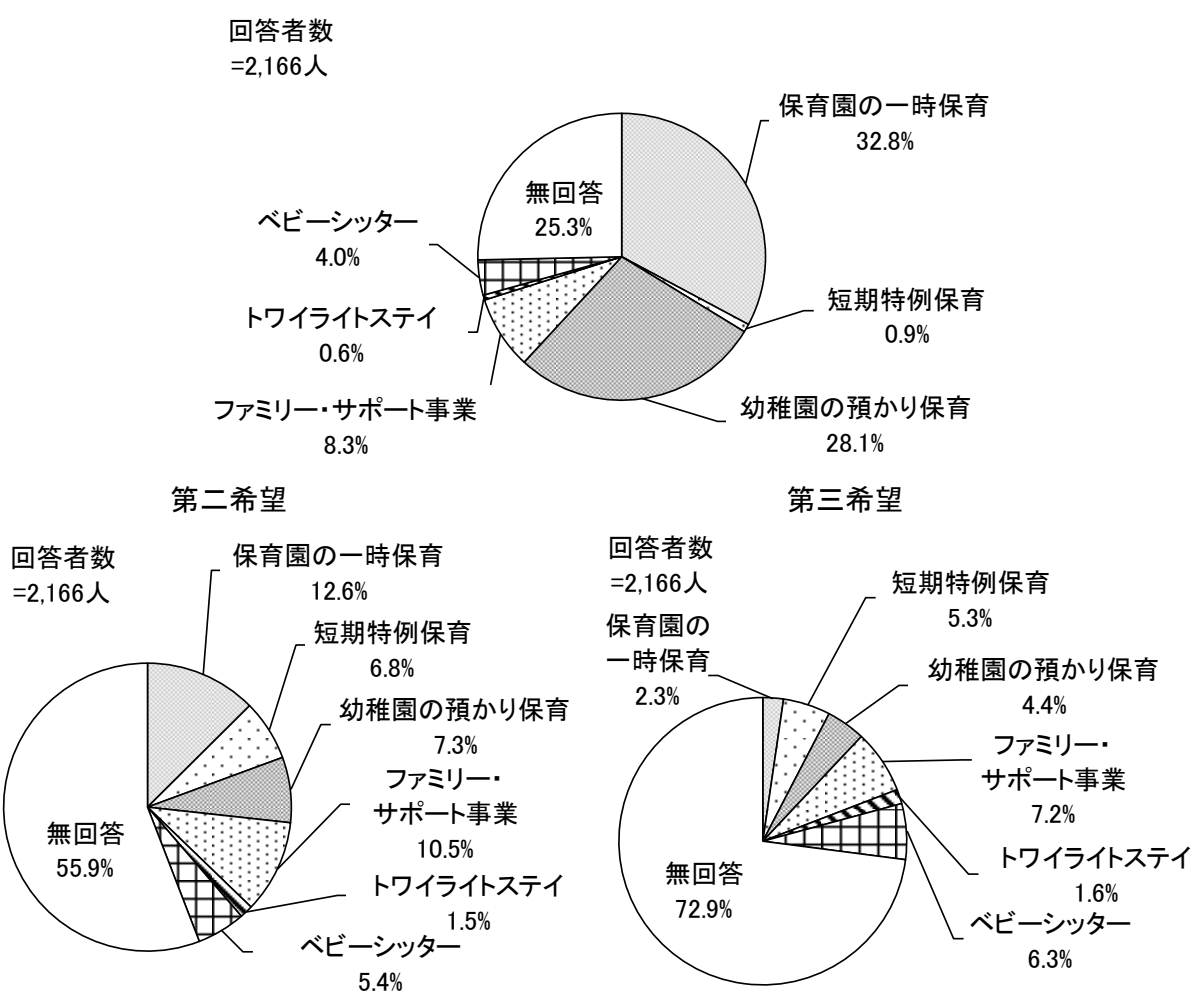
	回答者数（人）	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均日数（日）
保育園の一時保育	1,048	19.8	16.0	28.4	7.0	14.5	14.3	19.1
短期特例保育	288	17.4	15.6	23.3	5.9	15.3	22.6	22.1
幼稚園の預かり保育	877	7.8	7.5	23.9	10.0	34.4	16.3	43.6
ファミリー・サポート事業	569	19.2	19.5	26.0	6.7	12.5	16.2	17.2
トワイライトステイ	80	35.0	16.3	21.3	6.3	5.0	16.3	11.0
ベビーシッター	343	19.5	21.3	25.4	7.0	11.1	15.7	16.7
その他	69	11.6	10.1	14.5	5.8	30.4	27.5	46.6

利用したいと考える事業の希望順位は、第一希望では「保育園の一時保育」が 32.8%、「幼稚園の預かり保育」が 28.1%、「ファミリー・サポート事業」が 8.3%となっている。

第二希望では「保育園の一時保育」が 12.6%、「ファミリー・サポート事業」が 10.5%、「幼稚園の預かり保育」が 7.3%となっている。

第三希望では「ファミリー・サポート事業」が 7.2%、「ベビーシッター」が 6.3%、「短期特例保育」が 5.3%となっている。

図表３－５－８　一時預かり事業の希望順位



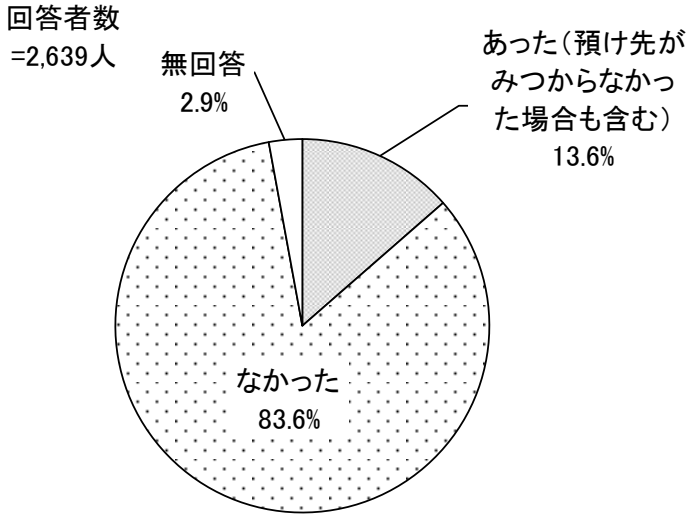
（5）泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験

問21　この１年間に、保護者の用事（出張や家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。（○は１つ）

泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験は、「なかった」が 83.6%、「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」が 13.6%となっている。

子どもの年齢別にみると、２歳以上になると「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」が１割半ば程度となり、１歳以下よりもやや多くなっている。

図表3－５－９　泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験（単数回答）



図表３－５－１０　泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験

単位（%）

		回答者数（人）	あった（預け先がみつからなかった場合も含む）	なかった	無回答
全体		2,639	13.6	83.6	2.9
子どもの年齢別	0歳	270	5.9	92.6	1.5
	1歳	281	9.6	88.3	2.1
	2歳	355	14.6	82.8	2.5
	3歳	460	13.9	83.0	3.0
	4歳	552	15.6	82.1	2.4
	5歳	637	14.9	81.5	3.6

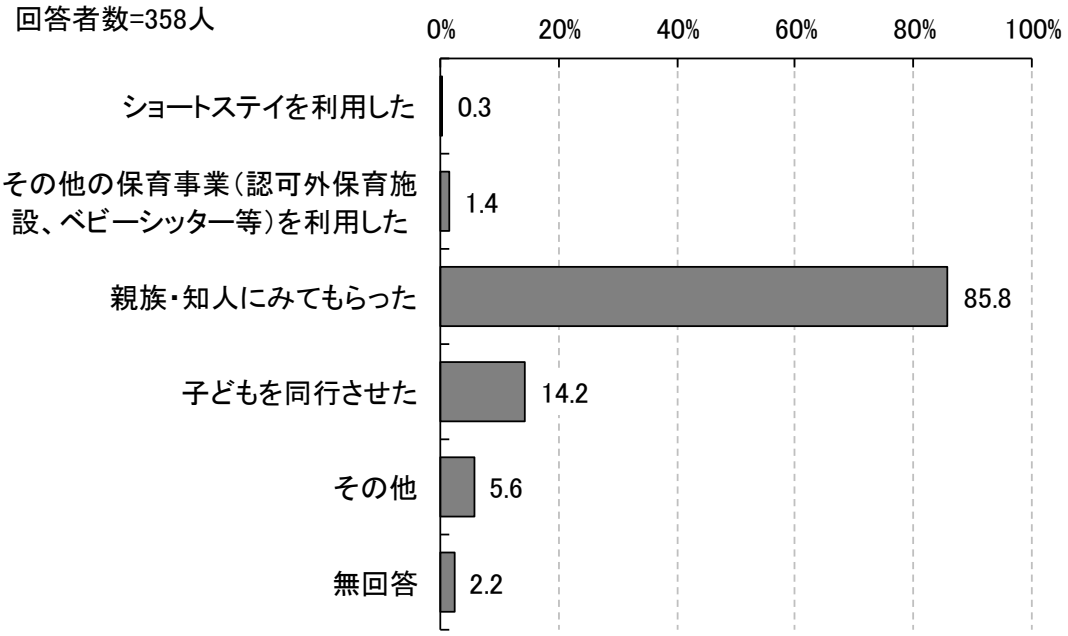
（6）泊りがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法

問 21-1　「1」（あった）に○をした方に伺います。この 1 年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が 85.8%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」が 14.2%、「その他の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」が 1.4%となっている。

対処方法別の日数（年間）の平均は、「その他の保育事業を利用した」が 15.3 日、「親族・知人にみてもらった」が 10.5 日、「子どもを同行させた」が 7.3 日となっている。

図表3－5－11　泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法（複数回答）



図表3－5－12　対処方法別の日数（年間）

単位（%）

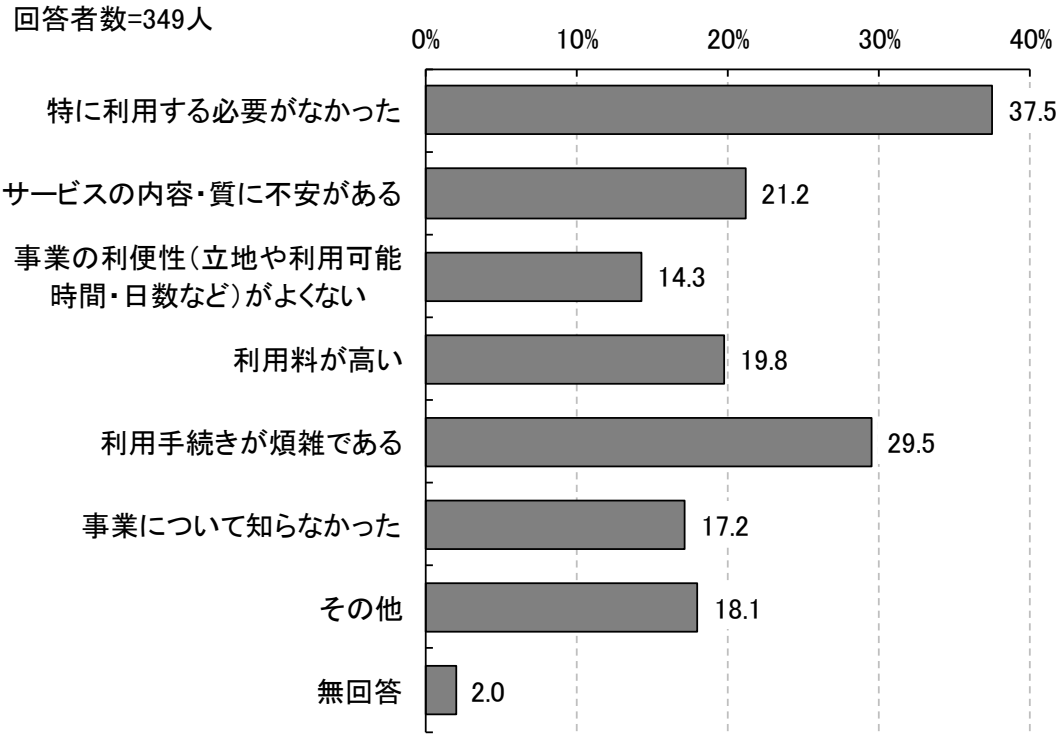
	回答者数（人）	1～2日	3～4日	5～9日	10～19日	20日以上	無回答	平均日数（日）
ショートステイを利用した	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	7.0
その他の保育事業を利用した	5	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	15.3
親族・知人にみてもらった	307	19.5	14.0	20.8	16.6	10.1	18.9	10.5
子どもを同行させた	51	31.4	13.7	23.5	9.8	9.8	11.8	7.3
その他	20	20.0	30.0	5.0	0.0	10.0	35.0	6.5

（7）ショートステイを利用しなかった理由

問 21-2　「2」～「5」（ショートステイを利用しなかった）に○をした方に伺います。ショートステイを利用しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

泊まりがけで家族以外に預ける必要があった際に、ショートステイを利用しなかった理由は、「特に利用する必要がなかった」が 37.5%と最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」が 29.5%、「サービスの内容・質に不安がある」が 21.2%となっている。

図表3－5－13　ショートステイを利用しなかった理由（複数回答）



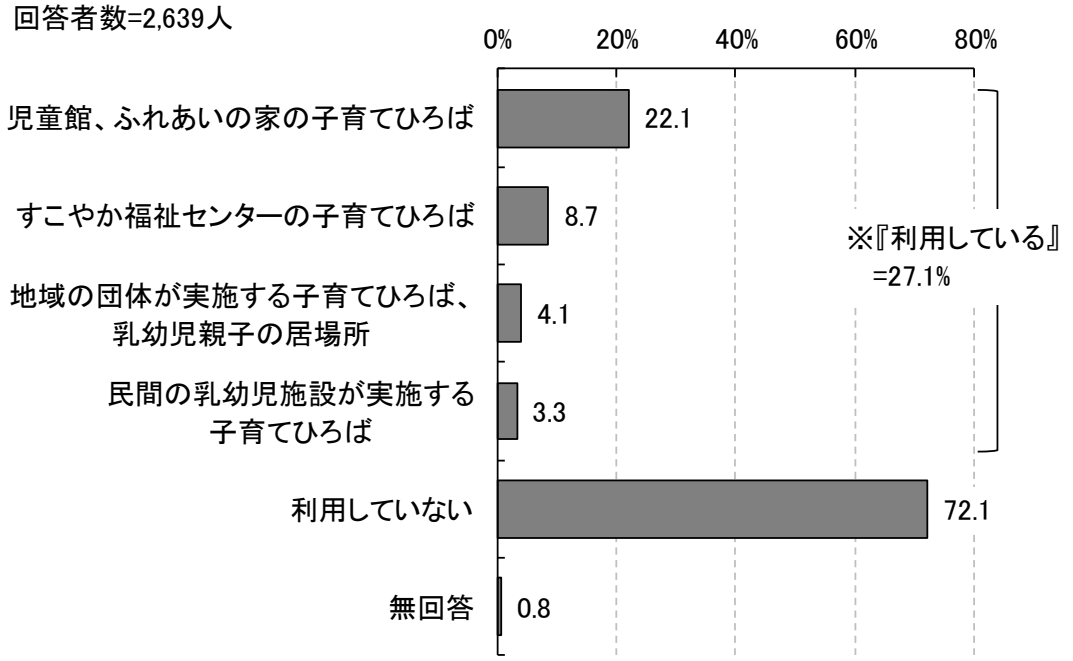
6. 子育てひろばの利用について

(1)子育てひろばの利用状況

問 22　あて名のお子さんは、現在、子育てひろばを利用していますか。
（利用しているものすべてに○）

子育てひろばの利用状況は、『利用している』は 27.1%であるのに対し、「利用していない」が 72.1%となっている。具体的に利用している子育てひろばは、「児童館、ふれあいの家の子育てひろば」が 22.1%、「すこやか福祉センターの子育てひろば」が 8.7%、「地域の団体が実施する子育てひろば、乳幼児親子の居場所」が 4.1%となっている。

図表3－6－1　子育てひろばの利用状況（複数回答）



※『利用している』＝100%－「利用していない」－「無回答」

子どもの年齢別にみると、『利用している』は、「０歳」が 42.2%、「１歳」が 45.9%、「２歳」が 30.1%、「３歳」が 27.0%、「４歳」が 20.5%、「５歳」では 17.7%となっている。

居住地域別にみると、『利用している』は、「北部すこやか福祉センター」では 20.5%となっているが、その他の地域で『利用している』は約３割となっている。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『利用している』は、教育・保育事業を利用している人では 21.6%、利用していない人では 59.6%となっている。

図表3－6－2 子育てひろばの利用状況

単位（%）

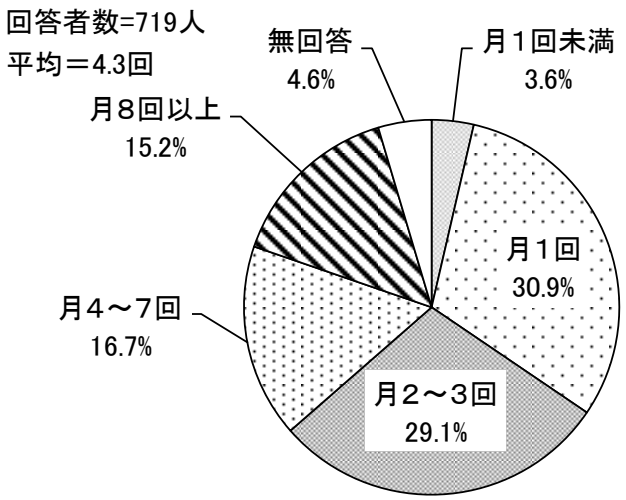
		回答者数（人）	児童館、ふれあいの家の子育てひろば	すこやか福祉センターの子育てひろば	地域の団体が実施する子育てひろば、乳幼児親子の居場所	民間の乳幼児施設が実施する子育てひろば	利用していない	無回答	『利用している』
全体		2,639	22.1	8.7	4.1	3.3	72.1	0.8	27.2
子どもの年齢別	0歳	270	23.3	29.6	9.6	6.3	56.7	1.1	42.2
	1歳	281	35.6	22.4	10.7	10.0	53.4	0.7	45.9
	2歳	355	25.6	9.0	2.8	2.5	69.3	0.6	30.1
	3歳	460	24.3	5.0	3.3	2.2	72.6	0.4	27.0
	4歳	552	18.7	2.2	2.0	2.7	79.3	0.2	20.5
	5歳	637	15.7	2.5	2.4	1.1	81.6	0.6	17.7
居住地域別	南部すこやか福祉センター	573	23.7	14.8	2.1	1.9	68.9	0.7	30.4
	中部すこやか福祉センター	787	21.6	11.6	5.3	4.4	69.8	0.4	29.9
	北部すこやか福祉センター	704	18.8	3.4	3.8	3.1	78.6	1.0	20.5
	鷺宮すこやか福祉センター	557	25.5	5.0	4.8	3.4	70.7	0.4	28.9
教育・保育事業の利用状況別	利用している	2,223	18.5	5.0	2.5	2.2	77.9	0.4	21.6
	利用していない	391	43.5	29.9	13.6	9.5	39.4	1.0	59.6

(2)子育てひろばの月あたりの利用回数

問 22-1	「1」～「4」（利用している）に○をした方に伺います。子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。「1」～「4」をあわせた、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。（数字を記入）

子育てひろばを『利用している』と回答した人の月あたりの利用回数は、「月 1 回」が 30.9%と最も多く、次いで「月 2～3 回」が 29.1%、「月 4～7 回」が 16.7%となっており、平均は 4.3 回となっている。

図表3－6－3 子育てひろばの月あたりの利用回数（単数回答）



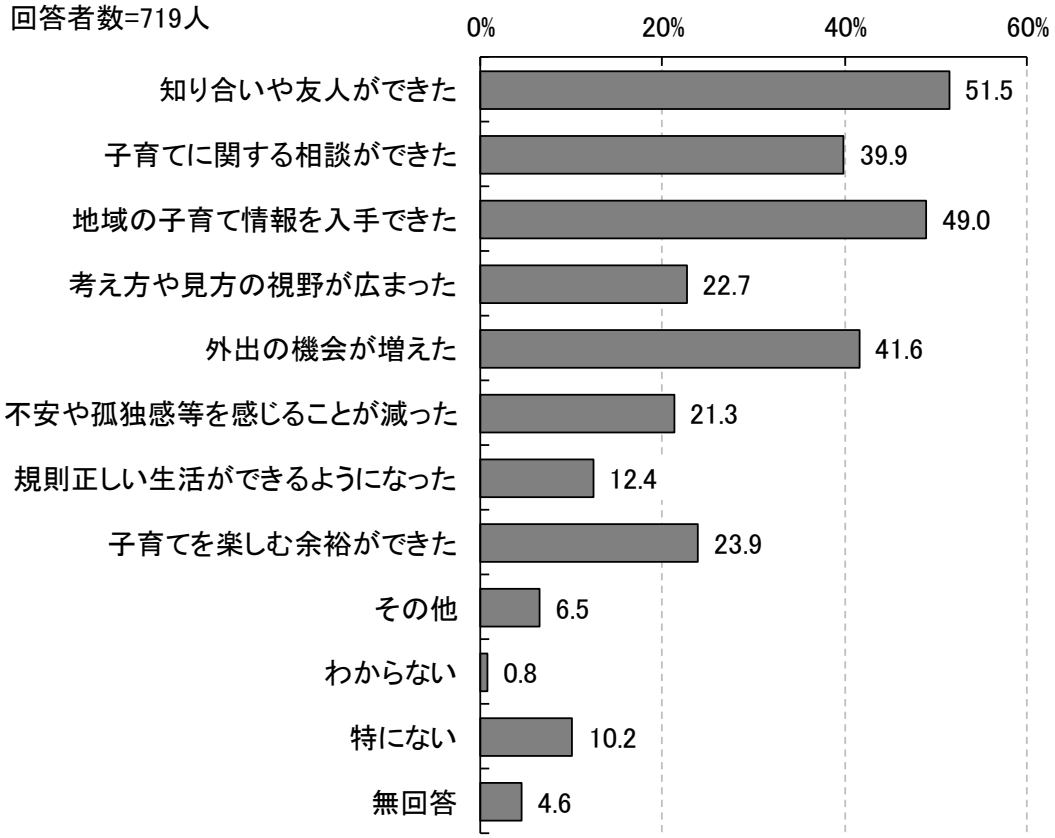
(3)子育てひろば利用の利点

問 22-2　実際に子育てひろばを利用して、よかったことはありますか。①と②のどちらにも回答してください。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

①保護者の方

子育てひろばを利用してよかったこと（保護者）は、「知り合いや友人ができた」が 51.5%と最も多く、次いで「地域の子育て情報を入手できた」が 49.0%、「外出の機会が増えた」が 41.6%となっている。

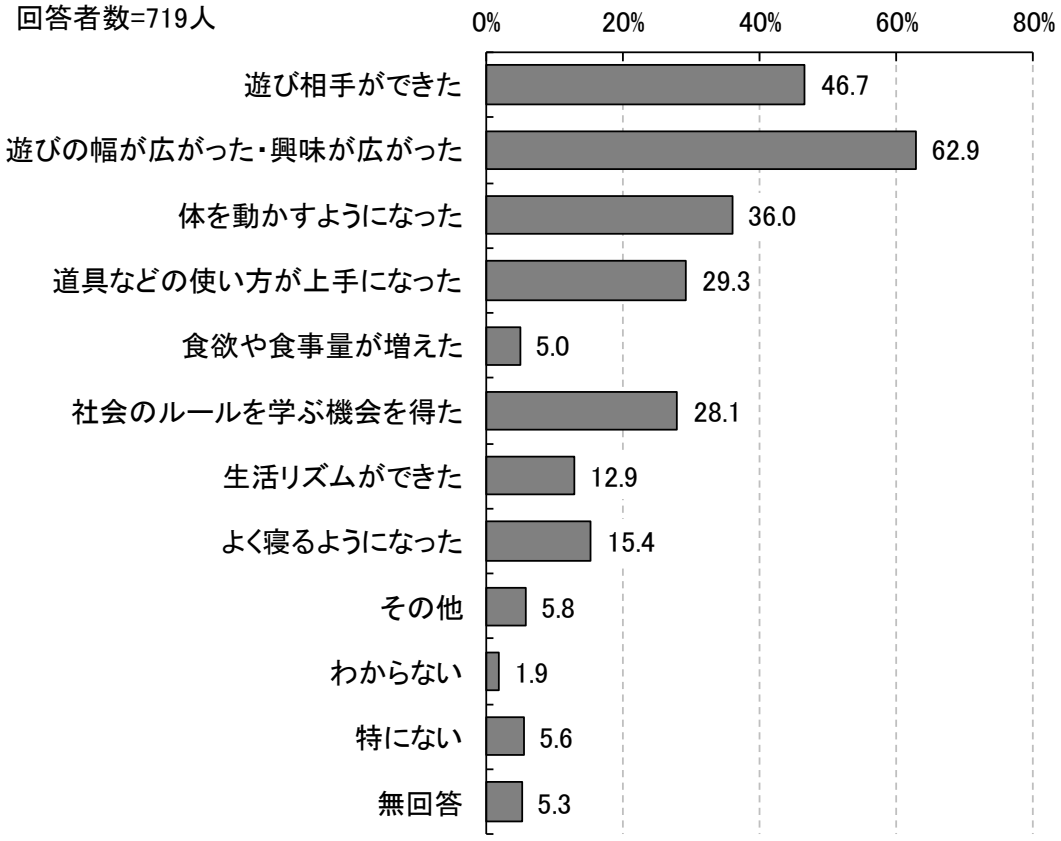
図表3－6－4　子育てひろばを利用してよかったこと（保護者）



②お子さん

子育てひろばを利用してよかったこと（子ども）は、「遊びの幅が広がった・興味が広がった」が 62.9％と最も多く、次いで「遊び相手ができた」が 46.7％、「体を動かすようになった」が 36.0％となっている。

図表３－６－５ 子育てひろばを利用してよかったこと（子ども）

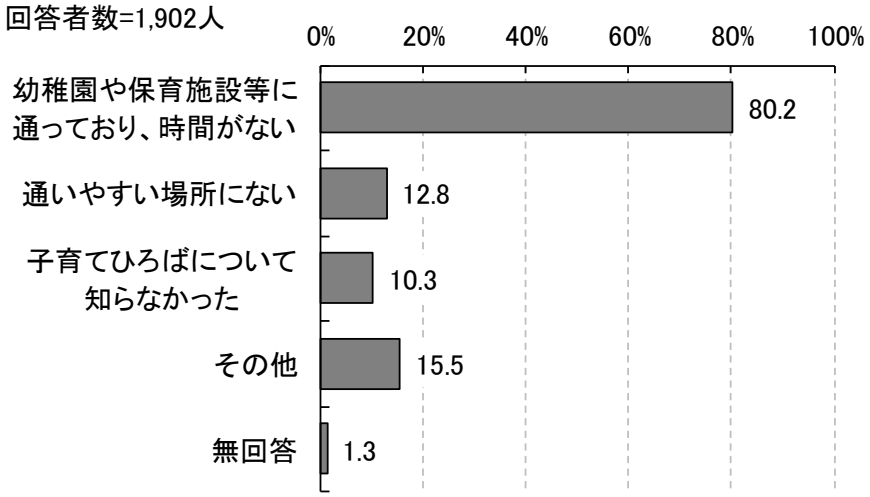


（4）子育てひろばを利用してない理由

問 23　問 22 で「5」（利用していない）に○をした方に伺います。利用していない理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

子育てひろばを利用していない理由は、「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が 80.2%と最も多く、次いで「通いやすい場所にない」が 12.8%、「子育てひろばについて知らなかった」が 10.3%となっている。

図表3－6－6　子育てひろばを利用していない理由（複数回答）



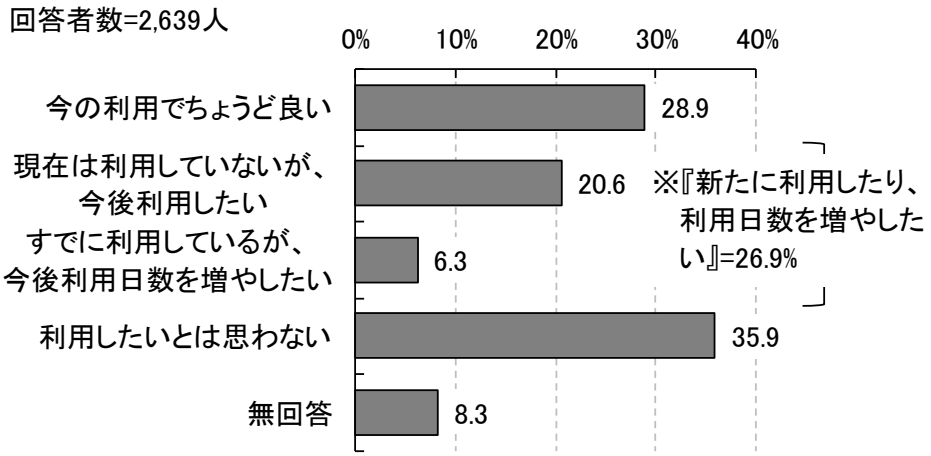
(5)子育てひろばの利用意向

問 24　子育てひろばについて、今後の利用意向を伺います。１つに○をし、希望する場合は、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。

子育てひろばの利用意向は、「今の利用でちょうど良い」が 28.9%、「現在は利用していないが、今後利用したい」が 20.6%となっている。

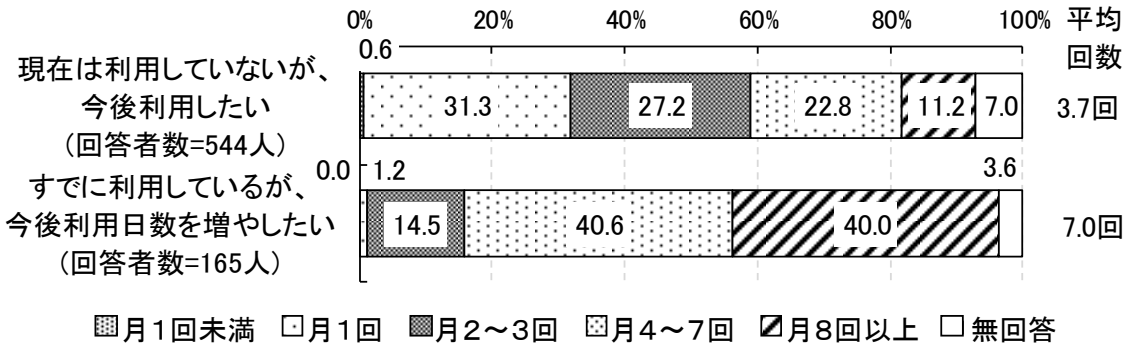
「現在は利用していないが、今後利用したい」と回答した人の月あたりの利用希望回数は、「月１回」が 31.3%と最も多く、次いで「月２～３回」が 27.2%、「月４～７回」が 22.8%となっており、平均は 3.7 回となっている。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の月あたりの利用希望回数は、「月４～７回」が 40.6%と最も多く、次いで「月８回以上」が 40.0%、「月２～３回」が 14.5%となっており、平均は 7.0 回となっている。

図表3－6－7　子育てひろばの利用意向（単数回答）



※『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』＝「現在は利用していないが、今後利用したい」＋「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」

図表3－6－8　子育てひろばの月あたりの利用希望回数（各単数回答）



子どもの年齢別にみると、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』は、「０歳」では 50.7%となっているが、年齢が上がるにつれて減少していき、「５歳」では 19.3%となっている。

居住地域別にみると、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』は、「南部すこやか福祉センター」および「中部すこやか福祉センター」ではおよそ３割、「北部すこやか福祉センター」では２割半ば、「鷺宮すこやか福祉センター」ではおよそ２割となっている。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』は、教育・保育事業を利用している人で 23.9%、利用していない人では 44.0%となっている。

図表３－６－９ 子育てひろばの利用意向

単位（%）

		回答者数（人）	今の利用でちょうど良い	現在は利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	利用したいとは思わない	無回答	『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』※
全体		2,639	28.9	20.6	6.3	35.9	8.3	26.9
子どもの年齢別	0歳	270	30.4	37.8	13.0	13.0	5.9	50.7
	1歳	281	37.4	22.4	11.4	23.1	5.7	33.8
	2歳	355	29.9	21.7	8.7	33.2	6.5	30.4
	3歳	460	31.1	18.9	5.9	37.4	6.7	24.8
	4歳	552	27.9	16.5	3.1	41.5	11.1	19.6
	5歳	637	23.9	16.0	3.3	47.3	9.6	19.3
居住地域別	南部すこやか福祉センター	573	27.6	22.2	7.7	35.1	7.5	29.8
	中部すこやか福祉センター	787	30.7	22.1	8.0	31.6	7.5	30.1
	北部すこやか福祉センター	704	27.0	21.4	4.1	38.6	8.8	25.6
	鷺宮すこやか福祉センター	557	30.7	16.2	5.0	39.3	8.8	21.2
教育・保育事業の利用状況別	利用している	2,223	27.1	19.7	4.3	40.2	8.8	23.9
	利用していない	391	40.2	26.1	17.9	12.5	3.3	44.0

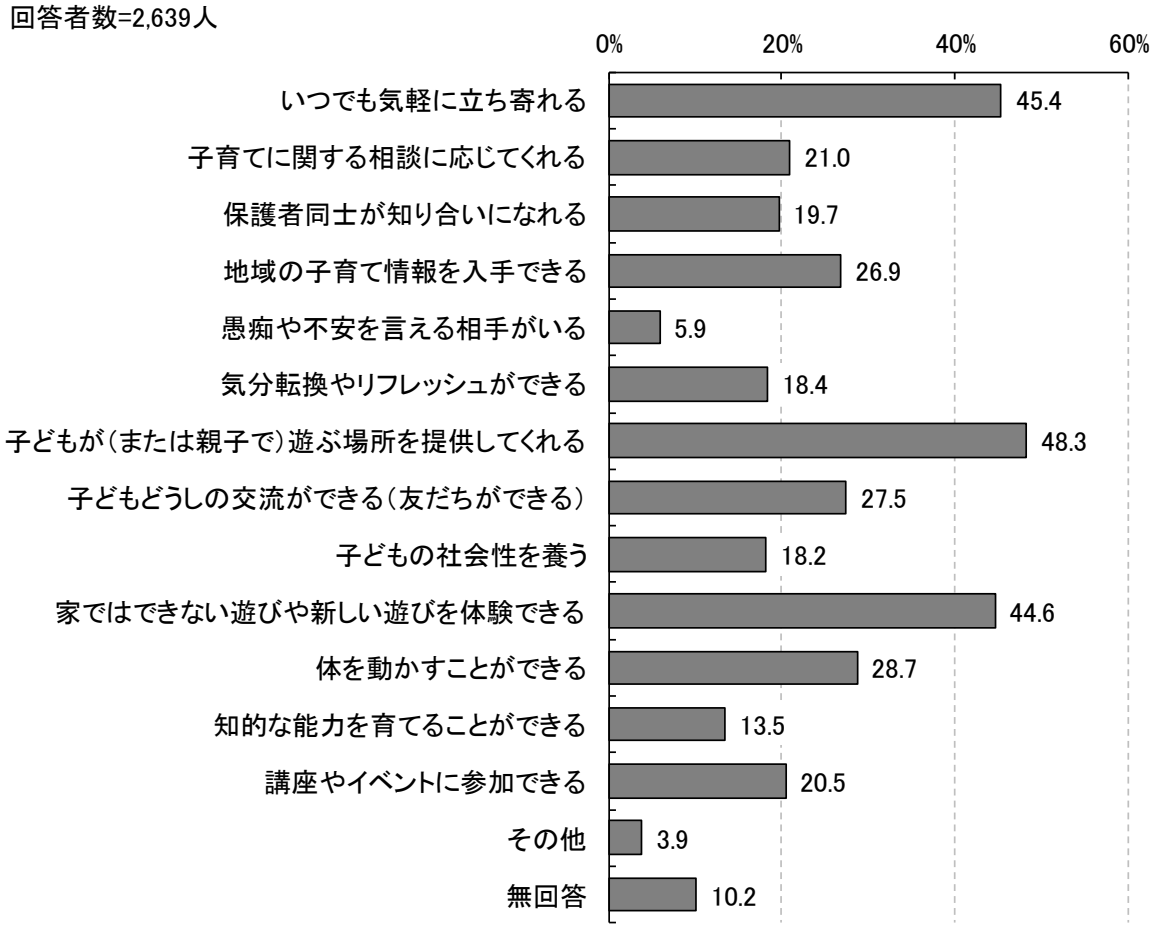
※『新たに利用したり、利用日数を増やしたい』＝「現在は利用していないが、今後利用したい」＋「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」

(6)子育てひろばへの期待

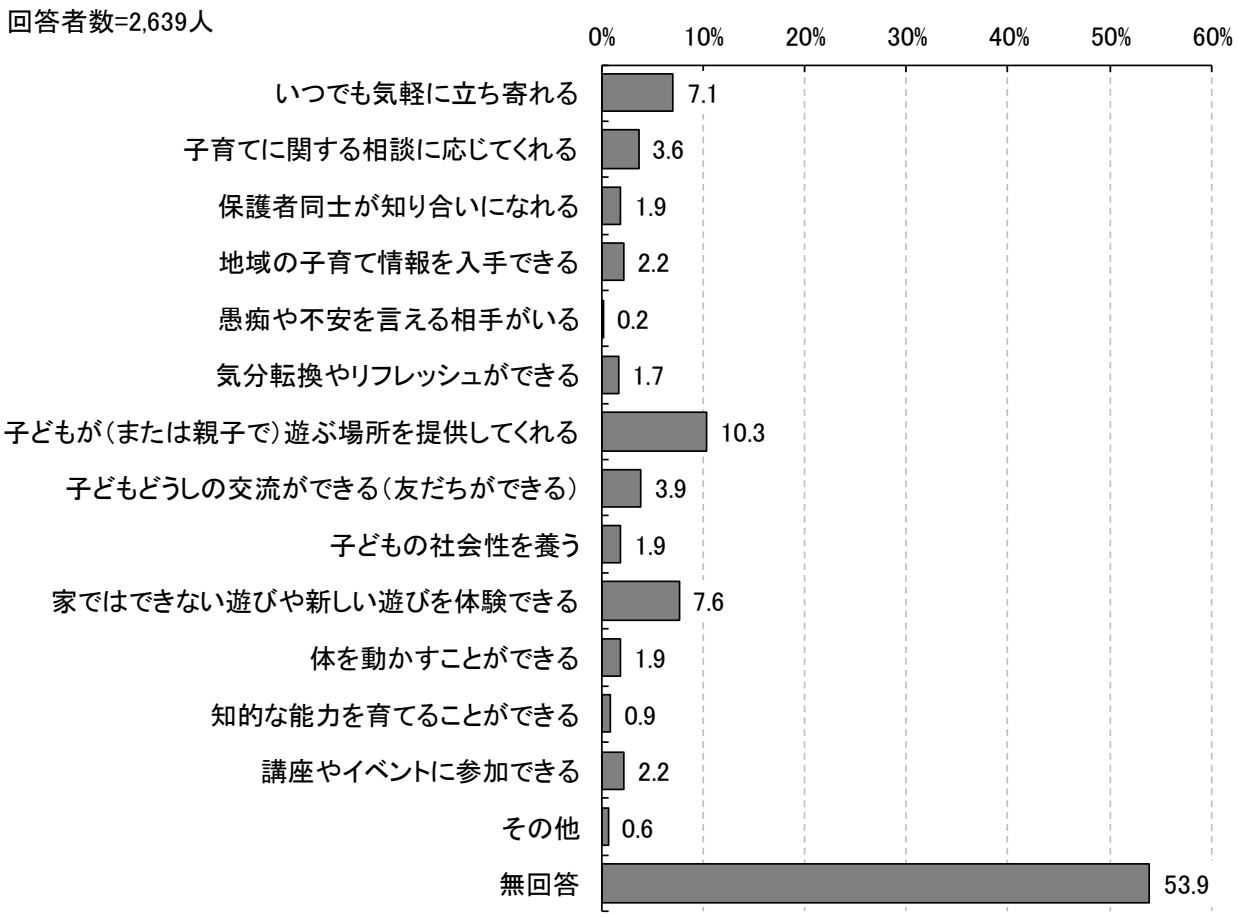
問25　子育てひろばに、期待している（期待したい）ことは次のどれですか。３つ以内に○をし、そのうち最も期待していることには◎をしてください。

子育てひろばに期待していることは、「子どもが（または親子で）遊ぶ場所を提供してくれる」が48.3%と最も多く、次いで「いつでも気軽に立ち寄れる」が45.4%、「家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる」が44.6%となっている。そのうち、最も期待していることは、「子どもが（または親子で）遊ぶ場所を提供してくれる」が10.3%と最も多く、次いで「家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる」が7.6%、「いつでも気軽に立ち寄れる」が7.1%となっている。

図表3－6－10　子育てひろばに期待していること(複数回答)



図表３－６－１１　子育てひろばに最も期待していること（単数回答）



7. 放課後の過ごし方について

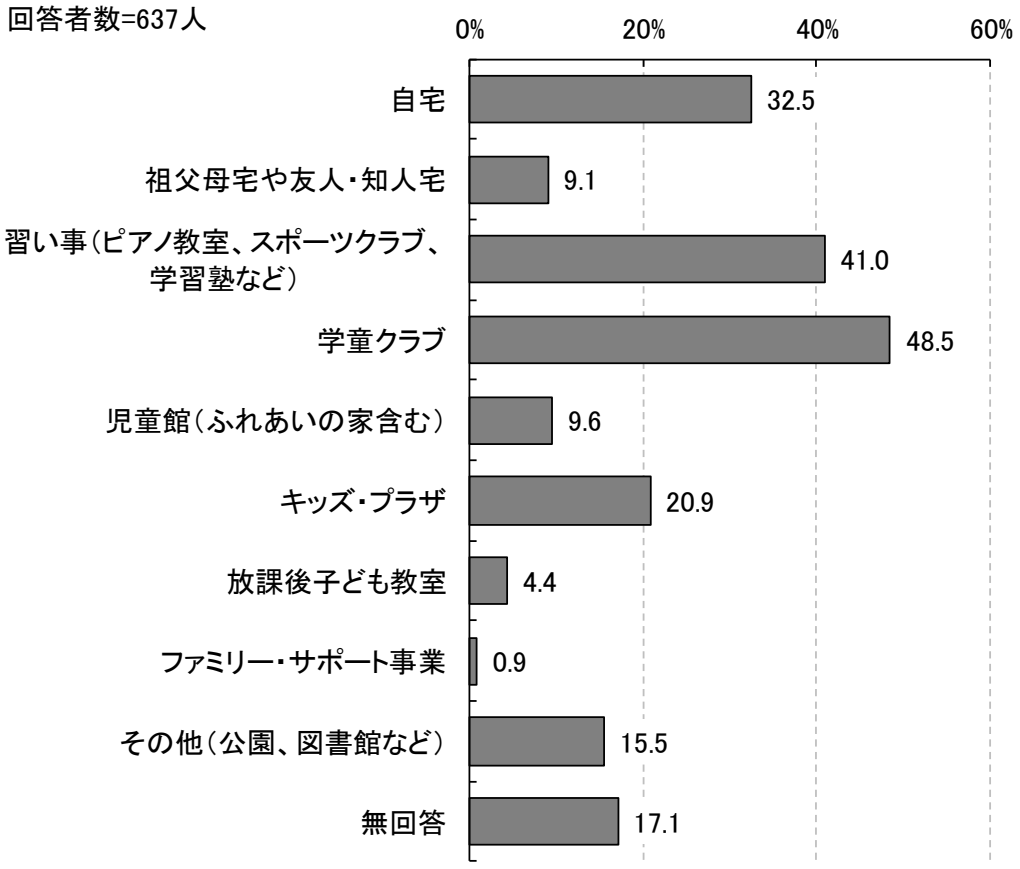
（1）小学校入学以降の放課後の過ごし方の希望

問 26　あて名のお子さんについて、小学校になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどこで過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をし、希望する日数を記入してください。「4. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も、（例）18 時のように 24 時間制で記入してください。

①低学年（1～3年生）

小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望は、「学童クラブ」が 48.5%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 41.0%、「自宅」が 32.5%となっている。

図表3－7－1　小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答）



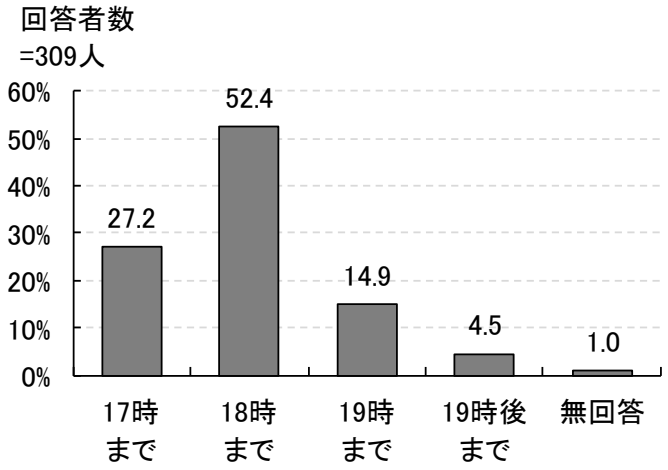
学童クラブを希望した人の１週あたりの利用希望日数は、「５日」が 66.7%、「３～４日」が 22.7%、「１～２日」が 7.1%となっている。また、利用希望時間は、「18 時まで」が 52.4%、「17 時まで」が 27.2%、「19 時まで」が 14.9%となっている。

図表３－７－２ 過ごし方別の１週あたりの希望日数

単位（%）

	回答者数（人）	１～２日	３～４日	５日	無回答	平均日数（日）
自宅	207	49.3	26.1	18.8	5.8	3.0
祖父母宅や友人・知人宅	58	82.8	10.3	6.9	0.0	1.7
習い事	261	68.6	26.8	3.8	0.8	2.2
学童クラブ	309	7.1	22.7	66.7	3.6	4.5
児童館	61	65.6	14.8	18.0	1.6	2.5
キッズ・プラザ	133	43.6	24.8	27.8	3.8	3.1
放課後子ども教室	28	57.1	14.3	25.0	3.6	2.5
ファミリー・サポート事業	6	83.3	16.7	0.0	0.0	2.0
その他	99	78.8	13.1	6.1	2.0	2.1

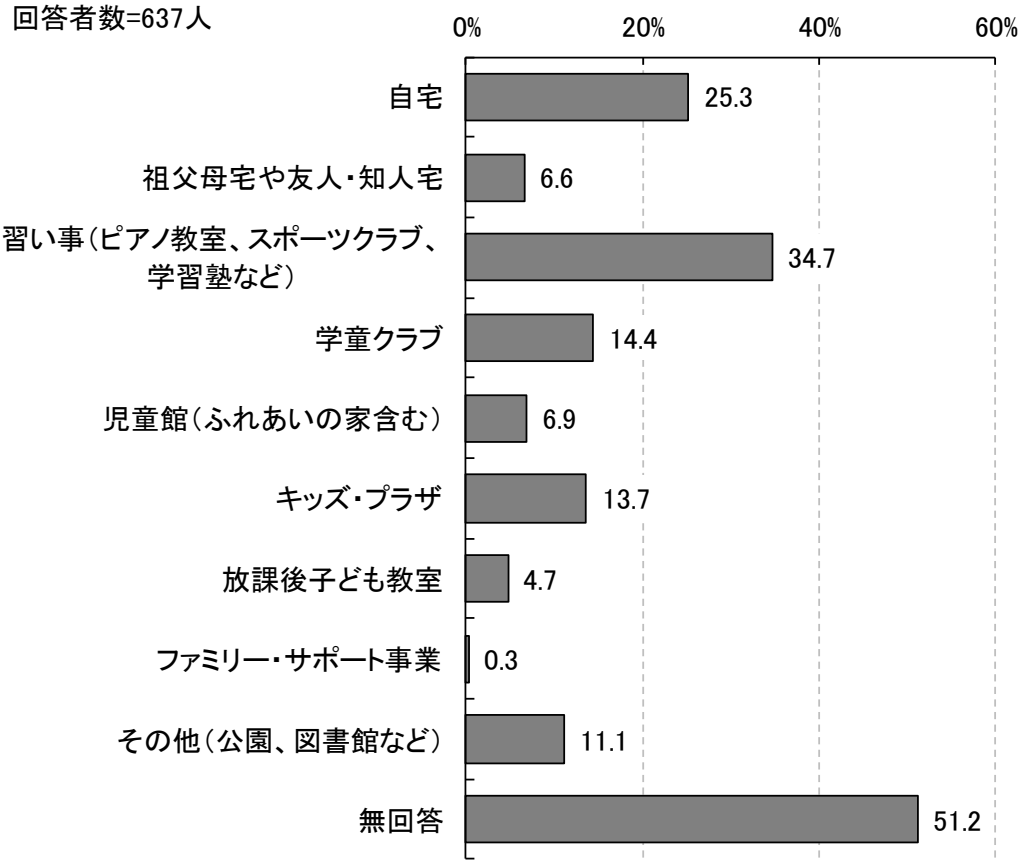
図表３－７－３ 学童クラブの利用希望時間（単数回答）



②高学年（4～6年生）

小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望は、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 34.7%と最も多く、次いで「自宅」が 25.3%、「学童クラブ」が 14.4%となっている。

図表3－7－4　小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答）



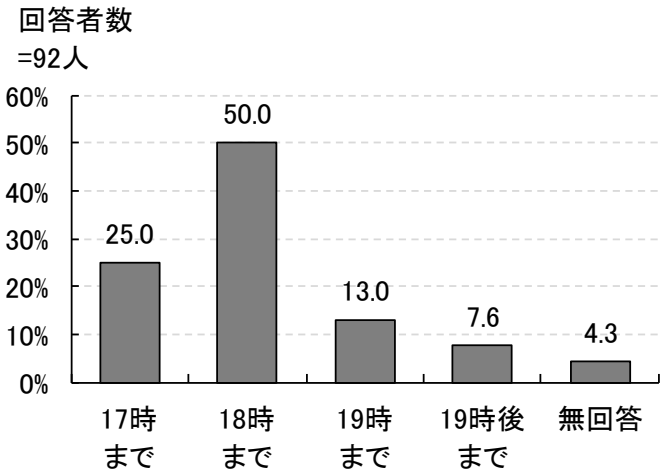
学童クラブを希望した人の１週あたりの利用希望日数は、「５日」が 47.8%、「３～４日」が 27.2%、「１～２日」が 15.2%となっている。また、利用希望時間は、「18 時まで」が 50.0%、「17 時まで」が 25.0%、「19 時まで」が 13.0%となっている。

図表３－７－５ 過ごし方別の１週あたりの希望日数

単位（%）

	回答者数（人）	１～２日	３～４日	５日	無回答	平均日数（日）
自宅	161	59.6	18.6	19.3	2.5	2.7
祖父母宅や友人・知人宅	42	78.6	9.5	7.1	4.8	1.8
習い事	221	48.9	45.7	5.0	0.5	2.6
学童クラブ	92	15.2	27.2	47.8	9.8	4.1
児童館	44	59.1	18.2	15.9	6.8	2.5
キッズ・プラザ	87	44.8	23.0	24.1	8.0	3.1
放課後子ども教室	30	63.3	20.0	10.0	6.7	2.3
ファミリー・サポート事業	2	50.0	50.0	0.0	0.0	2.0
その他	71	74.6	14.1	9.9	1.4	2.1

図表３－７－６ 学童クラブの利用希望時間（単数回答）



（2）土曜日、日曜日・祝日の学童クラブの利用意向

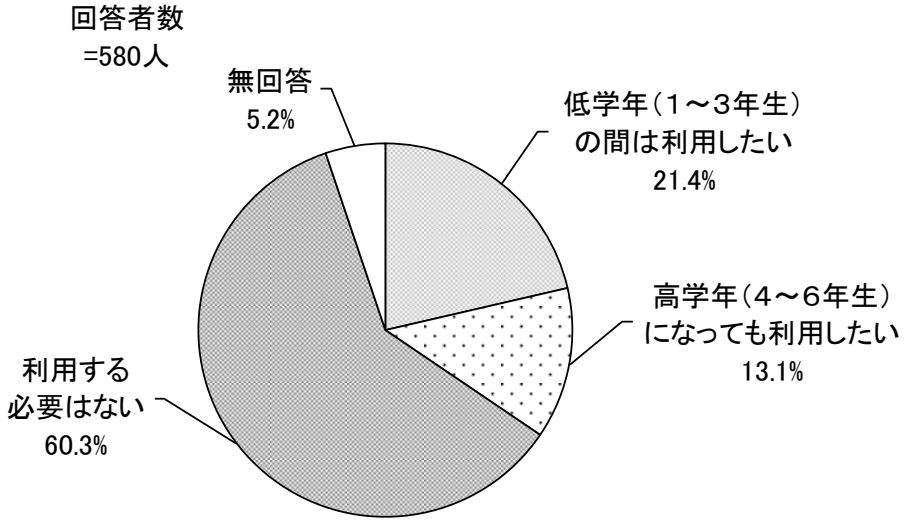
問 27　あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、学童クラブの利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

①土曜日

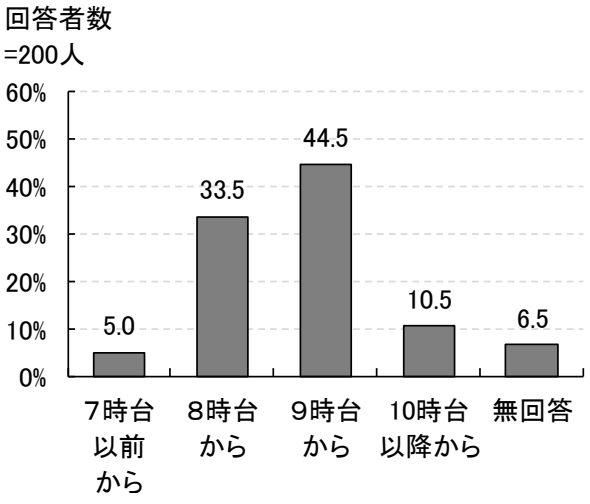
低学年時または高学年時に学童クラブの利用を希望した人の土曜日の学童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が 60.3%と最も多く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 21.4%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 13.1%となっている。

希望開始時間は、「９時台から」が 44.5%と最も多く、次いで「８時台から」が 33.5%、「10 時台以降から」が 10.5%となっている。希望終了時間は、「18 時まで」が 49.0%と最も多く、次いで「17 時まで」が 33.0%、「19 時まで」が 11.0%となっている。

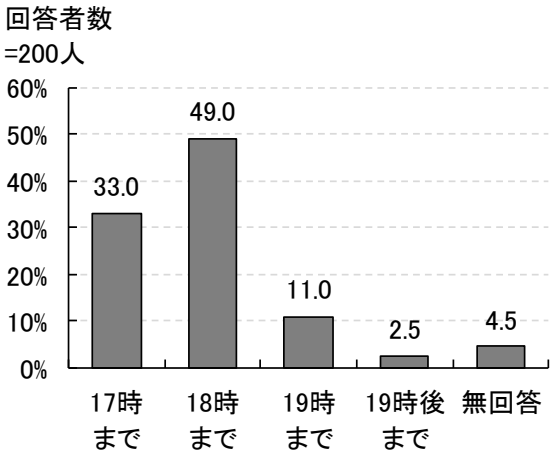
図表３－７－７　土曜日の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表３－７－８　希望開始時間（単数回答）



図表３－７－９　希望終了時間（単数回答）

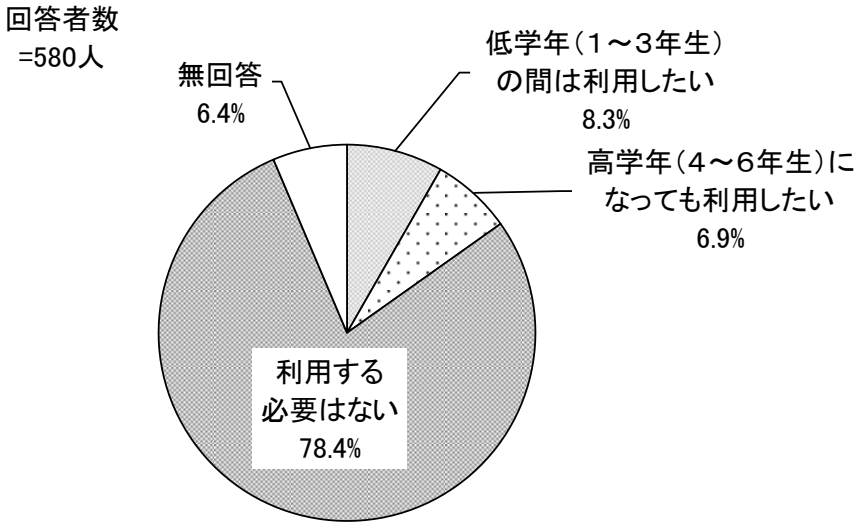


②日曜日・祝日

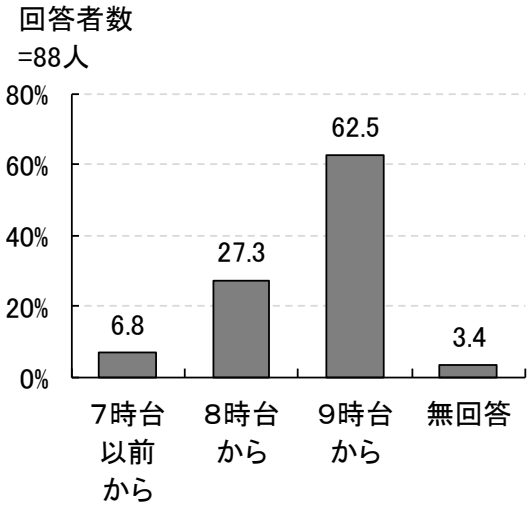
低学年時または高学年時に学童クラブの利用を希望した人の日曜日の学童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が 78.4%と最も多く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 8.3%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 6.9%となっている。

希望開始時間は、「９時台から」が 62.5%と最も多く、次いで「８時台から」が 27.3%、「７時台以前から」が 6.8%となっている。希望終了時間は、「18 時まで」が 56.8%と最も多く、次いで「17 時まで」が 25.0%、「19 時まで」が 12.5%となっている。

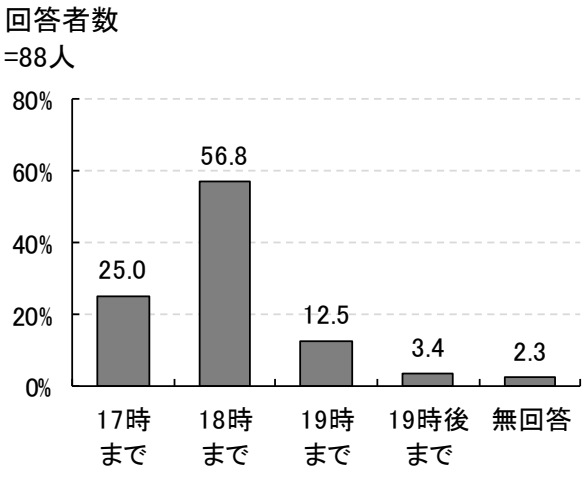
図表３－７－１０　日曜日・祝日の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表３－７－１１　希望開始時間（単数回答）



図表３－７－１２　希望終了時間（単数回答）



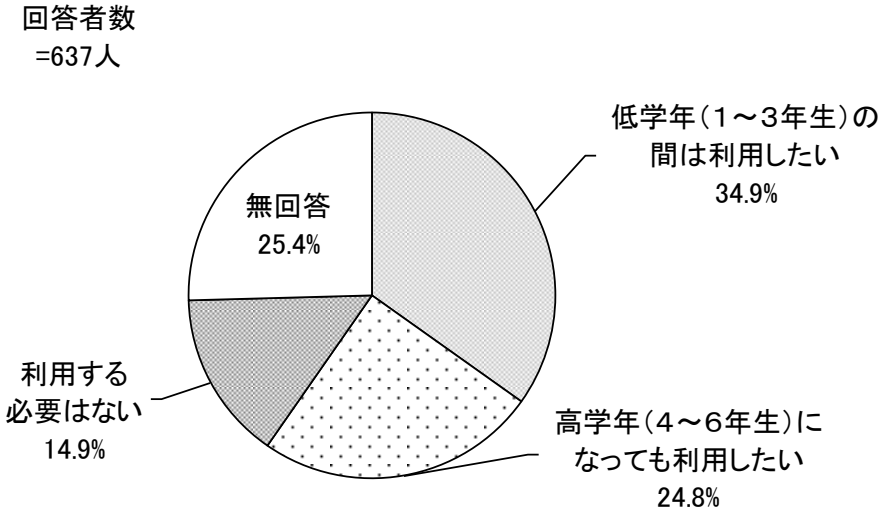
(3)夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向

問 28　あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、学童クラブの利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

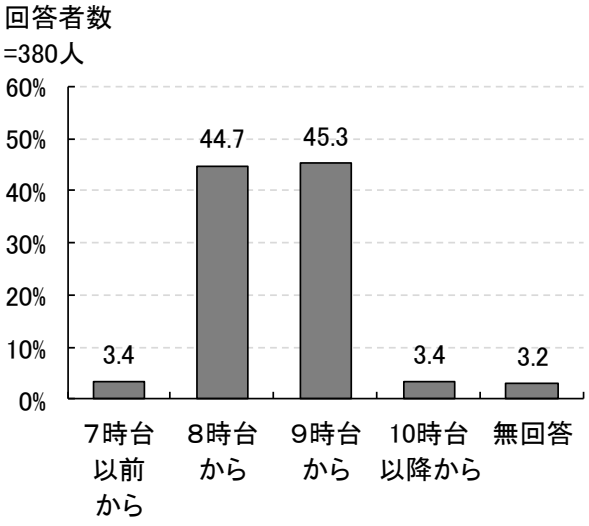
夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 34.9%と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 24.8%、「利用する必要はない」が 14.9%となっている。

希望開始時間は、「９時台から」が 45.3%と最も多く、次いで「８時台から」が 44.7%、「７時台以前から」、「10 時台以降から」が 3.4%となっている。希望終了時間は、「18 時まで」が 45.3%と最も多く、次いで「17 時まで」が 36.8%、「19 時まで」が 12.1%となっている。

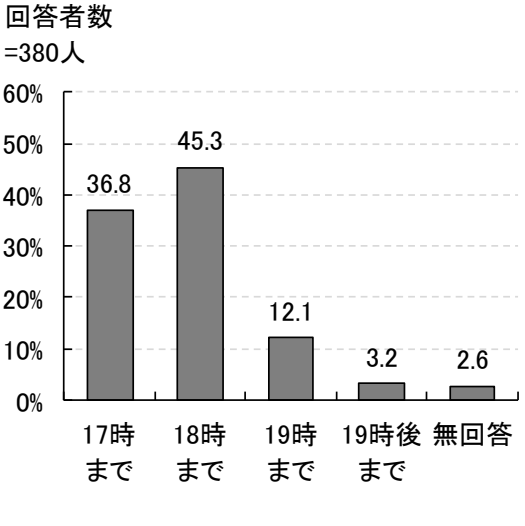
図表3－7－13　夏休み・冬休み等の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表3－7－14　希望開始時間（単数回答）



図表3－7－15　希望終了時間（単数回答）



8. 職場の両立支援制度について

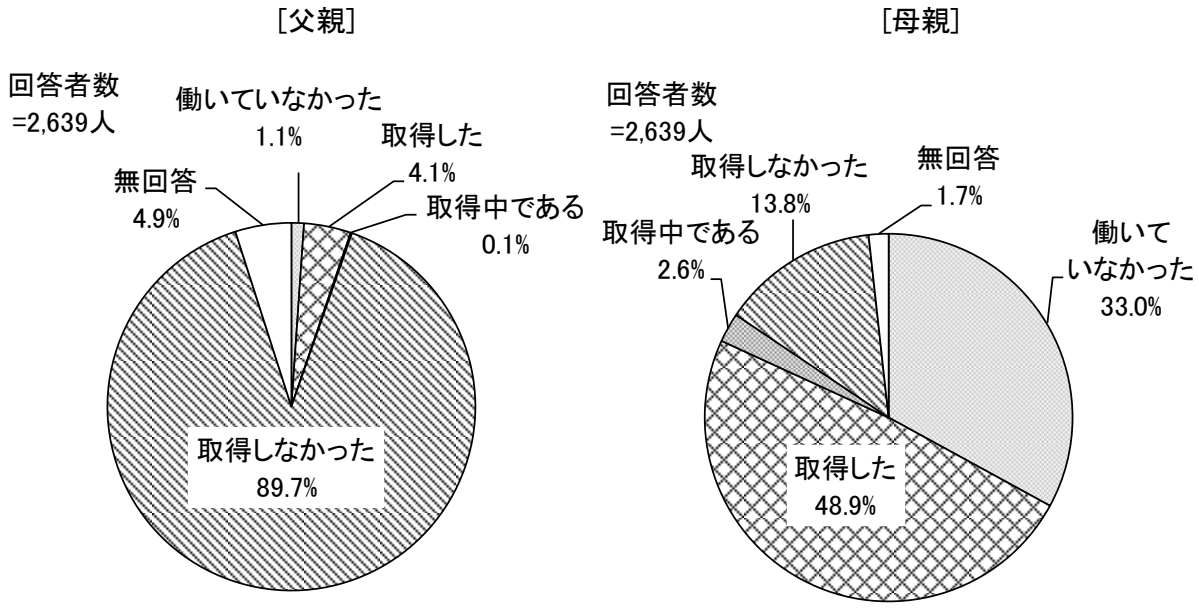
(1)育児休業の取得状況

問 29　あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親、②母親それぞれ１つに○をしてください。取得していない方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

育児休業の取得状況をみると、父親は、「取得しなかった」が 89.7%と最も多く、次いで「取得した」が 4.1%、「働いていなかった」が 1.1%となっている。

母親は、「取得した」が 48.9%と最も多く、次いで「働いていなかった」が 33.0%、「取得しなかった」が 13.8%となっている。

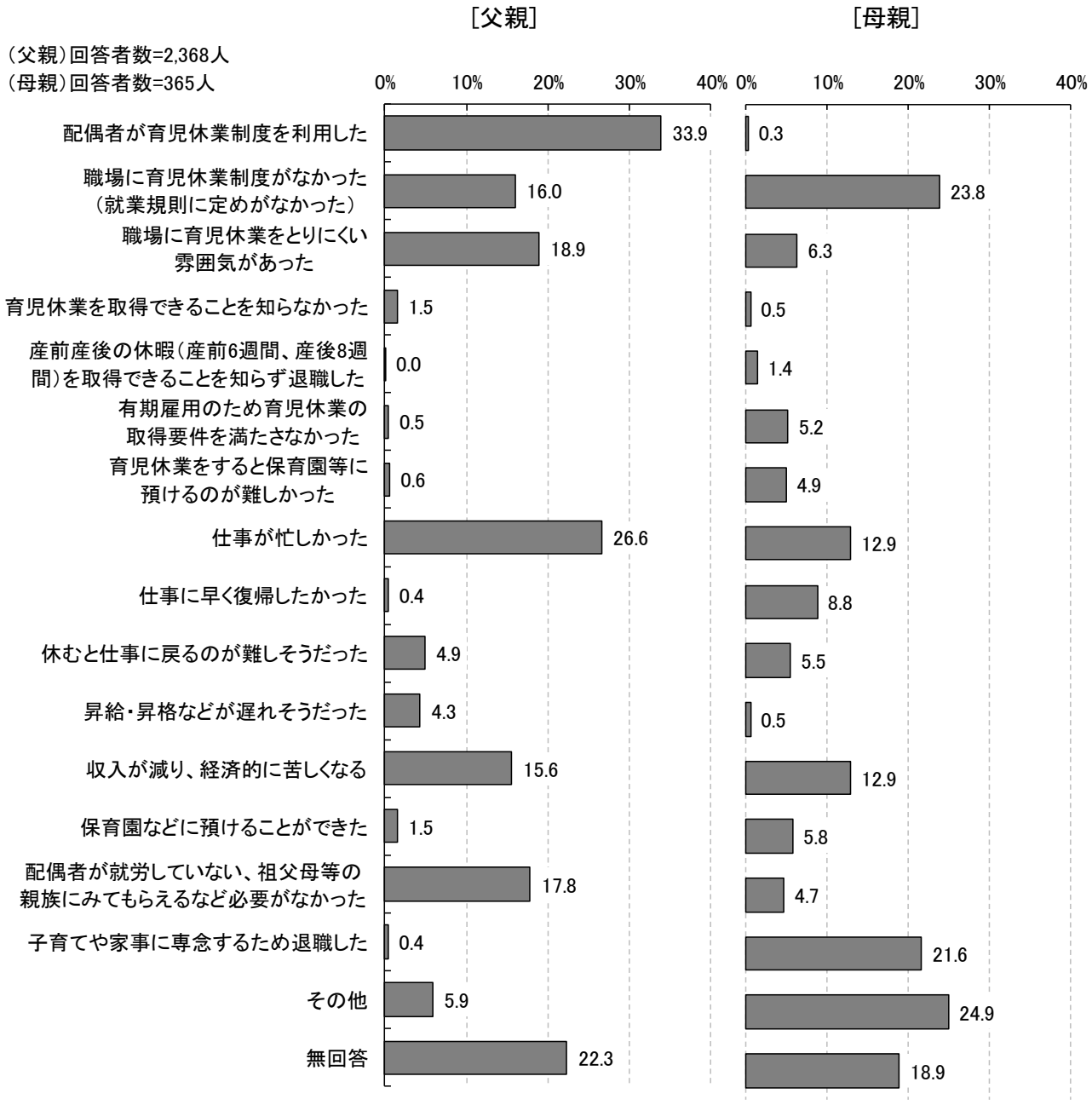
図表3－8－1　育児休業の取得状況(単数)



育児休業を取得していない理由をみると、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」が33.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が26.6%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」が18.9%となっている。

母親は、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が23.8%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が21.6%、「仕事が忙しかった」、「収入が減り、経済的に苦しくなる」が12.9%となっている。

図表3－8－2　育児休業を取得していない理由（複数回答）



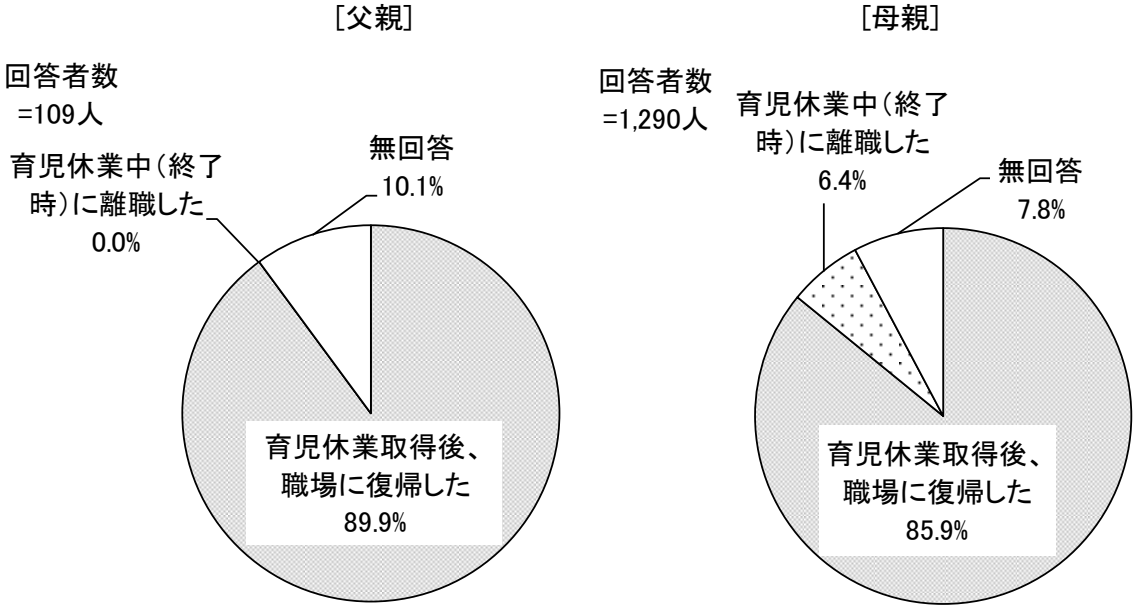
（2）育児休業を取得した人の状況

問 30　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。①父親、②母親それぞれ１つに○をしてください。

育児休業を取得した人の育児休業取得後の職場復帰状況をみると、父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 89.9%となっている。

母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 85.9%、「育児休業中（終了時）に離職した」が 6.4%となっている。

図表３－８－３　育児休業取得後の職場復帰状況（単数回答）



（3）職場復帰のタイミング

問 30-1　「１」（職場に復帰した）に○をした方に伺います。職場に復帰したタイミングとその時のお子さんの年齢はいくつですか。（○は１つ）

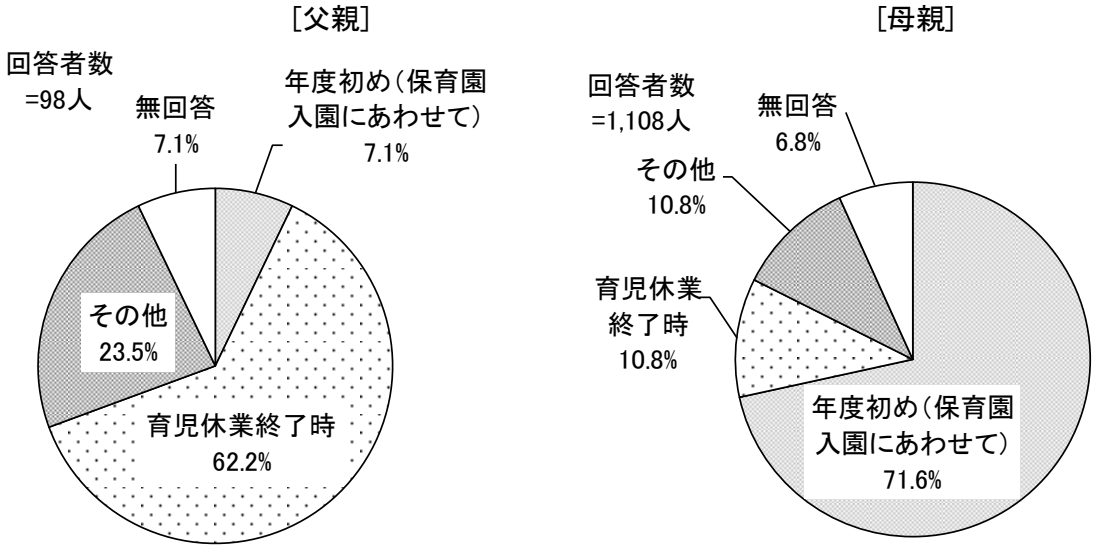
「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人の職場復帰のタイミングをみると、父親は「育児休業終了時」が 62.2%、「年度初め（保育園入園にあわせて）」が 7.1%となっている。

母親は、「年度初め（保育園入園にあわせて）」が 71.6%、「育児休業終了時」が 10.8%となっている。

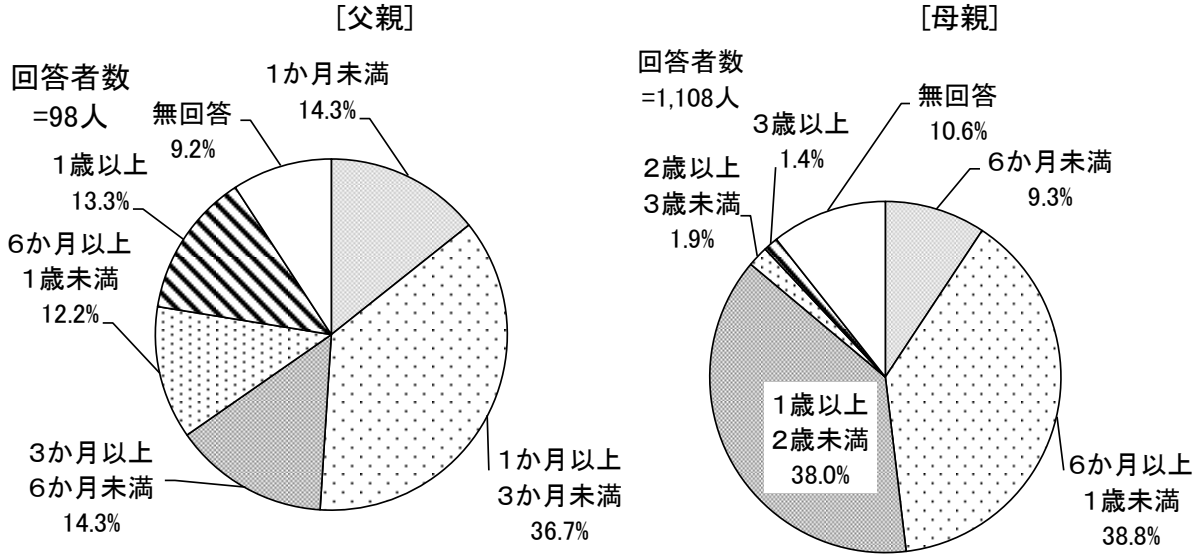
職場に復帰した時の子どもの年齢をみると、父親は「１か月以上３か月未満」が 36.7%と最も多く、次いで「１か月未満」、「３か月以上６か月未満」が 14.3%となっている。

母親は、「６か月以上１歳未満」が 38.8%と最も多く、次いで「１歳以上２歳未満」が 38.0%、「６か月未満」が 9.3%となっている。

図表3－8－4　職場復帰のタイミング（単数回答）



図表3－8－5　職場復帰時の子どもの年齢



（4）収入による母親の育児休業の取得と職場復帰の時期について

世帯ごとの想定収入（以下、想定世帯収入という。）を算出したところ、400 万円以上が 86.0%、400 万円未満が 14.0%となっている。

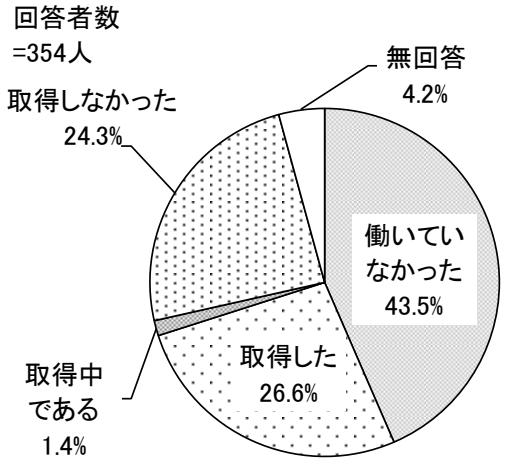
育児休業を取得したまたは取得中であると回答した母親がいる世帯を、想定世帯収入別にみると想定世帯収入 400 万円未満で 28.0%、400 万円以上で 56.1%となっている。

また、育児休業を取得したと回答した母親の職場復帰時の子どもの年齢は、想定世帯収入 400 万円未満世帯で「6 か月未満」が 16.2%、「6 か月以上 1 歳未満」が 32.4%、「1 歳以上 2 歳未満」が 36.8%となっており、想定世帯収入 400 万以上世帯で「6 か月未満」が 8.8%、「6 か月以上 1 歳未満」が 39.5%、「1 歳以上 2 歳未満」が 38.0%となっている。育児休業の取得、職場復帰時期は世帯収入によって差があると推測される。

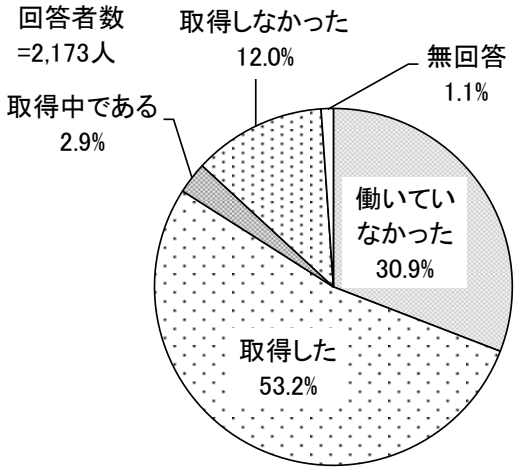
※平成 29 年国民生活基礎調査（厚生労働省）の結果より、世帯所得の中央値（442 万円）を参考とし、400 万円を基準とした。

図表３－８－６　母親の育児休業取得状況

［想定世帯収入 400 万円未満世帯］

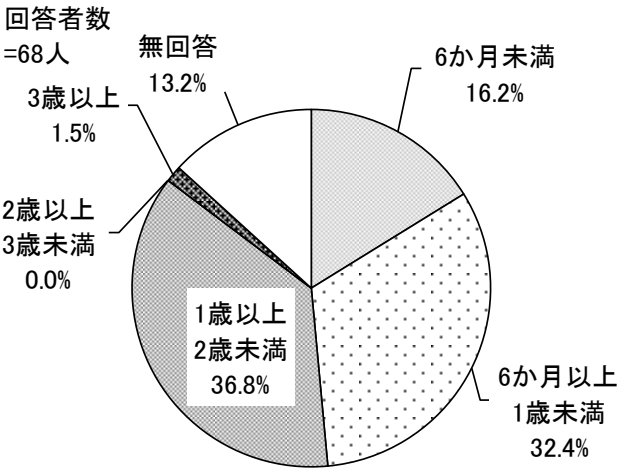


［想定世帯収入 400 万円以上世帯］

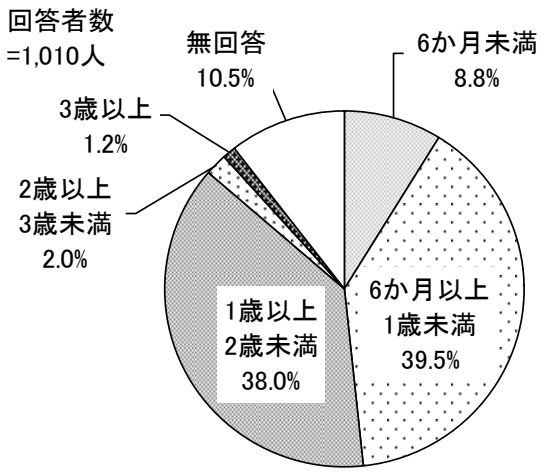


図表３－８－７　母親の職場復帰時期の子どもの年齢

［想定世帯収入 400 万円未満世帯］



［想定世帯収入 400 万円以上世帯］



(5)希望の職場復帰時期

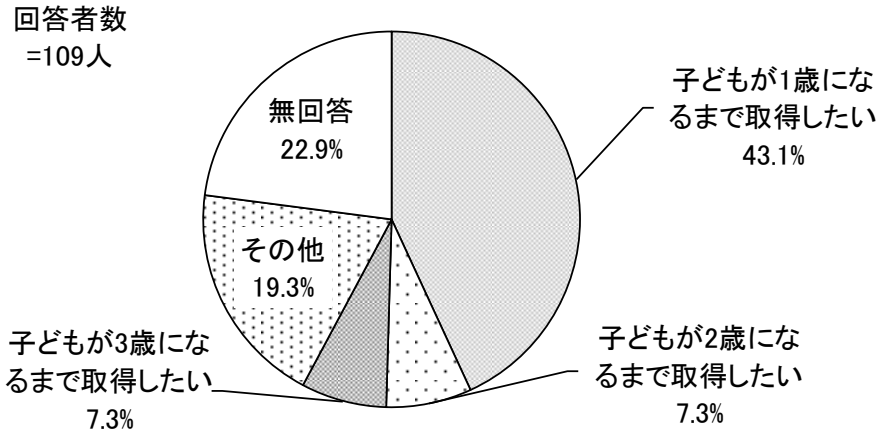
問31　仕事に復帰した際に、必ず希望の施設に入れるとしたら、いつまで育児休業を取得したいですか。（○は１つ、希望の復帰時期をお答えください。）

希望の職場復帰時期について、父親は「子どもが１歳になるまで取得したい」が43.1%と最も多く、次いで「子どもが２歳になるまで取得したい」「子どもが３歳になるまで取得したい」が7.3%となっている。

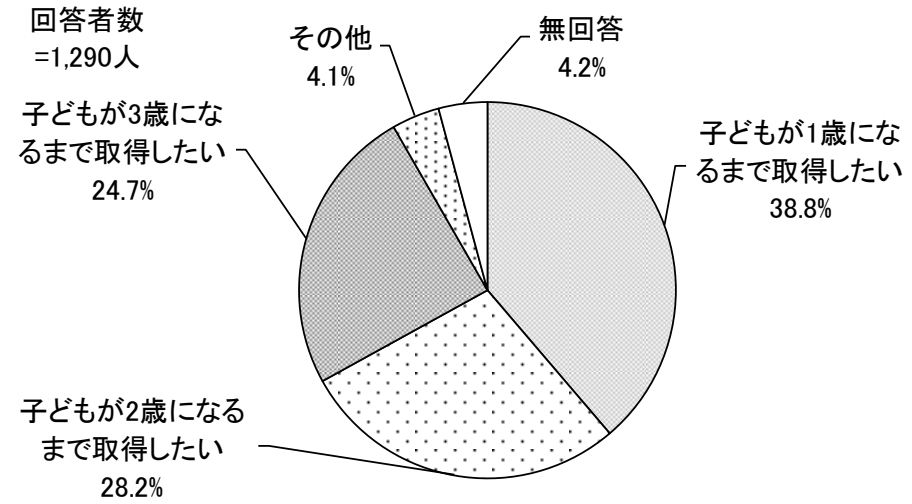
母親は、「子どもが１歳になるまで取得したい」が38.8%と最も多く、次いで「子どもが２歳になるまで取得したい」が28.2%、「子どもが３歳になるまで取得したい」が24.7%となっている。

図表3－8－8　希望の職場復帰時期

［父親］



［母親］



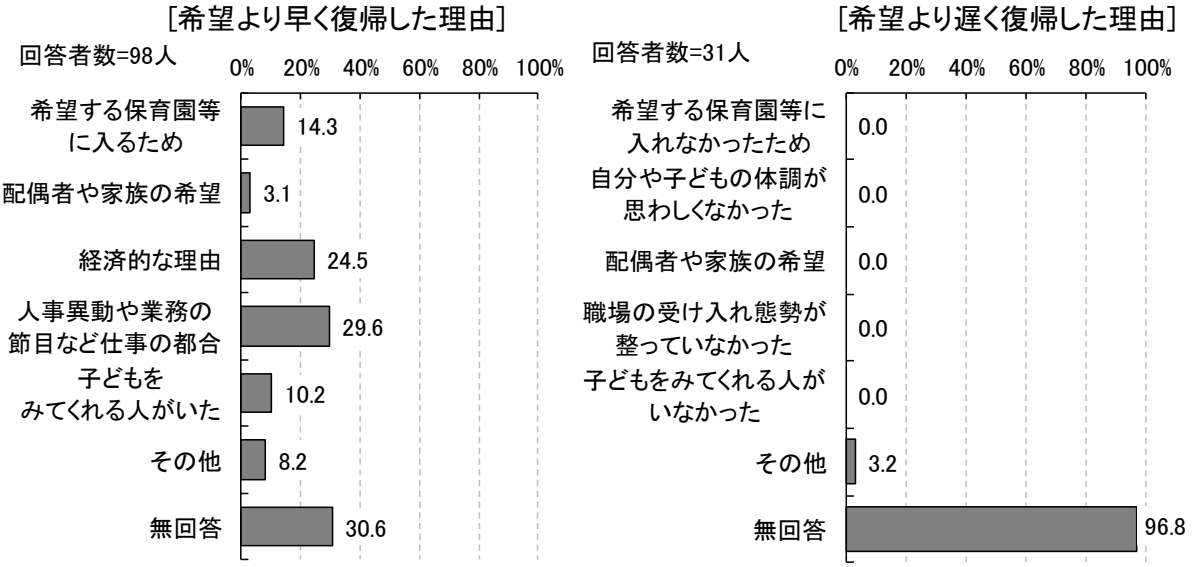
（6）希望の時期に復帰できなかった理由

問 32　希望の時期に復帰できなかった（しなかった）理由は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

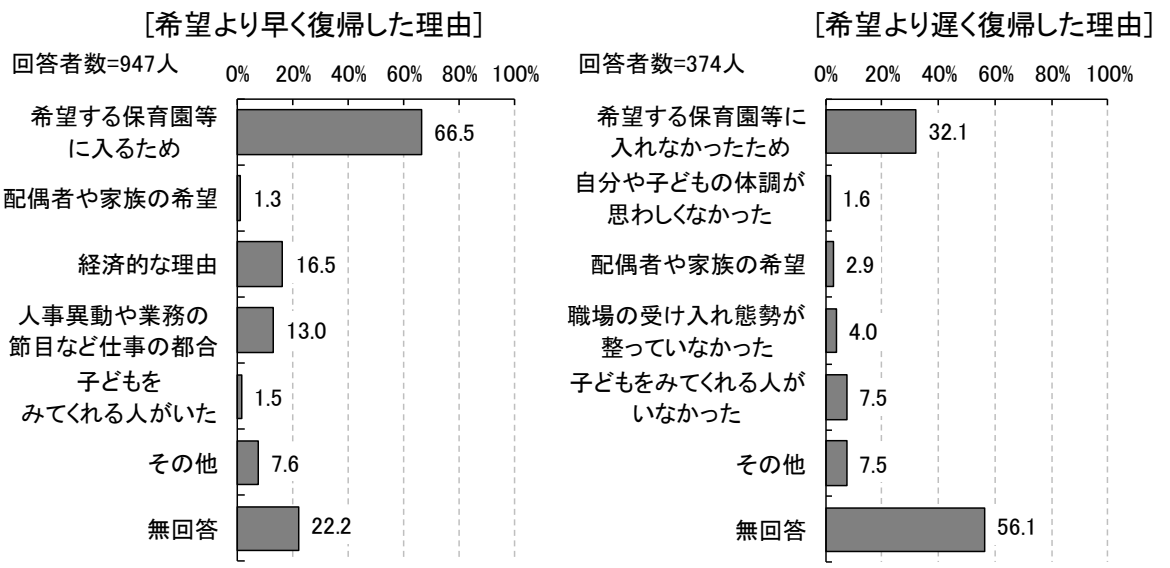
父親の希望より早く復帰した人の理由は、「人事異動や業務の節目など仕事の都合」が 29.6%と最も多く、次いで「経済的な理由」が 24.5%、「希望する保育園等に入るため」が 14.3%となっている。

母親の希望より早く復帰した人の理由は、「希望する保育園等に入るため」が 66.5%と最も多く、次いで「経済的な理由」が 16.5%、「人事異動や業務の節目など仕事の都合」が 13.0%となっている。母親の希望より遅く復帰した人の理由は、「希望する保育園等に入れなかったため」が 32.1%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかった」が 7.5%、「職場の受け入れ態勢が整っていなかった」が 4.0%となっている。

図表3－8－9　父親の希望の時期に復帰できなかった理由（複数回答）



図表3－8－10　母親の希望の時期に復帰できなかった理由（複数回答）



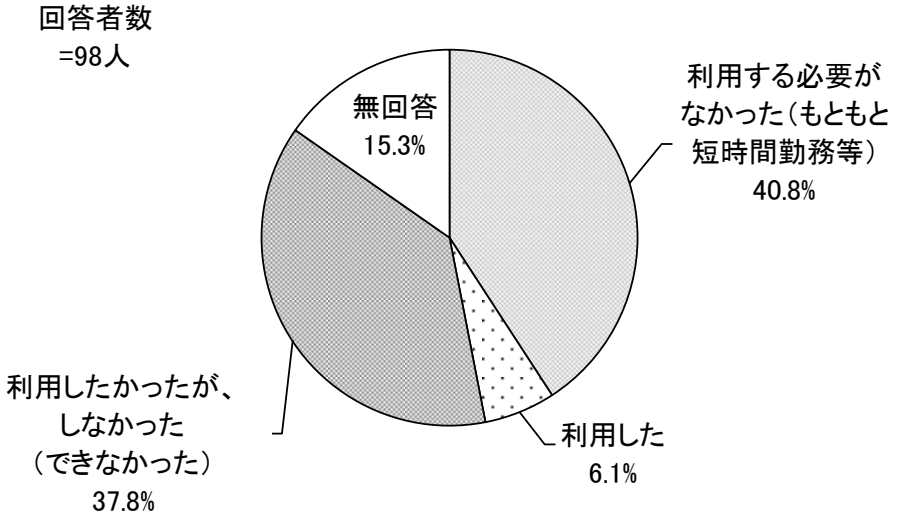
(7)短時間勤務制度の利用状況

問 33　育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。１つに○をし、利用したかったがしなかった方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

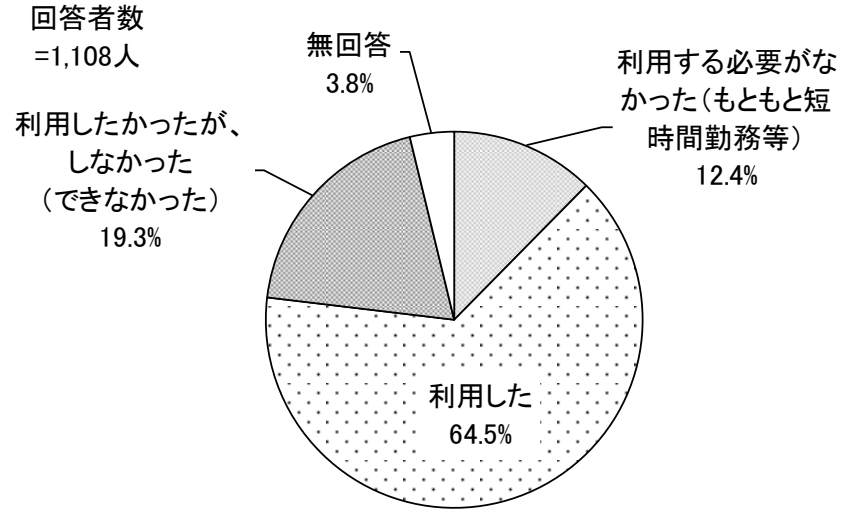
職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況について、父親は「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等）」が 40.8%と最も多く、次いで「利用したかったが、しなかった（できなかった）」が 37.8%、「利用した」が 6.1%となっている。

母親は、「利用した」が 64.5%と最も多く、次いで「利用したかったが、しなかった（できなかった）」が 19.3%、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等）」が 12.4%となっている。

図表３－８－１１　父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況（単数回答）



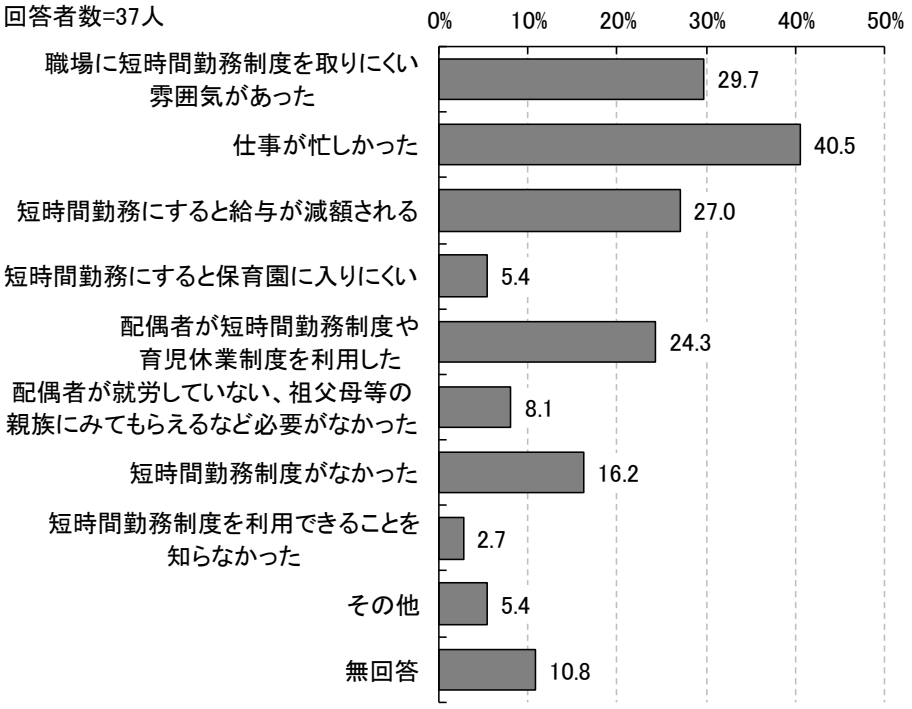
図表３－８－１２　母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況（単数回答）



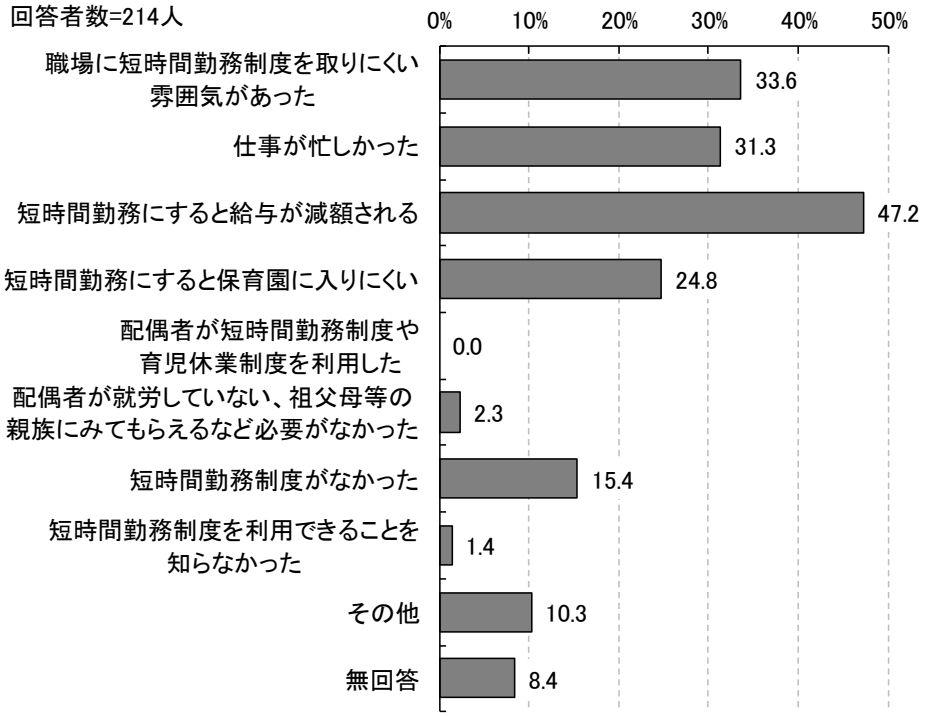
短時間勤務制度を利用しなかった理由は、父親では「仕事が忙しかった」が 40.5%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 29.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 27.0%となっている。

母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」が 47.2%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 33.6%、「仕事が忙しかった」が 31.3%となっている。

図表３－８－１３　父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）



図表３－８－１４　母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）



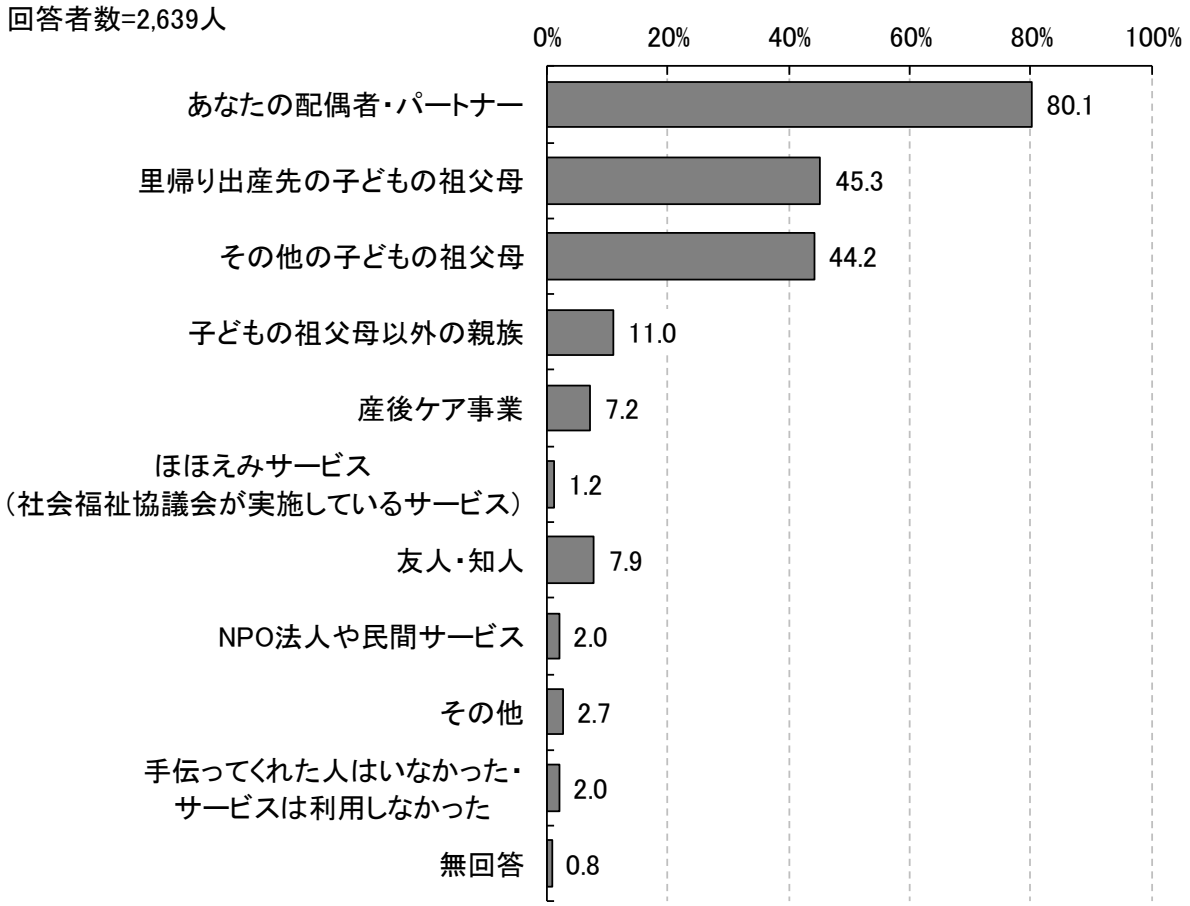
9. 子育て支援全般について

(1)出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無

問 34　あて名のお子さんの出産直後に、お子さんの子育てや家事を手伝ってくれた人や利用したサービスはありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無は、「あなたの配偶者・パートナー」が 80.1%と最も多く、次いで「里帰り出産先の子どもの祖父母」が 45.3%、「その他の子どもの祖父母」が 44.2%となっている。

図表3－9－1　出産直後に子育てや家事を手伝ってくれた人等の有無（複数回答）



(2)子どもと接する時間

問 35　仕事のある日にあて名のお子さんと接する時間は、どのくらいありますか。また、その時間はどのくらいが理想だと思っていますか。①父親、②母親それぞれ１つに○をしてください。

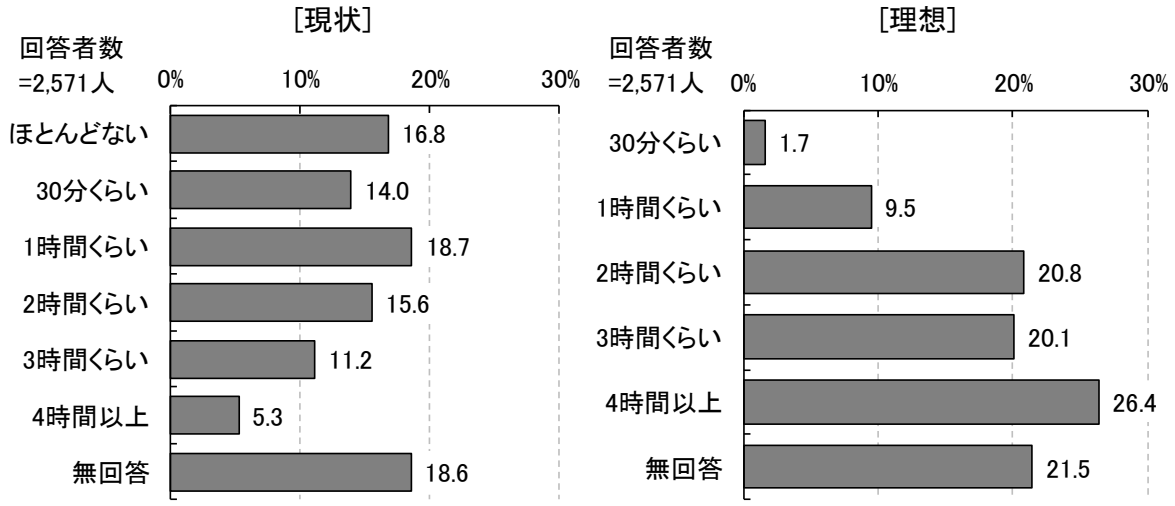
現状の子どもと接する時間をみると、父親は「１時間くらい」が 18.7%と最も多く、次いで「ほとんどない」が 16.8%、「２時間くらい」が 15.6%となっている。

母親は、「４時間以上」が 48.8%と最も多く、次いで「３時間くらい」が 29.1%、「２時間くらい」が 10.6%となっている。

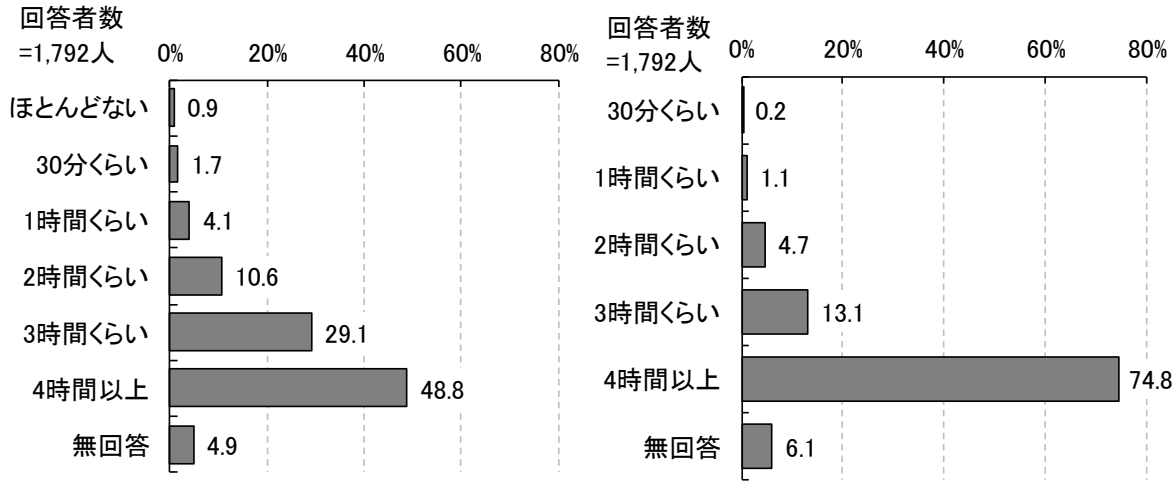
子どもと接する時間の理想は、父親は「４時間以上」が 26.4%と最も多く、次いで「２時間くらい」が 20.8%、「３時間くらい」が 20.1%となっている。

母親は、「４時間以上」が 74.8%と最も多く、次いで「３時間くらい」が 13.1%、「２時間くらい」が 4.7%となっている。

図表３－９－２　父親が子どもと接する時間（各単数回答）



図表３－９－３　母親が子どもと接する時間（各単数回答）

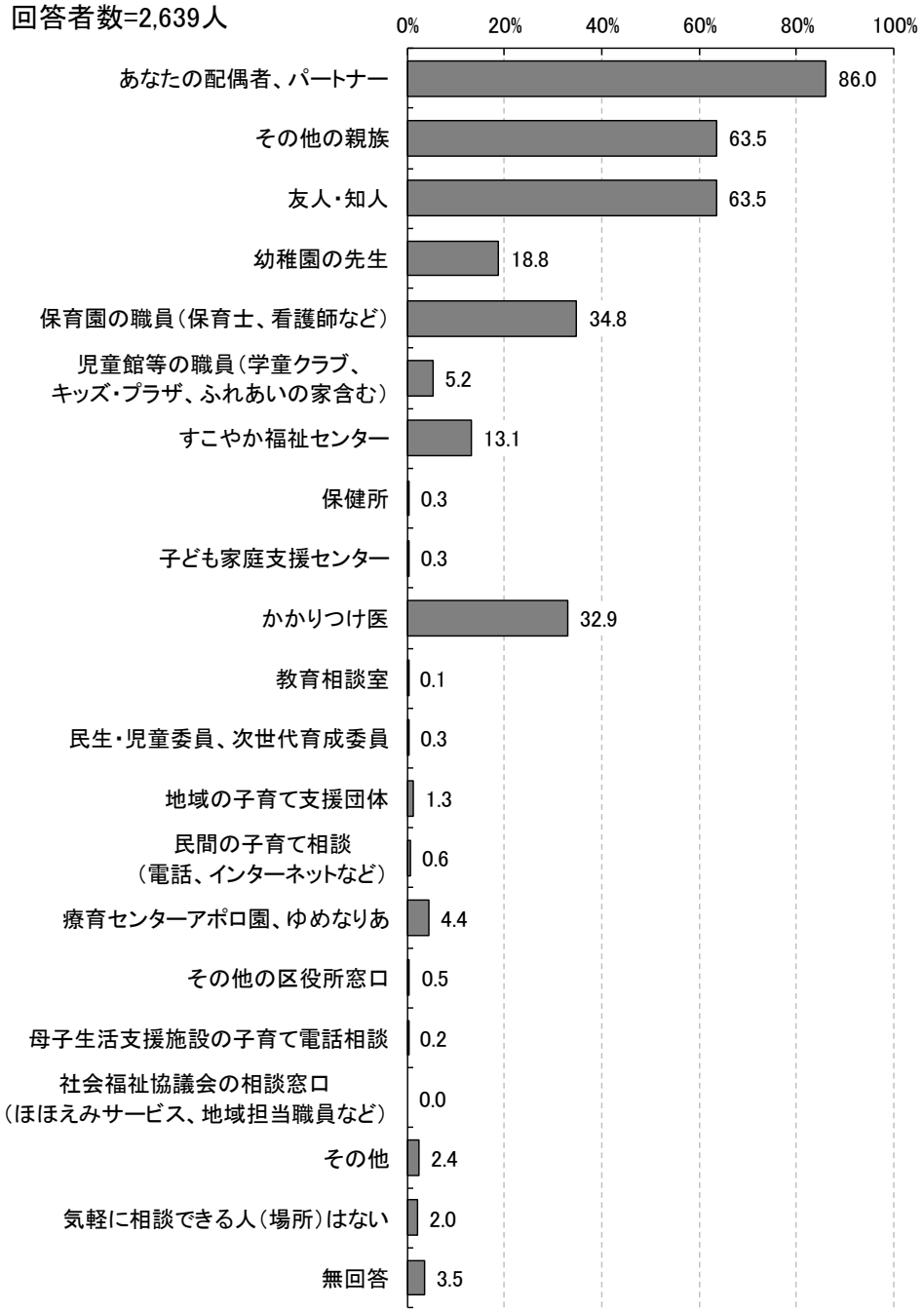


(3)子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所

問 36　あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
また、どのようなことを相談しましたか。下の「相談した内容」から番号を選択し、⇒以降の（　　）内に番号を記入してください。

子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「あなたの配偶者、パートナー」が 86.0%と最も多く、次いで「その他の親族」、「友人・知人」が 63.5%となっている。

図表3－9－4　子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）
回答者数=2,639人



相談相手ごとの相談内容をみると、「あなたの配偶者、パートナー」、「その他親族」、「友人・知人」に対しては、「子どもの健康や病気」が最も多くなっている。

「幼稚園の先生」、「保育園の職員」、「児童館等の職員」、「すこやか福祉センター」に対しては、「子どもの発達」が最も多くなっている。

図表3－9－5 相談相手ごとの相談内容（複数回答）

単位（%）

	回答者数（人）	子どもの健康や病気	子どもの発達	子どものしつけ	子育て仲間がいないこと	子育てが精神的に負担になっていること	子どもとの時間が十分にとれないこと	仕事や自分のことが十分にできないこと	子どもの勉強や成績
あなたの配偶者、パートナー	2,270	76.8	62.8	73.7	4.5	18.9	11.3	27.7	25.6
その他の親族	1,677	70.6	54.9	56.1	2.8	11.2	8.1	15.3	13.1
友人・知人	1,675	54.6	52.4	54.3	2.2	10.6	8.0	18.2	15.8
幼稚園の先生	496	31.9	58.3	50.8	1.4	1.8	2.2	1.2	10.5
保育園の職員	919	54.8	60.5	55.6	0.2	2.2	3.7	1.7	2.8
児童館等の職員	138	39.9	60.9	37.0	3.6	5.8	1.4	2.2	3.6
すこやか福祉センター	347	39.8	67.1	21.9	1.4	8.6	1.7	3.5	2.0
保健所	9	33.3	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子ども家庭支援センター	8	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
かかりつけ医	868	87.0	39.3	2.8	0.3	1.0	0.3	0.6	0.9
教育相談室	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生・児童委員、次世代育成委員	7	14.3	57.1	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
地域の子育て支援団体	33	51.5	57.6	48.5	3.0	15.2	15.2	12.1	9.1
民間の子育て相談	16	37.5	37.5	25.0	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0
療育センターアポロ園、ゆめなりあ	116	19.0	89.7	21.6	0.9	2.6	0.0	0.0	3.4
その他の区役所窓口	13	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母子生活支援施設の子育て電話相談	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会福祉協議会の相談窓口	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

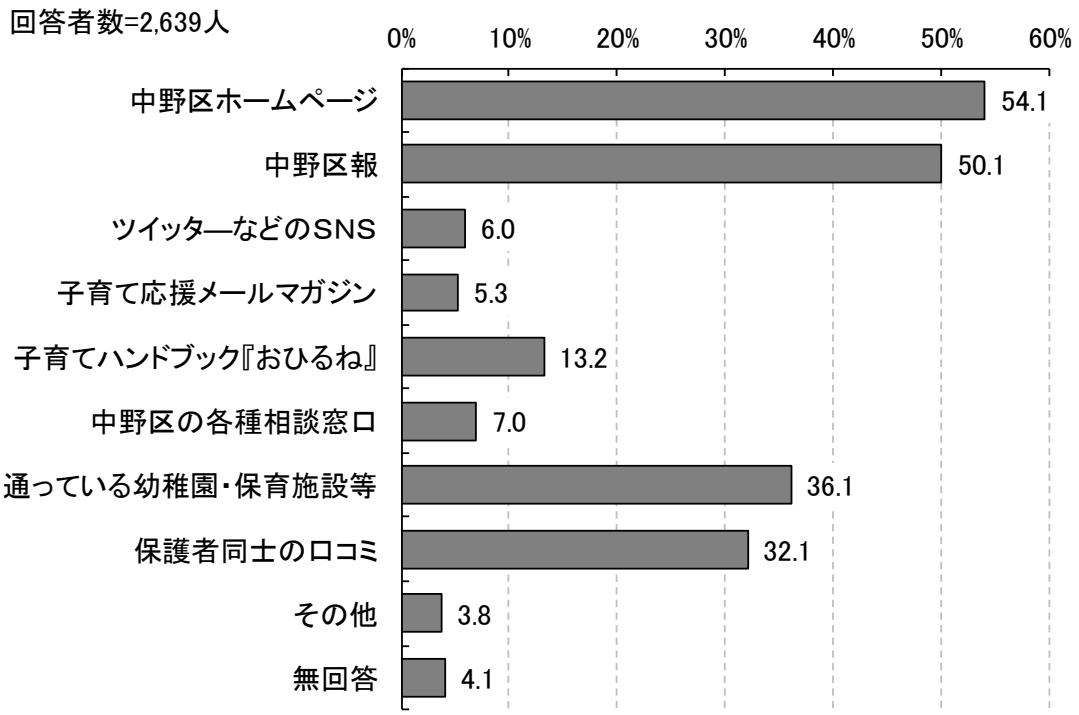
	回答者数（人）	子どもへの接し方がわからないこと	子育てに自信が持てないこと	子育てで配偶者と意見があわないこと	保護者同士の人間関係	自分や家族の健康状態	子育ての経済的負担	その他	無回答
あなたの配偶者、パートナー	2,270	9.3	12.6	8.4	19.4	33.3	27.6	6.0	7.9
その他の親族	1,677	6.6	9.5	16.5	10.3	25.0	13.2	3.8	9.4
友人・知人	1,675	7.0	8.7	19.3	16.7	11.5	7.9	5.0	11.0
幼稚園の先生	496	7.1	5.4	1.2	2.4	2.8	0.8	2.2	16.1
保育園の職員	919	8.2	4.2	2.7	1.7	2.9	0.3	1.4	15.9
児童館等の職員	138	8.7	9.4	2.9	2.9	3.6	0.7	4.3	14.5
すこやか福祉センター	347	9.2	10.4	3.7	3.5	4.3	1.4	3.5	10.4
保健所	9	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1
子ども家庭支援センター	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0
かかりつけ医	868	1.0	0.8	0.5	0.8	7.7	0.2	0.6	8.6
教育相談室	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生・児童委員、次世代育成委員	7	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0
地域の子育て支援団体	33	30.3	33.3	15.2	18.2	15.2	3.0	12.1	12.1
民間の子育て相談	16	25.0	18.8	18.8	18.8	18.8	0.0	6.3	12.5
療育センターアポロ園、ゆめなりあ	116	18.1	5.2	1.7	0.9	0.0	0.0	2.6	8.6
その他の区役所窓口	13	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	61.5	23.1
母子生活支援施設の子育て電話相談	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0
社会福祉協議会の相談窓口	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（4）情報の入手方法

問 37　区内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
（あてはまる番号すべてに○）

情報の入手方法をみると、「中野区ホームページ」が 54.1％と最も多く、次いで「中野区報」が 50.1％、「通っている幼稚園・保育施設等」が 36.1％となっている。

図表３－９－６　情報の入手方法（複数回答）

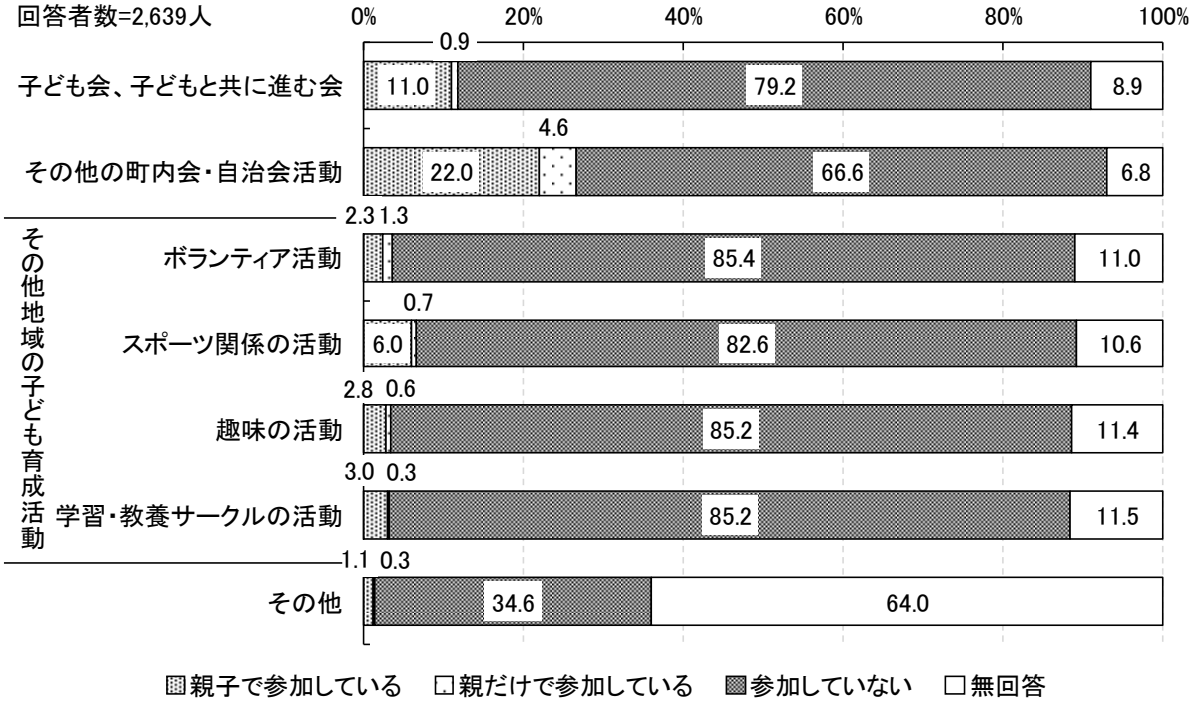


(5)地域活動への参加状況と参加意向

問 38　地域の一員として、どのような内容の地域の子どもの育成活動に参加していますか。また、それらの活動について、今後どのように活動していきたいですか。活動ごとに、A・B それぞれ１つに○をしてください。

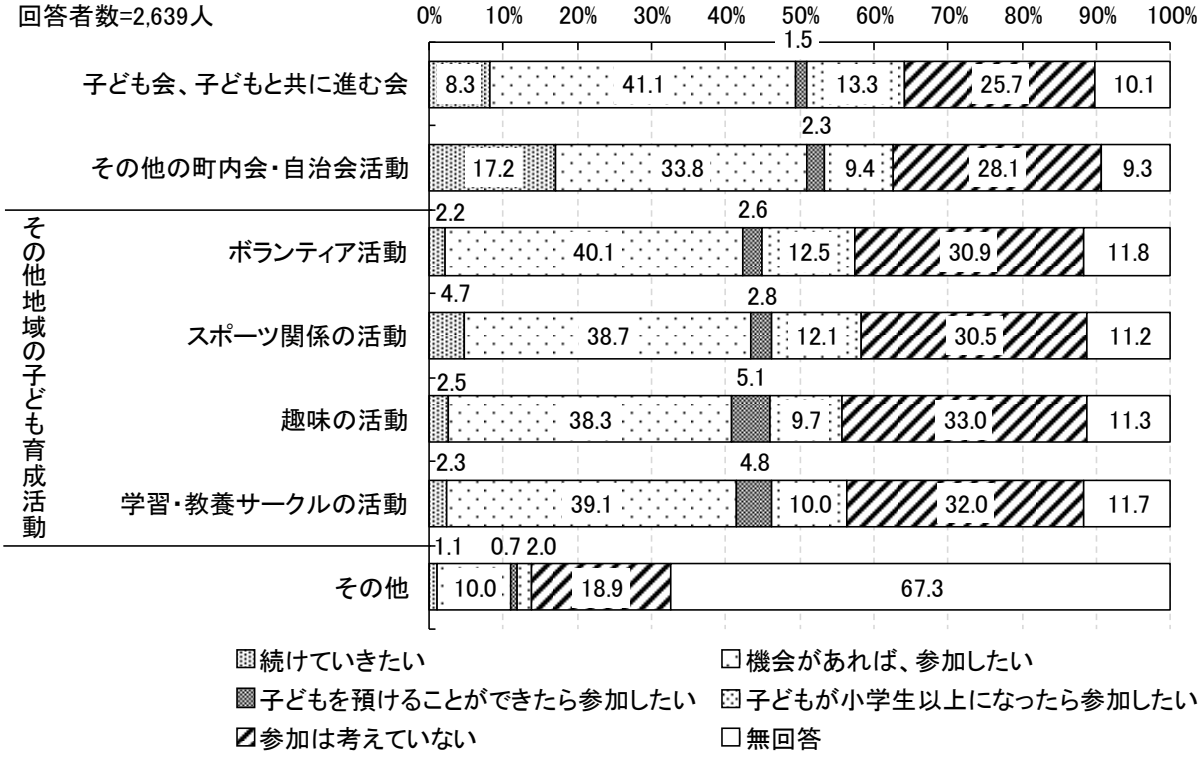
地域の子どもの育成活動への参加状況をみると、いずれの活動においても「参加していない」が最も多くなっているが、参加している人では「その他の町内会・自治会活動」に「親子で参加している」が最も多く 22.0%となっている。次いで「子ども会、子どもと共に進む会」に「親子で参加している」が 11.0%となっている。

図表3－9－7　地域の子どもの育成活動への参加状況（各単数回答）



今後の参加意向をみると、いずれの活動においても「機会があれば、参加したい」が最も多く、「子ども会、子どもと共に進む会」が 41.1%、「その他の町内会・自治会活動」が 33.8%、「ボランティア活動」が 40.1%、「スポーツ関係の活動」が 38.7%、「趣味の活動」が 38.3%、「学習・教養サークルの活動」が 39.1%となっている。「参加は考えていない」は、「子ども会、子どもと共に進む会」が 25.7%、「その他の町内会・自治会活動」が 28.1%、「ボランティア活動」が 30.9%、「スポーツ関係の活動」が 30.5%、「趣味の活動」が 33.0%、「学習・教養サークルの活動」が 32.0%となっている。

図表３－９－８ 地域の子どもの育成活動への今後の参加意向（各単数回答）

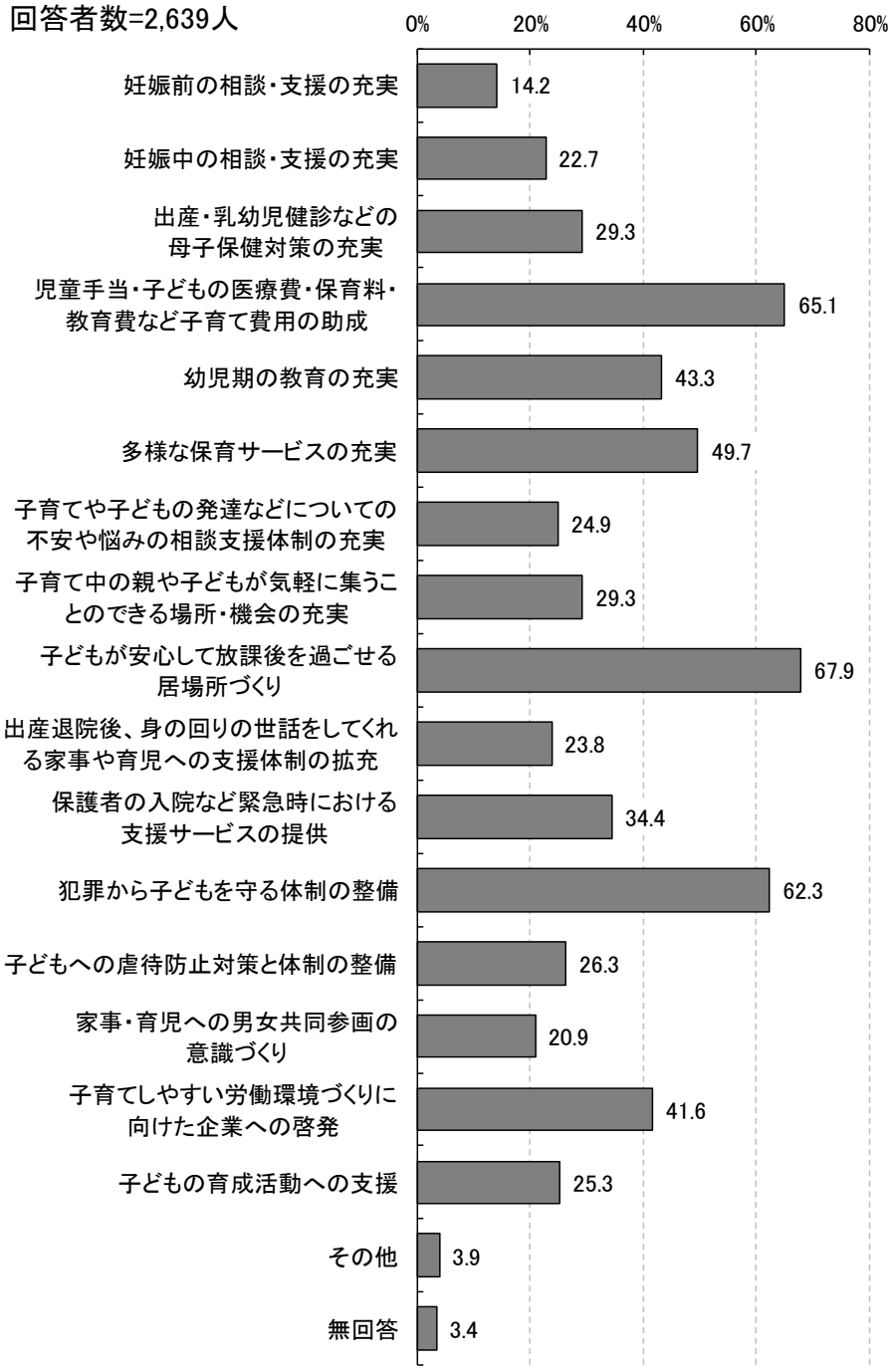


(6)進めてほしい子育て支援策

問 39　今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。
（あてはまる番号すべてに○）

子育て支援策として望むことをみると、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が 67.9%と最も多く、次いで「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が 65.1%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」が 62.3%となっている。

図表3－9－9　子育て支援策として望むこと(複数回答)



(7)区の子育て支援策に関する意見・要望

問 40　区の子育て支援策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

（1738 件について分類・要約して記載）

1)保育・教育・子育て支援サービスについて　543 件

①保育園の増設・待機児童について　73件

○働く時間の多い、少ないに関わらず、希望する全員が、認可保育園に入れるようにするべきだと思います。

○保育の質を下げずに待機児童対策に力を入れて欲しい。

○保育園の心配をせず、育休期間や育児を楽しむことができるようになることを望みます。

②子育て支援サービスについて　122件

○病児保育の施設を増やして欲しい。

○ファミリー・サポート事業を利用したいと思いましたが、ほぼ初対面となる人に預けることに不安があり、利用できませんでした。協力会員の方々とふれあえる場を作って頂けるとハードルが低くなるかなと思いました。

○核家族が増えていると思うので、子どもを手軽に預けられるサービスを充実させてもらえると有難いです。

○一時保育をもっと気軽に利用できるようにして欲しい。

○ファミリー・サポート事業の登録をもっと簡単にして欲しいです。

○理由を問わない土日の一時保育サービスがあると、とても助かります。

③子育て情報・相談について　86件

○区の窓口に何度か相談に行きましたが、担当の方によって違う案内をされ、手続きが無効となったり、希望通りに申し込めなかったりしたことがありました。区民にとってわかりやすい、利用しやすく窓口にして欲しいです。

○土、日曜日に相談できる支援施策を充実させて欲しい。

○妊娠、出産期には区の施設等に出向くことがなかなか出来ません。SNS やインターネットで分かりやすく情報を開示して欲しいと思います。

④保育サービスについて　100件

○教育・福祉の分野への投資は未来への大切な投資と考え、保育施設等の安易で早急な民営化はやめてもらいたい。

○土日関係なく就労しているため、認可保育園での土日利用をできるようにして欲しい。

○保育料を減額して欲しい。

○休日保育を毎週利用しているのですが、延長保育があると助かります。

⑤幼稚園について　162件

○私立の幼稚園に通っていますが、延長保育の料金が高くて困っています。上限額を決めたり、助成金が出ると助かります。

○幼稚園に子どもを預けながら仕事をするのは本当に大変です。お預かり保育を無料にしてほしい。

○幼稚園に入れたくても、長期休暇中の預かり保育先や早期の夕方の延長保育ができないため、保育園に入れざるを得ません。その辺のサポートをもう少し充実してもらえると、共働き世帯には嬉しいと思います。

2）居場所・遊び場について　392 件

○ボールを使って遊べる公園や広場がなかなか無く、鬼ごっこ、野球やサッカーをすると注意されたと子どもが言っています。子どもが安心しておもいっきり遊べる場所を作って欲しい。

○児童館の充実をお願いします。自宅以外の子どもの行き場が少なく休みの日に親と子どもが集える児童館は必要です。

○小学生の子どもたちが過ごせる場所をもっと増やして欲しい

○幼稚園に通っている子ども達にとってみると、児童館は少なくなり、居場所がなくなっていると思います。

○児童館は、特に小学生にとって大事な場所です。子どもの施設、サービスは縮小することないようにしていただきたいと思います。

○すこやか福祉センターの子育てひろばを日曜日も開いて欲しいです。

○中部すこやか福祉センターは場所が遠い上にアクセスも悪く大変不便です。

○すべての小学校にキッズプラザを早急に設置して欲しい。

○雨の日、寒い時期にも親子が楽しめる場所となる施設があると良いです。

○共働きで子育てしている世帯が増えている影響で小学生が夏休みに過ごす場が少なくなっています。学童以外でも過ごせる場があってもいいと思います。

○子どもがのびのび遊ぶことができるような、プレーパークや公園などを造って欲しい。

○公園に遊具をもっと置いてほしい。

○親子で気軽に出かけられるカフェ、遊び場を増やして欲しい。

3）経済的負担の軽減・助成について　146 件

○子育てに必要な費用の助成金を充実して欲しいです。

○子育てに関する助成金などは、所得制限を無くして欲しい。所得の高い低いに関わらず、公平なサービスが増えることを希望します。

○妊婦健診への助成の充実を希望します。

4)子育て環境について 253 件

○子どもが何人も欲しいと思っても、職場との兼ね合いや保育園への入園の不安、また経済的不安があり気軽に進めません。産んだ後復帰までの保証が出来ていれば安心して次の子が産めます。

○犯罪や不審者が増えているため、地域の情報を受けとめて、警察と連携を密にとって欲しい。

○中野駅のエレベーター設置を希望します。

○子どもが小さい事や自分の病気（難病）の事で、職場のパラハラ発言や休みの取り難さをリアルタイムで受けています。企業への啓発、対策をお願いしたい。

○働きたいママはたくさんいます。短時間でも働けるような環境ができれば嬉しいです。

○専業主婦か共働きか、自由に選べる社会になるといいと思います。

○自転車の乗り方指導をきちんとして欲しい。自転車のマナーが悪く、子どもが怪我をしそうで困っています。

5)学童クラブ・学校の教育環境について 215 件

○希望すれば誰でも学童クラブを利用できるよう、施設数を増やして欲しい。

○学童クラブは原則として小学 3 年生までとの事ですが､1 人で放課後に自宅で留守番をさせるのは不安なので 6 年生までを対象としていただきたい。

○子どもが小学生になってからの放課後の過ごし方について考えています。小学校によっては、誰でも行けるキッズ・プラザがあるとの事なので、区内全ての小学校で、そのサービスを導入して欲しい。長期休み中も利用できるとなお良い。

○学童クラブの利用可能期間を延ばして欲しい。仕事を続けて行くにあたり、不安があります。

○保育園から小学校への変化が大きいので、小学校低学年の放課後の居場所に関するサポートの充実も検討して欲しい。

○むやみに学校を統合するのではなく落ち着いた環境を作って守ってほしい。

○教育により力を入れて行ってほしいです。

6)区の子育て支援策について 109 件

○乳幼児期の子育て中のサポートが、より簡単な手続きで定期的に利用出来るようになって欲しいと願います。

○困った事があっても、該当の相談窓口がない。どこに相談していいのかわからない。

○区のホームページの子育て支援ページをもっと分かりやすくして欲しい。どんな支援があるか見て分かる方法や調べられる場所があると良いです。

○来年就学するにあたり、不安はたくさんあるので、区報等ででも情報を発出してもらえたら嬉しいです。

○土日の区役所対応を希望します。平日は仕事を休めず、手続き、相談に伺いたくても行けません。

○虐待防止に力を注いでほしい。

7）小児医療体制の充実および障害児に対する支援について 63 件

○予防接種（任意のもの）の費用を無料にしてほしい。

○子どもの病気や緊急時、すぐに対応してくれる病院が少ない。

○特別支援学級を全学校に設置して欲しい（知的・発達障害児に）。

○小中学校の先生方に障害がある子どもについての理解をより深めて頂きたい。

○障害児も受けられるショートステイ施設の充実、設備の増加をお願いします。障害児に対する知識の向上、研修等、区の窓口職員の対応など、もっと親身になってほしいです。

○療育センターを利用しています。「通所受給者証」を取得するための窓口が「障がい者～」という点にとても抵抗を覚えた。

8）その他 17 件

○中野駅周辺にある喫煙所の場所を変更して欲しい。特に中野駅北口側は信号待ちの間に煙草の煙を吸ってしまうことになり、子どもを連れている時は特に歩く所が限定されて困る。

○住民が参加しやすい開かれた地域活動や支援施策を求めています。

第４章　就学児童調査（小学校１～６年生）の結果

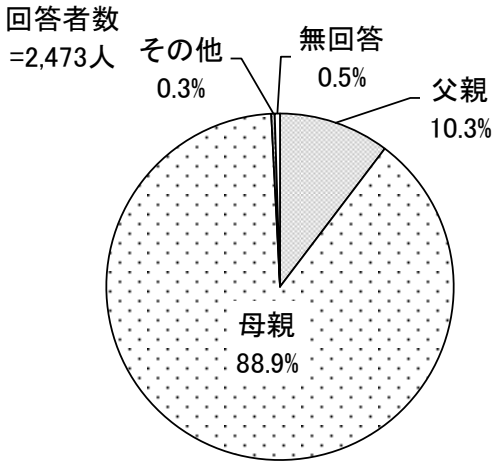
１．子どもと家族の状況について

（1）調査回答者

問１　この調査票にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。
（○は１つ）

調査回答者は、「母親」が 88.9%、「父親」が 10.3%となっている。

図表４－１－１　調査回答者（単数回答）



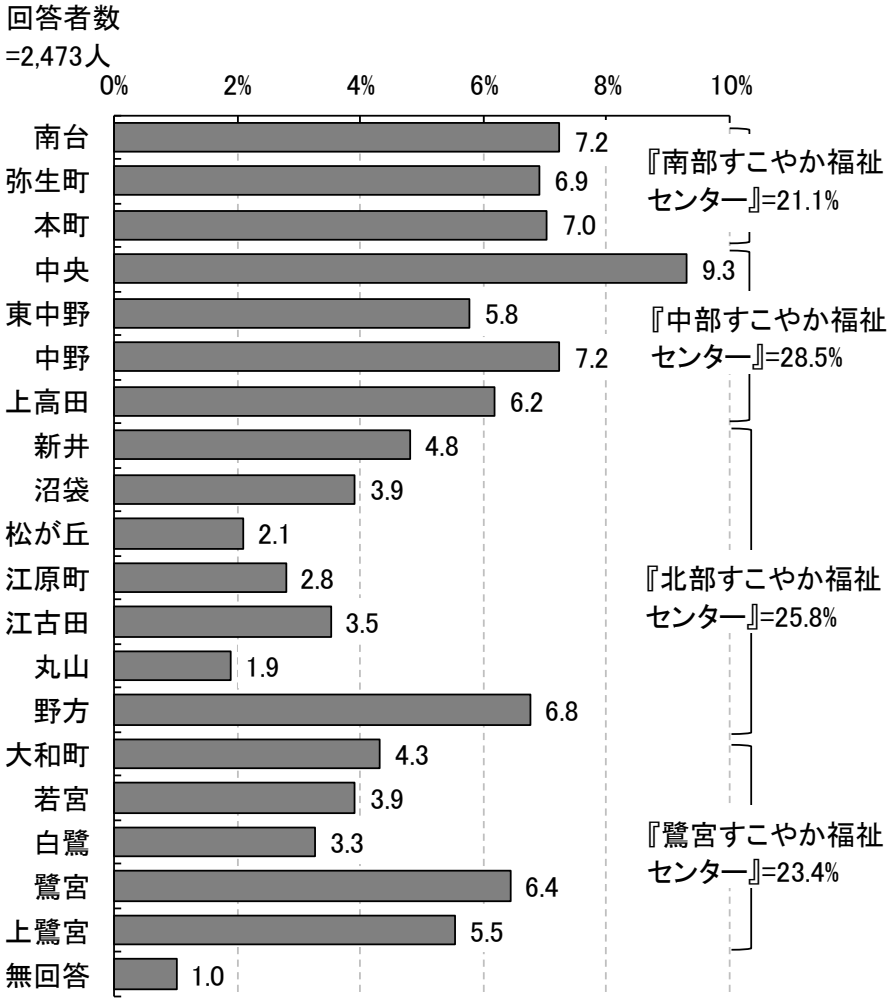
(2)居住地域

問２　お住まいの地域をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

居住地域では、「中央」が 9.3%と最も多く、次いで「南台」、「中野」が 7.2%となっている。

すこやか福祉センター管轄地域でみると、『中部すこやか福祉センター』が 28.5%で最も多く、次いで『北部すこやか福祉センター』が 25.8%、『鷺宮すこやか福祉センター』が 23.4%、『南部すこやか福祉センター』が 21.1%となっている。

図表４－１－２　居住地域（単数回答）

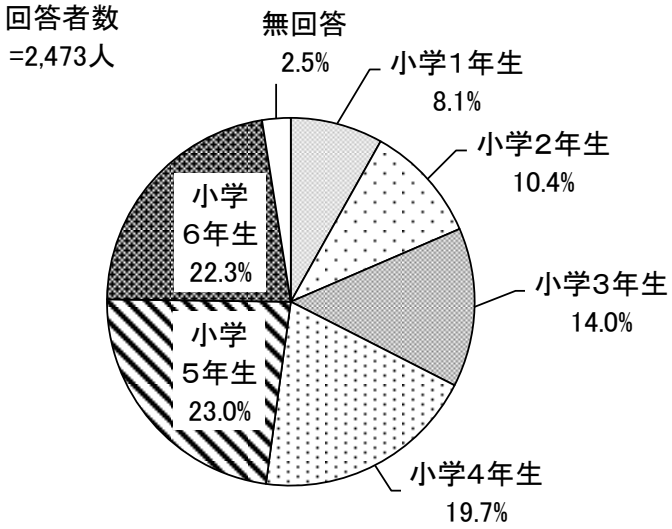


(3)子どもの学年

問３　あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。（数字を記入）

子どもの学年では、「小学５年生」が 23.0%と最も多く、次いで「小学６年生」が 22.3%、「小学４年生」が 19.7%、「小学３年生」が 14.0%、「小学２年生」が 10.4%、「小学１年生」が 8.1%となっている。

図表4－1－3　子どもの年齢（単数回答）



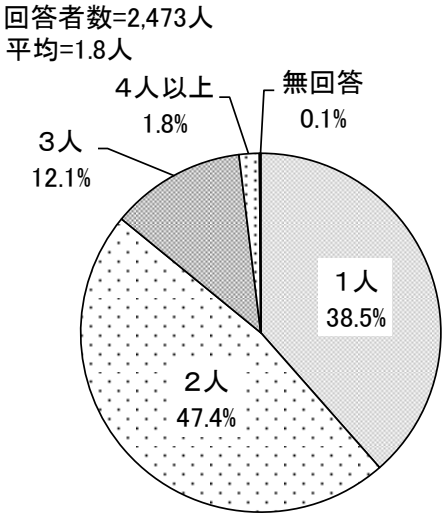
(4)子どもの人数と年齢

問４　あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。また、それぞれのお子さんの年齢をお答えください。（数字を記入）

子どもの人数は、「２人」が 47.4%と最も多く、次いで「１人」が 38.5%、「３人」が 12.1%となっており、平均は 1.8 人となっている。

兄弟が２人以上の場合の末子の年齢は、「７歳」「８歳」が 16.7%と最も多く、次いで「10歳」が 15.0%となっており、平均は 8.6 歳となっている。

図表4－1－4　子どもの人数（単数回答）

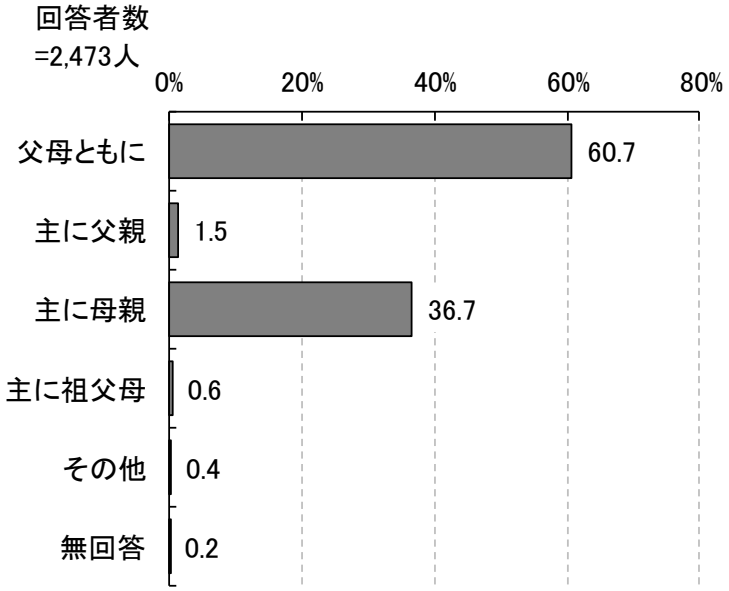


(5)子どもの主たる養育者

問５　あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は１つ）

子どもの主たる養育者は、「父母ともに」が 60.7%と最も多く、次いで「主に母親」が 36.7%、「主に父親」が 1.5%となっている。

図表４－１－５　子どもの主たる養育者（単数回答）



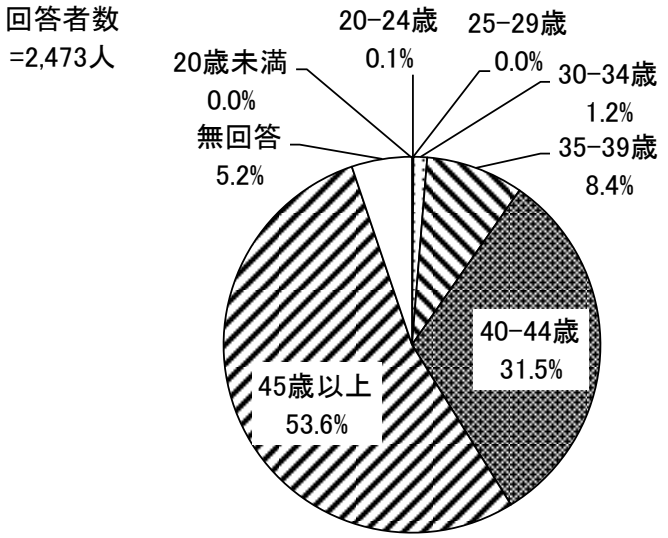
(6)保護者の年齢

問６　あて名のお子さんの父親・母親の年齢をお答えください。（○はそれぞれ１つ）

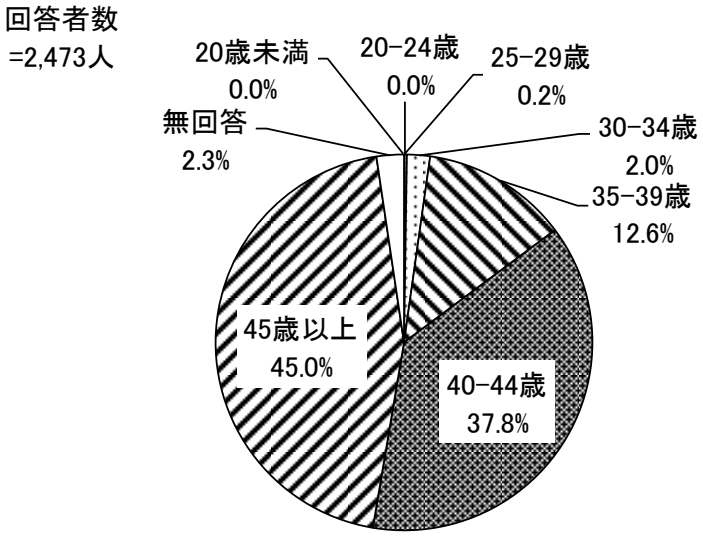
父親の年齢は、「45 歳以上」が 53.6%と最も多く、次いで「40-44 歳」が 31.5%、「35-39 歳」が 8.4%となっている。

母親の年齢は、「45 歳以上」が 45.0%と最も多く、次いで「40-44 歳」が 37.8%、「35-39 歳」が 12.6%となっている。

図表４－１－６　父親の年齢（単数回答）



図表４－１－７　母親の年齢（単数回答）



2. 保護者の就労状況について

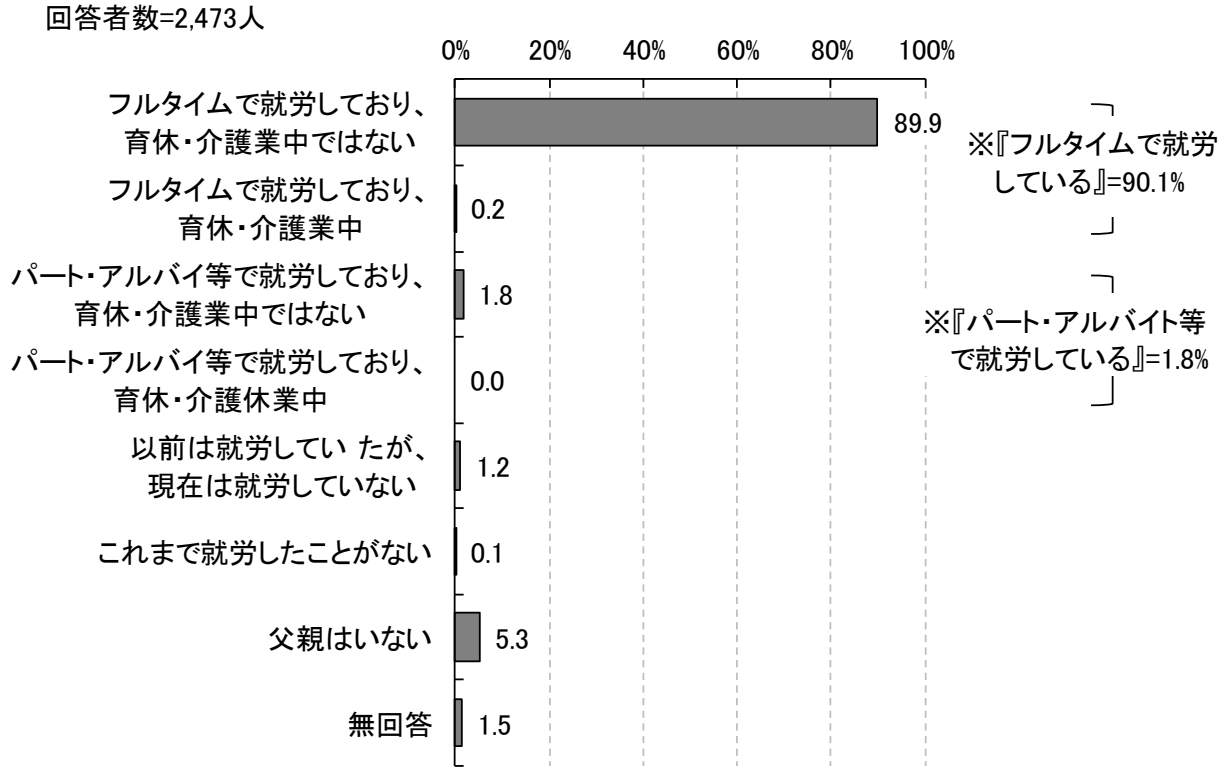
(1)父親の就労状況

①就労形態

問７　あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

「フルタイムで就労しており、育休・介護業中ではない」が 89.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイ等で就労しており、育休・介護業中ではない」が 1.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.2%となっている。

図表４－２－１　父親の就労形態（単数回答）



※『フルタイムで就労している』＝「フルタイムで就労しており、育休・介護業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、育休・介護業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』＝「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」

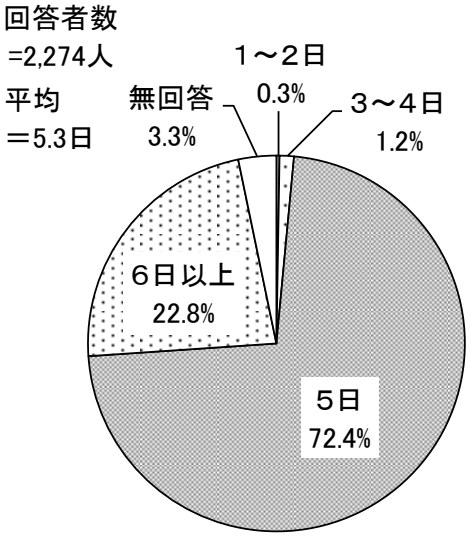
②就労状況

問 7-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④（休日の曜日）のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

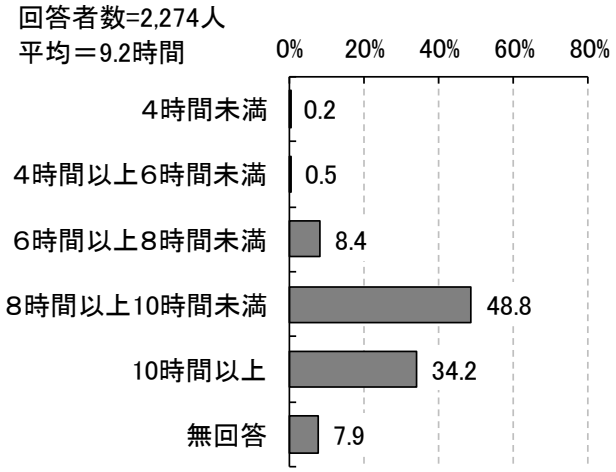
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の 1 週あたりの就労日数は、「５日」が 72.4%と最も多く、次いで「６日以上」が 22.8%、「３～４日」が 1.2%となっており、平均 5.3 日となっている。1 日あたりの就労時間は、「８時間以上 10 時間未満」が 48.8%と最も多く、次いで「10 時間以上」が 34.2%、「６時間以上８時間未満」が 8.4%となっており、平均 9.2 時間となっている。

始業時間は、「９時台」が 45.2%と最も多く、次いで「８時台」が 28.4%、「10 時以降」が 12.3%となっている。終業時間は、「12～18 時台」が 64.4%と最も多く、次いで「０～11 時台」が 8.6%、「19 時台」が 7.7%となっている。

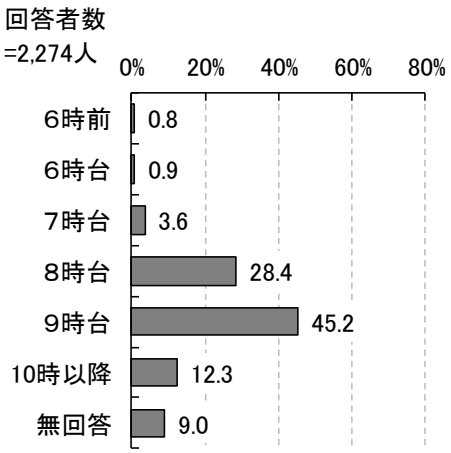
図表４－２－２　１週あたりの就労日数（単数回答）



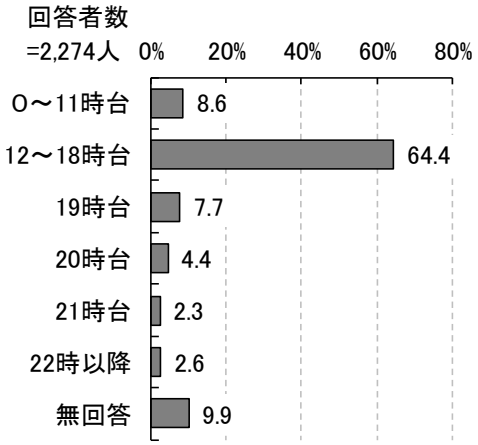
図表４－２－３　１日あたりの就労時間（単数回答）



図表４－２－４　始業時間（単数回答）



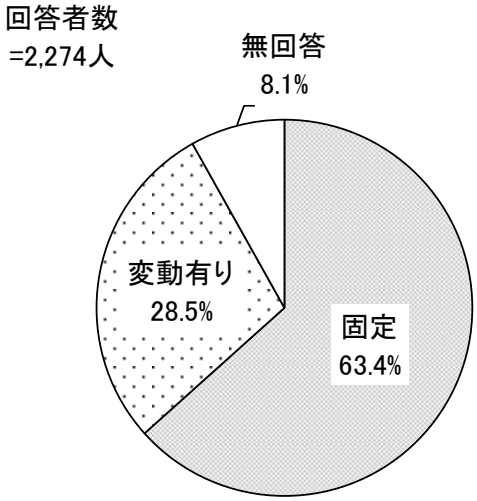
図表４－２－５　終業時間（単数回答）



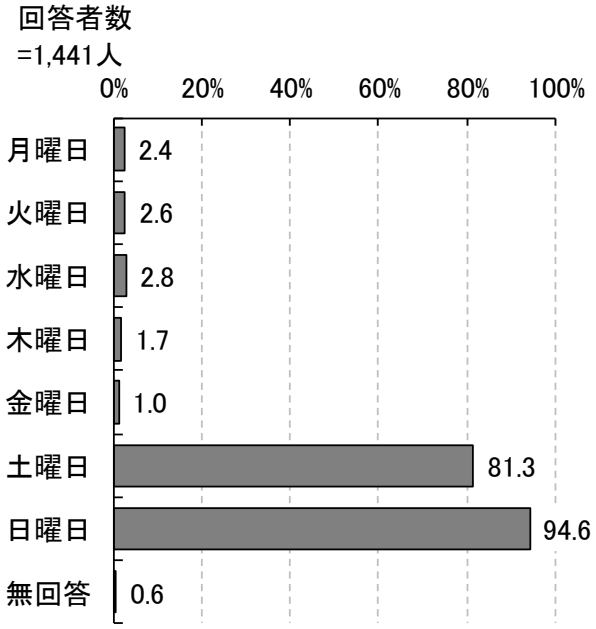
休日の形態は、「固定」が 63.4%、「変動有り」が 28.5%となっている。休日の曜日は、「日曜日」が 94.6%と最も多く、次いで「土曜日」が 81.3%、「水曜日」が 2.8%となっている。

勤務地は、「都内（中野区を除く）」が 72.9%と最も多く、次いで「中野区」が 13.1%、「都外」が 10.8%となっている。前年度の年収は、「600 万円以上」が 58.0%と最も多く、次いで「400 万円以上 600 万円未満」が 23.4%、「200 万円以上 400 万円未満」が 12.3%となっている。

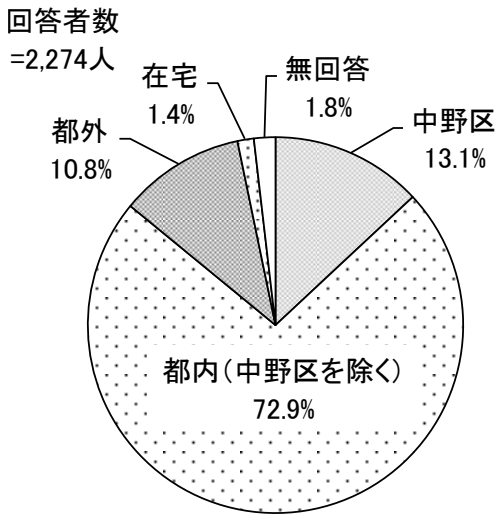
図表４－２－６ 休日の形態（単数回答）



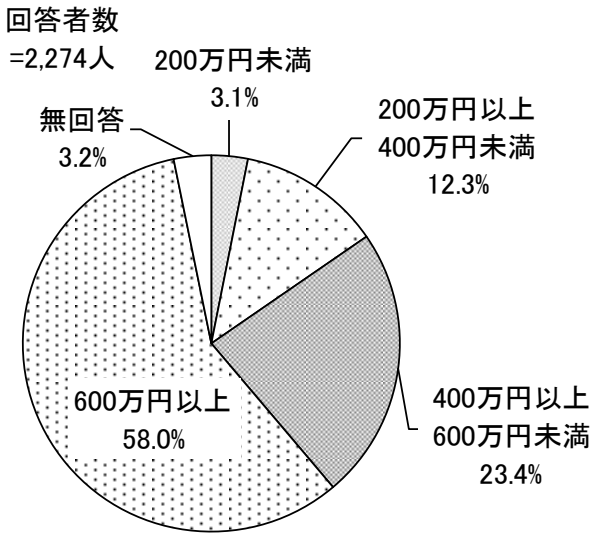
図表４－２－７ 休日の曜日（複数回答）



図表４－２－８ 勤務地（単数回答）



図表４－２－９ 前年度の年収（単数回答）

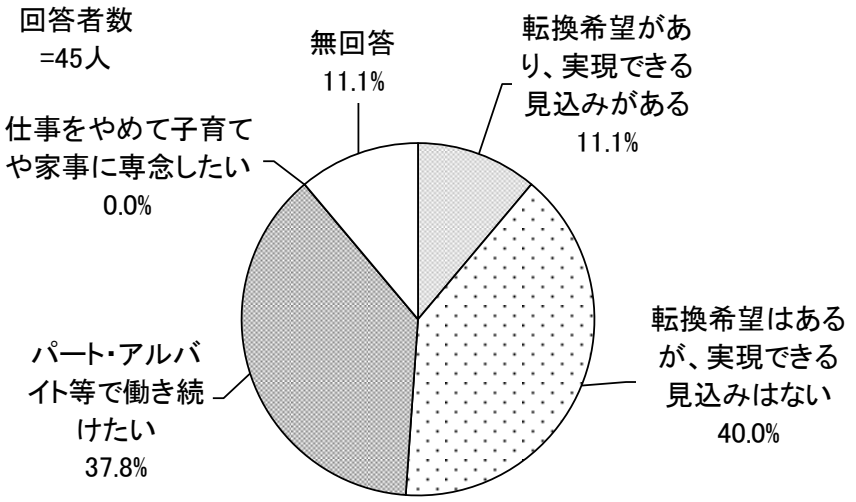


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問 7-2　「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。フルタイム（1 週５日以上・1 日８時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 40.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で働き続けたい」が 37.8%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が 11.1%となっている。

図表４－２－10　パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）



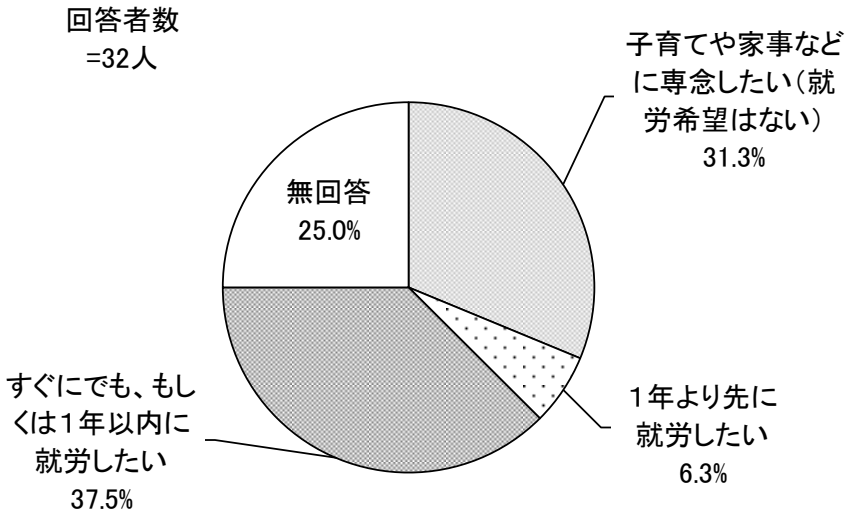
④未就労者の就労意向

問 7-3　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 37.5%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が 31.3%、「１年より先に就労したい」が 6.3%となっている。

「１年より先に就労したい」と回答した人（２人）が、就労を希望する時の末子の年齢は 12 歳となっている。

図表４－２－11　未就労者の就労意向（単数回答）



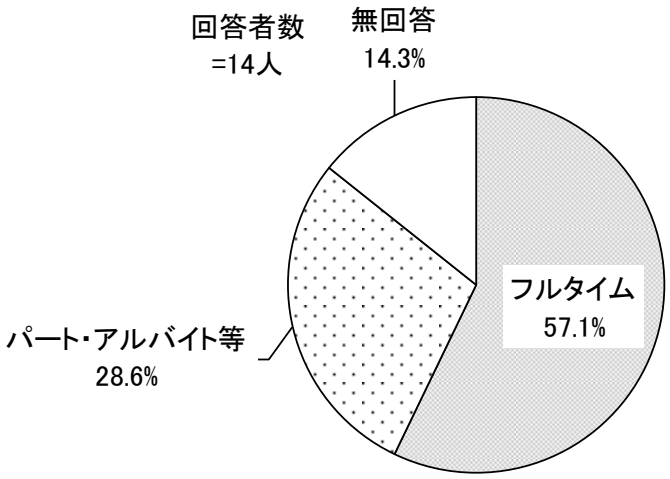
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問 7-4　「2」または「3」（就労したい）に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は1つ、（　　）内は数字を記入）

就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「フルタイム」が 57.1%、「パート・アルバイト等」が 28.6%となっている。

パート・アルバイト等を希望する人（4人）の1週あたりの就労希望日数は、平均 3.6 日、1日あたりの就労希望時間は平均 5.8 時間となっている。

図表4－2－12　1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態（単数回答）



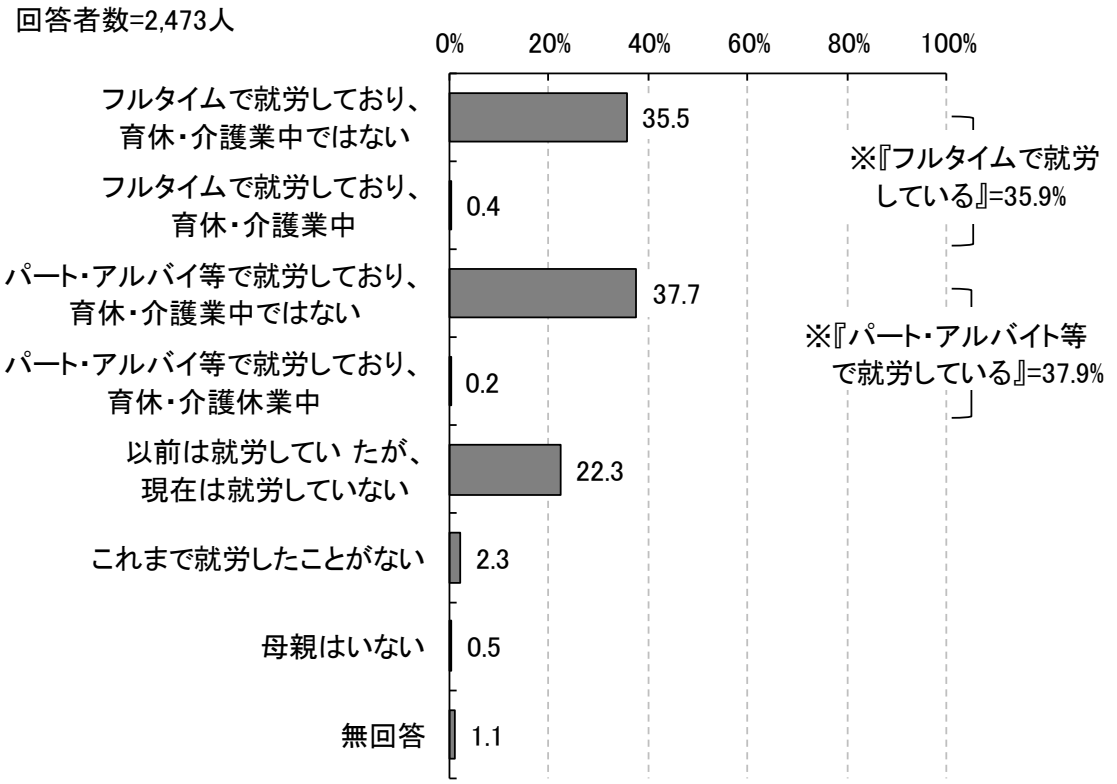
（2）母親の就労状況

①就労形態

問８　あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

母親の就労形態は、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護業中ではない」が 37.7%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、育休・介護業中ではない」が 35.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.3%となっている。

図表４－２－13　母親の就労形態（単数回答）



※『フルタイムで就労している』＝「フルタイムで就労しており、育休・介護業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、育休・介護業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』＝「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」

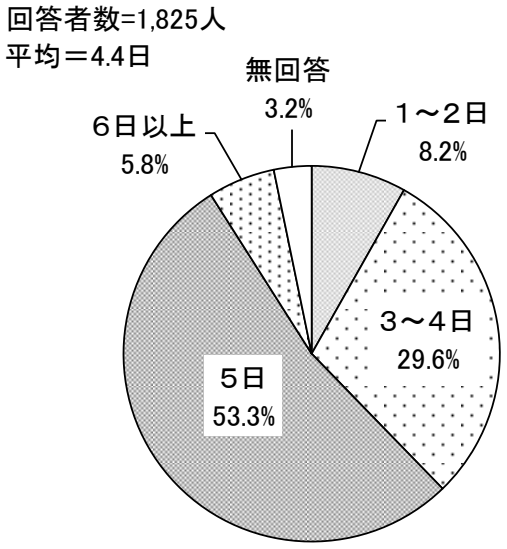
②就労状況

問８-１　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④（休日の曜日）のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

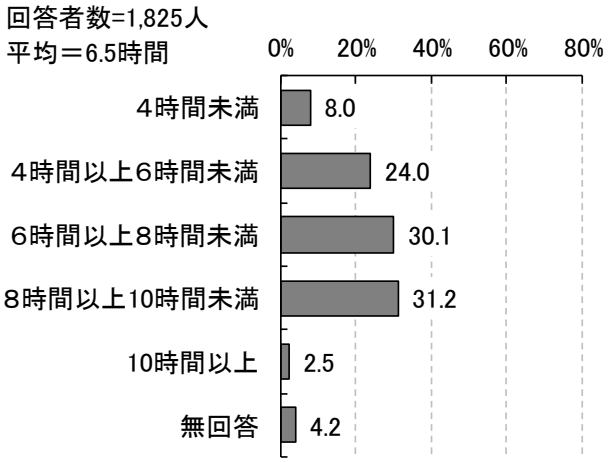
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の１週あたりの就労日数は、「５日」が 53.3%と最も多く、次いで「３～４日」が 29.6%、「１～２日」が 8.2%となっており、平均 4.4 日となっている。１日あたりの就労時間は、「８時間以上 10 時間未満」が 31.2%と最も多く、次いで「６時間以上８時間未満」が 30.1%、「４時間以上６時間未満」が 24.0%となっており、平均 6.5 時間となっている。

始業時間は、「９時台」が 48.6%と最も多く、次いで「８時台」が 24.1%、「10 時以降」が 19.2%となっている。終業時間は、「12～16 時台」が 38.5%と最も多く、次いで「17 時台」が 35.6%、「18 時台」が 12.4%となっている。

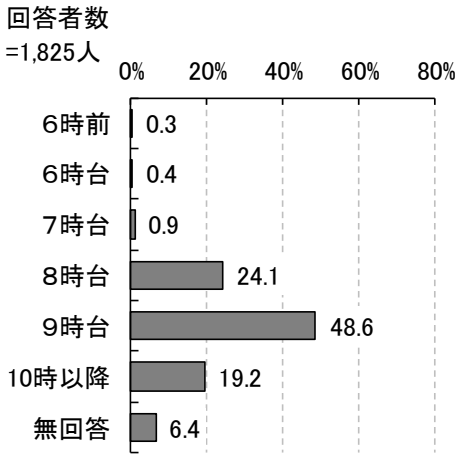
図表４－２－１４　１週あたりの就労日数（単数回答）



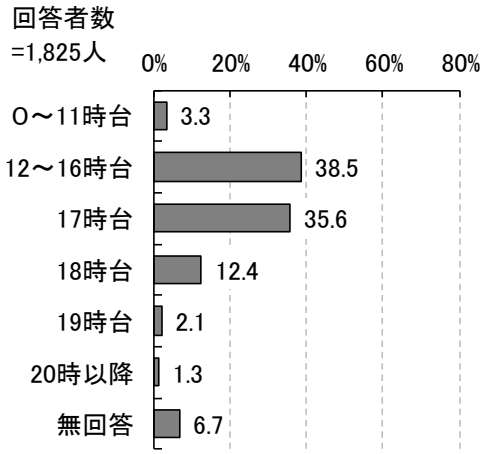
図表４－２－１５　１日あたりの就労時間（単数回答）



図表４－２－１６　始業時間（単数回答）



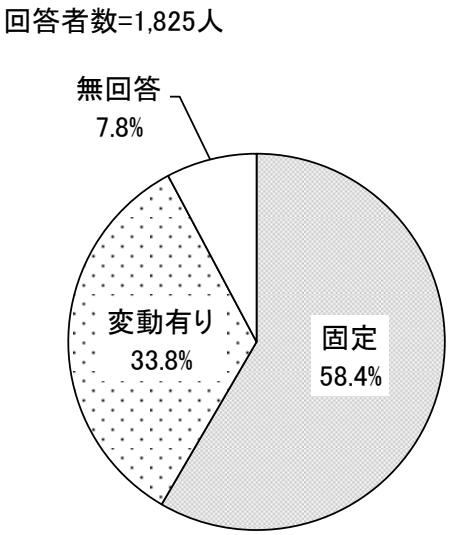
図表４－２－１７　終業時間（単数回答）



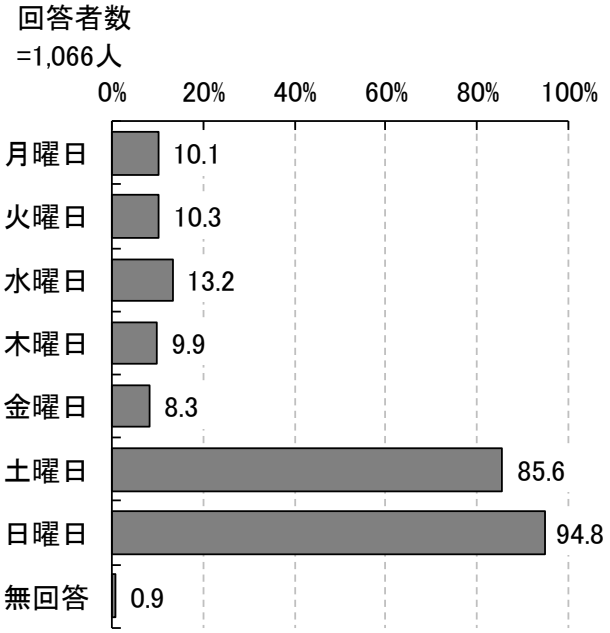
休日の形態は、「固定」が 58.4%、「変動有り」が 33.8%となっている。休日の曜日は、「日曜日」が 94.8%と最も多く、次いで「土曜日」が 85.6%、「水曜日」が 13.2%となっている。

勤務地は、「都内（中野区を除く）」が 59.0%と最も多く、次いで「中野区」が 34.6%、「在宅」が 2.8%となっている。前年度の年収は、「200 万円未満」が 49.5%と最も多く、次いで「200 万円以上 400 万円未満」が 20.3%、「400 万円以上 600 万円未満」が 16.0%となっている。

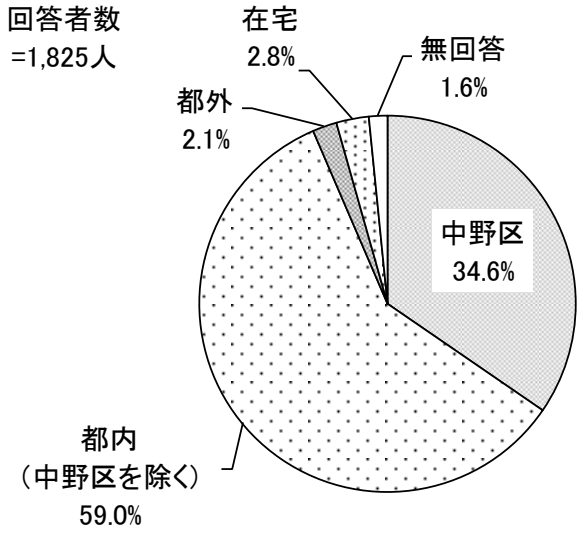
図表4－2－18 休日の形態（単数回答）



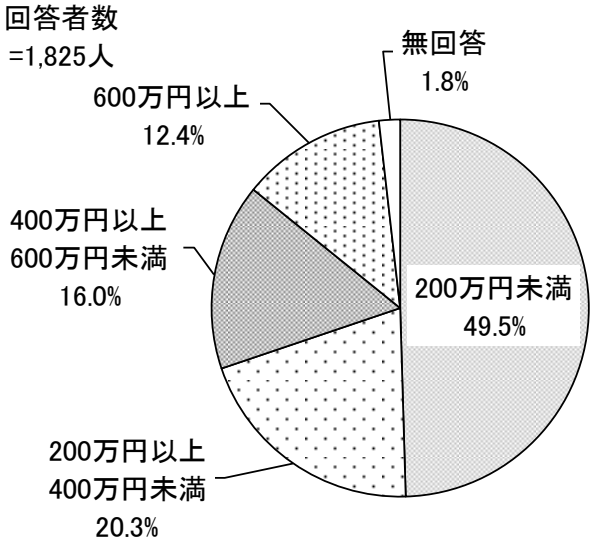
図表4－2－19 休日の曜日（複数回答）



図表4－2－20 勤務地（単数回答）



図表4－2－21 前年度の年収（単数回答）

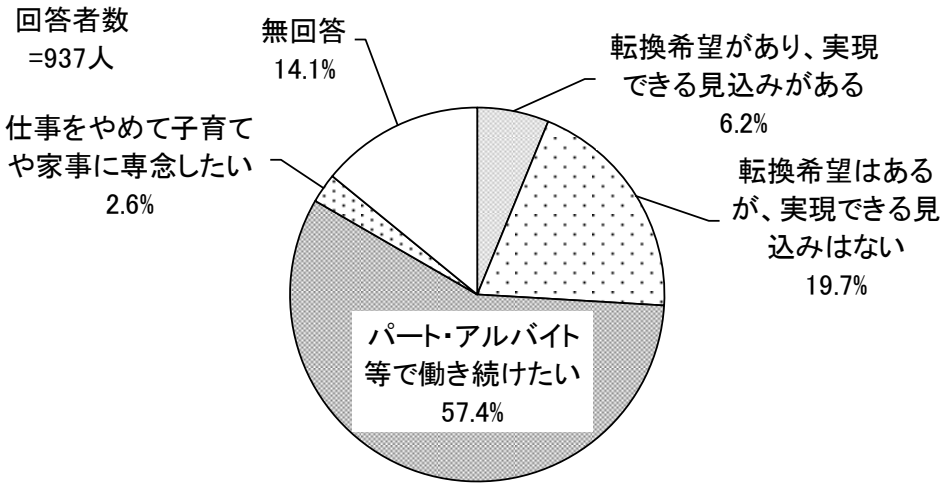


③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問８-２	「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。フルタイム（１週５日以上・１日８時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働き続けたい」が 57.4%と最も多く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 19.7%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が 6.2%となっている。

図表４－２－22　パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望（単数回答）



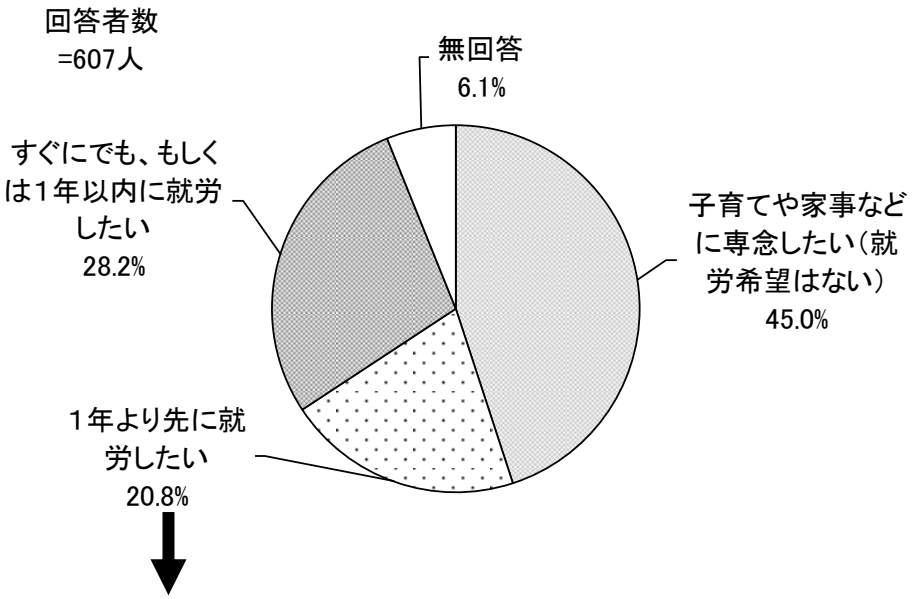
④未就労者の就労意向

問８-３　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

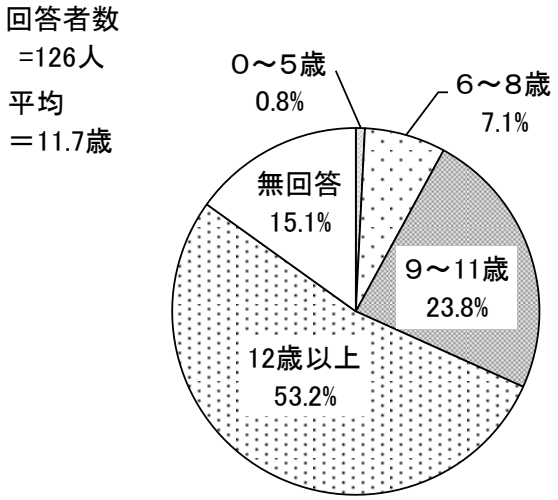
未就労者の就労意向は、「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が 45.0%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 28.2%、「１年より先に就労したい」が 20.8%となっている。

「１年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「12 歳以上」が 53.2%と最も多く、次いで「９～11 歳」が 23.8%、「６～８歳」が 7.1%となっており、平均は 11.7 歳となっている。

図表４－２－23　未就労者の就労意向（単数回答）



図表４－２－24　就労を希望する時の末子の年齢（単数回答）



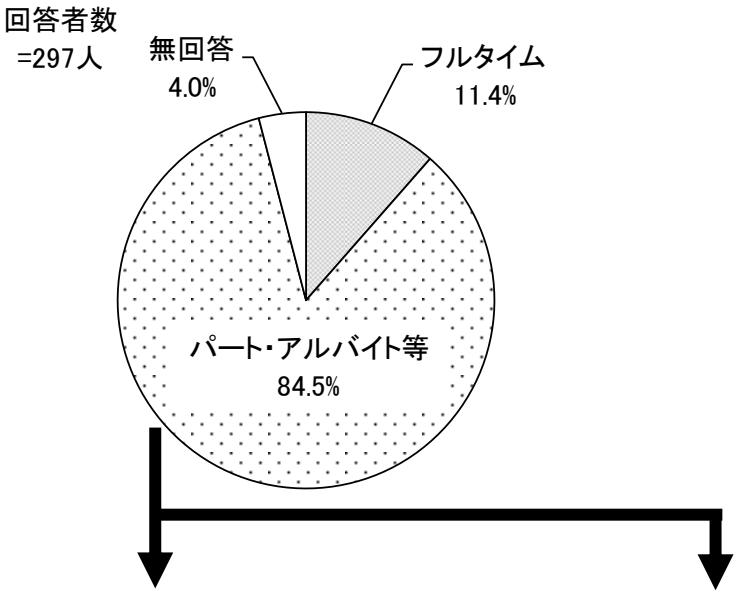
⑤1年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態

問８-４　「２」または「３」（就労したい）に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が 84.5%、「フルタイム」が 11.4%となっている。

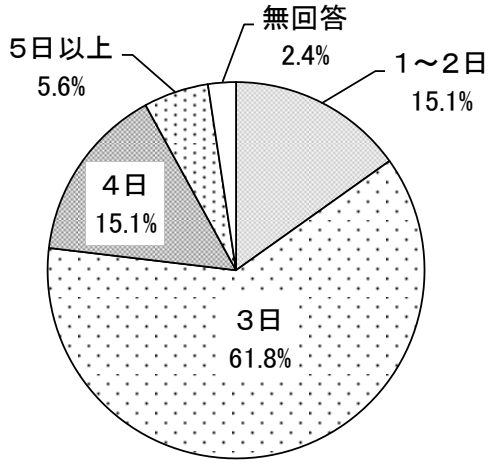
パート・アルバイト等を希望する人の１週あたりの就労希望日数は平均 3.2 日、日あたりの就労希望時間は平均 4.8 時間となっている。

図表４－２－25　１年以内に就労意向のある未就労者が希望する就労形態（単数回答）



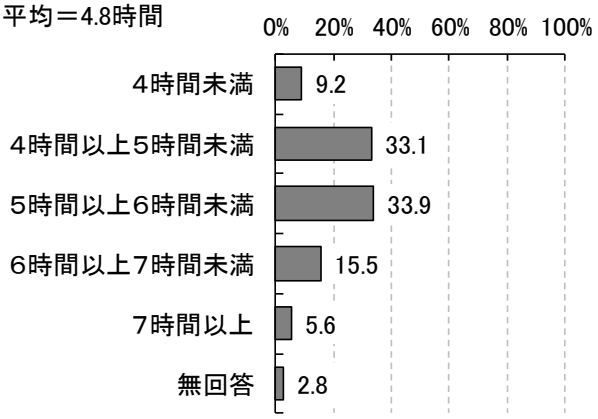
図表４－２－26　就労希望日数（単数回答）

回答者数=251人
平均＝3.2日



図表４－２－27　就労希望時間（単数回答）

回答者数=251人
平均＝4.8時間

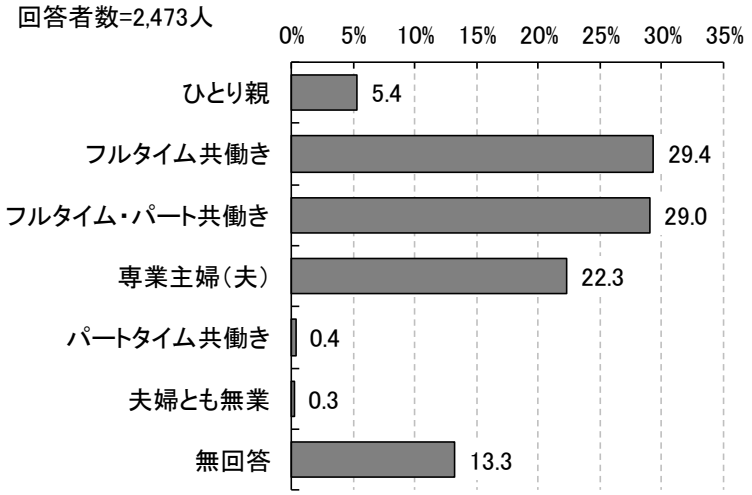


(3)両親の就労形態からみた家族類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「フルタイム共働き」が 29.4%と最も多く、次いで「フルタイム・パート共働き」が 29.0%、「専業主婦（夫）」が 22.3%となっている。

子どもの学年別にみると、小学１年生から４年生まででは「フルタイム共働き」が最も多く、いずれも３割台となっているが、小学５、６年生では「フルタイム・パート共働き」が最も多く、「小学５年生」で 32.8%、「小学６年生」で 33.0%となっている。

図表４－２－28　両親の就労形態からみた家庭類型（単数回答）



図表４－２－29　両親の就労形態からみた家庭類型

単位（%）

		回答者数（人）	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦（夫）	パートタイム共働き	夫婦とも無業	無回答
全体		2,473	5.4	29.4	29.0	22.3	0.4	0.3	13.3
子どもの学年別	小学1年生	201	4.5	32.3	26.4	27.4	0.0	0.5	9.0
	小学2年生	257	5.8	33.1	24.1	27.6	0.4	0.0	8.9
	小学3年生	346	5.2	32.1	25.4	25.7	0.3	0.3	11.0
	小学4年生	486	7.2	30.9	30.0	19.8	0.4	0.6	11.1
	小学5年生	570	5.4	29.3	32.8	21.1	0.2	0.0	11.2
	小学6年生	551	4.5	26.9	33.0	22.0	0.7	0.4	12.5

※両親の就労形態からみた家族類型：各家庭における父母の有無および就労状況別に類型化したもの（例：父がフルタイム就労、母がパートタイム就労の場合、フルタイム・パートタイム共働き）

3. 放課後の過ごし方について

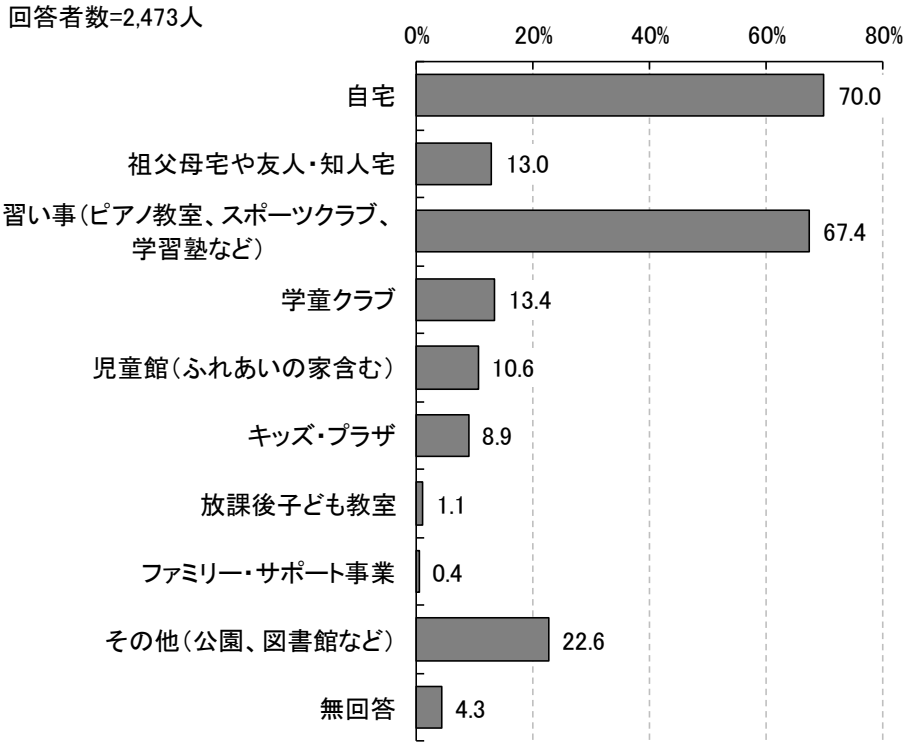
(1)放課後の過ごし方

問９　あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をしてください。また、「５」（児童館）、「６」（キッズ・プラザ）以外に○をした場合は、週あたり日数を記入してください。

放課後の過ごし方は、「自宅」が 70.0%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 67.4%、「その他（公園、図書館など）」が 22.6%となっている。

学童クラブを利用している人の１週あたりの利用日数は、「１～２日」が 6.0%と最も多く、次いで「３～４日」が 20.2%、「５日」が 41.9%となっており、平均 4.3 日となっている。

図表４－３－１　放課後の過ごし方



図表４－３－２　過ごし方別の１週あたりの日数

単位（%）

	回答者数（人）	１～２日	３～４日	５日	無回答	平均日数（日）
自宅	1,730	41.5	23.6	19.9	15.0	2.9
祖父母宅や友人・知人宅	321	62.0	13.4	10.0	14.6	2.1
習い事	1,666	39.5	42.6	10.0	7.9	2.9
学童クラブ	332	6.0	20.2	41.9	31.9	4.3
放課後子ども教室	27	55.6	22.2	14.8	7.4	2.6
ファミリー・サポート事業	10	50.0	10.0	0.0	40.0	1.5
その他	560	63.2	16.6	5.0	15.2	2.0

子どもの学年別にみると、「学童クラブ」が小学１、２年生では４割以上となっているが、「小学３年生」以降徐々に減少していき、「小学６年生」では0.5%となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「学童クラブ」は「フルタイム共働き」で26.6%、「ひとり親」で22.6%となっている。

図表４－３－３ 放課後の過ごし方

単位（%）

		回答者数（人）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	学童クラブ	児童館（ふれあいの家含む）	キッズ・プラザ	放課後子ども教室	ファミリー・サポート事業	その他（公園、図書館など）	無回答
全体		2,473	70.0	13.0	67.4	13.4	10.6	8.9	1.1	0.4	22.6	4.3
子どもの学年別	小学1年生	201	43.3	4.0	38.8	47.3	11.4	15.9	1.5	1.0	10.9	4.5
	小学2年生	257	47.5	10.5	52.1	40.9	10.5	14.8	1.6	1.2	12.8	3.1
	小学3年生	346	58.1	14.2	65.9	27.7	10.1	18.2	1.4	0.0	21.1	3.8
	小学4年生	486	79.0	17.9	71.8	2.3	12.8	7.6	0.8	0.2	32.5	5.6
	小学5年生	570	79.3	14.6	73.0	1.4	10.5	5.1	1.2	0.4	24.2	4.4
	小学6年生	551	80.2	10.3	75.9	0.5	8.7	3.3	0.5	0.0	23.2	4.2
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	133	69.2	15.8	55.6	22.6	9.8	6.0	0.8	0.0	23.3	2.3
	フルタイム共働き	726	55.1	11.2	59.6	26.6	8.4	9.1	1.0	0.6	15.6	4.1
	フルタイム・パート共働き	718	75.5	14.2	71.2	8.4	11.7	10.0	0.6	0.1	27.0	4.2
	専業主婦（夫）	552	82.4	12.9	74.6	1.4	11.1	9.8	2.0	0.5	24.8	4.0
	パートタイム共働き	9	66.7	0.0	55.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1
	夫婦とも無業	7	71.4	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3

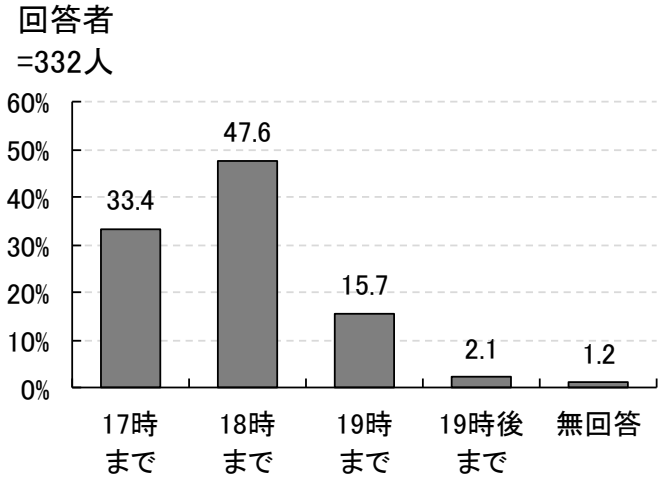
(2)学童クラブの利用状況

問 9-1　「４」（学童クラブ）に○をした方に伺います。①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日、③夏休み等の利用状況をお答えください。

①放課後(平日の小学校終了後)

学童クラブを利用している人の放課後の利用終了時間は、「18 時まで」が 47.6%と最も多く、次いで「17 時まで」が 33.4%、「19 時まで」が 15.7%となっている。

図表４－３－４　放課後の利用終了時間(単数回答)

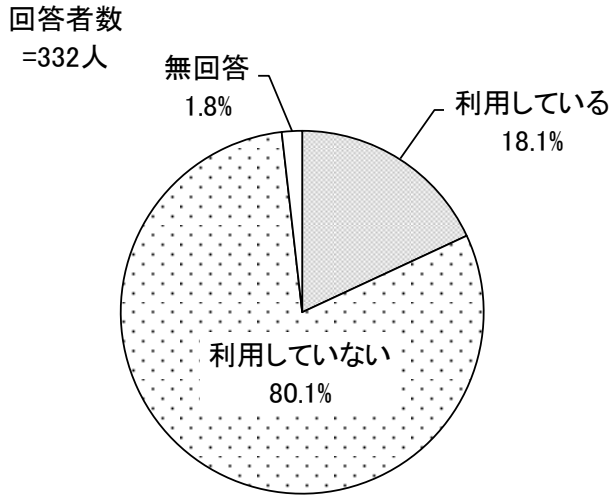


②土曜日

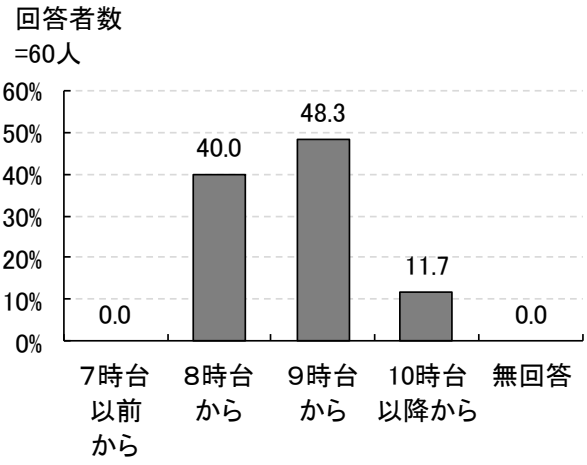
土曜日の利用状況は、「利用していない」が 80.1%、「利用している」が 18.1%となっている。

利用開始時間は、「９時台から」が 48.3%と最も多く、次いで「８時台から」が 40.0%、「10 時台以降から」が 11.7%となっている。利用終了時間は、「18 時まで」が 46.7%と最も多く、次いで「17 時まで」が 45.0%、「19 時まで」が 6.7%となっている。

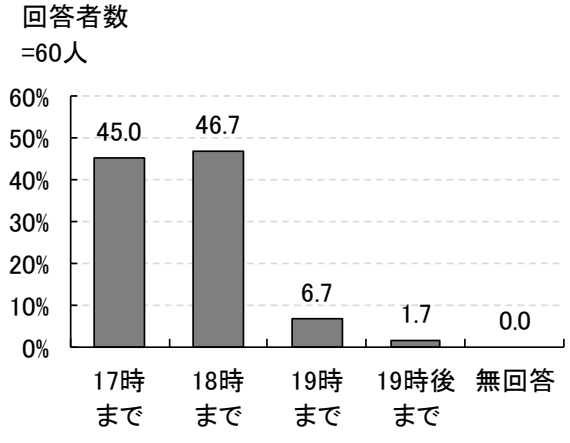
図表４－３－５ 土曜日の利用状況（単数回答）



図表４－３－６ 利用開始時間（単数回答）



図表４－３－７ 利用終了時間（単数回答）

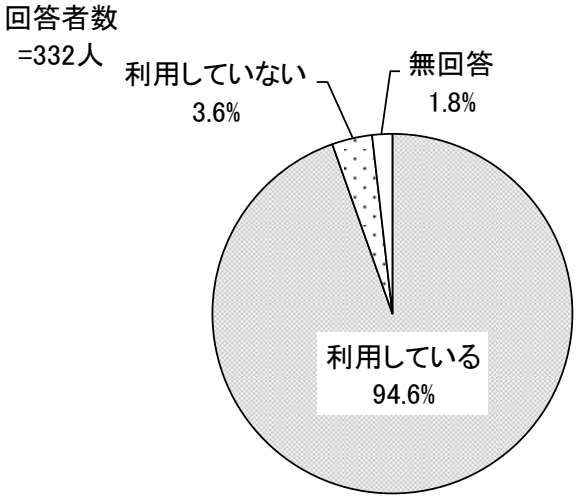


③夏休み等

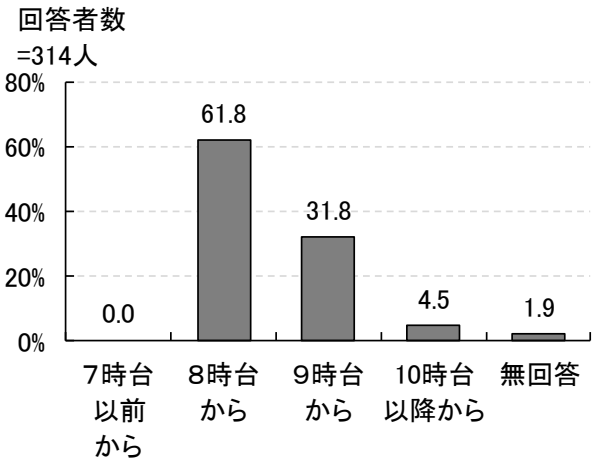
夏休み等の利用状況は、「利用している」が 94.6%、「利用していない」が 3.6%となっている。

利用開始時間は、「８時台から」が 61.8%と最も多く、次いで「９時台から」が 31.8%、「10 時台以降から」が 4.5%となっている。利用終了時間は、「18 時まで」が 45.5%と最も多く、次いで「17 時まで」が 35.4%、「19 時まで」が 15.6%となっている。

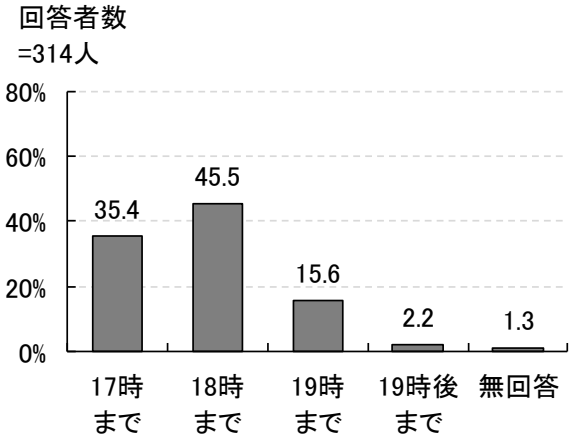
図表４－３－８ 夏休み等の利用状況（単数回答）



図表４－３－９ 利用開始時間（単数回答）



図表４－３－１０ 利用終了時間（単数回答）



(3)学童クラブの利用希望

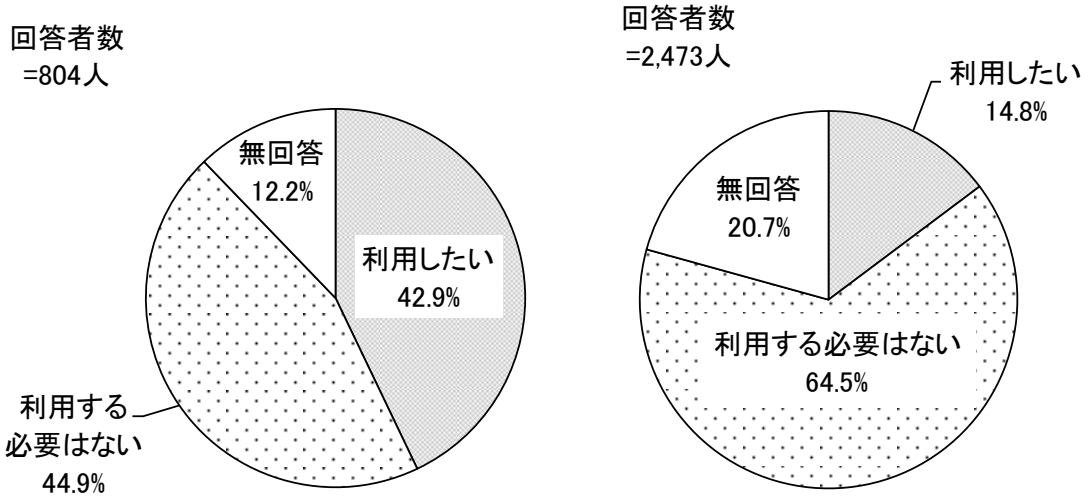
問 10　あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、学童クラブの利用を希望しますか。①～④それぞれについて１つに○をし、希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。

①平日

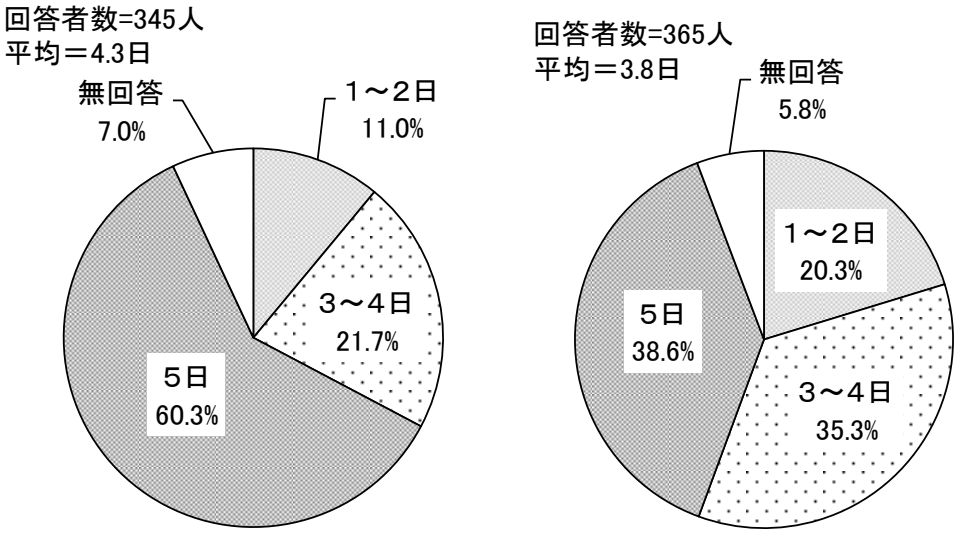
平日の学童クラブの利用意向をみると、低学年（１～３年生）では、「利用する必要はない」が 44.9%、「利用したい」が 42.9%となっている。高学年（４～６年生）では、「利用する必要はない」が 64.5%、「利用したい」が 14.8%となっている。利用希望日数の平均は、低学年（１～３年生）では 4.3 日、高学年（４～６年生）では 3.8 日となっている。

希望終了時間は、低学年（１～３年生）では、「18 時まで」が 44.6%と最も多く、高学年（４～６年生）では、「18 時まで」が 45.2%と最も多くなっている。

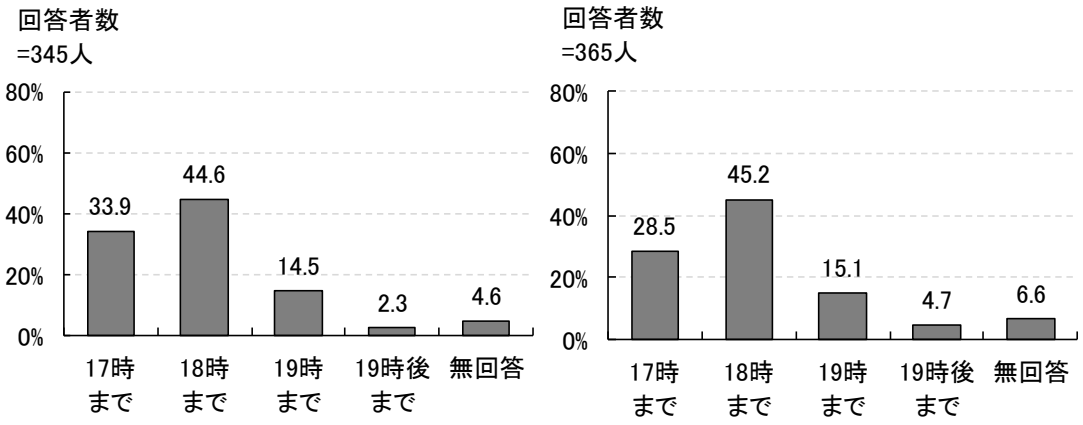
図表４－３－11　平日の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表４－３－12　利用希望日数（単数回答）



図表４－３－13　希望終了時間（単数回答）



低学年（１～３年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」では 60.7％となっているが、その後減少し、「小学３年生」では 28.3％となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」および「フルタイム共働き」で多くなっており、いずれも６割以上となっている。

高学年（４～６年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」の 31.8％が最も多くなっているが、低学年（１～３年生）時と比べると、およそ半分程度となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は低学年（１～３年生）時と同様に「ひとり親」および「フルタイム共働き」で多くなっているが、その割合は半分以下となっている。

図表４－３－14　平日の学童クラブの利用意向

単位（％）

		低学年				高学年になったら			
		回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答	回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		804	42.9	44.9	12.2	2,473	14.8	64.5	20.7
子どもの学年別	小学1年生	201	60.7	34.3	5.0	201	31.8	31.8	36.3
	小学2年生	257	48.6	42.8	8.6	257	29.2	35.0	35.8
	小学3年生	346	28.3	52.6	19.1	346	22.5	34.4	43.1
	小学4年生					486	13.6	75.5	10.9
	小学5年生					570	6.8	81.6	11.6
	小学6年生					551	5.8	82.6	11.6
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	42	64.3	23.8	11.9	133	20.3	54.9	24.8
	フルタイム共働き	261	70.9	19.5	9.6	726	27.0	55.1	17.9
	フルタイム・パート共働き	203	31.0	54.2	14.8	718	8.9	72.7	18.4
	専業主婦（夫）	215	18.1	69.8	12.1	552	6.5	69.0	24.5
	パートタイム共働き	2	0.0	0.0	100.0	9	0.0	77.8	22.2
	夫婦とも無業	2	0.0	100.0	0.0	7	0.0	71.4	28.6

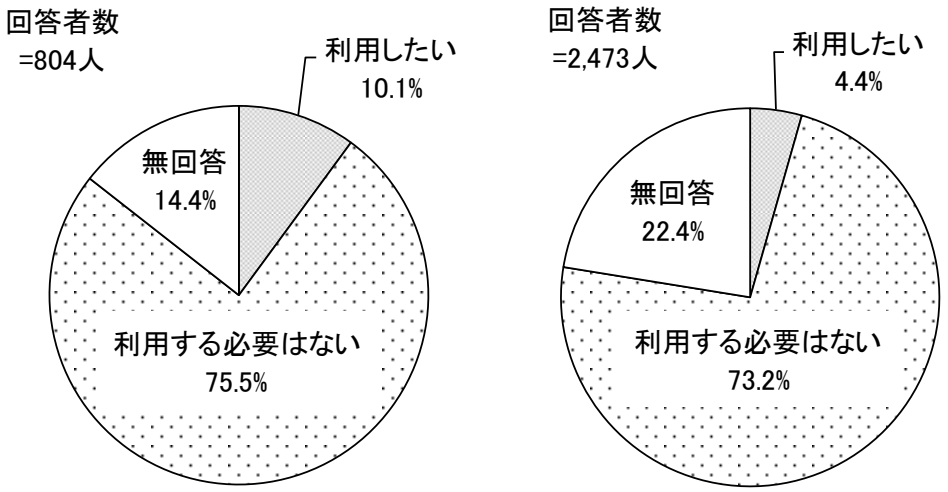
②土曜日

土曜日の学童クラブの利用意向をみると、低学年（１～３年生）では、「利用したい」が10.1%、高学年（４～６年生）では、「利用したい」が4.4%となっている。

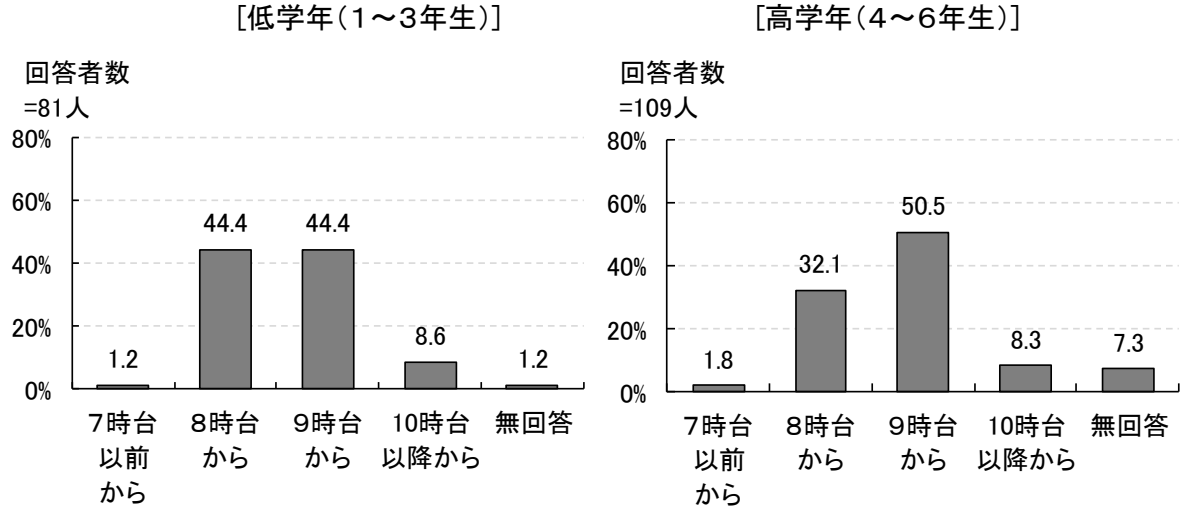
希望開始時間は、低学年（１～３年生）では、「８時台から」、「９時台から」が44.4%、高学年（４～６年生）では、「９時台から」が50.5%と最も多くなっている。

希望終了時間は、低学年（１～３年生）では、「18時まで」が46.9%、高学年（４～６年生）では、「17時まで」が43.1%と最も多くなっている。

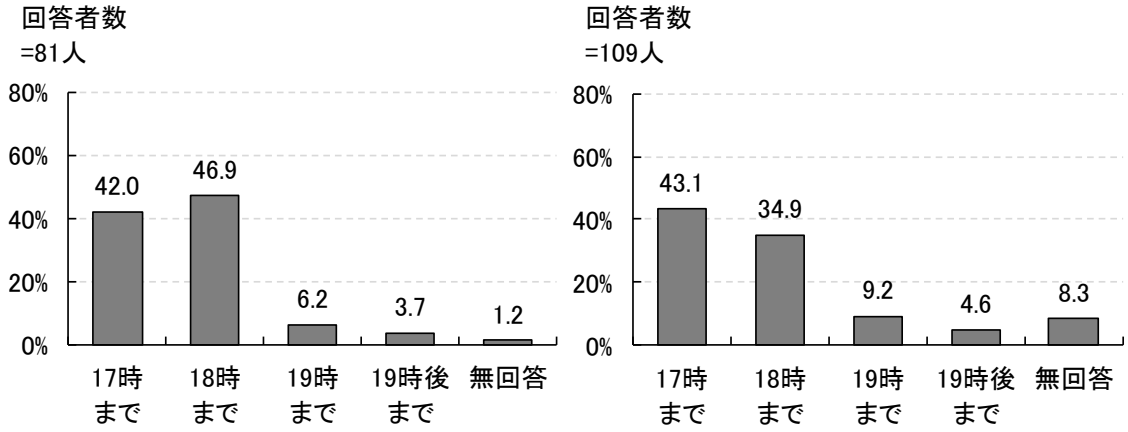
図表４－３－15　土曜日の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表４－３－16　希望開始時間（単数回答）



図表４－３－17　希望終了時間（単数回答）



低学年（１～３年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学１、２年生では、１割以上となっているが「小学３年生」では１割未満となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」が 23.8%、「フルタイム共働き」が 13.0%となっているが、その他では１割未満となっている。

高学年（４～６年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」が 8.5%で最も多くなっているが、学年が上がるにつれて、その割合は減少している。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「フルタイム共働き」が 6.5%、「ひとり親」が 6.0%となっている。

図表４－３－18　土曜日の学童クラブの利用意向

単位（%）

		低学年				高学年になったら			
		回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答	回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		804	10.1	75.5	14.4	2,473	4.4	73.2	22.4
子どもの学年別	小学1年生	201	15.4	74.1	10.4	201	8.5	49.3	42.3
	小学2年生	257	12.1	77.8	10.1	257	7.0	56.0	37.0
	小学3年生	346	5.5	74.6	19.9	346	4.9	50.0	45.1
	小学4年生					486	3.7	84.2	12.1
	小学5年生					570	3.9	83.7	12.5
	小学6年生					551	2.7	84.2	13.1
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	42	23.8	64.3	11.9	133	6.0	68.4	25.6
	フルタイム共働き	261	13.0	75.1	11.9	726	6.5	73.1	20.4
	フルタイム・パート共働き	203	9.4	73.4	17.2	718	3.8	76.6	19.6
	専業主婦（夫）	215	3.7	82.3	14.0	552	1.6	72.1	26.3
	パートタイム共働き	2	0.0	0.0	100.0	9	0.0	66.7	33.3
	夫婦とも無業	2	0.0	100.0	0.0	7	0.0	71.4	28.6

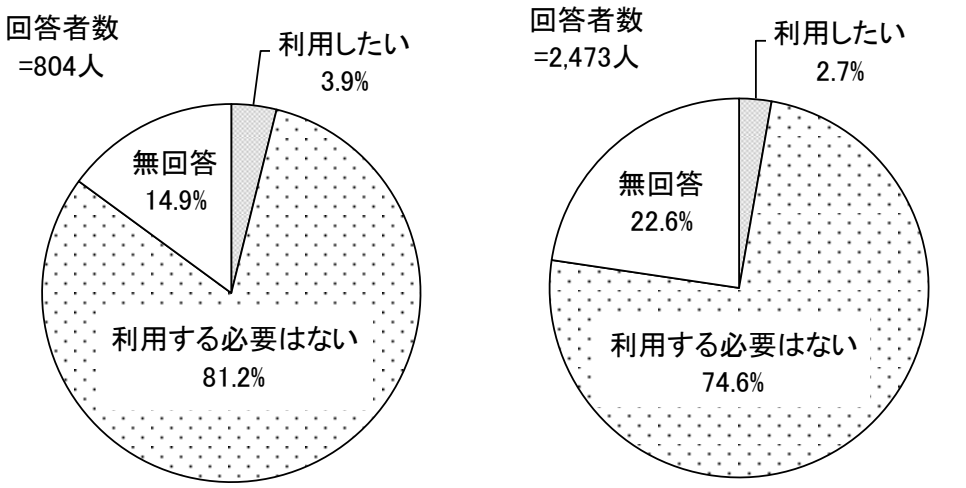
③日曜日・祝日

日曜日・祝日の学童クラブの利用意向をみると、低学年（１～３年生）では、「利用したい」が 3.9%、高学年（４～６年生）では、「利用したい」が 2.7%となっている。

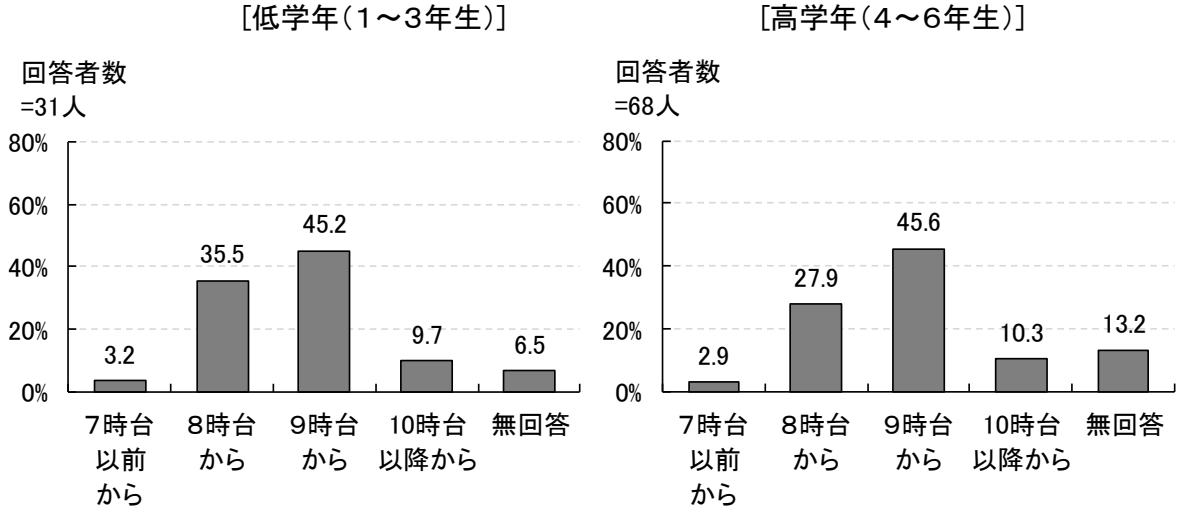
希望開始時間は、低学年（１～３年生）では、「９時台から」が 45.2%、高学年（４～６年生）では、「９時台から」が 45.6%と最も多くなっている。

希望終了時間は、低学年（１～３年生）では、「18 時まで」が 48.4%、高学年（４～６年生）では、「17 時まで」、「18 時まで」が 35.3%と最も多くなっている。

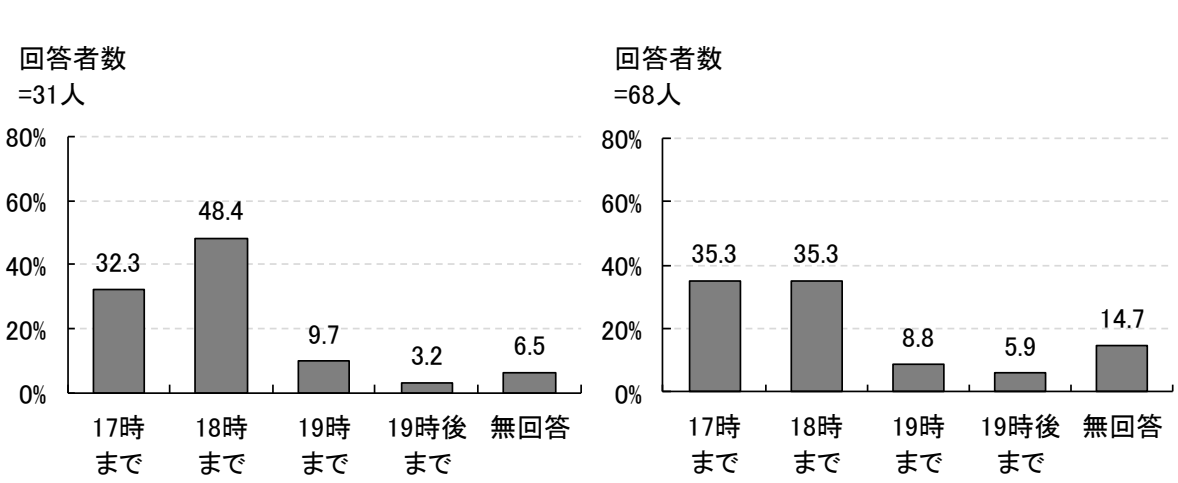
図表４－３－19　日曜日・祝日の学童クラブの利用意向（単数回答）



図表４－３－20　希望開始時間（単数回答）



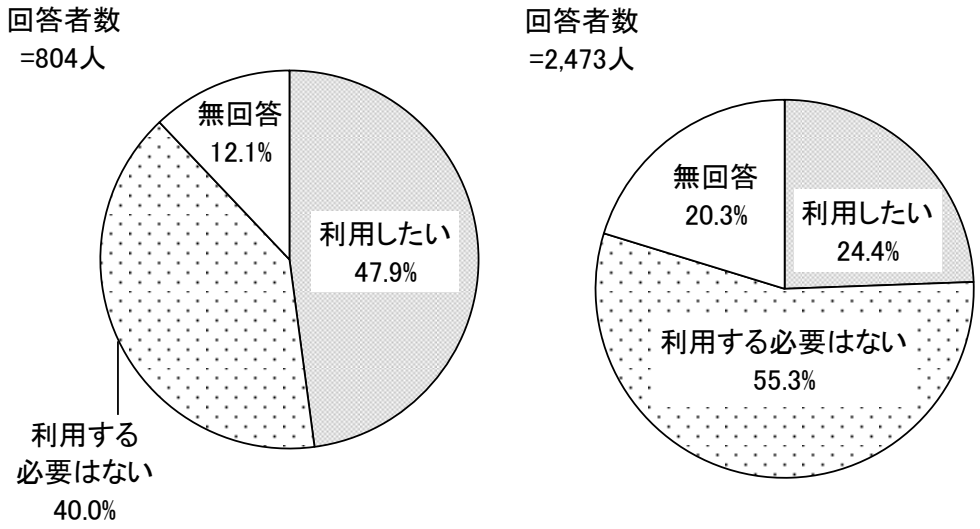
図表４－３－21　希望終了時間（単数回答）



④夏休み等

夏休み等の学童クラブの利用意向をみると、低学年（１～３年生）では、「利用したい」が 47.9%となっている。高学年（４～６年生）では、「利用したい」が 24.4%となっている。

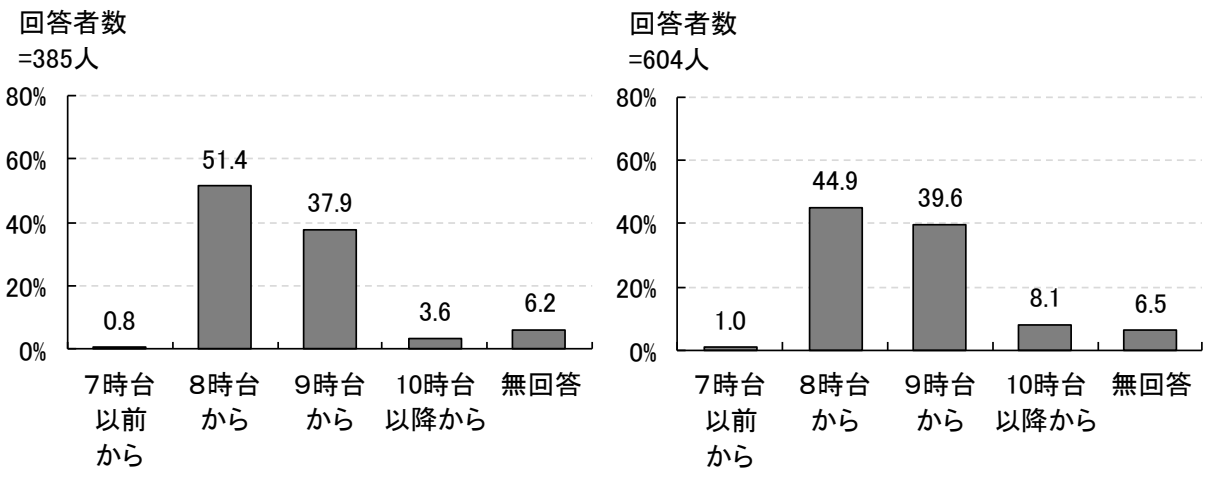
図表４－３－22　夏休み等の学童クラブの利用意向（単数回答）



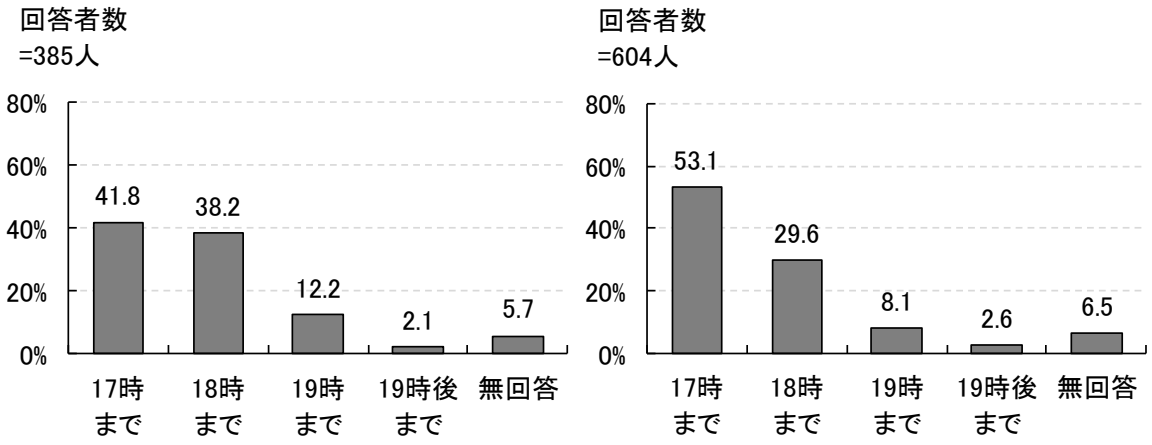
希望開始時間は、低学年（１～３年生）では、「８時台から」が 51.4%、高学年（４～６年生）では、「８時台から」が 44.9%と最も多くなっている。

希望終了時間は、低学年（１～３年生）では、「17 時まで」が 41.8%、高学年（４～６年生）では、「17 時まで」が 53.1%と最も多くなっている。

図表４－３－23 希望開始時間（単数回答）



図表４－３－24 希望終了時間（単数回答）



低学年（１～３年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学１、２年生では、５割以上となっているが、「小学３年生」では３割半ばとなっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「フルタイム共働き」で最も多く 72.8%、次いで「ひとり親」が 66.7%、「フルタイム・パート共働き」が 45.3%となっている。

高学年（４～６年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学１～３年生で３割以上となっているが、小学４、５年生で２割台、「小学６年生」では約１割となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「フルタイム共働き」で最も多く 37.7%、次いで「ひとり親」が 31.6%、「フルタイム・パート共働き」が 23.0%となっている。

図表４－３－25　夏休み等の学童クラブの利用意向

単位（%）

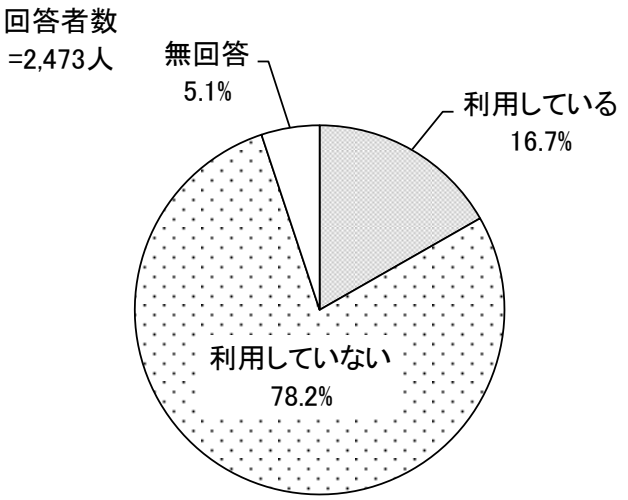
		低学年				高学年になったら			
		回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答	回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		804	47.9	40.0	12.1	2,473	24.4	55.3	20.3
子どもの学年別	小学1年生	201	58.7	34.3	7.0	201	32.8	27.4	39.8
	小学2年生	257	54.5	37.7	7.8	257	34.6	29.6	35.8
	小学3年生	346	36.7	45.1	18.2	346	30.9	26.6	42.5
	小学4年生					486	29.8	61.3	8.8
	小学5年生					570	22.1	67.5	10.4
	小学6年生					551	10.7	77.5	11.8
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	42	66.7	23.8	9.5	133	31.6	45.9	22.6
	フルタイム共働き	261	72.8	16.9	10.3	726	37.7	44.9	17.4
	フルタイム・パート共働き	203	45.3	42.9	11.8	718	23.0	59.9	17.1
	専業主婦（夫）	215	17.2	68.8	14.0	552	9.2	65.4	25.4
	パートタイム共働き	2	0.0	0.0	100.0	9	11.1	55.6	33.3
	夫婦とも無業	2	0.0	100.0	0.0	7	14.3	57.1	28.6

(4)キッズ・プラザの利用状況

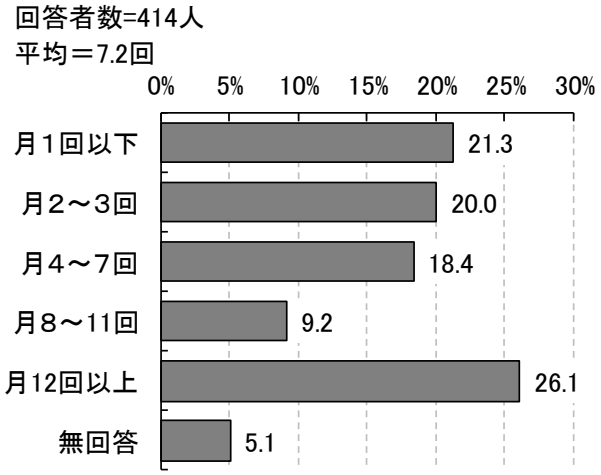
問 11　あて名のお子さんのキッズ・プラザの現在の利用状況をお答えください。１つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

キッズ・プラザの利用状況をみると、「利用していない」が 78.2%、「利用している」が 16.7%となっている。月あたりの利用日数は、「月 12 回以上」が 26.1%と最も多く、次いで「月１回以下」が 21.3%、「月２～３回」が 20.0%となっており、平均 7.2 回となっている。

図表４－３－26　キッズ・プラザの利用状況（単数回答）



図表４－３－27　キッズ・プラザの月あたりの利用日数（単数回答）



子どもの学年別にみると、「利用している」は、小学校低学年で２割半ばから３割程度となっているが、小学校高学年では１割半ばを下回っている。

居住地域別にみると、「利用している」は「中部すこやか福祉センター」が 28.5％で最も多く、次いで「北部すこやか福祉センター」が 14.6％、「南部すこやか福祉センター」が 12.6％、「鷺宮すこやか福祉センター」が 9.0％となっている。

図表４－３－28　キッズ・プラザの利用状況

単位（%）

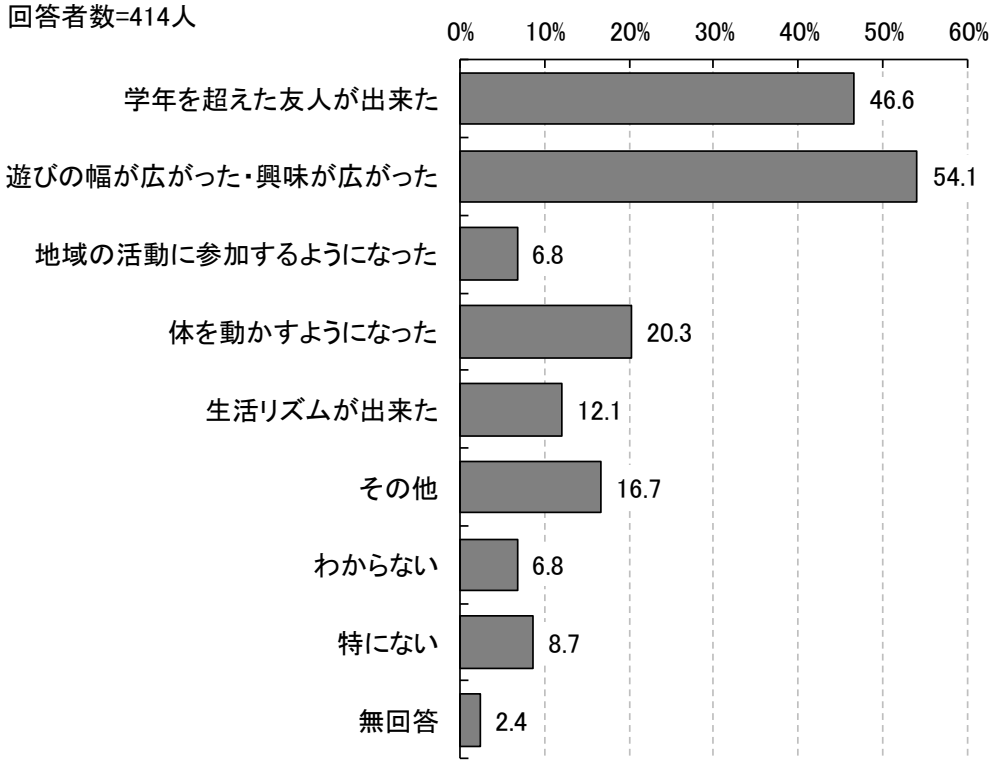
		回答者数（人）	利用している	利用していない	無回答
全体		2,473	16.7	78.2	5.1
子どもの学年別	小学1年生	201	29.4	63.2	7.5
	小学2年生	257	29.6	66.9	3.5
	小学3年生	346	27.5	66.8	5.8
	小学4年生	486	13.0	82.5	4.5
	小学5年生	570	12.6	82.8	4.6
	小学6年生	551	6.7	88.0	5.3
居住地域別	南部すこやか福祉センター	524	12.6	80.9	6.5
	中部すこやか福祉センター	705	28.5	68.5	3.0
	北部すこやか福祉センター	638	14.6	79.2	6.3
	鷺宮すこやか福祉センター	581	9.0	86.7	4.3

(5)キッズ・プラザ利用の利点

問 11-1　「1」（利用している）に○をした方に伺います。キッズ・プラザを利用して、お子さんにとって良かったことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

キッズ・プラザを利用して良かったことは、「遊びの幅が広がった・興味が広がった」が54.1%と最も多く、次いで「学年を超えた友人が出来た」が46.6%、「体を動かすようになった」が20.3%となっている。

図表4－3－29　キッズ・プラザを利用して良かったこと（複数回答）

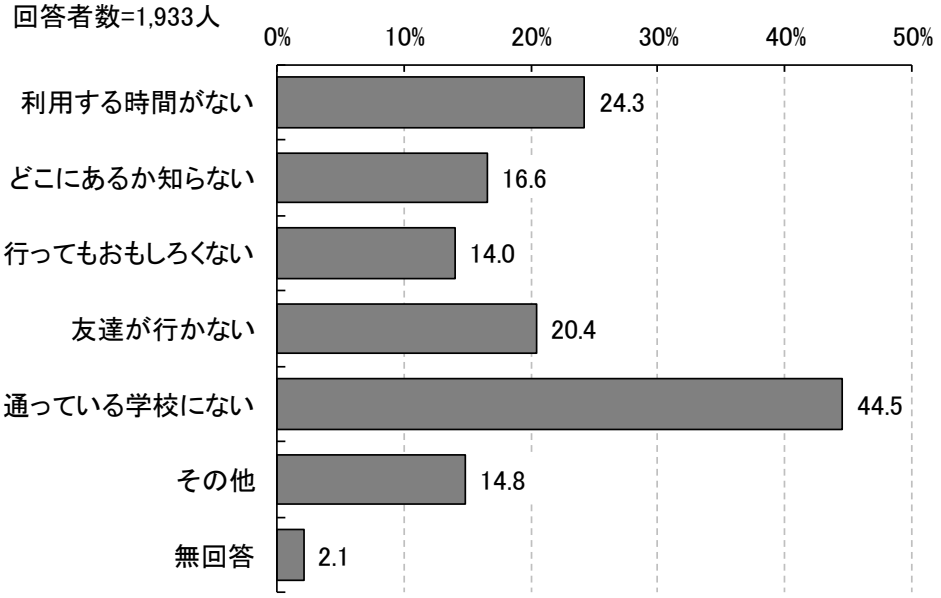


(6)キッズ・プラザを利用していない理由

問 11-2　「2」（利用していない）に○をした方に伺います。キッズ・プラザを利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

キッズ・プラザを「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「通っている学校にない」が 44.5%と最も多く、次いで「利用する時間がない」が 24.3%、「友達が行かない」が 20.4%となっている。

図表4－3－30　キッズ・プラザを利用していない理由（複数回答）



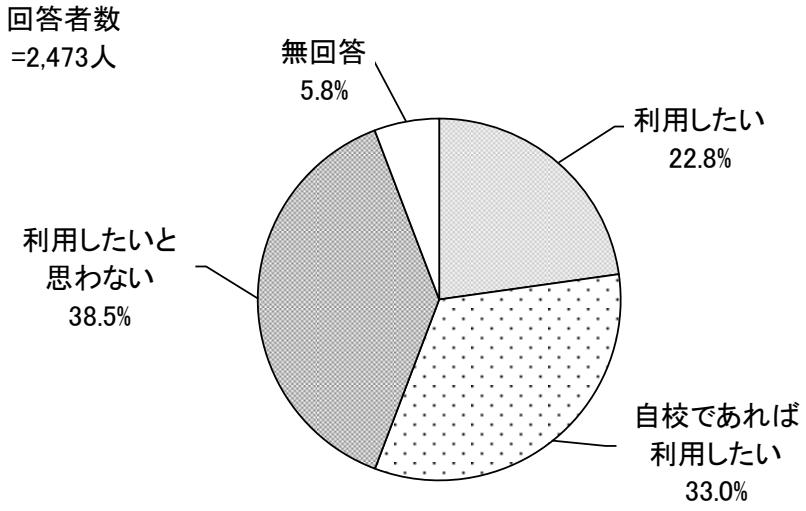
(7)キッズ・プラザの利用意向

問 12　あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、キッズ・プラザの利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

キッズ・プラザの利用意向をみると、「自校であれば利用したい」が 33.0%、「利用したい」が 22.8%となっている。

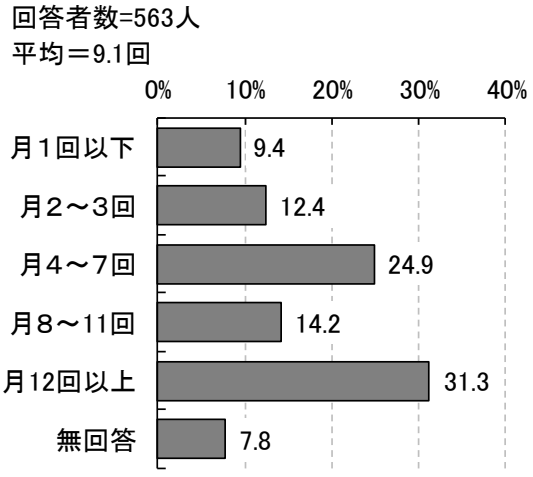
「利用したい」では、「月 12 回以上」が 31.3%と最も多く、平均は 9.1 回となっている。「自校であれば利用したい」では、「月 12 回以上」が 33.1%と最も多く、平均は 9.9 回となっている。

図表４－３－31　キッズ・プラザの利用意向（単数回答）

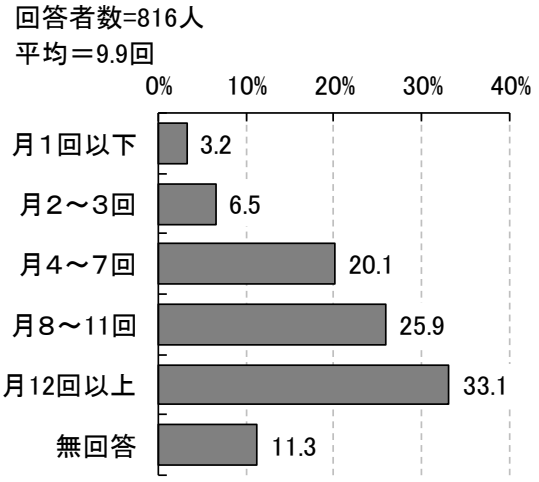


図表４－３－32　キッズ・プラザの月あたり利用希望日数（単数回答）

［利用したい］



［自校であれば利用したい］



子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」が 38.8%で最も多くなっているが、学年が上がるにつれて減少していき、「小学６年生」で 11.4%となっている。また、「自校であれば利用したい」は小学校低学年では４割前後、小学校高学年では２割半ばから３割半ば程度となっている。

居住地域別にみると、「利用したい」は「中部すこやか福祉センター」が 32.2%で最も多く、次いで「北部すこやか福祉センター」が 21.3%、「南部すこやか福祉センター」が 20.8%、「鷺宮すこやか福祉センター」が 15.1%となっている。また、「自校であれば利用したい」は「鷺宮すこやか福祉センター」が 38.7%で最も多く、次いで「北部すこやか福祉センター」が 36.4%、「南部すこやか福祉センター」が 32.3%、「中部すこやか福祉センター」が 26.0%となっている。

図表４－３－33　キッズ・プラザの利用意向

単位（%）

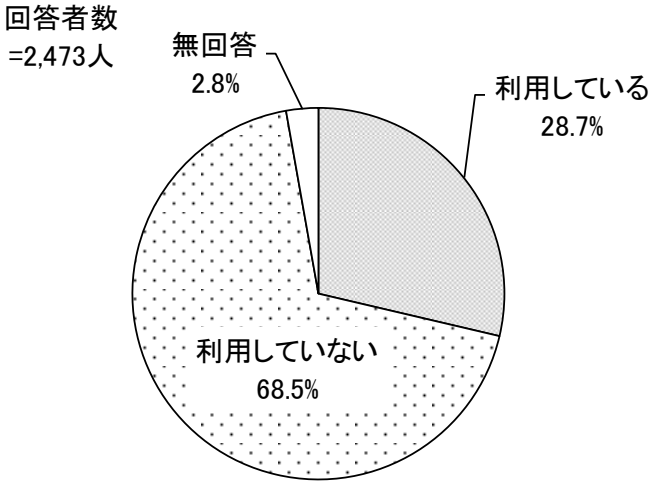
		回答者数（人）	利用したい	自校であれば利用したい	利用したいと思わない	無回答
全体		2,473	22.8	33.0	38.5	5.8
子どもの学年別	小学1年生	201	38.8	38.8	15.4	7.0
	小学2年生	257	36.6	42.0	16.3	5.1
	小学3年生	346	34.7	37.3	22.5	5.5
	小学4年生	486	21.0	35.2	39.9	3.9
	小学5年生	570	15.8	31.6	46.5	6.1
	小学6年生	551	11.4	24.9	57.5	6.2
居住地域別	南部すこやか福祉センター	524	20.8	32.3	40.6	6.3
	中部すこやか福祉センター	705	32.2	26.0	37.9	4.0
	北部すこやか福祉センター	638	21.3	36.4	35.6	6.7
	鷺宮すこやか福祉センター	581	15.1	38.7	40.8	5.3

(8)児童館の利用状況

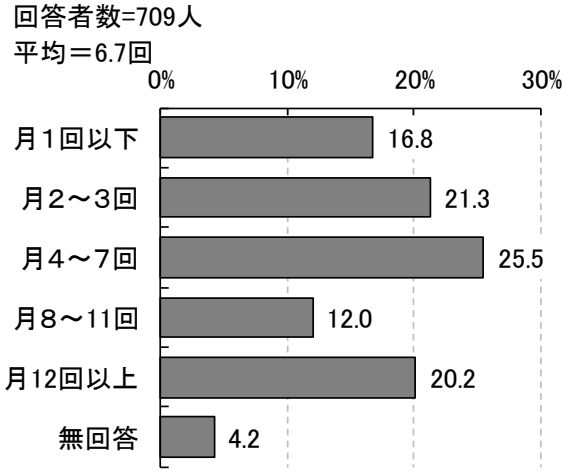
問 13　あて名のお子さんの児童館の現在の利用状況をお答えください。１つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

児童館の利用状況をみると、「利用している」が 28.7%となっている。
月あたりの利用日数は、「月４～７回」が 25.5%と最も多く、平均 6.7 回となっている。

図表４－３－34　児童館の利用状況（単数回答）



図表４－３－35　児童館の月あたりの利用日数（単数回答）



子どもの学年別にみると、「利用している」は「小学３年生」で最も多く 34.1%、次いで「小学１年生」で 33.8%、「小学４年生」で 29.4%となっている。

居住地域別にみると、「利用している」は「南部すこやか福祉センター」で最も多く 35.1%、次いで「鷺宮すこやか福祉センター」で 34.6%、「北部すこやか福祉センター」で 27.6%、「中部すこやか福祉センター」で 19.9%となっている。

図表４－３－36 児童館の利用状況

単位（%）

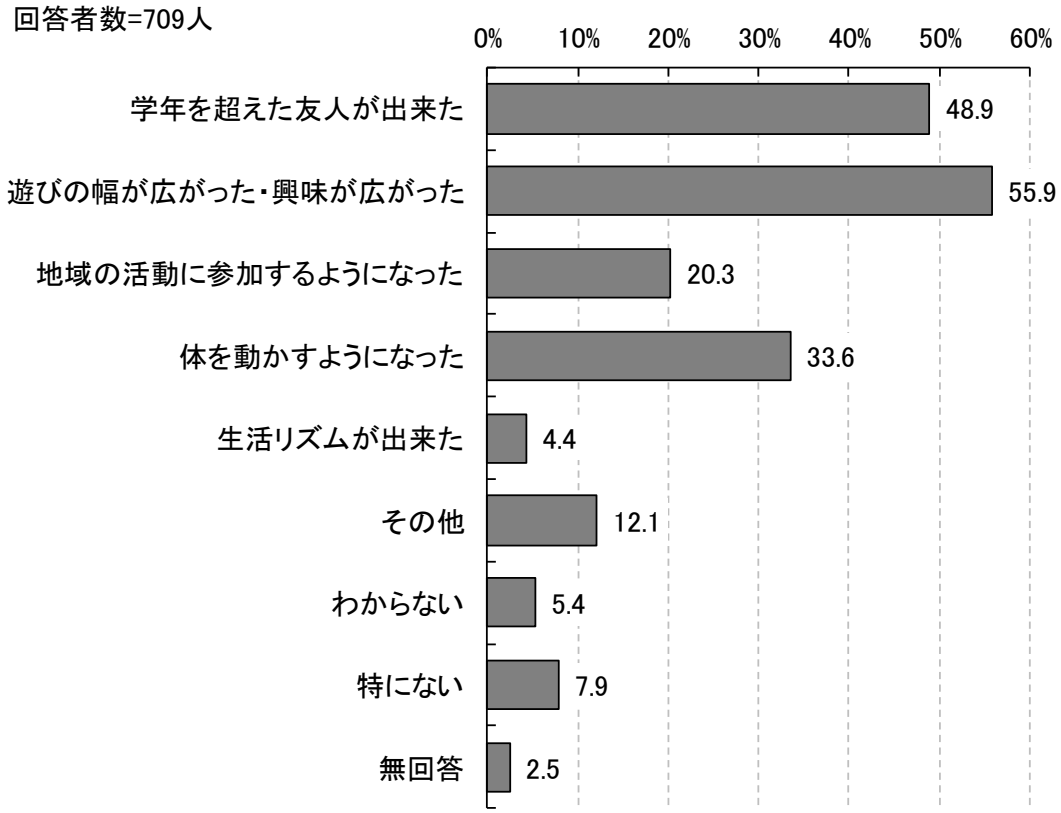
		回答者数（人）	利用している	利用していない	無回答
全体		2,473	28.7	68.5	2.8
子どもの学年別	小学1年生	201	33.8	64.2	2.0
	小学2年生	257	29.2	66.5	4.3
	小学3年生	346	34.1	63.3	2.6
	小学4年生	486	29.4	67.9	2.7
	小学5年生	570	27.5	70.0	2.5
	小学6年生	551	23.0	74.4	2.5
居住地域別	南部すこやか福祉センター	524	35.1	61.3	3.6
	中部すこやか福祉センター	705	19.9	78.2	2.0
	北部すこやか福祉センター	638	27.6	69.4	3.0
	鷺宮すこやか福祉センター	581	34.6	63.3	2.1

(9)児童館利用の利点

問 13-1　「1」（利用している）に○をした方に伺います。児童館を利用して、お子さんにとってよかったことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

児童館を利用して、よかったことは、「遊びの幅が広がった・興味が広がった」が 55.9%と最も多く、次いで「学年を超えた友人が出来た」が 48.9%、「体を動かすようになった」が 33.6%となっている。

図表4－3－37　児童館を利用して、よかったこと(複数回答)

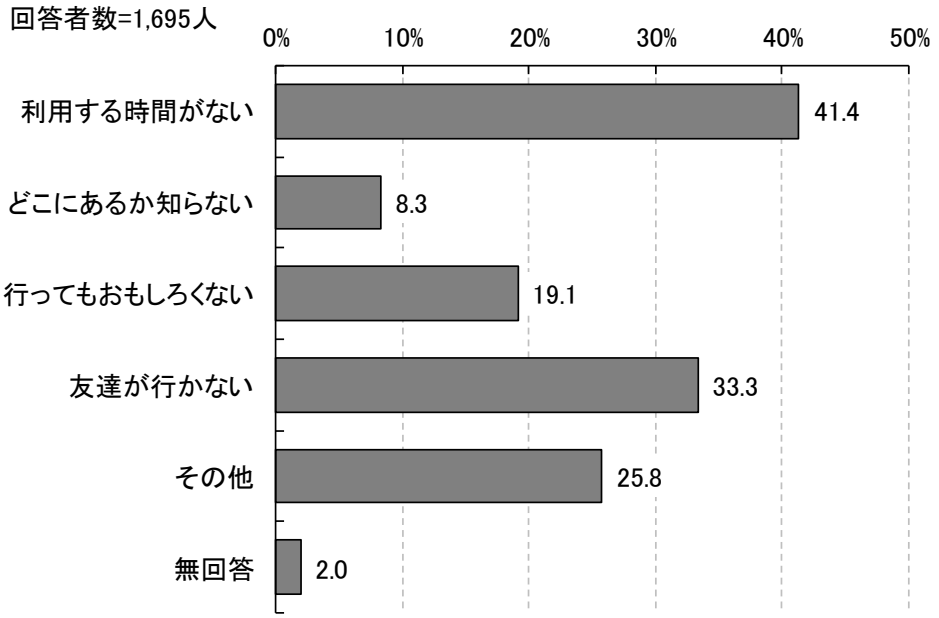


（10）児童館を利用していない理由

問 13-2　問 13 で「2」（利用していない）に○をつけた方に伺います。児童館を利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

児童館を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「利用する時間がない」が 41.4%と最も多く、次いで「友達が行かない」が 33.3%、「行ってもおもしろくない」が 19.1%となっている。

図表4－3－38　児童館を利用していない理由（複数回答）



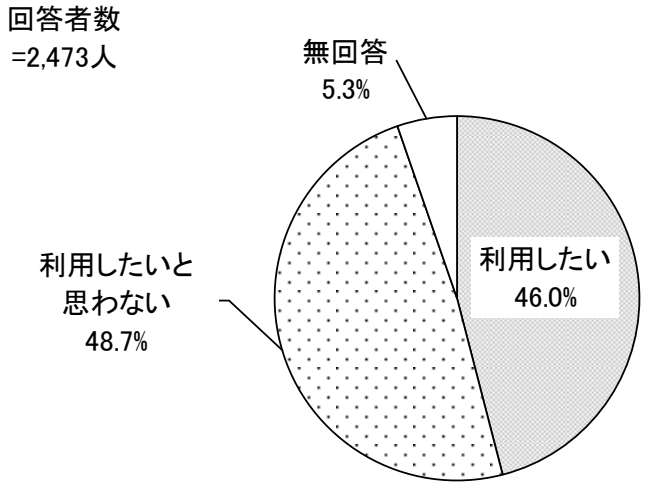
（11）児童館の利用意向

問 14　あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、児童館の利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

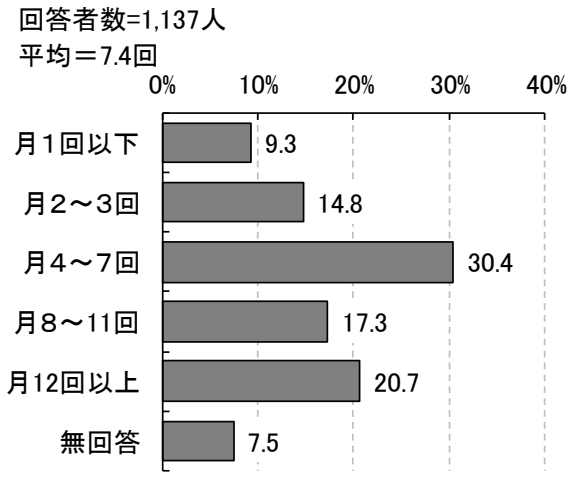
児童館の利用意向をみると、「利用したい」が 46.0％となっている。

月あたりの利用希望日数は、「月４～７回」が 30.4％と最も多く、次いで「月 12 回以上」が 20.7％、「月８～11 回」が 17.3％となっており、平均は 7.4 回となっている。

図表４－３－39　児童館の利用意向（単数回答）



図表４－３－40　児童館の月あたりの利用希望日数（単数回答）



子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」では 60.7%となっているが、学年が上がるにつれて徐々に減少していき、「小学６年生」では 36.3%となっている。

居住地域別にみると、「利用したい」は「南部すこやか福祉センター」で最も多く 52.9%、次いで「鷺宮すこやか福祉センター」で 47.7%、「北部すこやか福祉センター」で 43.1%、「中部すこやか福祉センター」で 42.1%となっている。

図表４－３－41　児童館の利用意向

単位（%）

		回答者数（人）	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全体		2,473	46.0	48.7	5.3
子どもの学年別	小学1年生	201	60.7	35.3	4.0
	小学2年生	257	51.0	42.8	6.2
	小学3年生	346	50.3	45.1	4.6
	小学4年生	486	49.0	47.3	3.7
	小学5年生	570	42.6	51.6	5.8
	小学6年生	551	36.3	57.5	6.2
居住地域別	南部すこやか福祉センター	524	52.9	41.4	5.7
	中部すこやか福祉センター	705	42.1	52.1	5.8
	北部すこやか福祉センター	638	43.1	52.2	4.7
	鷺宮すこやか福祉センター	581	47.7	48.2	4.1

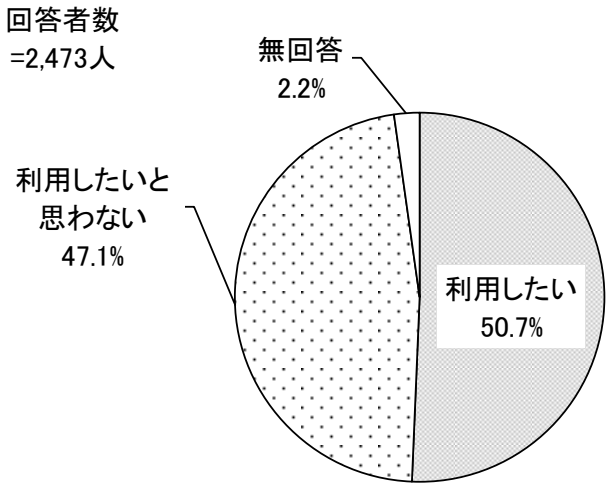
4. 子育て支援事業の利用状況について

(1)病児・病後児保育事業の利用意向

問 15　あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならない時に、預けることができる事業があったら利用したいと思いますか。（○は１つ）

病児・病後児保育事業の利用意向をみると、「利用したい」が 50.7%、「利用したいと思わない」が 47.1%となっている。

図表４－４－１　病児・病後児保育事業の利用意向（単数回答）



子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学校低学年で６割台、小学校中学年で５割台、小学校高学年で４割台となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」「フルタイム共働き」および「パートタイム共働き」では６割台となっている。

図表４－４－２　病児・病後児保育事業の利用意向

単位（%）

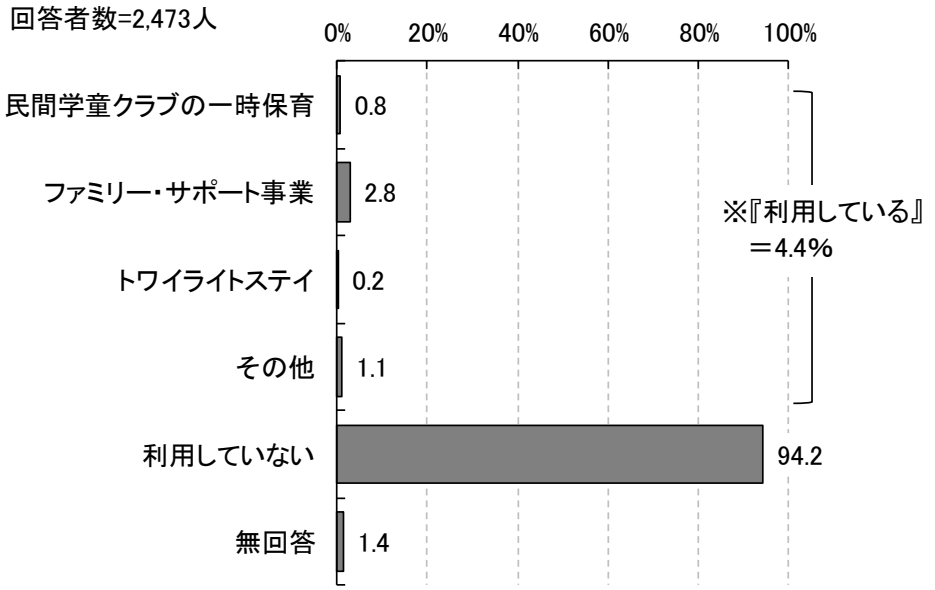
		回答者数（人）	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全体		2,473	50.7	47.1	2.2
子どもの学年別	小学1年生	201	64.2	33.3	2.5
	小学2年生	257	61.1	38.1	0.8
	小学3年生	346	53.2	45.1	1.7
	小学4年生	486	51.2	47.1	1.6
	小学5年生	570	46.0	50.5	3.5
	小学6年生	551	42.8	55.2	2.0
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	133	63.9	33.8	2.3
	フルタイム共働き	726	61.6	36.1	2.3
	フルタイム・パート共働き	718	49.2	48.6	2.2
	専業主婦（夫）	552	36.8	62.0	1.3
	パートタイム共働き	9	66.7	33.3	0.0
	夫婦とも無業	7	42.9	57.1	0.0

（2）一時預かり事業の利用状況

問 16　あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、１年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

一時預かり事業の利用状況は、「利用していない」が 94.2%であり、『利用している』が 4.4%となっている。『利用している』を具体的にみると「ファミリー・サポート事業」が 2.8%と最も多く、次いで「民間学童クラブの一時保育」が 0.8%、「トワイライトステイ」が 0.2%となっている。利用日数（年間）の平均をみると、「民間学童クラブの一時保育」が 59.0 日、「ファミリー・サポート事業」が 13.4 日、「トワイライトステイ」が 16.6 日となっている。

図表４－４－３　一時預かり事業の利用状況（複数回答）



※『利用している』＝100%－「利用していない」－「無回答」

図表４－４－４　一時預かり事業の利用日数（年間）

単位（%）

	回答者数（人）	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均日数（日）
民間学童クラブの一時保育	19	21.1	0.0	21.1	15.8	31.6	10.5	59.0
ファミリー・サポート事業	70	30.0	12.9	10.0	10.0	11.4	25.7	13.4
トワイライトステイ	6	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.6
その他	27	25.9	14.8	7.4	0.0	25.9	25.9	49.3

子どもの学年別にみると、『利用している』は、「小学２年生」の 7.8%が最も多く、次いで「小学３年生」の 6.6%、「小学１年生」の 6.5%となっている。小学校高学年では、5.0%未満となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、『利用している』は「ひとり親」の 7.5%が最も多く、次いで「フルタイム共働き」の 6.9%、「専業主婦（夫）」の 4.0%となっている。

図表４－４－５ 一時預かり事業の利用状況

単位（%）

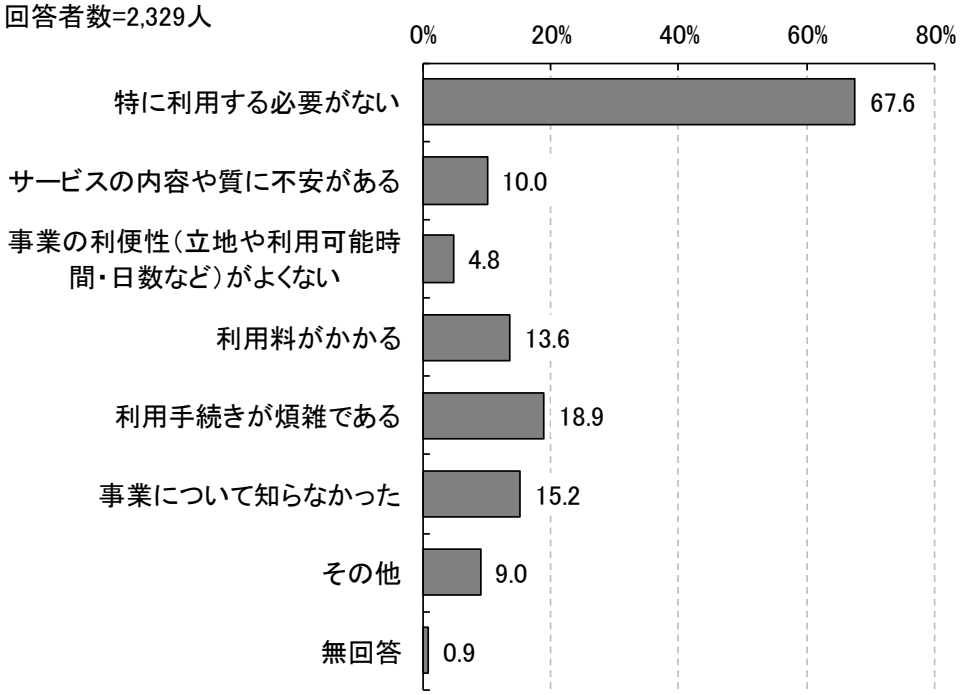
		回答者数（人）	民間学童クラブの一時保育	ファミリー・サポート事業	トワイライトステイ	その他	利用していない	無回答	『利用している』
全体		2,473	0.8	2.8	0.2	1.1	94.2	1.4	4.4
子どもの学年別	小学1年生	201	1.5	4.5	0.5	2.0	91.5	2.0	6.5
	小学2年生	257	1.2	4.3	0.4	1.9	92.2	0.0	7.8
	小学3年生	346	2.3	3.5	0.3	0.6	92.8	0.6	6.6
	小学4年生	486	0.2	2.1	0.0	1.4	95.3	1.0	3.7
	小学5年生	570	0.4	2.8	0.4	1.1	94.2	2.3	3.5
	小学6年生	551	0.2	1.6	0.0	0.5	96.2	1.6	2.2
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	133	0.0	4.5	0.8	2.3	91.7	0.8	7.5
	フルタイム共働き	726	1.4	4.8	0.6	1.2	91.6	1.5	6.9
	フルタイム・パート共働き	718	0.4	1.1	0.0	0.8	96.5	1.1	2.4
	専業主婦（夫）	552	0.5	2.4	0.0	1.3	95.1	0.9	4.0
	パートタイム共働き	9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	夫婦とも無業	7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

（3）一時預かり事業を利用していない理由

問 16-1　「５」（利用していない）に○をした方に伺います。利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

一時預かり事業を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」が 67.6%と最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」が 18.9%、「事業について知らなかった」が 15.2%となっている。

図表４－４－６　一時預かり事業を利用していない理由（複数回答）

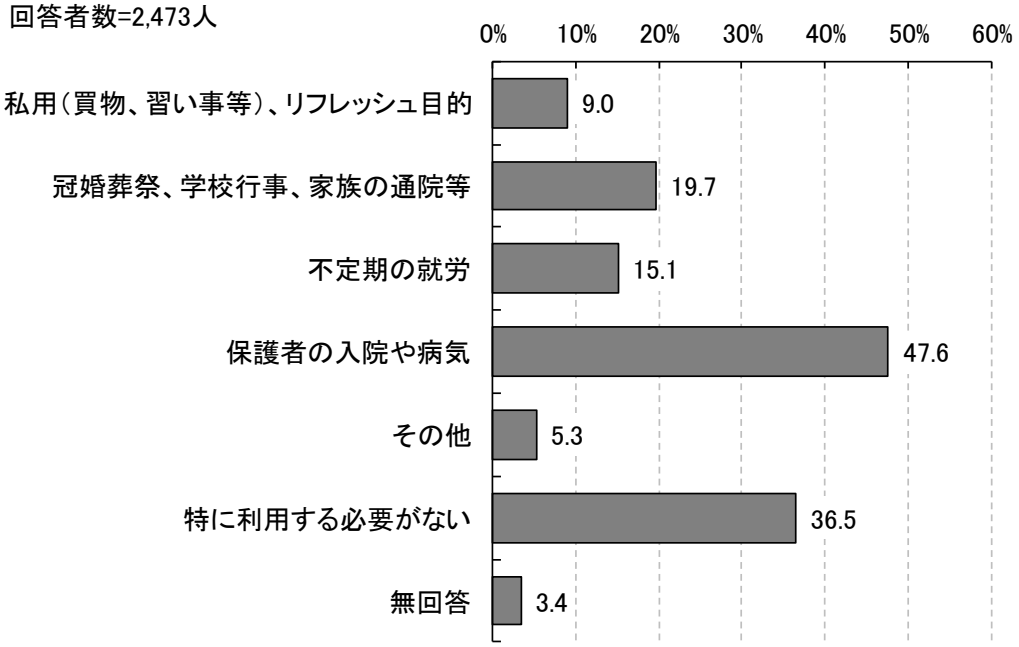


（4）一時預かり事業の利用意向

問 17　どのような時に、お子さんを一時的に預かる事業（問 16 の1～3の事業（図表4－4－4に記載の事業））を利用したいと思いますか。

一時預かり事業の利用意向をみると、「保護者の入院や病気」が 47.6%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が 19.7%、「不定期の就労」が 15.1%となっている。一方で「特に利用する必要がない」も 36.5%となっている。

図表4－4－7　一時預かり事業の利用目的（複数回答）



（5）利用したい一時預かり事業と必要日数

問 17-1　利用したいと考える事業と必要な日数を記入してください。（第3希望まで）

利用希望日数（年間）の平均をみると、「民間学童クラブの一時保育」では 21.5 日、「ファミリー・サポート事業」では 12.1 日、「トワイライトステイ」では 7.5 日となっている。

図表4－4－8　一時預かり事業の利用希望日数（年間）

単位（%）

	回答者数（人）	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均日数（日）
民間学童クラブの一時保育	1,507	7.0	4.6	6.2	1.6	3.8	76.6	21.5
ファミリー・サポート事業	1,507	8.7	4.8	4.3	1.1	1.7	79.4	12.1
トワイライトステイ	1,507	7.2	2.9	2.6	0.3	0.5	86.7	7.5
その他	1,507	0.7	0.8	0.8	0.3	0.9	96.5	33.0

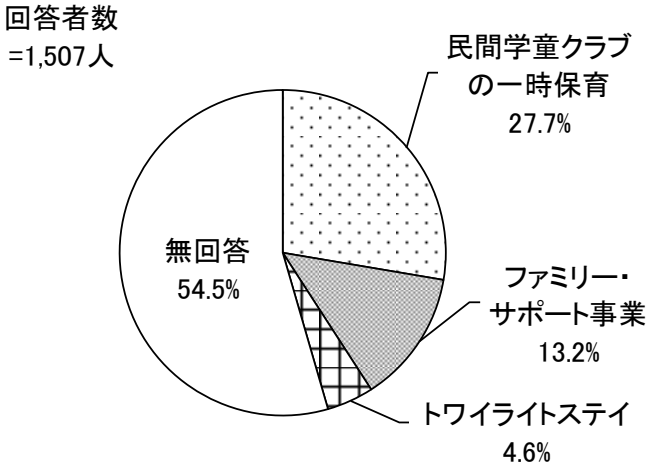
利用したいと考える事業の希望順位は、第一希望では「民間学童クラブの一時保育」が27.7%、「ファミリー・サポート事業」が13.2%、「トワイライトステイ」が4.6%となっている。

第二希望では「ファミリー・サポート事業」が15.5%、「トワイライトステイ」が5.3%、「民間学童クラブの一時保育」が5.2%となっている。

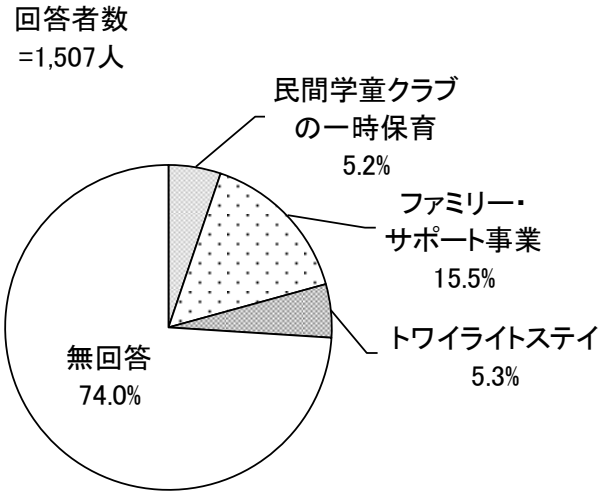
第三希望では「トワイライトステイ」が11.9%、「ファミリー・サポート事業」が2.9%、「民間学童クラブの一時保育」が2.7%となっている。

図表4－4－9　一時預かり事業の利用希望順位

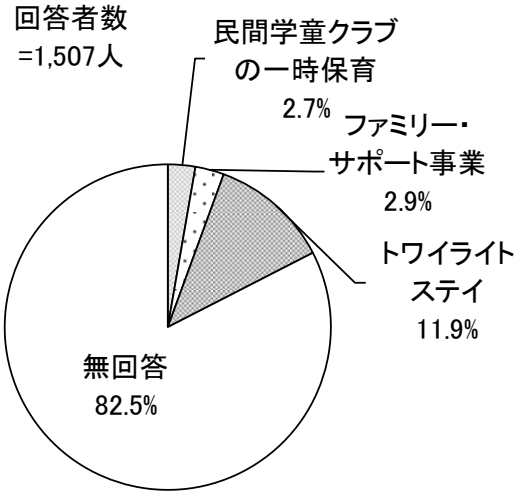
第一希望



第二希望



第三希望



一時預かり事業の利用目的を子どもの学年別にみると、小学１年生から５年生までは、「保護者の入院や病気」が４割半ばから５割半ばで最も多くなっているが、小学６年生になると「特に利用する必要がない」が 46.8%で最も多くなっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、いずれにおいても「保護者の入院や病気」が最も多くなっている。

図表４－４－１０　一時預かり事業の利用目的

単位（%）

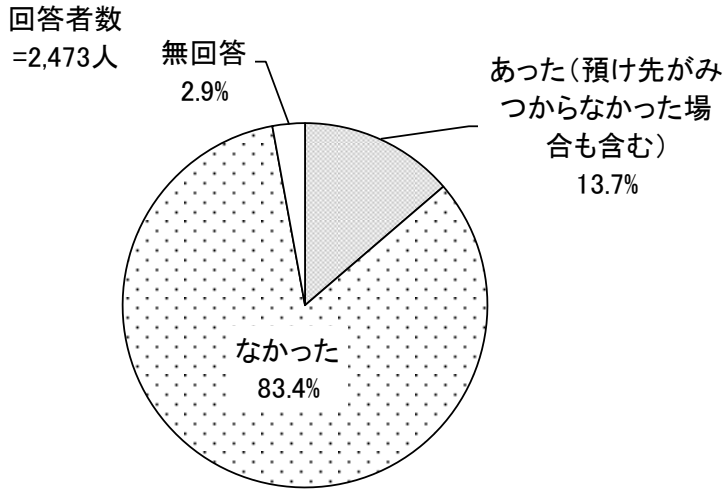
		回答者数（人）	私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	不定期の就労	保護者の入院や病気	その他	特に利用する必要がない	無回答
全体		2,473	9.0	19.7	15.1	47.6	5.3	36.5	3.4
子どもの学年別	小学1年生	201	18.4	28.9	23.4	55.2	5.0	21.9	2.5
	小学2年生	257	14.4	29.6	18.3	55.6	7.0	26.1	2.7
	小学3年生	346	9.5	20.2	16.8	48.6	6.1	34.7	3.8
	小学4年生	486	7.4	18.3	15.0	48.4	5.8	35.4	3.1
	小学5年生	570	6.0	16.1	13.9	47.2	4.2	39.5	4.2
	小学6年生	551	5.8	15.6	10.3	40.1	4.4	46.8	2.9
就労形態からみた家庭類型別	ひとり親	133	14.3	24.1	25.6	57.1	7.5	24.8	2.3
	フルタイム共働き	726	9.6	17.6	15.8	45.5	9.4	33.1	3.4
	フルタイム・パート共働き	718	7.0	19.9	15.7	47.6	3.3	38.9	3.9
	専業主婦（夫）	552	9.8	22.5	10.5	49.3	2.5	39.1	2.4
	パートタイム共働き	9	0.0	11.1	33.3	44.4	0.0	33.3	0.0
	夫婦とも無業	7	0.0	42.9	0.0	57.1	0.0	42.9	0.0

（6）泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験

問 18　この１年間に、保護者の用事（出張、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。
（○は１つ）

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた経験は、「なかった」が 83.4%、「あった（預け先がみつからなかった場合も含む）」が 13.7%となっている。

図表４－４－11　泊りがけで子どもを家族以外に預けた経験（単数回答）



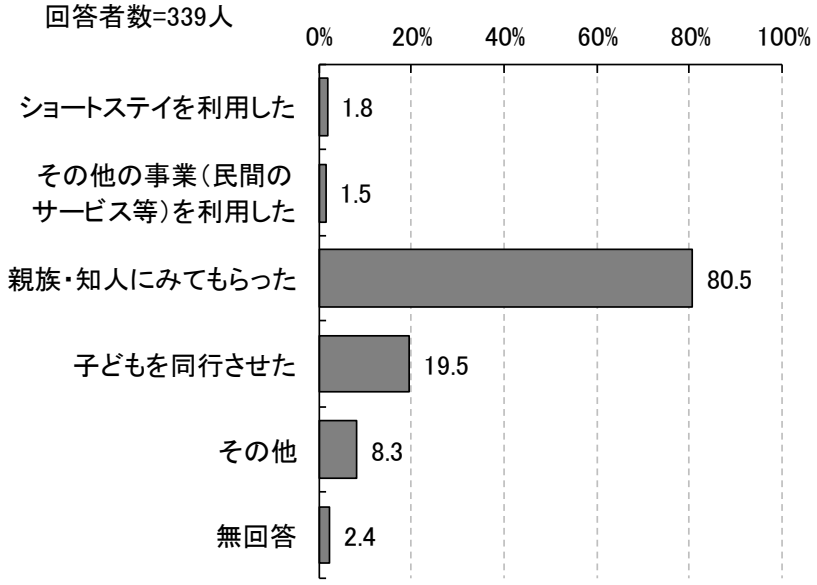
(7)泊りがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法

問 18-1　「1」（あった）に○をした方に伺います。この 1 年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。

泊まりがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が 80.5%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」が 19.5%、「ショートステイを利用した」が 1.8%となっている。

対処方法別の日数（年間）の平均は、「ショートステイを利用した」が 10.7 日、「親族・知人にみてもらった」が 7.6 日、「子どもを同行させた」が 5.3 日となっている。

図表4－4－12　泊りがけで子どもを家族以外に預けた際の対処方法(複数回答)



図表4－4－13　対処方法別の日数(年間)

単位(%)

	回答者数(人)	1～2日	3～4日	5～9日	10～19日	20日以上	無回答	平均日数(日)
ショートステイを利用した	6	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	10.7
その他の事業を利用した	5	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	2.7
親族・知人にみてもらった	273	34.4	15.4	17.9	11.4	11.0	9.9	7.6
子どもを同行させた	66	27.3	19.7	18.2	10.6	3.0	21.2	5.3
その他	28	25.0	10.7	21.4	21.4	3.6	17.9	6.2

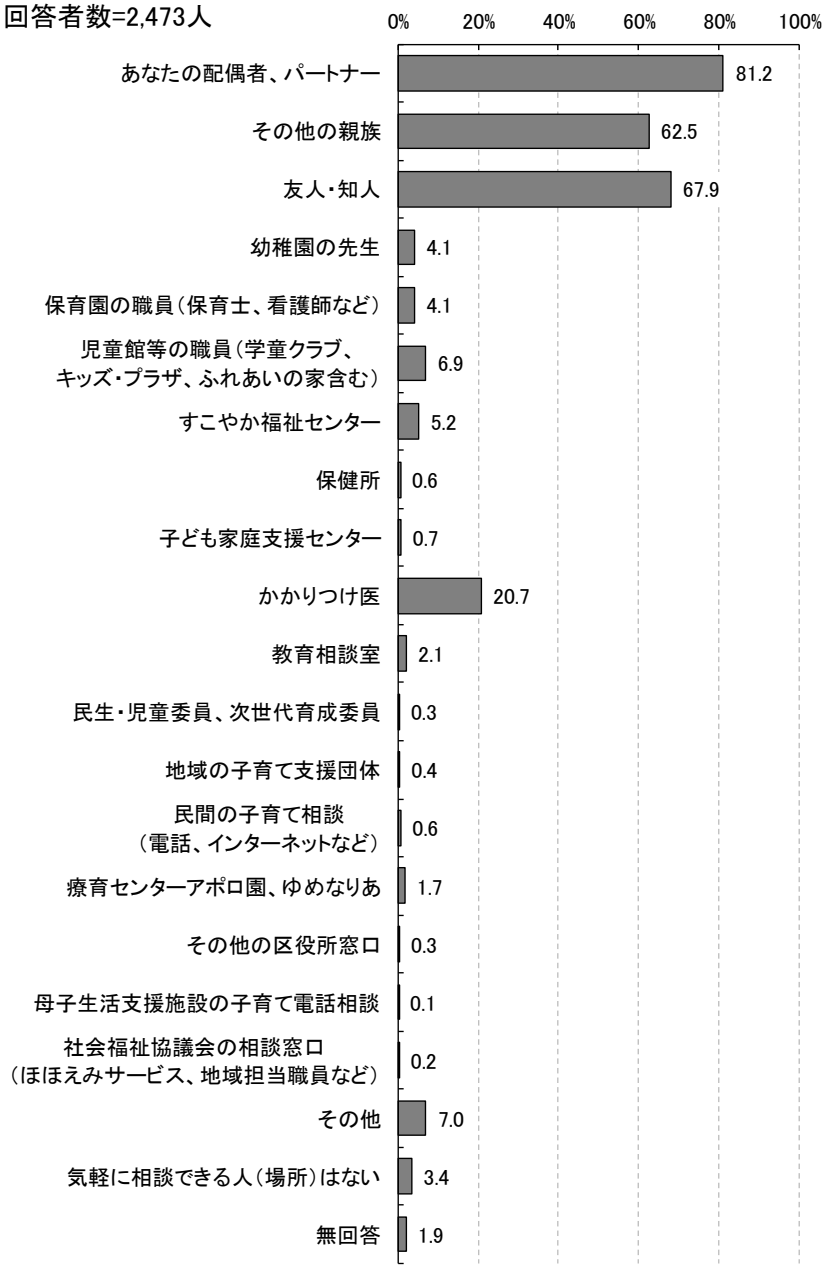
5. 子育て支援全般について

(1)子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所

問 19　あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
また、どのようなことを相談しましたか。下の「相談した内容」から番号を選択し、⇒以降の（　　）内に番号を記入してください。

子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「あなたの配偶者、パートナー」が 81.2%と最も多く、次いで「友人・知人」が 67.9%、「その他の親族」が 62.5%となっている。

図表４－５－１　子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所（複数回答）



相談相手ごとの相談内容をみると、「あなたの配偶者、パートナー」「友人・知人」に対しては、「子どもの勉強や成績」が最も多く、それぞれ68.3%、43.4%となっている。「その他の親族」に対しては、「子どもの健康や病気」が最も多く、47.5%となっている。

図表4－5－2 相談相手ごとの相談内容(複数回答)

単位(%)

	回答者数(人)	子どもの健康や病気	子どもの発達	子どものしつけ	子育て仲間がいないこと	子育てが精神的に負担になっていること	子どもとの時間が十分にとれないこと	仕事や自分のことが十分にできないこと	子どもの勉強や成績
あなたの配偶者、パートナー	2,008	55.3	36.7	58.2	1.9	7.4	6.6	11.5	68.3
その他の親族	1,546	47.5	32.1	44.8	1.0	5.0	5.0	7.2	39.6
友人・知人	1,680	33.4	27.4	40.1	0.7	4.9	4.3	7.8	43.4
幼稚園の先生	101	24.8	46.5	37.6	0.0	2.0	0.0	0.0	14.9
保育園の職員	101	36.6	46.5	45.5	2.0	3.0	7.9	4.0	9.9
児童館等の職員	171	17.5	38.0	28.1	0.6	2.9	5.3	2.3	11.7
すこやか福祉センター	128	18.0	72.7	8.6	0.0	5.5	0.8	1.6	7.8
保健所	14	35.7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子ども家庭支援センター	18	16.7	50.0	11.1	5.6	22.2	5.6	11.1	11.1
かかりつけ医	512	75.0	30.7	5.3	0.2	2.0	0.4	1.0	3.5
教育相談室	51	19.6	49.0	25.5	5.9	9.8	7.8	3.9	23.5
民生・児童委員、次世代育成委員	7	42.9	85.7	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6
地域の子育て支援団体	10	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
民間の子育て相談	16	43.8	50.0	31.3	12.5	18.8	12.5	18.8	25.0
療育センターアポロ園、ゆめなりあ	43	16.3	81.4	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6
その他の区役所窓口	8	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0
母子生活支援施設の子育て電話相談	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
社会福祉協議会の相談窓口	6	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

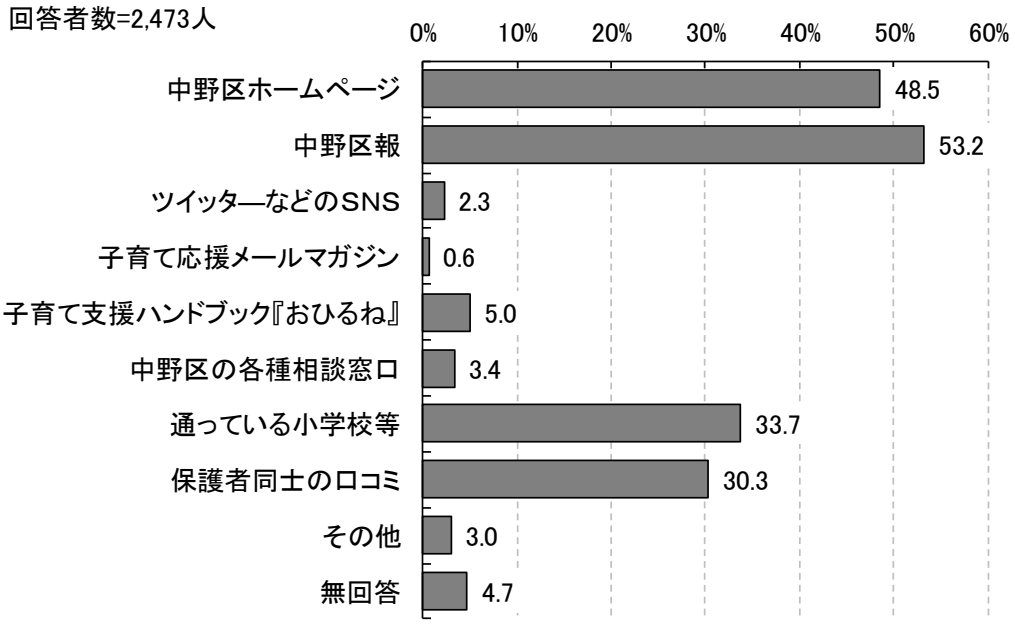
	回答者数(人)	子どもへの接し方がわからないこと	子育てに自信が持てないこと	子育てで配偶者と意見があわないこと	保護者同士の人間関係	子ども同士の人間関係	自分や家族の健康状態	子育ての経済的負担	その他	無回答
あなたの配偶者、パートナー	2,008	6.8	5.5	4.8	19.4	35.5	23.6	21.2	5.5	14.0
その他の親族	1,546	4.3	4.3	13.3	12.2	20.2	21.2	12.6	4.1	17.8
友人・知人	1,680	5.5	4.8	13.1	20.9	38.6	10.7	7.6	5.1	20.6
幼稚園の先生	101	8.9	5.9	2.0	5.0	31.7	3.0	0.0	2.0	18.8
保育園の職員	101	8.9	7.9	5.0	1.0	29.7	3.0	1.0	3.0	25.7
児童館等の職員	171	2.3	2.3	1.8	4.7	40.9	1.8	0.6	5.3	22.2
すこやか福祉センター	128	3.9	1.6	1.6	2.3	8.6	3.1	1.6	3.1	17.2
保健所	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4
子ども家庭支援センター	18	22.2	5.6	11.1	11.1	16.7	22.2	5.6	0.0	44.4
かかりつけ医	512	2.3	1.0	1.6	1.6	3.5	9.6	0.8	1.2	16.2
教育相談室	51	19.6	7.8	7.8	5.9	21.6	5.9	3.9	7.8	17.6
民生・児童委員、次世代育成委員	7	28.6	14.3	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3
地域の子育て支援団体	10	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	40.0
民間の子育て相談	16	25.0	12.5	25.0	18.8	31.3	6.3	12.5	12.5	6.3
療育センターアポロ園、ゆめなりあ	43	9.3	2.3	2.3	0.0	4.7	2.3	0.0	0.0	18.6
その他の区役所窓口	8	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0
母子生活支援施設の子育て電話相談	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0
社会福祉協議会の相談窓口	6	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0

(2)情報の入手方法

問 20　区の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
（あてはまる番号すべてに○）

情報の入手方法をみると、「中野区報」が 53.2%と最も多く、次いで「中野区ホームページ」が 48.5%、「通っている小学校等」が 33.7%となっている。

図表4－5－3 情報の入手方法(複数回答)

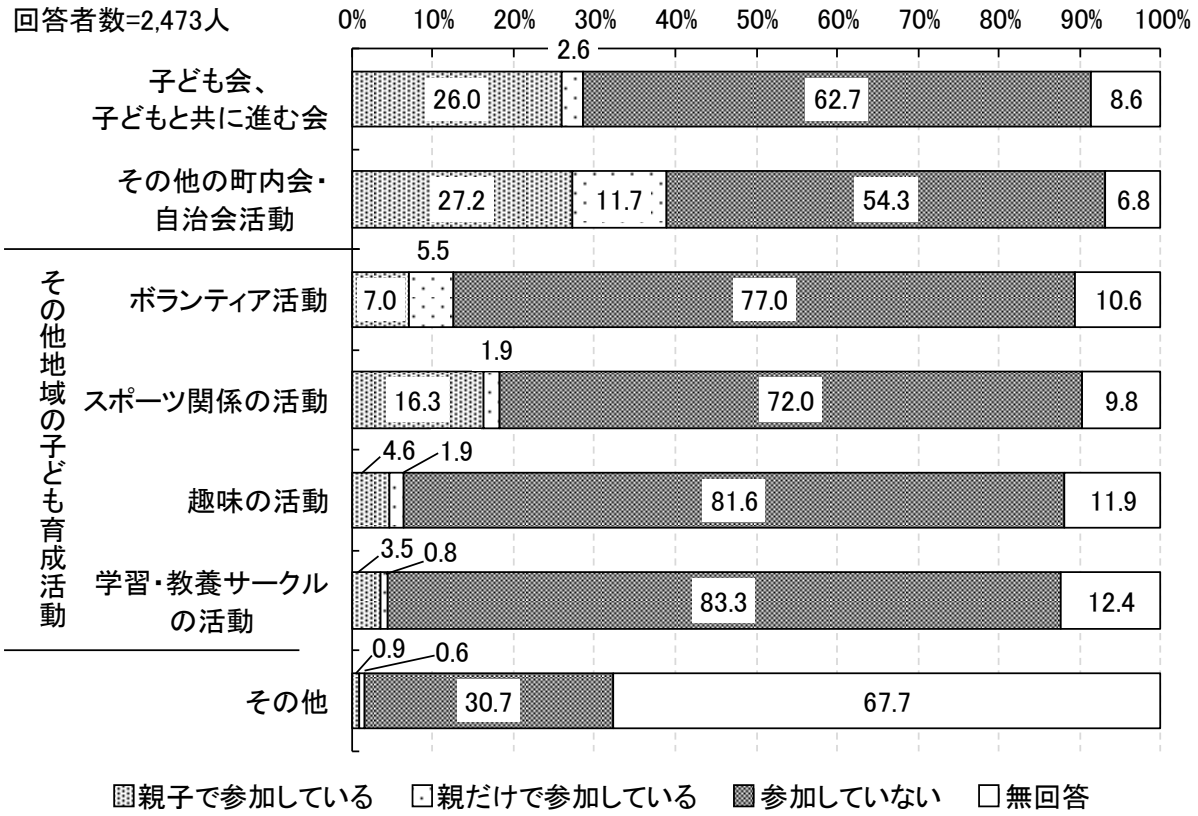


（3）地域活動への参加状況と参加意向

問21　地域の一員として、どのような内容の地域の子どもの育成活動に参加していますか。また、それらの活動について、今後どのように活動していきたいですか。活動ごとに、A・Bそれぞれ1つに○をしてください。

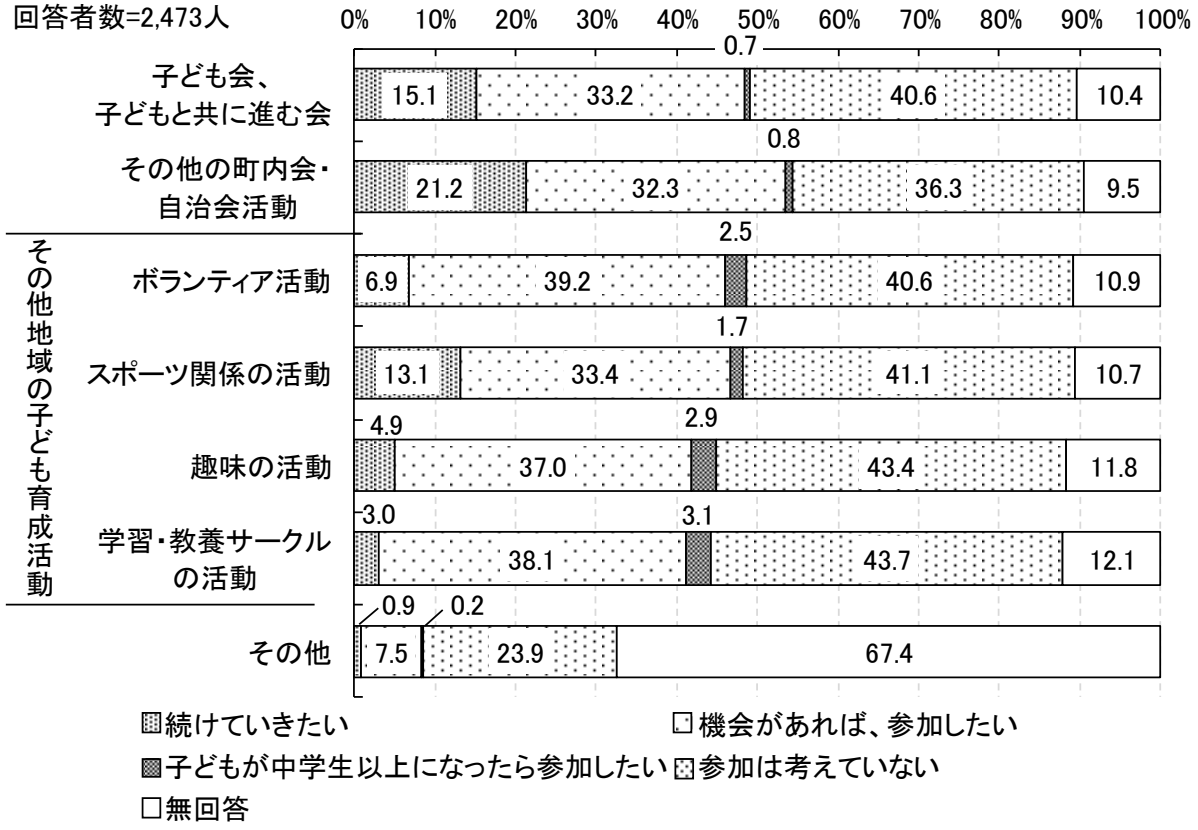
地域の子どもの育成活動への参加状況をみると、いずれの活動においても「参加していない」が最も多くなっている。「親子で参加している」では、「その他の町内会・自治会活動」が最も多く27.2%、次いで「子ども会、子どもと共に進む会」が26.0%、「スポーツ関係の活動」が16.3%になっている。

図表4－5－4　地域の子どもの育成活動への参加状況（各単数回答）



今後の参加意向をみると、いずれの活動においても「参加は考えていない」が３割半ばから４割半ば程度で最も多くなっている。一方で「機会があれば、参加したい」と回答する人も３割以上と比較的多くなっている。

図表４－５－５ 地域の子どもの育成活動への今後の参加意向（各単数回答）

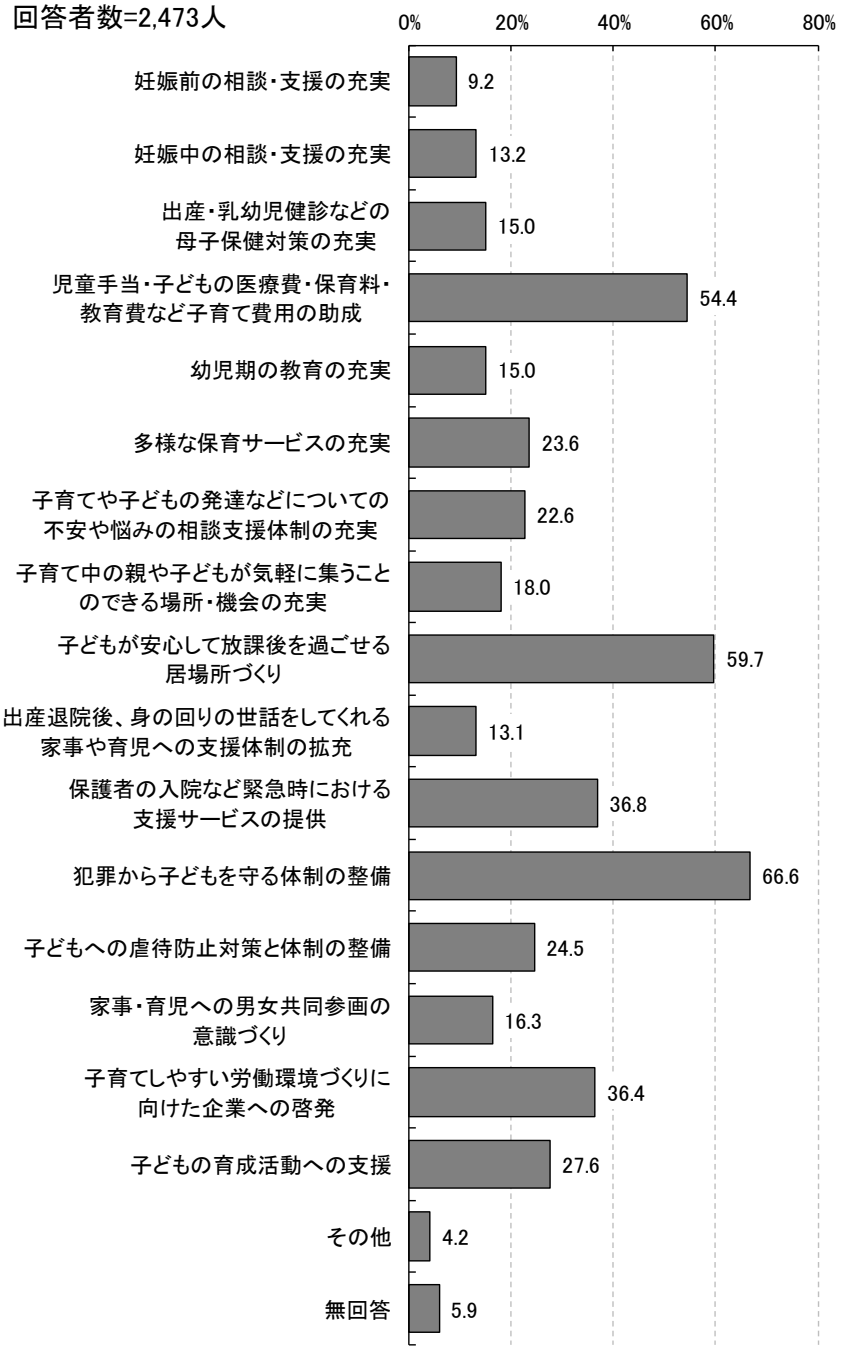


(4)進めてほしい子育て支援策

問 22　今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。
（あてはまる番号すべてに○）

子育て支援策として望むことをみると、「犯罪から子どもを守る体制の整備」が 66.6%と最も多く、次いで「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が 59.7%、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が 54.4%となっている。

図表4－5－6　子育て支援策として望むこと(複数回答)



(5)区の子育て支援策に関する意見・要望

問 23　区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

（1028 件について分類・要約して記載）

1)学童クラブについて　78 件

○学童待機児童を減らして欲しい。
○6 年生まで預けられる学童を作って欲しい。
○学童の延長時間を 20 時までに延ばして欲しい。
○キッズプラザのない小学校は、夏休み期間中、お昼ご飯前後の時間帯だけでも良いので、学童クラブを全学年で利用できるようにして欲しい。

2)保育・教育・子育て支援サービスについて　192 件

○習い事への送迎ができるようにファミリー・サポートを拡充して欲しい。
○保護者が病気の時だけでなく、リフレッシュの時にもショートステイで預かって欲しい。
○小学校の長期休暇中の預け先や子どもが急に熱を出した時等の預け先の充実、さらに職場の子どもの発熱等急な欠勤を理解してくれる環境が充実するともっと働きやすくなると思います。
○発達障害など支援が必要な子は多く、小学校、中学校、高校と継続的に支援をして欲しい。
○子どもの発達相談支援を強化と同時に、母親を支える体制も作って欲しい。
○平日は仕事の都合で相談窓口があっても行けないため、夜間や休日相談ができるとうれしい。
○保育士と子育て支援に関連する人材の給与の増額を希望します。給与がせめて中野区公務員と同等かそれ以上でなければ、素晴らしい人材も集まりません。人にお金をかけるべきです。
○区立幼稚園をこども園としてではなく、幼稚園として残して欲しいです。とても良い教育をしているのにもったいないです。

3)放課後の居場所・遊び場について　335 件

○公園でのボール遊びをさせてほしいです。子どもが安心して、自由にのびのびと思いきり遊べる場所が少なすぎます。
○キッズプラザがある学校とない学校があるのは極めて不公平と思います。放課後、子どもが安心して過ごせる場所が増えることを希望します。
○雨の日や猛暑の日でも、体を動かして遊べるような屋内施設があったらいいなと思います。
○せせらぎ公園など冬場になると芝がどろどろになってしまう公園もあります。子ども達が安心して伸び伸びと遊べるよう、公園の整備をお願いします。また、木陰が出来るような木の植樹による公園の緑化、鉄棒など公園遊具の充実もお願いしたい。
○子どもが放課後に安心して遊べる広い公園が近くにないため、なかなか外で遊ぶことが

出来ません。
○世代間交流ができる場所があるといいと思います。
○高学年も入れるようキッズプラザを増やして欲しい。
○子どもの長期休み（春夏冬）時に預かってもらえる場所があると助かります。キッズプラザがない学校で月数回だけでも帰宅せずにそのまま遊べる機会があるといいと思います。
○もっと子どもが自由に勉強できる図書館のようなフリースペースが増えてほしい。家にで一人でいる時間をなくしてあげたいとは思いますが、習いごとを入れるにも限界があります。

4）子育て環境について　107 件

○もっと子どもが安心して、楽しく過ごせるようになって欲しいです。
○中野区では最近子どもの声掛け事象が多くなっているため、子どもが安心して通学、帰宅できる地域づくりをお願いしたい。
○街中の防犯カメラをもっと設置して、子ども一人でも安心して外出が出来るまちづくりをして欲しい。
○交通量の多い道路や歩道がとても狭い道も多いため、子どもが安全に生活できる環境づくりを進めて欲しいです。
○働き方が多様化しているので、子育てに関する支援（学童や保育園の時間帯）の選択肢も多くして欲しい。
○子ども達が安心して過ごせる公園、保育園に入り易く子どもを産み育てたいと思えるような中野区にして欲しいです。子どもが増えないと未来は無いです。
○子どもを連れてベビーカーを使って、公共交通機関で移動する際など、肩身の狭い思いをすることが多いため、お互いのマナーの向上の為の対策をお願いします。
○子育てしやすい労働環境づくりを望みます。

5）経済的負担の軽減・助成について　93 件

○医療費無料は助かっています。続けて欲しいです。
○インフルエンザなど任意の予防接種に助成をして欲しい。
○学校などでかかるお金の負担軽減を希望します。
○経済的に教育にかける資金が少ない又は足りない家庭に対しての経済支援を希望します。

6）小学校及び教育環境について　110 件

○学校内に地域開放型図書館を置くという話を聞きました。子どもたちの安全面はどう守られるのか不安があります。慎重に進めて下さい。
○特別支援学級の各校への配備を望みます。
○この数年入学者が増え、中野駅南口再開発でさらに増えると思います。人口予測の見直しと、先を見越した学校施設整備をお願いします。
○発達障害だけでなくグレーゾーンの子ども達の教育について、ボーダーレスな学校生活

が送れるよう中野区全体での施策の検討を希望します。
○土曜日仕事をしている為、子どもの学校行事など土曜日ではなく日曜日にして欲しい。

7)区の子育て支援策について 91 件

○もっと様々な情報を積極的に発信して欲しいです。中野区のホームページを見れば子育てに役立つ情報が一通り入手できるくらいにして欲しい。
○他区に比べて区報の内容が薄いため､子ども向けのイベントなど細かく､掲載すべきです。
○窓口に行くのが面倒なため、利用しやすいネット窓口があればよいと思います。
○虐待の未然防止に向け、今以上の体制整備をお願いします。
○男女共同参画の更なる推進を希望します。父親の意識改革は子どもへの虐待防止にもつながることです。授乳以外のことは、全て父親もするという意識の定着が必要だと考えます。

8)その他 22 件

○災害が起こり、避難生活になった時の集団生活に子どもの心理的なこと等をとても不安に感じます。
○これからもっと日本がグローバル化して外国人が増えると思います。外国人家庭のために、保護者が日本語を話しながら学べる活動があって欲しいです。

第５章　資料（調査票）

１．乳幼児調査

中野区子ども・子育てアンケート調査
〈 乳幼児調査 〉

調査ご協力のお願い

区では、「中野区を子育て先進区へ」を合言葉に、区民参加によるまちづくりを進めています。この調査は、子ども・子育て支援事業計画の改定に当たり、幅広く区民の皆様の意見や意向を反映させるために実施するものです。

「中野で子育てし続けたい」と思っていただけるよう、子育て環境のさらなる充実に向けて努めてまいります。

調査項目が多岐にわたり、お忙しい中、大変お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成３０年９月
中　野　区

ご記入にあたってのお願い

①調査票の中の「あて名のお子さん」とは、封筒に記載されているお名前のお子さんです。

②調査票にご回答いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、**１０月２２日（月）までに** ポストに入れてください。切手は不要です。

【 お問い合わせ先 】

中野区　子ども教育部　子ども教育経営分野　企画財政担当
電話：03−3228−5610 ／ ファックス：03−3228−5679

◆回答は無記名式で、個人の回答が他にもれるなどのご迷惑をおかけすることはありません。
◆調査結果は、目的以外に使用することはありません。

1. 封筒のあて名のお子さんとご家族の状況について

問1　この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は１つ）

1. 父親　　2. 母親　　3. その他（　　）
※（　　）内には続柄を記入してください。

問2　お住まいの地域をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1. 南台　（　　丁目）	8. 新井　（　　丁目）	14. 野方　（　　丁目）
2. 弥生町（　　丁目）	9. 沼袋　（　　丁目）	15. 大和町（　　丁目）
3. 本町　（　　丁目）	10. 松が丘（　　丁目）	16. 若宮　（　　丁目）
4. 中央　（　　丁目）	11. 江原町（　　丁目）	17. 白鷺　（　　丁目）
5. 東中野（　　丁目）	12. 江古田（　　丁目）	18. 鷺宮　（　　丁目）
6. 中野　（　　丁目）	13. 丸山　（　　丁目）	19. 上鷺宮（　　丁目）
7. 上高田（　　丁目）		

問3　あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。（数字を記入）

平成（　　）年（　　）月生まれ

問4　あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。また、それぞれのお子さんの年齢をお答えください（数字を記入）

お子さんは全部で（　　）人
お子さんのそれぞれの年齢（　　）歳

問5　あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は１つ）

1. 父母ともに	4. 主に祖父母
2. 主に父親	5. その他（　　）
3. 主に母親	

問6　あて名のお子さんの父親、母親の年齢をお答えください。（○はそれぞれ１つ）

①父親		②母親	
1. 20 歳未満	5. 35-39 歳	1. 20 歳未満	5. 35-39 歳
2. 20-24 歳	6. 40-44 歳	2. 20-24 歳	6. 40-44 歳
3. 25-29 歳	7. 45 歳以上	3. 25-29 歳	7. 45 歳以上
4. 30-34 歳		4. 30-34 歳	

2. あて名のお子さんの保護者の方の就労状況について

問7　あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない　→ **問7-3へ**
6. これまで就労したことがない
7. 父親はいない　→ **4ページの問８へ**

※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外
※育児・介護のために時短勤務をされている方は「1」をお選びください

問7-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	１週あたり（　　）日 ・ １日あたり（　　）時間
②就業時間 **(残業等のない場合)**	始業時間　（　　）時（　　）分 終業時間　（　　）時（　　）分
③休日の形態	1. 固定　→ ④へ 2. 変動有り　→ ⑤へ
④休日の曜日 **（固定勤務制の方のみ回答）**	1. 月曜日　2. 火曜日　3. 水曜日　4. 木曜日 5. 金曜日　6. 土曜日　7. 日曜日
⑤勤務地	1. 中野区　2. 都内（中野区を除く） 3. 都外　4. 在宅
⑥前年度の年収	1. 200 万円未満　2. 200 万円以上 400 万円未満 3. 400 万円以上 600 万円未満　4. 600 万円以上

問7-2　「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

1. 転換希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等で働き続けたい
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問7-3　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2. １年より先、一番下の子どもが（　　）歳になった頃就労したい
3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

問7-4　「2」または「3」に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等　⇒１週あたり（　　）日・１日あたり（　　）時間

問8　あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

1.フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2.フルタイムで就労しており、育休・介護休業中
3.パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4.パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中

5.以前は就労していたが、現在は就労していない
6.これまで就労したことがない
→ 問8-3へ

7.母親はいない　→ 6ページの問９へ

※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外
※育児・介護のために時短勤務をされている方は「1」をお選びください

問8-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	１週あたり（　　）日 ・ １日あたり（　　）時間
②就業時間 (残業等のない場合)	始業時間　（　　）時（　　）分 終業時間　（　　）時（　　）分
③休日の形態	1．固定　→ ④へ 2．変動有り　→ ⑤へ
④休日の曜日 （固定勤務制の方のみ回答）	1．月曜日　2．火曜日　3．水曜日　4．木曜日 5．金曜日　6．土曜日　7．日曜日
⑤勤務地	1．中野区　2．都内（中野区を除く） 3．都外　4．在宅
⑥前年度の年収	1．200 万円未満　2．200 万円以上 400 万円未満 3．400 万円以上 600 万円未満　4．600 万円以上

問8-2　「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

1. 転換希望があり、実現できる見込みがある
2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等で働き続けたい
4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問8-3　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2. １年より先、一番下の子どもが（　　）歳になった頃就労したい
3. すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→ 問8-4　「2」または「3」に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1. フルタイム
2. パート・アルバイト等　⇒１週あたり（　　）日・１日あたり（　　）時間

3. あて名のお子さんの平日の「定期的な」幼稚園や保育施設等の利用状況等について

【「定期的な」とは、月単位で定期的に利用していることを指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問 10 に示した事業が含まれます。】

問9　あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用していますか。（○は１つ）

1. 利用している　　2. 利用していない　⇒　7ページの問 13 へ

★問10～問12は、問9で「1」に○をした方に伺います。

問10　平日にどのような幼稚園や保育施設等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※各事業の詳細は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。

1. 幼稚園（通常の時間のみ）
2. 幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）
3. 認可保育所（区立・私立保育園）
4. 認証保育所
5. 小規模保育事業
6. 家庭的保育事業
7. 認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）
8. 認定こども園（保育園枠・長時間利用）
9. 勤務先の保育施設
10. ベビーシッター
11. ベビーホテルなど
12. その他（　　）

問11　①現在、1週あたり利用日数・1日の利用時間帯をお答えください。（数字を記入）
②希望する、1週あたり利用日数・1日の利用時間帯をお答えください。（数字を記入）

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

①現 在	1週あたり（　　）日　・　1日のうち（　　）時～（　　）時まで
②希 望	1週あたり（　　）日　・　1日のうち（　　）時～（　　）時まで

問12　現在、利用している幼稚園・保育施設等の実施場所はどちらですか。（○は１つ）

1. 中野区内　　2. 他の区市町村

問13　この1年間に、あて名のお子さんの病気やけがにより、問10で○をした施設等が利用できなかったことはありますか。（○は１つ）

1. あった　　2. なかった　⇒8ページの問 14 へ

問13-1　「1」に○をした方に伺います。この1年間に行った対処方法すべてに○をし、その日数（おおよそ）を記入してください。

※半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

1. 父親が仕事を休んだ	⇒ 年間（　　）日
2. 母親が仕事を休んだ	⇒ 年間（　　）日
3. 親族・知人に子どもをみてもらった	⇒ 年間（　　）日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	⇒ 年間（　　）日
5. 病児・病後児保育を利用した	⇒ 年間（　　）日
6. ベビーシッターを利用した	⇒ 年間（　　）日
7. ファミリー・サポート事業を利用した	⇒ 年間（　　）日
8. 子連れで仕事をした（在宅勤務等を含む）	⇒ 年間（　　）日
9. その他（　　）	⇒ 年間（　　）日

問13-2　「1」または「2」に○をした方に伺います。「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますか。１つに○をし、希望する場合は利用したい日数を記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

※詳細は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい　⇒　年間（　　）日

2. 利用したいと思わない

問13-3　「2」に○をした方に伺います。利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 親が仕事を休んで対応したい
2. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
3. サービスの内容・質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない

　具体的に⇒（　　）

5. 利用料が高い
6. 利用手続きが煩雑である
7. その他（　　）

4. あて名のお子さんの「定期的」な幼稚園や保育施設等の利用希望について

★すべての方に伺います。

問14　あて名のお子さんの平日の幼稚園や保育施設等として、利用している、利用していないにかかわらず、「現在、『定期的に』利用したい」と考える事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※各事業の詳細は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。

1. 幼稚園（通常の時間のみ）
2. 幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）
3. 認可保育所（区立・私立保育園）
4. 認証保育所
5. 小規模保育事業
6. 家庭的保育事業
7. 認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）
8. 認定こども園（保育園枠・長時間利用）
9. 勤務先の保育施設
10. その他（　　）

問15　あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育施設等の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に１～２回利用したい

} 利用したい時間帯：（　　）時～（　　）時まで

★問 10 で「1」に○をした方に伺います。

問16　あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、幼稚園の利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎日利用したい
3. 週に数日利用したい

} 利用したい時間帯：（　　）時～（　　）時まで

★現在、定期的に幼稚園や保育施設等を利用していない方へ伺います。

問17　幼児教育・保育の無償化が2019年から段階的に実施される予定です。無償化によって自己負担が軽減されれば、お子さんを預けたいと思いますか。預けるとしたら、どこへ預けたいですか。

※無償化は、一定の条件があります。下の表をご覧下さい。
※保育施設等を利用するためには、一定の要件を満たし、保育認定を受けることが必要です。

1. 預けたい
2. 預ける必要はない

→

1. 幼稚園等（認定こども園の幼稚園枠含む）　　2. 保育施設等（認定こども園保育園枠含む）

表　無償化の条件

	0～2歳児	3～5歳児
認可保育所	住民税非課税世帯は無償化	全世帯が無償化
幼稚園		
認定こども園		
認可外保育サービス	上限 42,000 円で補助	上限 37,000 円で補助

5. あて名のお子さんの「不定期の」幼稚園や保育施設等の利用やショートステイの利用について

★すべての方に伺います。
※各事業の詳細は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。

問18　あて名のお子さんについて、私用、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

1. 保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）	⇒年間（　　）日
2. 保育園の一時保育（日曜日・祝日の利用）	⇒年間（　　）日
3. 保育園の短期特例保育	⇒年間（　　）日
4. 幼稚園の預かり保育	⇒年間（　　）日
5. ファミリー・サポート事業	⇒年間（　　）日
6. トワイライトステイ	⇒年間（　　）日
7. ベビーシッター	⇒年間（　　）日
8. その他（　　）	⇒年間（　　）日
9. 利用していない	

問19　問18で「9」に○をした方に伺います。現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. サービスの内容・質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
   具体的に⇒（　　）
4. 利用料が高い
5. 利用手続きが煩雑である
6. 事業について知らなかった
7. その他（　　）

問20　どのような時に、お子さんを一時的に預かる事業（問18の1～7の事業）を利用したいと思いますか。

1. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的
2. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等
3. 不定期の就労
4. 保護者の入院や病気
5. その他（　　）
6. 特に利用する必要がない

問 20-1　利用したいと考える事業と必要な日数（おおよそ）を記入してください。（第３希望まで）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 保育園の一時保育	第（　　）希望	年間（　　）日
2. 短期特例保育	第（　　）希望	年間（　　）日
3. 幼稚園の預かり保育	第（　　）希望	年間（　　）日
4. ファミリー・サポート事業	第（　　）希望	年間（　　）日
5. トワイライトステイ	第（　　）希望	年間（　　）日
6. ベビーシッター	第（　　）希望	年間（　　）日
7. その他（　　）		年間（　　）日

問21　この１年間に、保護者の用事（出張や家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。（○は１つ）

1. あった（預け先がみつからなかった場合も含む）　　2. なかった

→**問21-1　「1」に○をした方に伺います。この1年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。**

1. ショートステイを利用した	⇒	年間（　　）日
2. 1 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	⇒	年間（　　）日
3. 親族・知人にみてもらった	⇒	年間（　　）日
4. 子どもを同行させた	⇒	年間（　　）日
5. その他（　　）	⇒	年間（　　）日

→**問21-2　「2」～「5」に○をした方に伺います。ショートステイを利用しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）**

1. 特に利用する必要がなかった
2. サービスの内容・質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない

　具体的に⇒（　　）
4. 利用料が高い
5. 利用手続きが煩雑である
6. 事業について知らなかった
7. その他（　　）

6. あて名のお子さんの子育てひろばの利用について

★すべての方に伺います。

問22　あて名のお子さんは、現在、子育てひろばを利用していますか。（利用しているものすべてに○）

1. 児童館、ふれあいの家の子育てひろば
2. すこやか福祉センターの子育てひろば
3. 地域の団体が実施する子育てひろば、乳幼児親子の居場所
4. 民間の乳幼児施設が実施する子育てひろば
5. 利用していない

→ 問22-1　「1」～「4」に○をした方に伺います。子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。「1」～「4」をあわせた、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。（数字を記入）

1週あたり（　　）回　もしくは　1か月あたり（　　）回程度

問22-2　実際に子育てひろばを利用して、よかったことはありますか。①と②のどちらにも回答してください。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

①保護者の方	②お子さん
1. 知り合いや友人ができた	1. 遊び相手ができた
2. 子育てに関する相談ができた	2. 遊びの幅が広がった・興味が広がった
3. 地域の子育て情報を入手できた	3. 体を動かすようになった
4. 考え方や見方の視野が広まった	4. 道具などの使い方が上手になった
5. 外出の機会が増えた	5. 食欲や食事量が増えた
6. 不安や孤独感等を感じることが減った	6. 社会のルールを学ぶ機会を得た
7. 規則正しい生活ができるようになった	7. 生活リズムができた
8. 子育てを楽しむ余裕ができた	8. よく寝るようになった
9. その他（　　）	9. その他（　　）
10. わからない	10. わからない
11. 特にない	11. 特にない

→ 問23　問22で「5」に○をした方に伺います。利用していない理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない
2. 通いやすい場所にない
3. 子育てひろばについて知らなかった
4. その他（　　）

問24　子育てひろばについて、今後の利用意向を伺います。１つに○をし、希望する場合は、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。

1. 今の利用でちょうど良い
2. 現在は利用していないが、今後利用したい
   ⇒　１週あたり（　　）回　もしくは　１か月あたり（　　）回程度
3. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
   ⇒　１週あたり（　　）回　もしくは　１か月あたり（　　）回程度
4. 利用したいとは思わない

問 25　子育てひろばに、期待している（期待したい）ことは次のどれですか。
３つ以内に○をし、そのうち最も期待していることには◎をしてください。

1. いつでも気軽に立ち寄れる
2. 子育てに関する相談に応じてくれる
3. 保護者同士が知り合いになれる
4. 地域の子育て情報を入手できる
5. 愚痴や不安を言える相手がいる
6. 気分転換やリフレッシュができる
7. 子どもが（または親子で）遊ぶ場所を提供してくれる
8. 子どもどうしの交流ができる（友だちができる）
9. 子どもの社会性を養う
10. 家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる
11. 体を動かすことができる
12. 知的な能力を育てることができる
13. 講座やイベントに参加できる
14. その他（　　）

★あて名のお子さんが**5歳以上**である方に伺います。⇒ **5歳未満の方は、16 ページの問 29 へ**

7. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について

問26　あて名のお子さんについて、小学校になったら、放課後（平日の小学校終了後）をどこで過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をし、希望する日数を記入してください。「4. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も、（例）18時のように24時間制で記入してください。

※学童クラブ、ファミリー・サポート事業の利用には、一定の利用料がかかります。

放課後の過ごし方	低学年(1～3 年生)	高学年(4～6 年生)
1. 自宅	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
4. 学童クラブ	⇒　週（　　）日 →下校時から（　　）時まで	⇒　週（　　）日 →下校時から（　　）時まで
5. 児童館（ふれあいの家含む）	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
6. キッズ・プラザ	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
7. 放課後子ども教室	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
8. ファミリー・サポート事業	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日
9. その他（公園、図書館など）	⇒　週（　　）日	⇒　週（　　）日

★問26で「4」に○をした方に伺います。

問27　あて名のお子さんについて、①土曜日、②日曜日・祝日に、学童クラブの利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用したい時間帯：（　　）時～（　　）時まで

3. 利用する必要はない

②日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用したい時間帯：（　　）時～（　　）時まで

3. 利用する必要はない

問28　あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、学童クラブの利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

※時間は、（例）9時～18時のように、24時間制で記入してください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用したい時間帯：（　　）時～（　　）時まで

3. 利用する必要はない

8. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

★すべての方に伺います。

問29　あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親、②母親それぞれ１つに○をしてください。取得していない方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

※父子家庭の方は①のみ、母子家庭の方は②のみご回答ください。

①父親	②母親
1. 働いていなかった　→ 問 31 へ	1. 働いていなかった　→ 問 31 へ
2. 取得した　→問30へ	2. 取得した　→問30へ
3. 取得中である　→ 問 31 へ	3. 取得中である　→ 問 31 へ
4. 取得しなかった　→ 問 31 へ	4. 取得しなかった　→ 問 31 へ
育休制度を取得しなかった理由 ※下の番号を選んで記入してください。(いくつでも)	育休制度を取得しなかった理由 ※下の番号を選んで記入してください。(いくつでも)

1. 配偶者が育児休業制度を利用した
2. 職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
3. 職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった
4. 育児休業を取得できることを知らなかった
5. 産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず退職した
6. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
7. 育児休業をすると保育園等に預けるのが難しかった
8. 仕事が忙しかった
9. 仕事に早く復帰したかった
10. 休むと仕事に戻るのが難しそうだった
11. 昇給・昇格などが遅れそうだった
12. 収入が減り、経済的に苦しくなる
13. 保育園などに預けることができた
14. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった
15. 子育てや家事に専念するため退職した
16. その他（　　）

★問29で「2」に○をした方に伺います。

問30　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。①父親、②母親それぞれ１つに○をしてください。

①父親	②母親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中（終了時）に離職した → 問 31 へ	2. 育児休業中（終了時）に離職した → 問 31 へ

問30-1　「1」に○をした方に伺います。職場に復帰したタイミングとその時のお子さんの年齢はいくつですか。（○は１つ）

①父親	②母親
1. 年度初め（保育園入園にあわせて） 2. 育児休業終了時 3. その他（　　）	1. 年度初め（保育園入園にあわせて） 2. 育児休業終了時 3. その他（　　）
あて名のお子さんが（　　）歳（　　）か月のとき	あて名のお子さんが（　　）歳（　　）か月のとき

問31　仕事に復帰した際に、必ず希望の施設に入れるとしたら、いつまで育児休業を取得したいですか。（○は１つ、希望の復帰時期をお答えください。）

①父親	②母親
1. 子どもが１歳になるまで取得したい 2. 子どもが２歳になるまで取得したい 3. 子どもが３歳になるまで取得したい 4. その他（　　）	1. 子どもが１歳になるまで取得したい 2. 子どもが２歳になるまで取得したい 3. 子どもが３歳になるまで取得したい 4. その他（　　）

★問32は、問31の「希望の復帰時期」が、問30－1「実際の復帰時期」と異なる方に伺います。

問32　希望の時期に復帰できなかった（しなかった）理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

①父親

希望より早く復帰した方	希望より遅く復帰した方
1. 希望する保育園等に入るため 2. 配偶者や家族の希望 3. 経済的な理由 4. 人事異動や業務の節目など仕事の都合 5. 子どもをみてくれる人がいた 6. その他（　　）	1. 希望する保育園等に入れなかったため 2. 自分や子どもの体調が思わしくなかった 3. 配偶者や家族の希望 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他（　　）

②母親

希望より早く復帰した方	希望より遅く復帰した方
1. 希望する保育園等に入るため 2. 配偶者や家族の希望 3. 経済的な理由 4. 人事異動や業務の節目など仕事の都合 5. 子どもをみてくれる人がいた 6. その他（　　）	1. 希望する保育園等に入れなかったため 2. 自分や子どもの体調が思わしくなかった 3. 配偶者や家族の希望 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった 5. 子どもをみてくれる人がいなかった 6. その他（　　）

問33　育児休業から職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。１つに○をし、利用したかったがしなかった方はその理由を下の表から選んで番号を記入してください。

①父親	②母親
1. 利用する必要がなかった （もともと短時間勤務等） 2. 利用した 3. 利用したかったが、しなかった（できなかった） ↓ 理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも）	1. 利用する必要がなかった （もともと短時間勤務等） 2. 利用した 3. 利用したかったが、しなかった（できなかった） ↓ 理由 ※下の番号を選んで記入してください。（いくつでも）

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園に入りにくい
5. 配偶者が短時間勤務制度や育児休業制度を利用した
6. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった
7. 短時間勤務制度がなかった
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他（　　）

9. 子育て支援全般について

★すべての方に伺います。

問34　あて名のお子さんの出産直後に、お子さんの子育てや家事を手伝ってくれた人や利用したサービスはありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. あなたの配偶者・パートナー
2. 里帰り出産先の子どもの祖父母
3. 2 以外の子どもの祖父母
4. 子どもの祖父母以外の親族
5. 産後ケア事業
6. ほほえみサービス（社会福祉協議会が実施しているサービス）
7. 友人・知人
8. NPO 法人や民間サービス
9. その他（　　）
10. 手伝ってくれた人はいなかった・サービスは利用しなかった

★フルタイム、パートタイムにかかわらず、仕事をお持ちの方に伺います。

問35　仕事のある日にあて名のお子さんと接する時間は、どのくらいありますか。また、その時間はどのくらいが理想だと思っていますか。①父親、②母親それぞれ１つに○をしてください。

※接する時間とはお子さんが起きている時間を指します。

	①父親	②母親
現状	1. ほとんどない 2. 30 分くらい 3. 1 時間くらい 4. 2 時間くらい 5. 3 時間くらい 6. 4 時間以上	1. ほとんどない 2. 30 分くらい 3. 1 時間くらい 4. 2 時間くらい 5. 3 時間くらい 6. 4 時間以上
理想	1. 30 分くらい 2. 1 時間くらい 3. 2 時間くらい 4. 3 時間くらい 5. 4 時間以上	1. 30 分くらい 2. 1 時間くらい 3. 2 時間くらい 4. 3 時間くらい 5. 4 時間以上

問36　あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所はありますか。
（あてはまる番号すべてに○）
また、どのようなことを相談しましたか。下の「相談した内容」から番号を選択し、⇒以降の（　　）内に番号を記入してください。

1. あなたの配偶者、パートナー　⇒（　　）
2. その他の親族　⇒（　　）
3. 友人・知人　⇒（　　）
4. 幼稚園の先生　⇒（　　）
5. 保育園の職員（保育士、看護師など）　⇒（　　）
6. 児童館等の職員（学童クラブ、キッズ・プラザ、ふれあいの家含む）⇒（　　）
7. すこやか福祉センター　⇒（　　）
8. 保健所　⇒（　　）
9. 子ども家庭支援センター　⇒（　　）
10. かかりつけ医　⇒（　　）
11. 教育相談室　⇒（　　）
12. 民生・児童委員、次世代育成委員　⇒（　　）
13. 地域の子育て支援団体　⇒（　　）
14. 民間の子育て相談（電話、インターネットなど）⇒（　　）
15. 療育センターアポロ園、ゆめなりあ　⇒（　　）
16. その他の区役所窓口　⇒（　　）
17. 母子生活支援施設の子育て電話相談⇒（　　）
18. 社会福祉協議会の相談窓口（ほほえみサービス、地域担当職員など）⇒（　　）
19. その他（　　）
20. 気軽に相談できる人（場所）はない

相談した内容	
1. 子どもの健康や病気	9. 子どもへの接し方がわからないこと
2. 子どもの発達	10. 子育てに自信が持てないこと
3. 子どものしつけ	11. 子育てで配偶者と意見があわないこと
4. 子育て仲間がいないこと	12. 保護者同士の人間関係
5. 子育てが精神的に負担になっていること	13. 自分や家族の健康状態
6. 子どもとの時間が十分にとれないこと	14. 子育ての経済的負担
7. 仕事や自分のことが十分にできないこと	15. その他
8. 子どもの勉強や成績	

問37　区内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．中野区ホームページ	6．中野区の各種相談窓口
2．中野区報	7．通っている幼稚園・保育施設等
3．ツイッターなどのＳＮＳ	8．保護者同士の口コミ
4．子育て応援メールマガジン	9．その他（　　）
5．子育てハンドブック『おひるね』	

問38　地域の一員として、どのような内容の地域の子どもの育成活動に参加していますか。また、それらの活動について、今後どのように活動していきたいですか。活動ごとに、Ａ・Ｂそれぞれ１つに○をしてください。

	A. 現在の参加状況			B. 今後の参加意向				
	親子で参加している	親だけで参加している	参加していない	続けていきたい	機会があれば、参加したい	子どもを預けることができたら参加したい	子どもが小学生以上になったら参加したい	参加は考えていない
1．子ども会、子どもと共に進む会	1	2	3	1	2	3	4	5
2．その他の町内会・自治会活動	1	2	3	1	2	3	4	5
3．その他地域の子ども育成活動								
－ボランティア活動	1	2	3	1	2	3	4	5
－スポーツ関係の活動	1	2	3	1	2	3	4	5
－趣味の活動	1	2	3	1	2	3	4	5
－学習・教養サークルの活動	1	2	3	1	2	3	4	5
4．その他（　　）	1	2	3	1	2	3	4	5

問 39　今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 妊娠前の相談・支援の充実
2. 妊娠中の相談・支援の充実
3. 出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実
4. 児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成
5. 幼児期の教育の充実
6. 多様な保育サービスの充実
7. 子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の充実
8. 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の充実
9. 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり
10. 出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援体制の拡充
11. 保護者の入院など緊急時における支援サービスの提供
12. 犯罪から子どもを守る体制の整備
13. 子どもへの虐待防止対策と体制の整備
14. 家事・育児への男女共同参画の意識づくり
15. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
16. 子どもの育成活動への支援
17. その他（　　）

問40　区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
調査票は、返信用封筒に入れ、１０月２２日（月）までにポストに入れてください。

2. 就学児童調査

中野区子ども・子育てアンケート調査
〈 就学児童（小学校 1～6年生）調査 〉

*****調査ご協力のお願い*****

区では、「中野区を子育て先進区へ」を合言葉に、区民参加によるまちづくりを進めています。この調査は、子ども・子育て支援事業計画の改定に当たり、幅広く区民の皆様の意見や意向を反映させるために実施するものです。

「中野で子育てし続けたい」と思っていただけるよう、子育て環境のさらなる充実に向けて努めてまいります。

調査項目が多岐にわたり、お忙しい中、大変お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成３０年９月
中　野　区

*****ご記入にあたってのお願い*****

①調査票の中の「あて名のお子さん」とは、封筒に記載されているお名前のお子さんです。

③調査票にご回答いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、１０月２２日（月）までに ポストに入れてください。切手は不要です。

【 お問い合わせ先 】

中野区　子ども教育部　子ども教育経営分野　企画財政担当
電話：03−3228−5610 ／ ファックス：03−3228−5679

◆回答は無記名式で、個人の回答が他にもれるなどのご迷惑をおかけすることはありません。
◆調査結果は、目的以外に使用することはありません。

１．封筒のあて名のお子さんとご家族の状況について

問1　この調査票にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は１つ）

１．父親　　２．母親　　３．その他（　　）
※（　　）内には続柄を記入してください。

問2　お住まいの地域をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

１．南台　（　　丁目）	８．新井　（　　丁目）	１４．野方　（　　丁目）
２．弥生町（　　丁目）	９．沼袋　（　　丁目）	１５．大和町（　　丁目）
３．本町　（　　丁目）	１０．松が丘（　　丁目）	１６．若宮　（　　丁目）
４．中央　（　　丁目）	１１．江原町（　　丁目）	１７．白鷺　（　　丁目）
５．東中野（　　丁目）	１２．江古田（　　丁目）	１８．鷺宮　（　　丁目）
６．中野　（　　丁目）	１３．丸山　（　　丁目）	１９．上鷺宮（　　丁目）
７．上高田（　　丁目）		

問3　あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。（数字を記入）

平成（　　）年（　　）月生まれ

問4　あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。また、それぞれのお子さんの年齢をお答えください。（数字を記入）

お子さんは全部で（　　）人
お子さんのそれぞれの年齢（　　）歳

問5　あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（○は１つ）

１．父母ともに	４．主に祖父母
２．主に父親	５．その他（　　）
３．主に母親	

問6　あて名のお子さんの父親・母親の年齢をお答えください。（○はそれぞれ１つ）

①父親		②母親	
１．20 歳未満	５．35-39 歳	１．20 歳未満	５．35-39 歳
２．20-24 歳	６．40-44 歳	２．20-24 歳	６．40-44 歳
３．25-29 歳	７．45 歳以上	３．25-29 歳	７．45 歳以上
４．30-34 歳		４．30-34 歳	

2．あて名のお子さんの保護者の方の就労状況について

問7　あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

1．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中
3．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中

5．以前は就労していたが、現在は就労していない
6．これまで就労したことがない
→ **問 7-3 へ**

7．父親はいない　**→4ページの問８へ**

※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外
※育児・介護のために時短勤務をされている方は「1」をお選びください。

→ **問7-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）**

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	１週あたり（　　）日 ・ １日あたり（　　）時間
②就業時間 **(残業等のない場合)**	始業時間　（　　）時（　　）分 終業時間　（　　）時（　　）分
③休日の形態	１．固定　→ ④へ ２．変動有り　→ ⑤へ
④休日の曜日 **（固定勤務制の方のみ回答）**	１．月曜日　２．火曜日　３．水曜日　４．木曜日 ５．金曜日　６．土曜日　７．日曜日
⑤勤務地	１．中野区　２．都内（中野区を除く） ３．都外　４．在宅
⑥前年度の年収	１．200 万円未満　２．200 万円以上 400 万円未満 ３．400 万円以上 600 万円未満　４．600 万円以上

問7-2　「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

1．転換希望があり、実現できる見込みがある
2．転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等で働き続けたい
4．仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問7-3　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1．子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になった頃就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

問7-4　「2」または「3」に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1．フルタイム
2．パート・アルバイト等　⇒１週あたり（　　）日・１日あたり（　　）時間

問8　あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（○は１つ）

1．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中
3．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中

5．以前は就労していたが、現在は就労していない
6．これまで就労したことがない
→ 問8-3へ

7．母親はいない　→6ページ問９のへ

※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等：フルタイム以外
※育児・介護のために時短勤務をされている方は「1」をお選びください

問8-1　「1」～「4」（就労している）に○をした方に伺います。下記についてお答えください。（○は１つ、ただし④のみあてはまる番号すべてに○、（　　）内は数字を記入）

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は（例）18時のように、24時間制で記入してください。

①就労日数・就労時間	１週あたり（　　）日 ・ １日あたり（　　）時間
②就業時間 **(残業等のない場合)**	始業時間　（　　）時（　　）分 終業時間　（　　）時（　　）分
③休日の形態	1．固定　→ ④へ 2．変動有り　→ ⑤へ
④休日の曜日 （固定勤務制の方のみ回答）	1．月曜日　2．火曜日　3．水曜日　4．木曜日 5．金曜日　6．土曜日　7．日曜日
⑤勤務地	1．中野区　2．都内（中野区を除く） 3．都外　4．在宅
⑥前年度の年収	1．200万円未満　2．200万円以上400万円未満 3．400万円以上600万円未満　4．600万円以上

問8-2　「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をした方に伺います。
フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は１つ）

1．転換希望があり、実現できる見込みがある
2．転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等で働き続けたい
4．仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問8-3　「5」または「6」（就労していない）に○をした方に伺います。
就労したいという希望はありますか。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1．子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）
2．１年より先、一番下の子どもが（　　）歳になった頃就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

問8-4　「2」または「3」に○をした方に伺います。希望する就労形態をお答えください。（○は１つ、（　　）内は数字を記入）

1．フルタイム
2．パート・アルバイト等　⇒１週あたり（　　）日・１日あたり（　　）時間

3．あて名のお子さんの放課後の過ごし方について

★すべての方に伺います。

問9　あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をしてください。また、「5」、「6」以外に○をした場合は、週あたり日数を記入してください。

1．自宅	⇒ 週（　　）日
2．祖父母宅や友人・知人宅	⇒ 週（　　）日
3．習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	⇒ 週（　　）日
4．学童クラブ	⇒ 週（　　）日
5．児童館（ふれあいの家含む）	
6．キッズ・プラザ	
7．放課後子ども教室	⇒ 週（　　）日
8．ファミリー・サポート事業	⇒ 週（　　）日
9．その他（公園、図書館など）	⇒ 週（　　）日

→ **問 9-1　「4」に○をした方に伺います。①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日、③夏休み等の利用状況をお答えください。**

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

①放課後（平日の小学校終了後）	下校時から（　　）時まで
②土曜日	1．利用している ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用していない
③夏休み等	1．利用している ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用していない

問10　あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、学童クラブの利用を希望しますか。①～④それぞれについて1つに○をし、希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。

※時間は、（例）8時～18時のように、24時間制で記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）になったら
①平日	1．利用したい ⇒1 週あたり（　　）日 （　　）時まで 2．利用する必要はない	1．利用したい ⇒1 週あたり（　　）日 （　　）時まで 2．利用する必要はない
②土曜日	1．利用したい ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用する必要はない	1．利用したい ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用する必要はない
③日曜日・祝日	1．利用したい ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用する必要はない	1．利用したい ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用する必要はない
④夏休み等	1．利用したい ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用する必要はない	1．利用したい ⇒（　　）時～（　　）時 2．利用する必要はない

問 11　あて名のお子さんのキッズ・プラザの現在の利用状況をお答えください。１つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

１．利用している　⇒　１週あたり（　　）日　もしくは　１か月あたり（　　）日

２．利用していない

→ 問 11-1　「１」に○をした方に伺います。キッズ・プラザを利用して、お子さんにとって良かったことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

１．学年を超えた友人が出来た	５．生活リズムが出来た
２．遊びの幅が広がった・興味が広がった	６．その他（　　）
３．地域の活動に参加するようになった	７．わからない
４．体を動かすようになった	８．特にない

→ 問 11-2　「２」に○をした方に伺います。キッズ・プラザを利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

１．利用する時間がない	４．友達が行かない
２．どこにあるか知らない	５．通っている学校にない
３．行ってもおもしろくない	６．その他（　　）

問 12　あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、キッズ・プラザの利用を希望しますか。１つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

１．利用したい　⇒　１週あたり（　　）日　もしくは　１か月あたり（　　）日

２．自校であれば利用したい　⇒　１週あたり（　　）日　もしくは　１か月あたり（　　）日

３．利用したいと思わない

問 13　あて名のお子さんの児童館の現在の利用状況をお答えください。１つに○をし、利用している場合は、利用日数を記入してください。

１．利用している　⇒　１週あたり（　　）日　もしくは　１か月あたり（　　）日

２．利用していない　→　問 13-2 へ

→ 問 13-1　「１」に○をした方に伺います。児童館を利用して、お子さんにとってよかったことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

１．学年を超えた友人が出来た	５．生活リズムが出来た
２．遊びの幅が広がった・興味が広がった	６．その他（　　）
３．地域の活動に参加するようになった	７．わからない
４．体を動かすようになった	８．特にない

問 13-2　問 13 で「2」に○をつけた方に伺います。児童館を利用していない理由は何ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．利用する時間がない	4．友達が行かない
2．どこにあるか知らない	5．その他（　　）
3．行ってもおもしろくない	

問 14　あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、児童館の利用を希望しますか。
1 つに○をし、希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

1．利用したい　⇒　1 週あたり（　　）日　もしくは　1 か月あたり（　　）日
2．利用したいと思わない（理由：　　）

4．あて名のお子さんの子育て支援事業の利用状況について

★すべての方に伺います。

問 15　あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならない時に、預けることができる事業があったら利用したいと思いますか。（○は１つ）

１．利用したい　　２．利用したいと思わない

問 16　あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をし、１年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

１．民間学童クラブの一時保育　⇒ 年間（　　）日
２．ファミリー・サポート事業　⇒ 年間（　　）日
３．トワイライトステイ　⇒ 年間（　　）日
４．その他（　　）⇒ 年間（　　）日
５．利用していない

→ **問 16-1　「５」に○をした方に伺います。利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）**

１．特に利用する必要がない
２．サービスの内容や質に不安がある
３．事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
　⇒具体的に（　　）
４．利用料がかかる
５．利用手続きが煩雑である
６．事業について知らなかった
７．その他（　　）

問 17　どのような時に、お子さんを一時的に預かる事業（問 16 の１～３の事業）を利用したいと思いますか。

１．私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的
２．冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等
３．不定期の就労
４．保護者の入院や病気
５．その他（　　）
６．特に利用する必要がない

問 17-1　利用したいと考える事業と必要な日数を記入してください。（第３希望まで）
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①民間学童クラブの一時保育	第（　　）希望	年間（　　）日
②ファミリー・サポート事業	第（　　）希望	年間（　　）日
③トワイライトステイ	第（　　）希望	年間（　　）日
④その他（　　）		年間（　　）日

問 18　この１年間に、保護者の用事（出張、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。（○は１つ）

１．あった（預け先がみつからなかった場合も含む）　　２．なかった → 11 ページの問 19 へ

→問 18-1　「１」に○をした方に伺います。この１年間に行った対処方法すべてに○をし、日数（おおよそ）を記入してください。

１．ショートステイを利用した	⇒	年間（　　）日
２．１以外の事業（民間のサービス等）を利用した	⇒	年間（　　）日
３．親族・知人にみてもらった	⇒	年間（　　）日
４．子どもを同行させた	⇒	年間（　　）日
５．その他（　　）	⇒	年間（　　）日

5．子育て支援全般について

★すべての方に伺います。

問19　あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所はありますか。
（あてはまる番号すべてに○）
また、どのようなことを相談しましたか。下の「相談した内容」から番号を選択し、⇒以降の（　　）内に番号を記入してください。

1．あなたの配偶者、パートナー　⇒（　　）
2．その他の親族　⇒（　　）
3．友人・知人　⇒（　　）
4．幼稚園の先生　⇒（　　）
5．保育園の職員（保育士、看護師など）　⇒（　　）
6．児童館等の職員（学童クラブ、キッズ・プラザ、ふれあいの家含む）⇒（　　）
7．すこやか福祉センター　⇒（　　）
8．保健所　⇒（　　）
9．子ども家庭支援センター　⇒（　　）
10．かかりつけ医　⇒（　　）
11．教育相談室　⇒（　　）
12．民生・児童委員、次世代育成委員　⇒（　　）
13．地域の子育て支援団体　⇒（　　）
14．民間の子育て相談（電話、インターネットなど）⇒（　　）
15．療育センターアポロ園、ゆめなりあ　⇒（　　）
16．その他の区役所窓口　⇒（　　）
17．母子生活支援施設の子育て電話相談⇒（　　）
18．社会福祉協議会の相談窓口（ほほえみサービス、地域担当職員など）⇒（　　）
19．その他（　　）
20．気軽に相談できる人（場所）はない

相談した内容	
1．子どもの健康や病気	9．子どもへの接し方がわからないこと
2．子どもの発達	10．子育てに自信が持てないこと
3．子どものしつけ	11．子育てで配偶者と意見があわないこと
4．子育て仲間がいないこと	12．保護者同士の人間関係
5．子育てが精神的に負担になっていること	13．子ども同士の人間関係
6．子どもとの時間が十分にとれないこと	14．自分や家族の健康状態
7．仕事や自分のことが十分にできないこと	15．子育ての経済的負担
8．子どもの勉強や成績	16．その他

問 20　区の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．中野区ホームページ	6．中野区の各種相談窓口
2．中野区報	7．通っている小学校等
3．ツイッターなどのＳＮＳ	8．保護者同士の口コミ
4．子育て応援メールマガジン	9．その他（　　）
5．子育て支援ハンドブック『おひるね』	

問21　地域の一員として、どのような内容の地域の子どもの育成活動に参加していますか。また、それらの活動について、今後どのように活動していきたいですか。活動ごとに、Ａ・Ｂそれぞれ１つに○をしてください。

	A. 現在の参加状況			B. 今後の参加意向			
	親子で参加している	親だけで参加している	参加していない	続けていきたい	機会があれば、参加したい	子どもが中学生以上になったら参加したい	参加は考えていない
1．子ども会、子どもと共に進む会	1	2	3	1	2	3	4
2．その他の町内会・自治会活動	1	2	3	1	2	3	4
3．その他地域の子ども育成活動							
－ボランティア活動	1	2	3	1	2	3	4
－スポーツ関係の活動	1	2	3	1	2	3	4
－趣味の活動	1	2	3	1	2	3	4
－学習・教養サークルの活動	1	2	3	1	2	3	4
4．その他（　　）	1	2	3	1	2	3	4

問22　今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。（あてはまる番号すべてに○）

１．妊娠前の相談・支援の充実
２．妊娠中の相談・支援の充実
３．出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実
４．児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成
５．幼児期の教育の充実
６．多様な保育サービスの充実
７．子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の充実
８．子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の充実
９．子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり
１０．出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援体制の拡充
１１．保護者の入院など緊急時における支援サービスの提供
１２．犯罪から子どもを守る体制の整備
１３．子どもへの虐待防止対策と体制の整備
１４．家事・育児への男女共同参画の意識づくり
１５．子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
１６．子どもの育成活動への支援
１７．その他（　　）

問 23　区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

調査票は、返信用封筒に入れ、１０月２２日（月）までにポストに入れてください。

印刷物登録番号　30 中子経第 180 号

中野区子ども・子育てアンケート調査結果報告書

平成 31（2019）年３月発行

発　　行　中野区子ども教育部子ども教育経営分野
〒164－8501　　中野区中野４－８－１
TEL　03（3228）5610

集計・分析　株式会社　創建
〒105－0003　　港区西新橋３－23－５
TEL　03（6854）4311